

ちば

平成 25 年度

第 46 回

# 県政に関する世論調査

## 報 告 書

平成 26 年 1 月

千 葉 県



## は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成25年度第1回目の調査で、県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、昨年8月から9月にかけて郵送法で実施しました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、子育てと福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成26年1月

千葉県総合企画部長 鶴巻 郁夫



# 目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1 環境と生活について	17
( 1 ) 今後の居住意向	17
( 1 - 1 ) 住み続けたい理由	20
( 1 - 2 ) 移りたい理由	22
( 2 ) 生活環境について	24
( 3 ) 生活環境全般の満足度	28
( 4 ) 周辺・自然環境について	30
( 5 ) 周辺・自然環境全般の満足度	34
( 6 ) 基盤整備について	36
( 7 ) 現在の生活の満足度	40
( 8 ) 住生活全般の満足度	52
( 9 ) 市民活動団体の活動の認知度	54
( 10 ) 市民活動団体の活動への参加経験	56
( 11 ) ボランティア活動経験	58
2 健康について	60
( 1 ) 健康づくりに取り組むことができる環境	60
( 2 ) 健康づくりのための運動	62
( 3 ) 安心して受診できる医療体制	64
( 4 ) かかりつけ医の有無	66
3 子育てと福祉について	70
( 1 ) 安心して子育てできる環境	70
( 2 ) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について	72
4 観光について	74
( 1 ) 千葉県の魅力	74
( 2 ) 県内で旅行に行きたいエリア	77
( 3 ) 県内を観光する際に事前に知りたい情報	79
( 4 ) 県内を観光するときの不満	81
( 5 ) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの	83

5	千葉県産農林水産物について -----	85
	( 1 ) 千葉県産農林水産物の購入意向 -----	85
	( 2 ) 「ちばエコ農産物」の認知度 -----	87
	( 3 ) 「千葉ブランド水産物」の認知度 -----	89
6	防災に関する取り組みについて -----	91
	( 1 ) 大地震や風水害への不安 -----	91
	( 2 ) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 -----	93
	( 3 ) 飲料水や食料の備蓄状況 -----	95
	( 4 ) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 -----	97
	( 5 ) 地震の被害を防ぐための対策 -----	99
7	地方分権について -----	101
	( 1 ) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か -----	101
	( 2 ) 「地方分権」による基準変更の認知度 -----	103
8	広報・広聴活動について -----	105
	( 1 ) 県の施策や政策などについての関心度 -----	105
	( 2 ) 県政に関する情報を得る手段 -----	107
	( 3 ) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 -----	109
	( 3 - 1 ) 「ちば県民だより」の内容について -----	111
	( 4 ) 千葉県ホームページの利用頻度 -----	114
	( 4 - 1 ) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ -----	116
	( 5 ) 県の広報番組の視聴状況 -----	118
	( 6 ) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況 -----	120
	( 7 ) 県の知りたい情報 -----	122
	( 8 ) 知事への手紙などで意見を述べた経験 -----	124
	( 9 ) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと -----	125
	( 10 ) 県政への意見の反映 -----	127
9	県政への要望 -----	129
	( 1 ) 県政への要望 -----	129
	( 1 - 1 ) 各政策への具体的な要望 -----	134
10	自由回答 -----	153
	( 付 ) 調査票および単純集計結果 -----	161

## 調査の概要





# 調 査 の 概 要

## 1 . 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

## 2 . 調査の項目

### ( 1 ) 県民意識調査

環境と生活について  
健康について  
子育てと福祉について  
観光について  
千葉県の農林水産物について  
防災に関する取り組みについて  
地方分権について  
広報・広聴活動について

### ( 2 ) 県政への要望

## 3 . 調査の設計

- ( 1 ) 調査地域      千葉県全域  
( 2 ) 調査対象      満 20 歳以上の男女個人  
( 3 ) 標本数          3,000 人  
( 4 ) 抽出方法      層化二段無作為抽出法

層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- ( 5 ) 調査方法      郵送法( 郵送配付 - 郵送回収 )  
( 6 ) 調査時期      平成 25 年 8 月 14 日 ~ 9 月 2 日

## 4 . 調査機関

株式会社   マーケティング・リサーチ・サービス

## 5 . 回収結果

標本数	( A )	3,000件
総回収数	( B )	1,558件
	有効回収数 ( C )	1,556件
	無効回収数	2件
回収率	( B / A )	51.93 %
有効回収率	( C / A )	51.87 %

## 標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満 20 歳以上の男女個人

標 本 数 : 3,000 人

地 点 数 : 市 部 194 地点  
郡 部 6 地点  
計 200 地点

抽 出 法 : 層化二段無作為抽出法

[ 層 化 ]

1 . 県内を、次の 11 地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
千葉地域	千葉市、市原市
葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
香取地域	香取市、香取郡
海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
長生地域	茂原市、長生郡
夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2 . 各地域内においては、  
さらに市部、郡部に分け、層とした。

( 注 ) ここでいう市とは、  
平成25年 4 月 1 日現在市制施行の  
地域をさす。



[ 標本数の配分 ]

各地域・市郡規模別の層における満 20 歳以上の人口（平成 24 年 4 月 1 日現在の推定数）に対して、3,000 の標本数を比例配分した。

[ 抽 出 ]

1．平成 22 年国勢調査時に設定された調査区を、第 1 次抽出単位となる調査単位として使用した。

2．調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[ \frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right] \text{を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。}$$

3．抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成 22 年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

4．調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
千葉地域	1,017,036 585 39	0 0 0	1,017,036 585 39
葛南地域	1,311,771 765 51	0 0 0	1,311,771 765 51
東葛飾地域	1,200,553 690 46	0 0 0	1,200,553 690 46
印旛地域	553,080 330 22	37,306 15 1	590,386 345 23
香取地域	70,799 45 3	32,076 15 1	102,875 60 4
海匝地域	150,444 90 6	0 0 0	150,444 90 6
山武地域	140,401 90 6	44,020 15 1	184,421 105 7
長生地域	77,797 45 3	54,958 30 2	132,755 75 5
夷隅地域	53,464 30 2	16,143 15 1	69,607 45 3
安房地域	109,798 75 5	7,859 0 0	117,657 75 5
君津地域	272,575 165 11	0 0 0	272,575 165 11
計	4,957,718 2,910 194	192,362 90 6	5,150,080 3,000 200

（注） 上段は満 20 歳以上の人口（平成 24 年 4 月 1 日現在） 中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
千葉地域	千葉市中央区神明町	15	葛南地域	市原市五井西2丁目	15
	千葉市中央区葛城2丁目	15		市原市西国吉	15
	千葉市中央区弁天2丁目	15		市川市八幡1丁目	15
	千葉市中央区宮崎町	15		市川市大和田1丁目	15
	千葉市中央区白旗3丁目	15		市川市菅野1丁目	15
	千葉市中央区浜野町	15		市川市田尻3丁目	15
	千葉市花見川区花園1丁目	15		市川市市川1丁目	15
	千葉市花見川区幕張町4丁目	15		市川市市川南1丁目	15
	千葉市花見川区西小中台	15		市川市真間1丁目	15
	千葉市花見川区さつきが丘2丁目	15		市川市柏井町1丁目	15
	千葉市花見川区花見川	15		市川市中国分5丁目	15
	千葉市花見川区幕張町5丁目	15		市川市南八幡2丁目	15
	千葉市稲毛区黒砂台2丁目	15		市川市鬼越2丁目	15
	千葉市稲毛区園生町	15		市川市相之川3丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛東6丁目	15		市川市塩焼3丁目	15
	千葉市稲毛区長沼町	15		市川市北国分4丁目	15
	千葉市稲毛区穴川2丁目	15		市川市行徳駅前3丁目	15
	千葉市若葉区西都賀3丁目	15		市川市南行徳2丁目	15
	千葉市若葉区貝塚1丁目	15		船橋市咲が丘2丁目	15
	千葉市若葉区大宮台2丁目	15		船橋市大穴北4丁目	15
	千葉市若葉区桜木北3丁目	15		船橋市大穴南5丁目	15
	千葉市若葉区若松町	15		船橋市芝山6丁目	15
	千葉市緑区誉田町2丁目	15		船橋市七林町	15
	千葉市緑区越智町	15		船橋市薬円台4丁目	15
	千葉市緑区古市場町	15		船橋市三山1丁目	15
	千葉市美浜区真砂2丁目	15		船橋市前原西6丁目	15
	千葉市美浜区高洲3丁目	15		船橋市夏見台1丁目	15
	千葉市美浜区真砂5丁目	15		船橋市行田3丁目	15
	千葉市美浜区打瀬2丁目	15		船橋市馬込町	15
	千葉市美浜区稲毛海岸1丁目	15		船橋市市場4丁目	15
	市原市惣社4丁目	15		船橋市宮本8丁目	15
	市原市岩野見	15		船橋市山野町	15
	市原市潤井戸	15		船橋市東中山1丁目	15
	市原市姉崎	15		船橋市本町3丁目	15
	市原市君塚1丁目	15		船橋市東船橋7丁目	15
	市原市八幡	15		船橋市海神町3丁目	15
	市原市泉台1丁目	15		船橋市西船7丁目	15

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
葛 南 地 域	習志野市津田沼 4 丁目	15	東 葛 飾 地 域	柏市増尾 5 丁目	15
	習志野市津田沼 3 丁目	15		柏市南増尾 6 丁目	15
	習志野市谷津 3 丁目	15		柏市中原 1 丁目	15
	習志野市藤崎 6 丁目	15		柏市西原 5 丁目	15
	習志野市東習志野 8 丁目	15		柏市布施新町 2 丁目	15
	八千代市大和田新田	15		柏市旭町 5 丁目	15
	八千代市村上団地	15		柏市十余二	15
	八千代市勝田台南 3 丁目	15		柏市名戸ヶ谷 1 丁目	15
	八千代市八千代台東 2 丁目	15		柏市豊四季	15
	八千代市高津団地	15		柏市松葉町 7 丁目	15
	浦安市当代島 2 丁目	15		柏市千代田 3 丁目	15
	浦安市海楽 1 丁目	15		柏市高南台 3 丁目	15
	浦安市堀江 5 丁目	15		流山市向小金 1 丁目	15
	浦安市富岡 3 丁目	15		流山市南流山 3 丁目	15
	浦安市高洲 6 丁目	15		流山市西初石 4 丁目	15
	浦安市高洲 5 丁目	15		流山市若葉台	15
東 葛 飾 地 域	松戸市栄町 8 丁目	15		流山市江戸川台東 1 丁目	15
	松戸市常盤平 2 丁目	15		我孫子市我孫子 1 丁目	15
	松戸市牧の原	15		我孫子市久寺家 1 丁目	15
	松戸市西馬橋相川町	15		我孫子市天王台 5 丁目	15
	松戸市新松戸 3 丁目	15		我孫子市日秀	15
	松戸市松戸	15		鎌ヶ谷市道野辺本町 2 丁目	15
	松戸市上本郷	15		鎌ヶ谷市東初富 2 丁目	15
	松戸市稔台	15		鎌ヶ谷市くぬぎ山 2 丁目	15
	松戸市三矢小台 3 丁目	15		鎌ヶ谷市東鎌ヶ谷 2 丁目	15
	松戸市馬橋	15	印 旛 地 域	成田市囃護台 3 丁目	15
	松戸市小金原 8 丁目	15		成田市加良部 5 丁目	15
	松戸市五香西 1 丁目	15		成田市玉造 2 丁目	15
	松戸市新松戸北 1 丁目	15		成田市南羽鳥	15
	松戸市小金きよしヶ丘 3 丁目	15		成田市松子	15
	松戸市根本	15		佐倉市鐺木町	15
	松戸市松戸	15		佐倉市新臼井田	15
	松戸市八ヶ崎 3 丁目	15		佐倉市中志津 6 丁目	15
	野田市山崎	15		佐倉市井野	15
	野田市七光台	15		佐倉市六崎	15
	野田市西高野	15		四街道市四街道 2 丁目	15
	野田市大殿井	15		四街道市大日	15

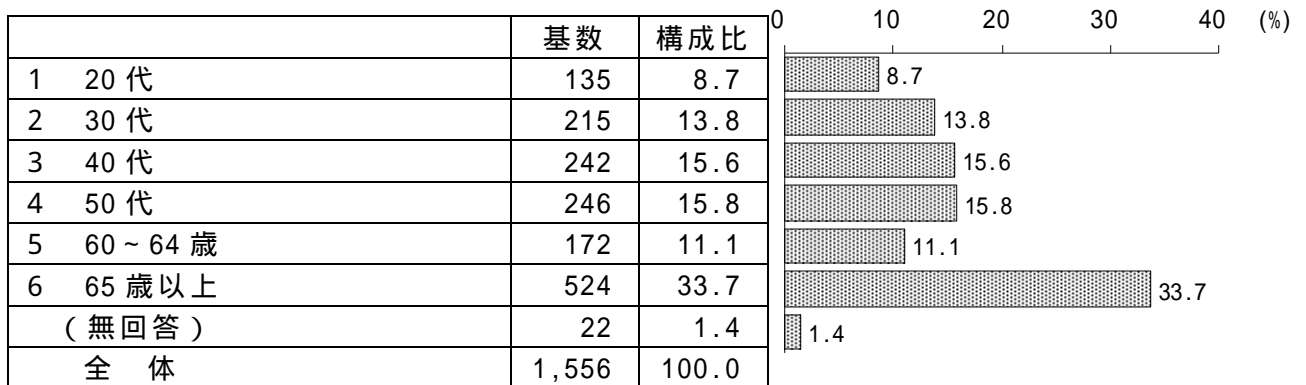
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
印旛地域	四街道市めいわ5丁目	15	夷隅地域	勝浦市松野の一部	15
	八街市八街ろ	15		いすみ市須賀谷小字東小倉	15
	八街市吉倉	15		夷隅郡大多喜町横山	15
	印西市小林	15	安房地域	館山市北条	15
	印西市高花6丁目	15		館山市大賀	15
	印西市草深	15		鴨川市東町	15
	白井市けやき台1丁目	15		南房総市白浜町白浜	15
	白井市清水口1丁目	15		南房総市和田町上三原	15
	富里市七栄	15	君津地域	木更津市清見台南1丁目	15
	富里市日吉倉	15		木更津市請西東6丁目	15
	印旛郡栄町酒直台1丁目	15		木更津市桜井新町2丁目	15
香取地域	香取市佐原イ	15		木更津市本郷2丁目	15
	香取市みずほ台1丁目	15		君津市高坂	15
	香取市大崎	15		君津市君津台2丁目	15
	香取郡多古町十余三	15		君津市戸崎	15
海匝地域	銚子市犬吠埼	15		富津市下飯野	15
	銚子市松本町3丁目	15		富津市大堀	15
	銚子市塚本町	15		袖ヶ浦市蔵波台7丁目	15
	旭市口	15		袖ヶ浦市高谷	15
	旭市琴田	15			
	匝瑳市野手西浜西	15			
山武地域	東金市田間	15			
	東金市下武射田	15			
	山武市富口	15			
	山武市二	15			
	大網白里市上貝塚	15			
	大網白里市南今泉	15			
	山武郡九十九里町方貝	15			
長生地域	茂原市下永吉	15			
	茂原市上茂原	15			
	茂原市西野	15			
	長生郡一宮町一宮	15			
	長生郡白子町福島	15			

## 回答者の属性

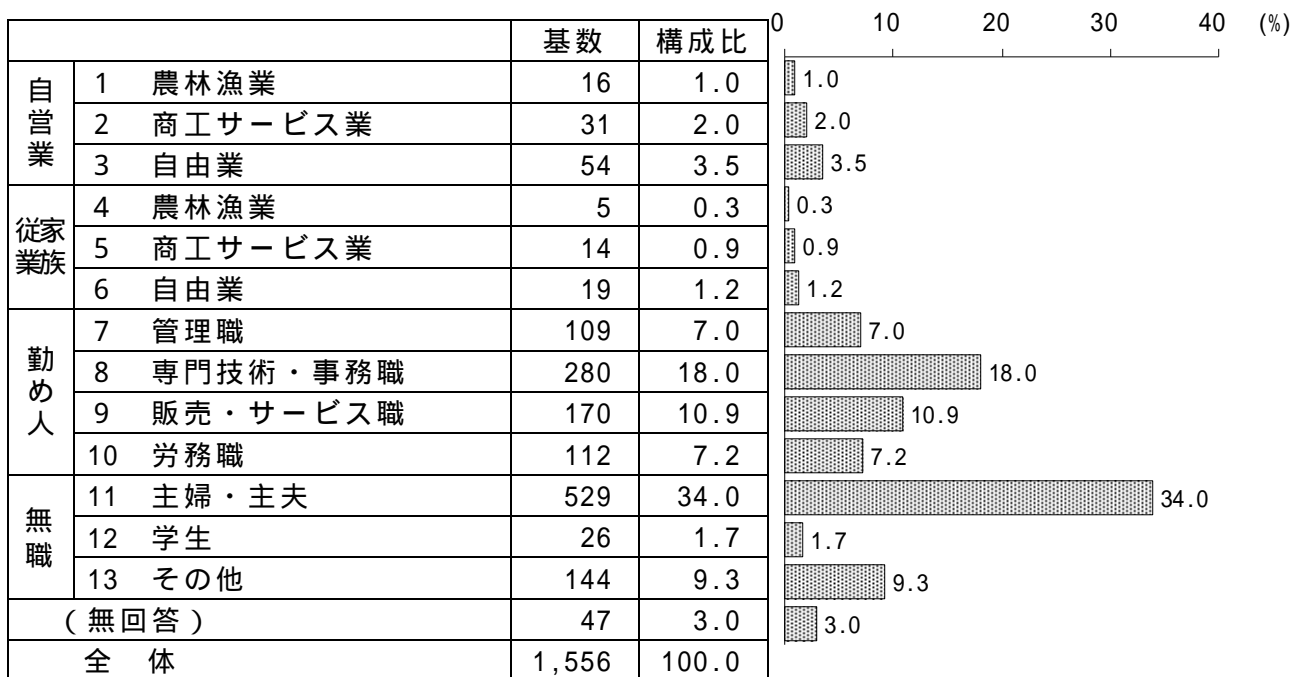
### 1. 性



### 2. 年 代



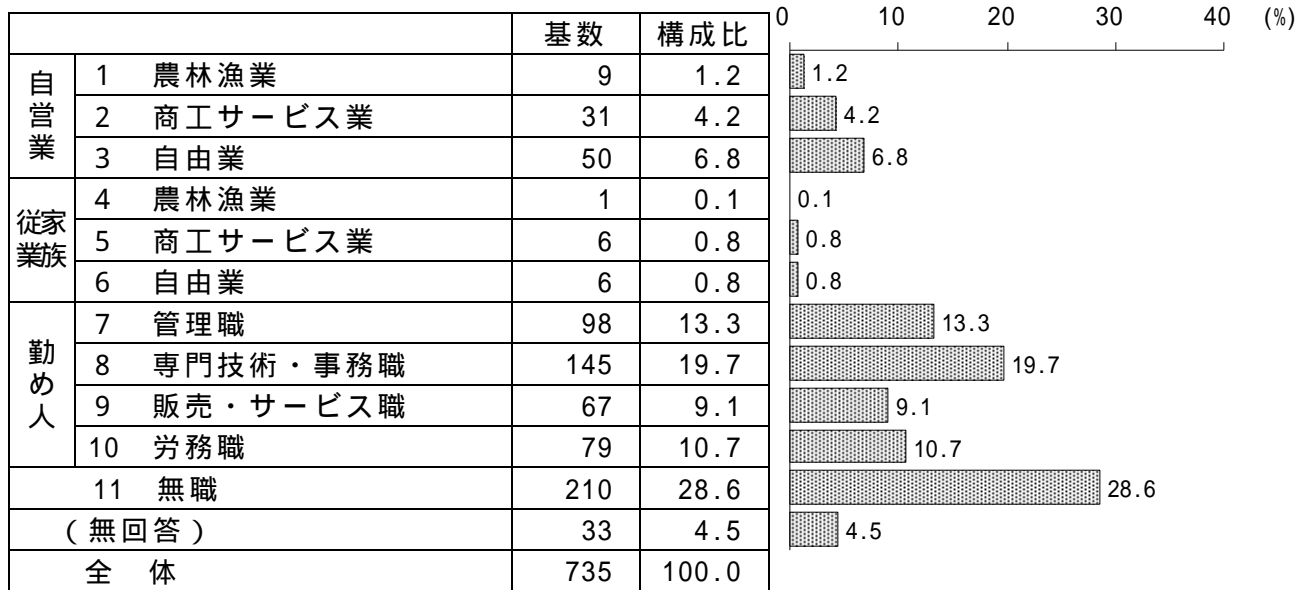
### 3. 本人職業



### 4. 家庭の家計を主として支えているか



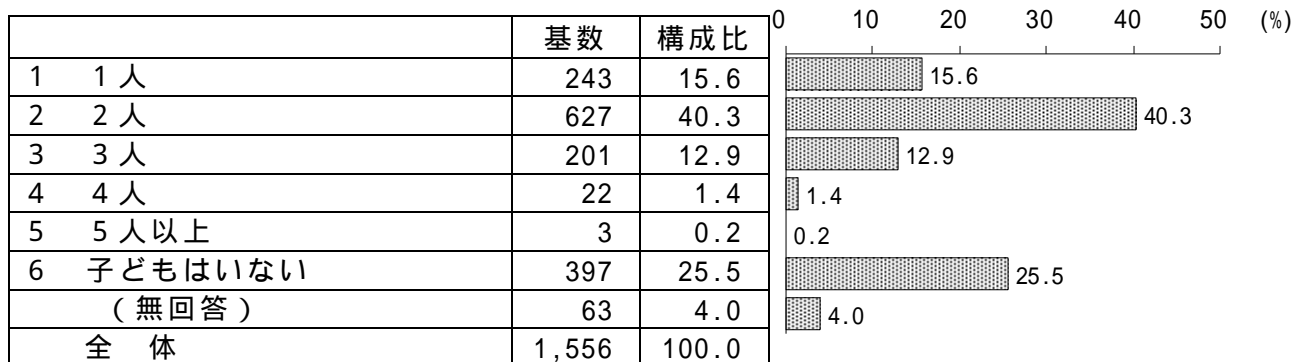
５．主として家計を支えている家族の職業（本人を除く）



６．未既婚



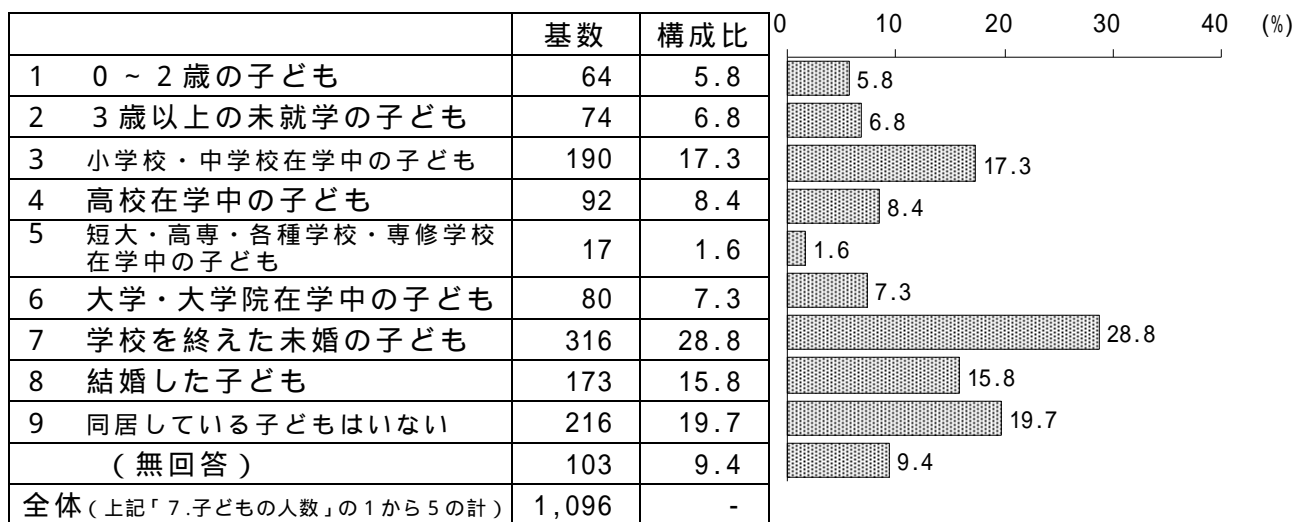
７．子どもの人数





## 8. 子どもの成長段階

1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。



## 9. 家族構成



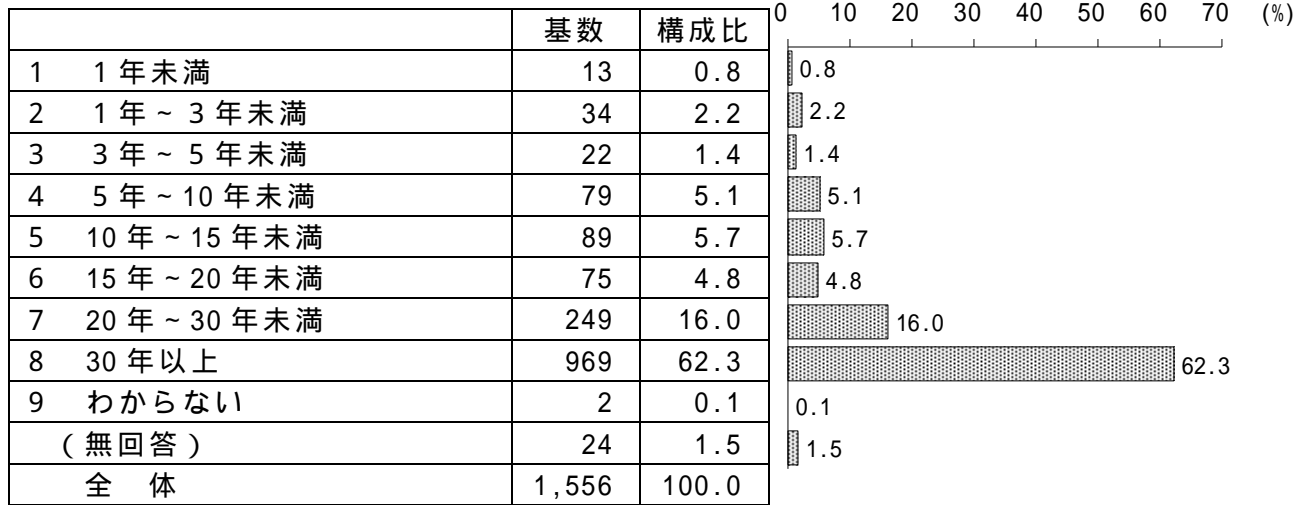
## 10. 高齢者の同居の有無



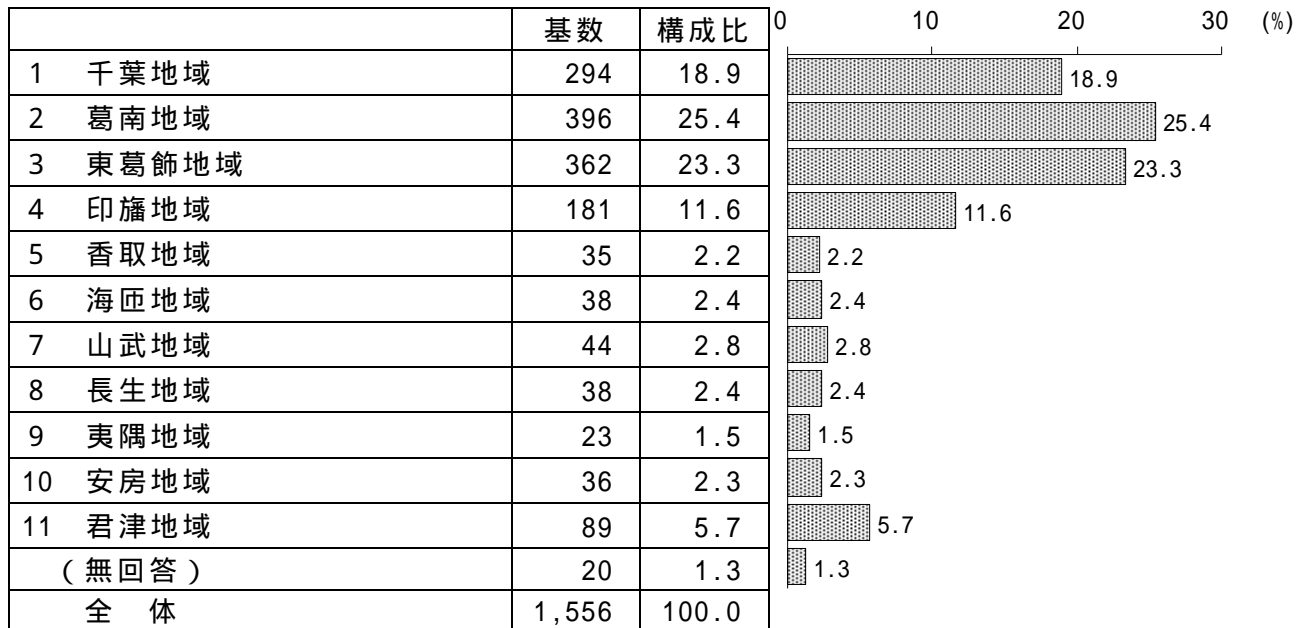
## 11. 住 宅



## 12. 県内居住年数



## 13. 地 域



( 報告書の見方 )

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- ( 1 ) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が 100%にならないことがある。
- ( 2 ) 基数となるべき実数は n として掲載した。その比率は件数を 100%として算出した。
- ( 3 ) 1 人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が 100%を上回ることがある。
- ( 4 ) 前回調査の設問から、分かりやすく実態に合わせたものにするため、表現等を変更したものがある。
- ( 5 ) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を 95%とする。

$$b = \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P ( 1 - P )}{n}}$$

b = 標本誤差  
 N = 母集団数  
 n = 比率算出の基数 ( サンプル数 )  
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 ( P ) 基数 ( n )		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
総 数	1,556 人	± 2.15%	± 2.87%	± 3.29%	± 3.51%	± 3.58%
千葉地域	294	± 4.95%	± 6.60%	± 7.56%	± 8.08%	± 8.25%
葛南地域	396	± 4.26%	± 5.68%	± 6.51%	± 6.96%	± 7.11%
東葛飾地域	362	± 4.46%	± 5.95%	± 6.81%	± 7.28%	± 7.43%
印旛地域	181	± 6.31%	± 8.41%	± 9.63%	± 10.30%	± 10.51%
香取地域	35	± 14.34%	± 19.12%	± 21.91%	± 23.42%	± 23.90%
海匝地域	38	± 13.76%	± 18.35%	± 21.02%	± 22.48%	± 22.94%
山武地域	44	± 12.79%	± 17.05%	± 19.54%	± 20.89%	± 21.32%
長生地域	38	± 13.76%	± 18.35%	± 21.02%	± 22.47%	± 22.94%
夷隅地域	23	± 17.69%	± 23.59%	± 27.02%	± 28.89%	± 29.48%
安房地域	36	± 14.14%	± 18.85%	± 21.60%	± 23.09%	± 23.57%
君津地域	89	± 8.99%	± 11.99%	± 13.74%	± 14.69%	± 14.99%
男 性	655	± 3.31%	± 4.42%	± 5.06%	± 5.41%	± 5.53%
女 性	878	± 2.89%	± 3.82%	± 4.37%	± 4.68%	± 4.77%



調 査 の 結 果

調査結果の解説



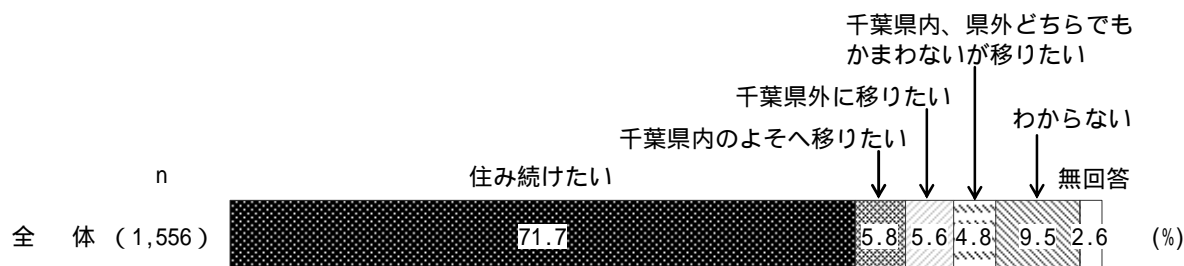
# 1 環境と生活について

## (1) 今後の居留意向

「住み続けたい」が7割を超える

問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。( は1つ)

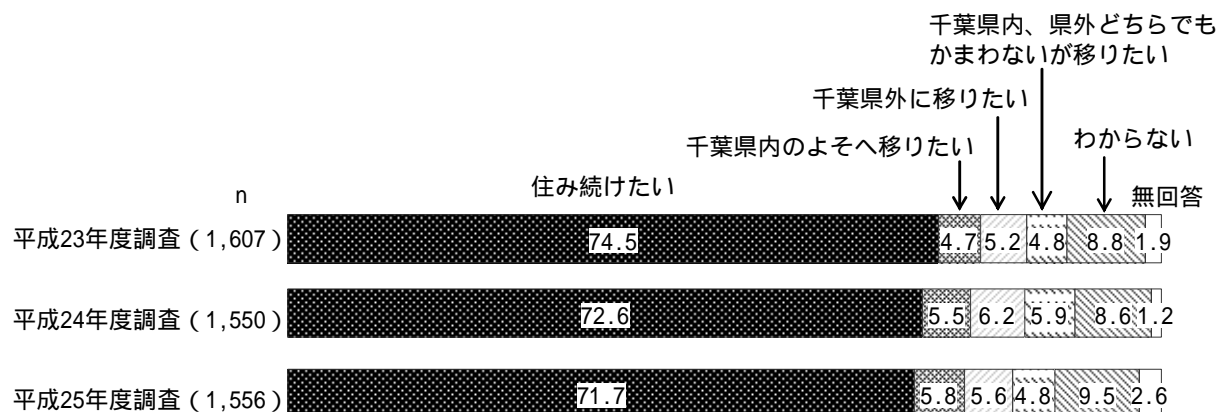
<図表1-1> 今後の居留意向



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(71.7%)は7割を超えている。一方、「千葉県外に移りたい」は5.6%となっている。また、「住み続けたい」と「千葉県内のよそへ移りたい」(5.8%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(77.5%)は約8割となっている。

(図表1-1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



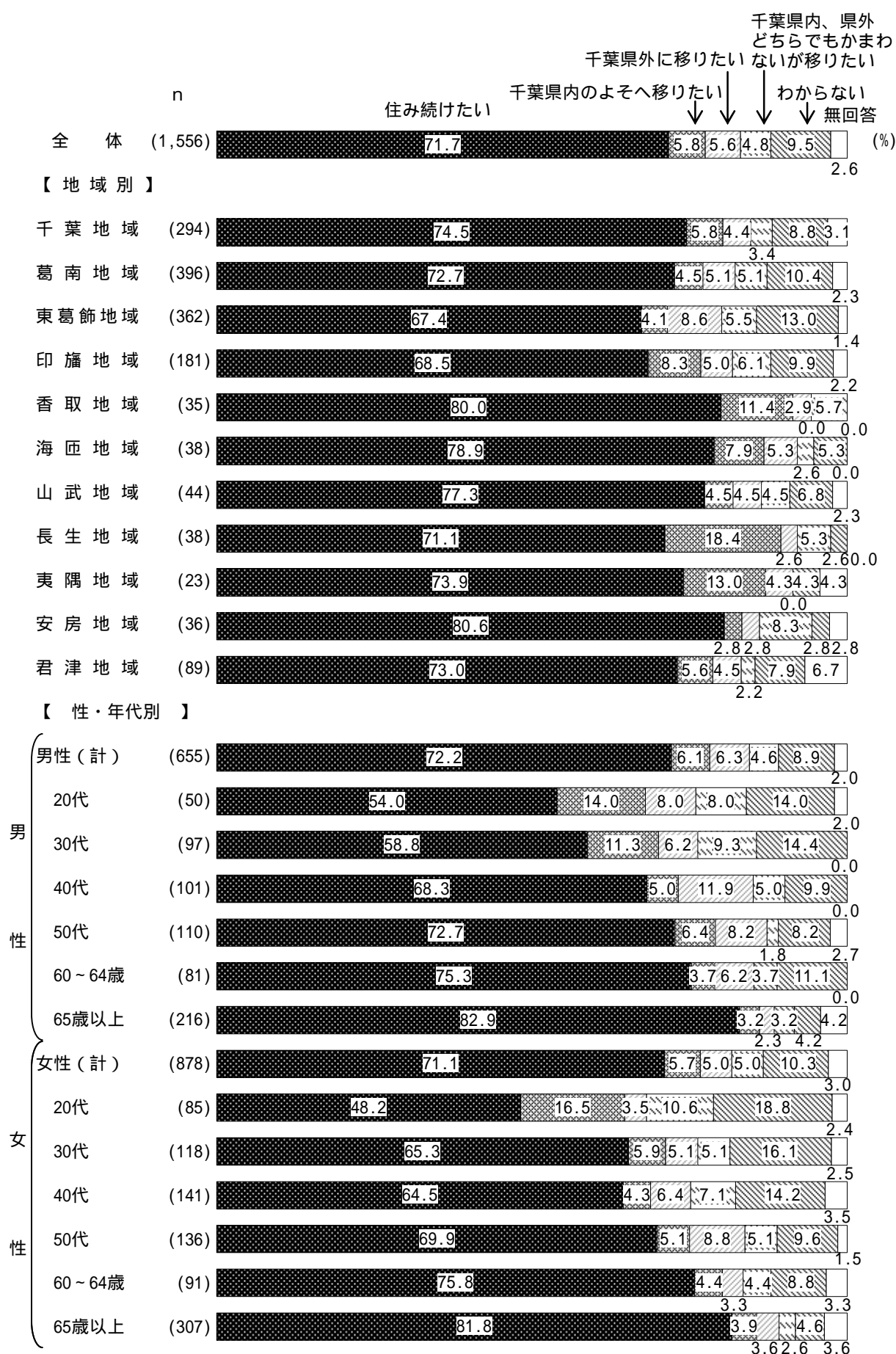
### 【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“安房地域”(80.6%)、“香取地域”(80.0%)が8割と最も高く、“海匝地域”(78.9%)、“山武地域”(77.3%)が約8割となっている。(図表1-2)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(82.9%)と女性の65歳以上(81.8%)が8割を超えて、他の年代に比べ多くなっている。(図表1-2)

<図表 1 - 2> 今後の居住意向 / 地域別、性・年代別

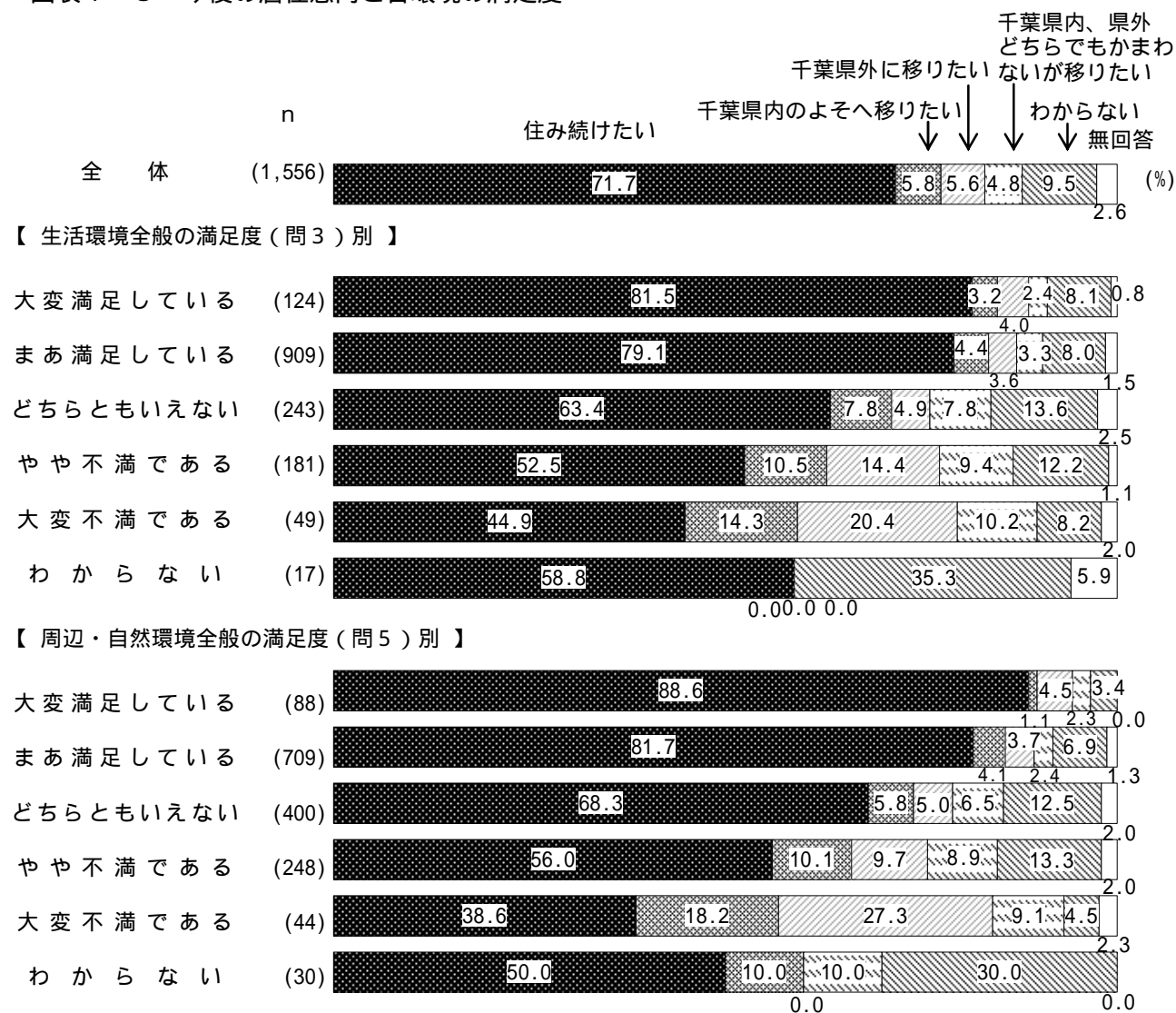




< 今後の居留意向と各環境の満足度 >

居留意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「周辺・自然環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、周辺・自然環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

< 図表1-3 > 今後の居留意向と各環境の満足度



## ( 1 - 1 ) 住み続けたい理由

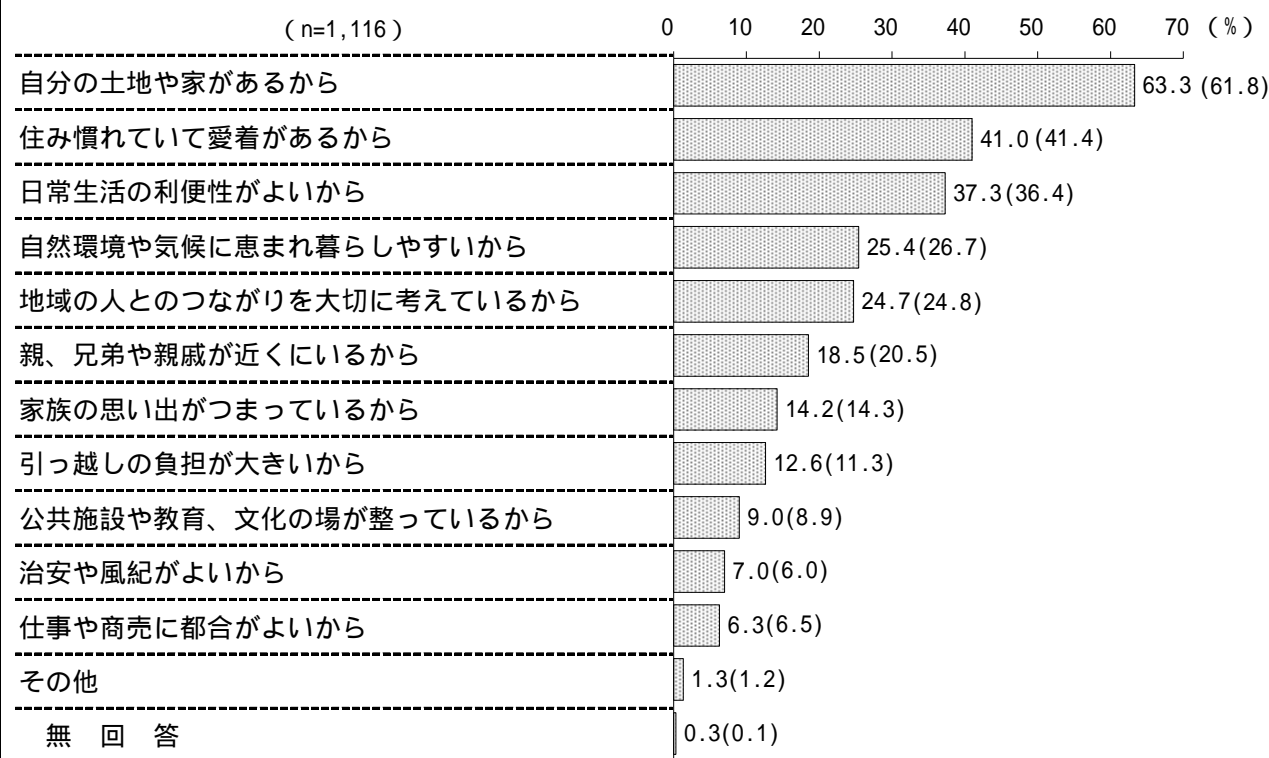
「自分の土地や家があるから」が6割台半ば

( 問 1 で「住み続けたい」とお答えの方に )

問 1 - 1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

( は3つまで )

< 図表 1 - 4 > 住み続けたい理由 ( 複数回答 )



注 )( ) の数字は平成 24 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,125

「住み続けたい」と回答した1,116人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」( 63.3% ) が6割台半ばと最も多く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」( 41.0% ) 「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」( 37.3% ) が続く。( 図表 1 - 4 )

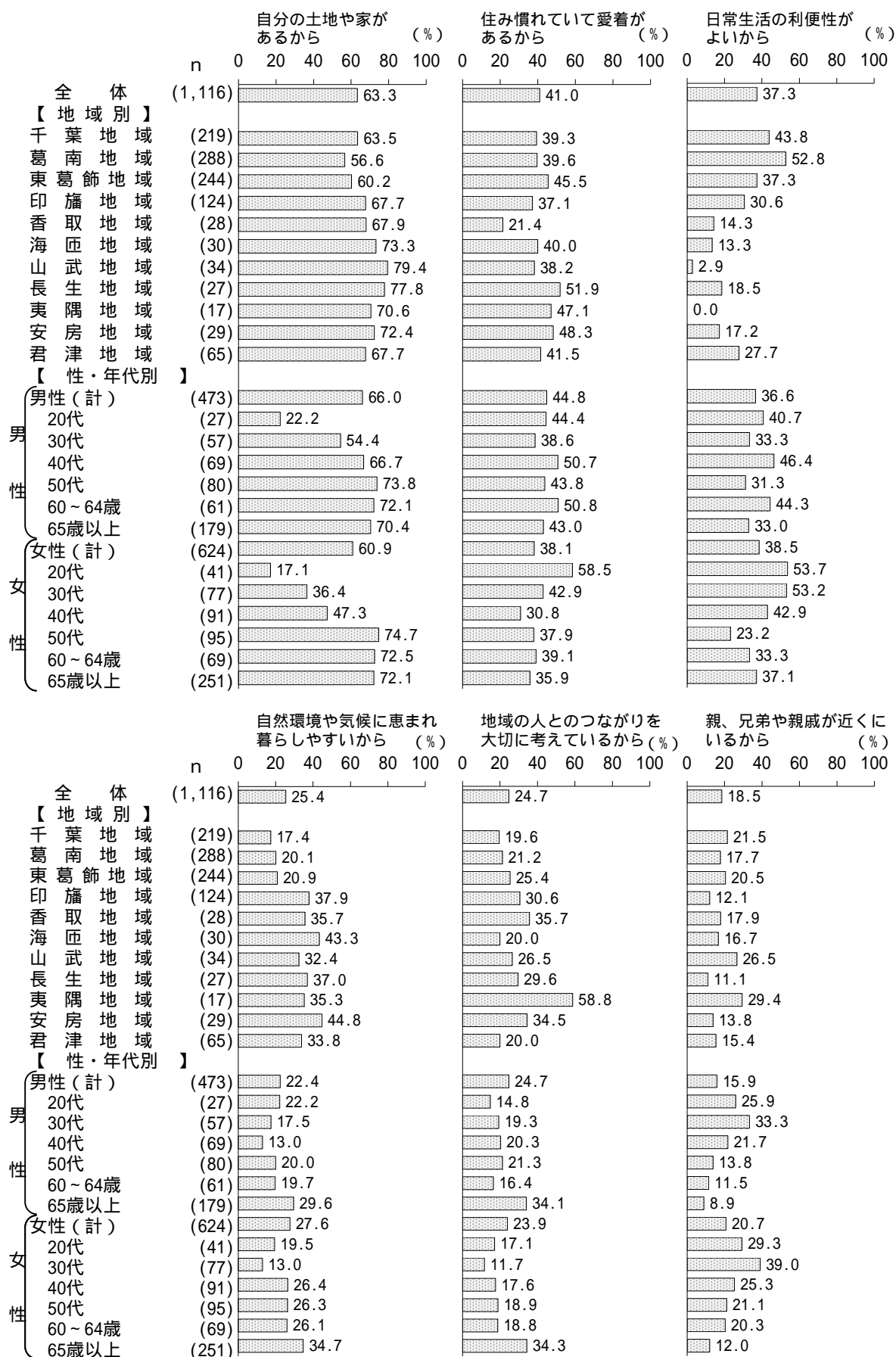
### 【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“山武地域”( 79.4% ) が約8割で他の地域に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は“長生地域”( 51.9% ) が5割を超え、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”( 52.8% ) が5割を超えている。( 図表 1 - 5 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は女性の50代( 74.7% )・60～64歳( 72.5% )・65歳以上( 72.1% ) 男性の50代( 73.8% )・60～64歳( 72.1% )・65歳以上( 70.4% ) が7割以上で他の年代に比べて高くなっている。( 図表 1 - 5 )

<図表1 - 5> 住みたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



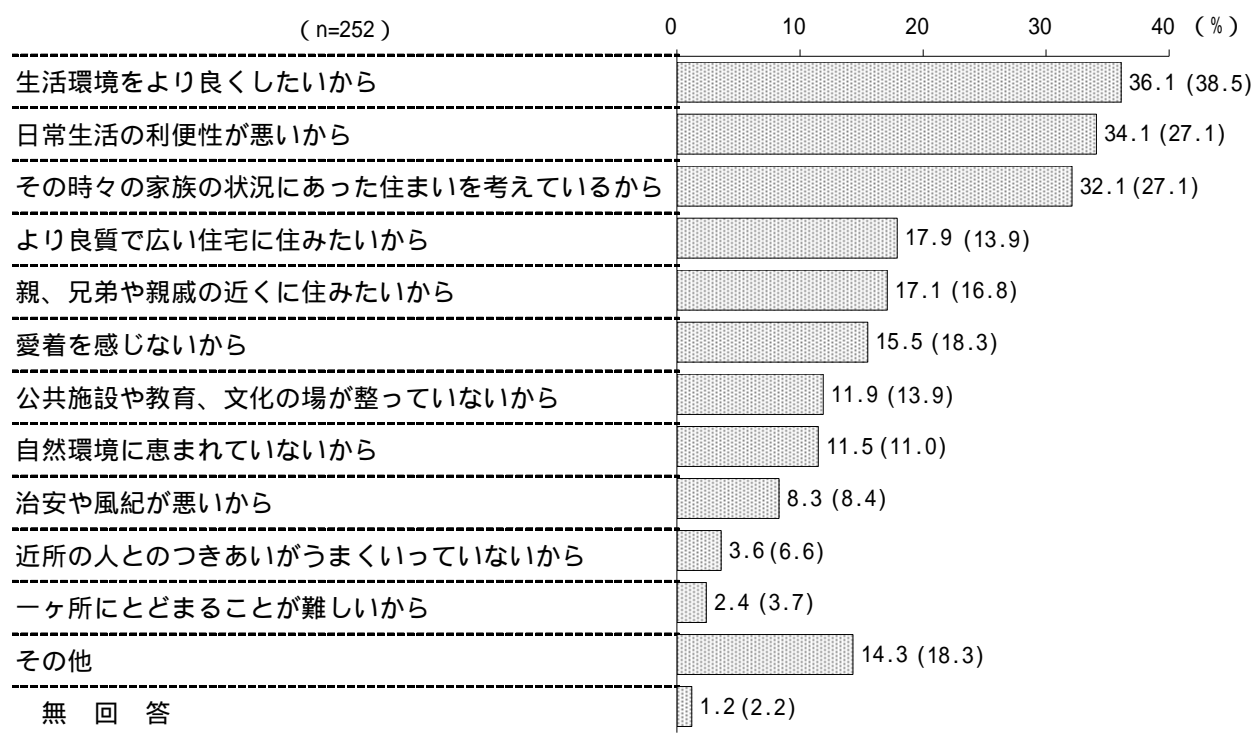
## ( 1 - 2 ) 移りたい理由

「生活環境をより良くしたいから」が3割台半ば

( 問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に )

問1 - 2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。( は3つまで )

< 図表 1 - 6 > 移りたい理由 ( 複数回答 )



注 )( ) の数字は平成 24 年度の同様の項目による調査結果 n = 273

「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した252人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」( 36.1% ) が3割台半ばと最も高く、以下、「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」( 34.1% ) 「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」( 32.1% ) が続く。( 図表 1 - 6 )

### 【地域別】

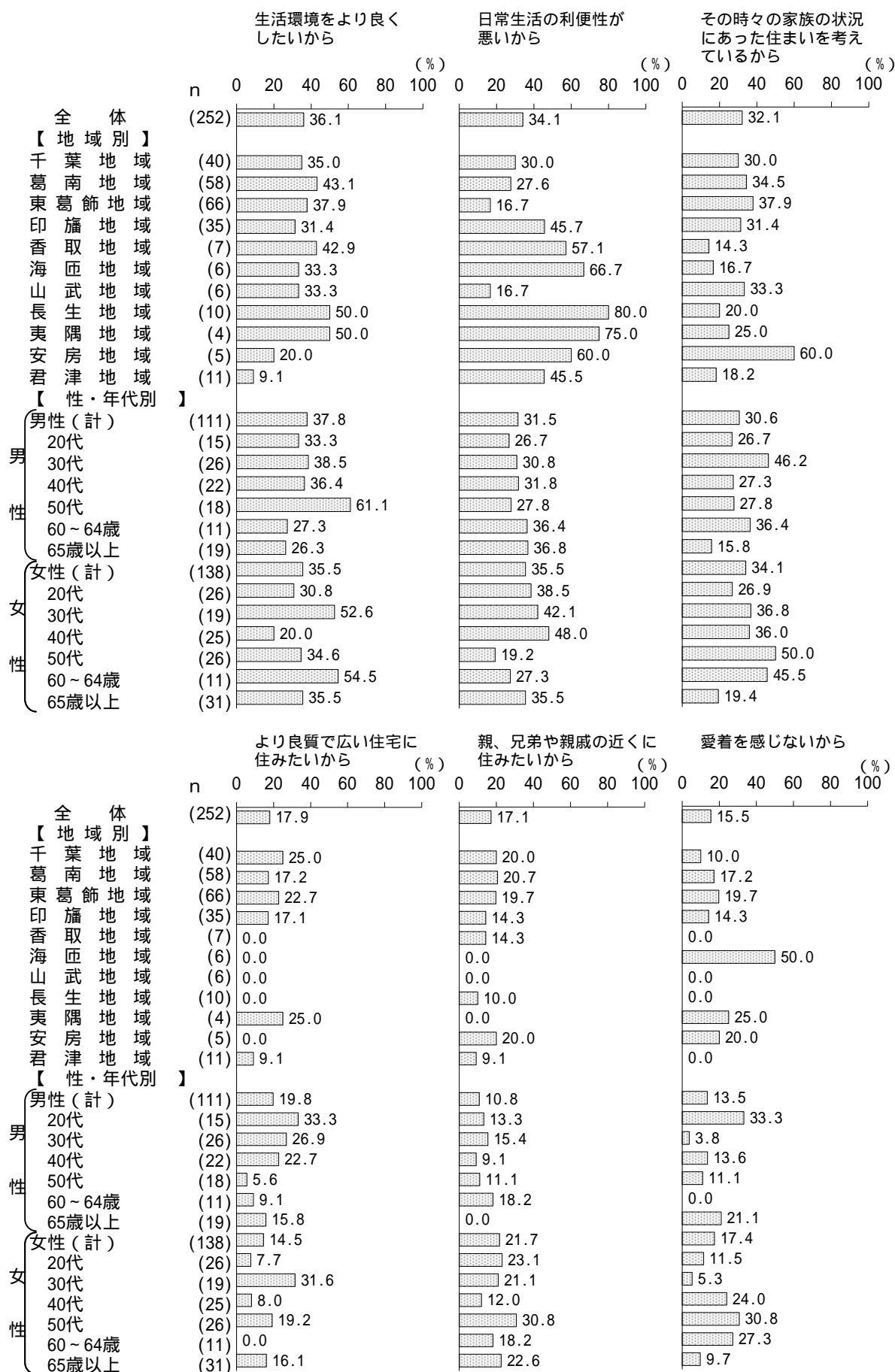
地域別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は“長生地域”、“夷隅地域”(共に50.0%)で5割と高くなっている。「通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから」では、“長生地域”(80.0%)が8割、“夷隅地域”(75.0%)が7割台半ばと高くなっている。「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」は、“安房地域”(60.0%)が6割と高くなっている。

( 図表 1 - 7 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は男性の50代(61.1%)が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。( 図表 1 - 7 )

<図表1 - 7> 移りたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



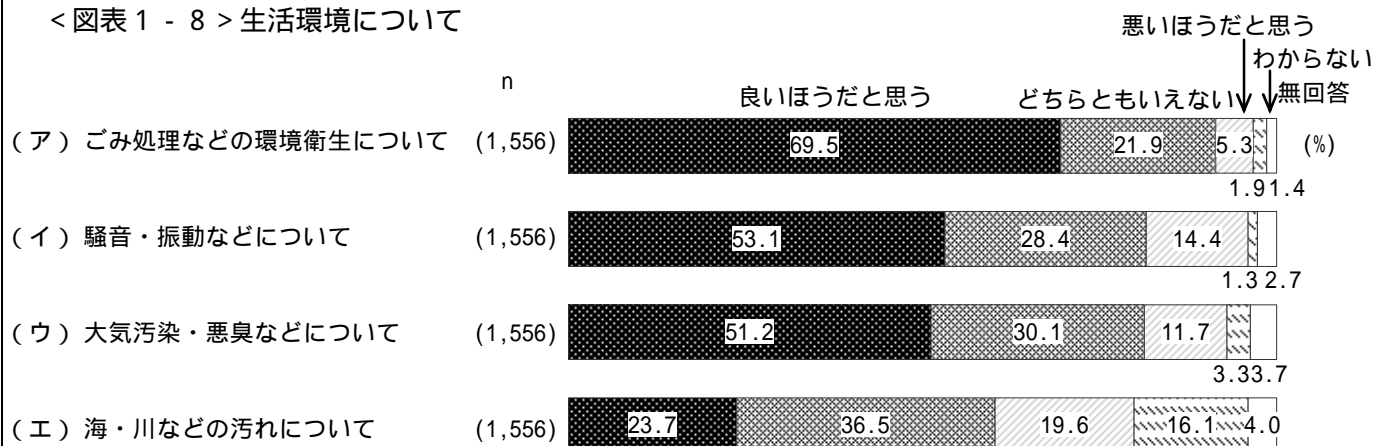
## ( 2 ) 生活環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは ごみ処理などの環境衛生について で約7割

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

( はそれぞれ1つずつ )

<図表1 - 8>生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、ごみ処理などの環境衛生について (69.5%) で約7割となっている。以下、騒音・振動などについて (53.1%) が5割台半ば、大気汚染・悪臭などについて (51.2%) が5割を超えている。一方、海・川などの汚れについては、「良いほうだと思う」(23.7%) と「悪いほうだと思う」(19.6%) の差は大きくない。(図表1 - 8)

### 【地域別】

地域別にみると、ごみ処理などの環境衛生についてにおいて、「良いほうだと思う」は“葛南地域”(75.8%)、 “印旛地域”(74.0%)、 “千葉地域”(73.1%) が7割台半ばとなっている。騒音・振動などについては、“安房地域”(72.2%) が7割を超え、大気汚染・悪臭などについてにおいても、“安房地域”(75.0%) が7割台半ば、海・川などの汚れについてにおいても、“安房地域”(52.8%) が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 9)

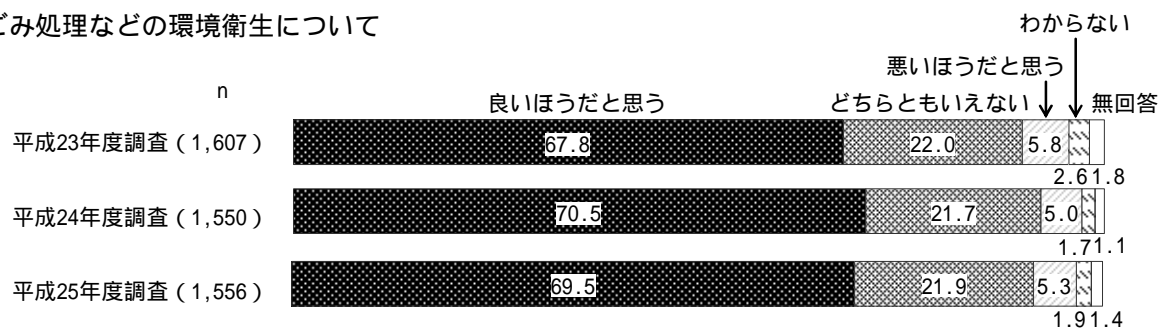
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、ごみ処理などの環境衛生についてにおいて、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(79.0%)、女性の65歳以上(78.8%) が約8割となっている。騒音・振動などについてにおいて、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(59.3%) と女性の60～64歳(57.1%) が約6割となっている。

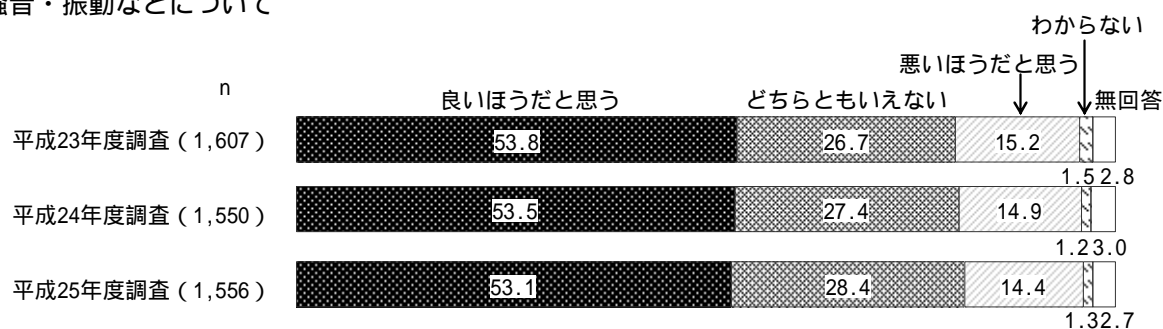
海・川などの汚れについてにおいて、「悪いほうだと思う」は男性の20代(38.0%) が約4割、女性の20代(34.1%) が3割台半ばとなっている。(図表1 - 9)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較 （単位：％）

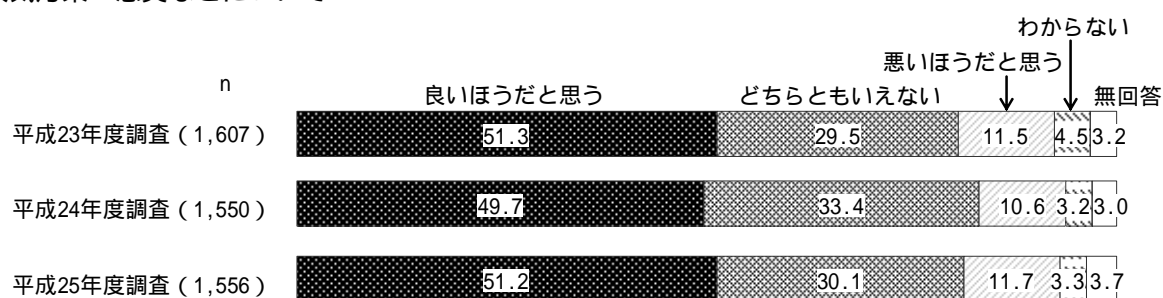
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



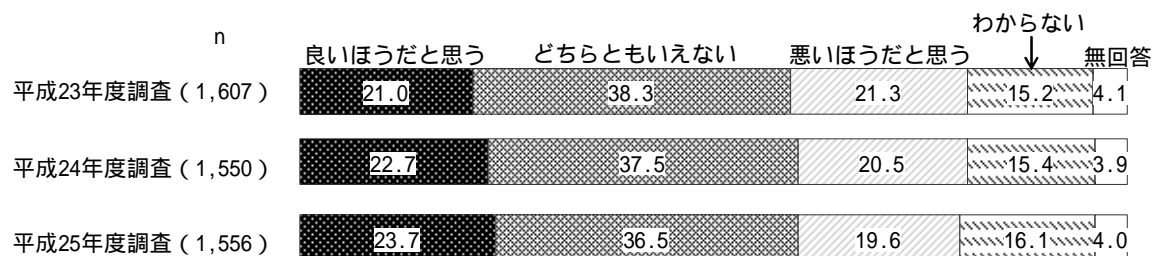
（イ）騒音・振動などについて



（ウ）大気汚染・悪臭などについて

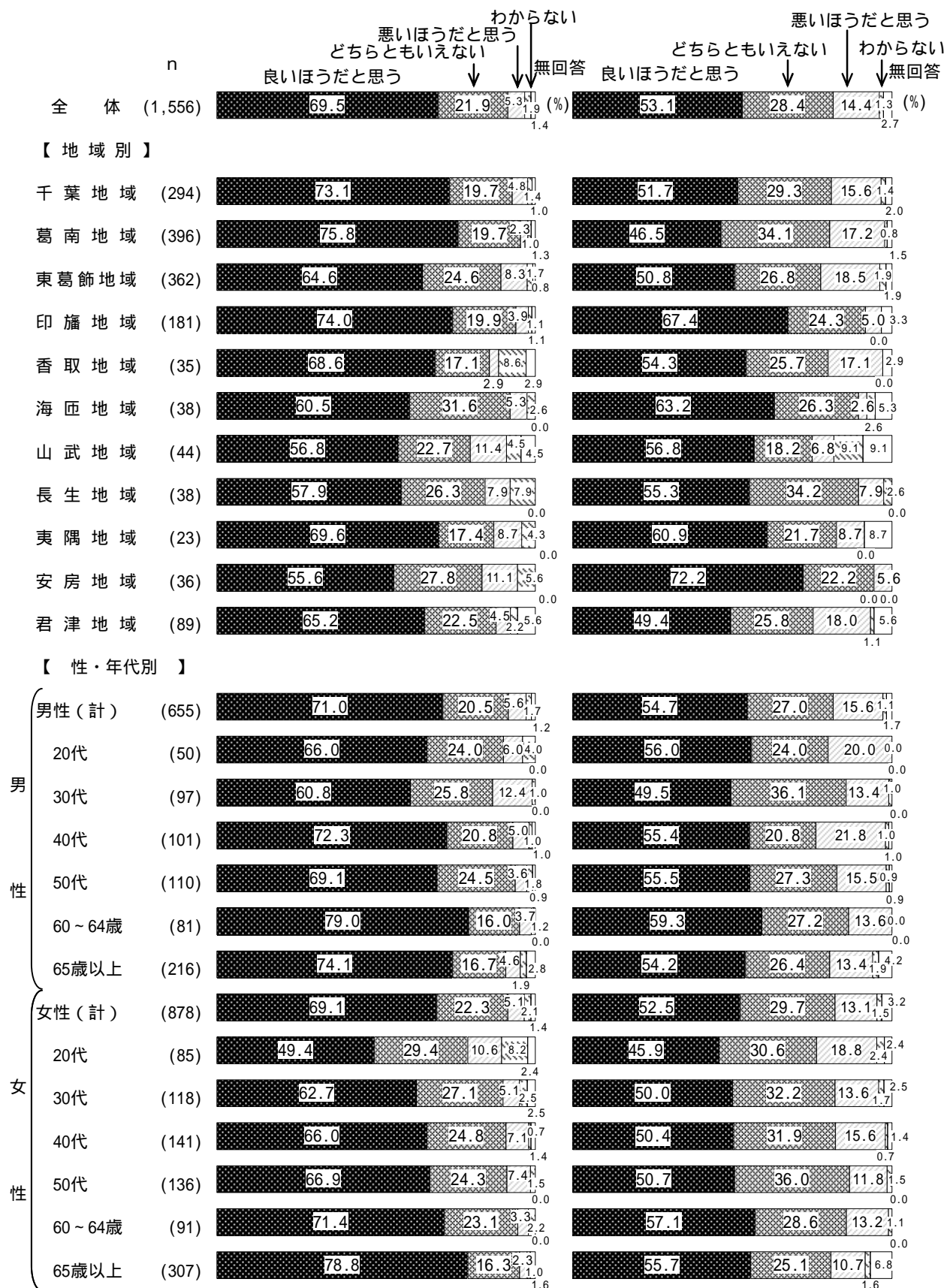


（エ）海・川などの汚れについて



<図表 1 - 9> 生活環境について / 地域別、性・年代別

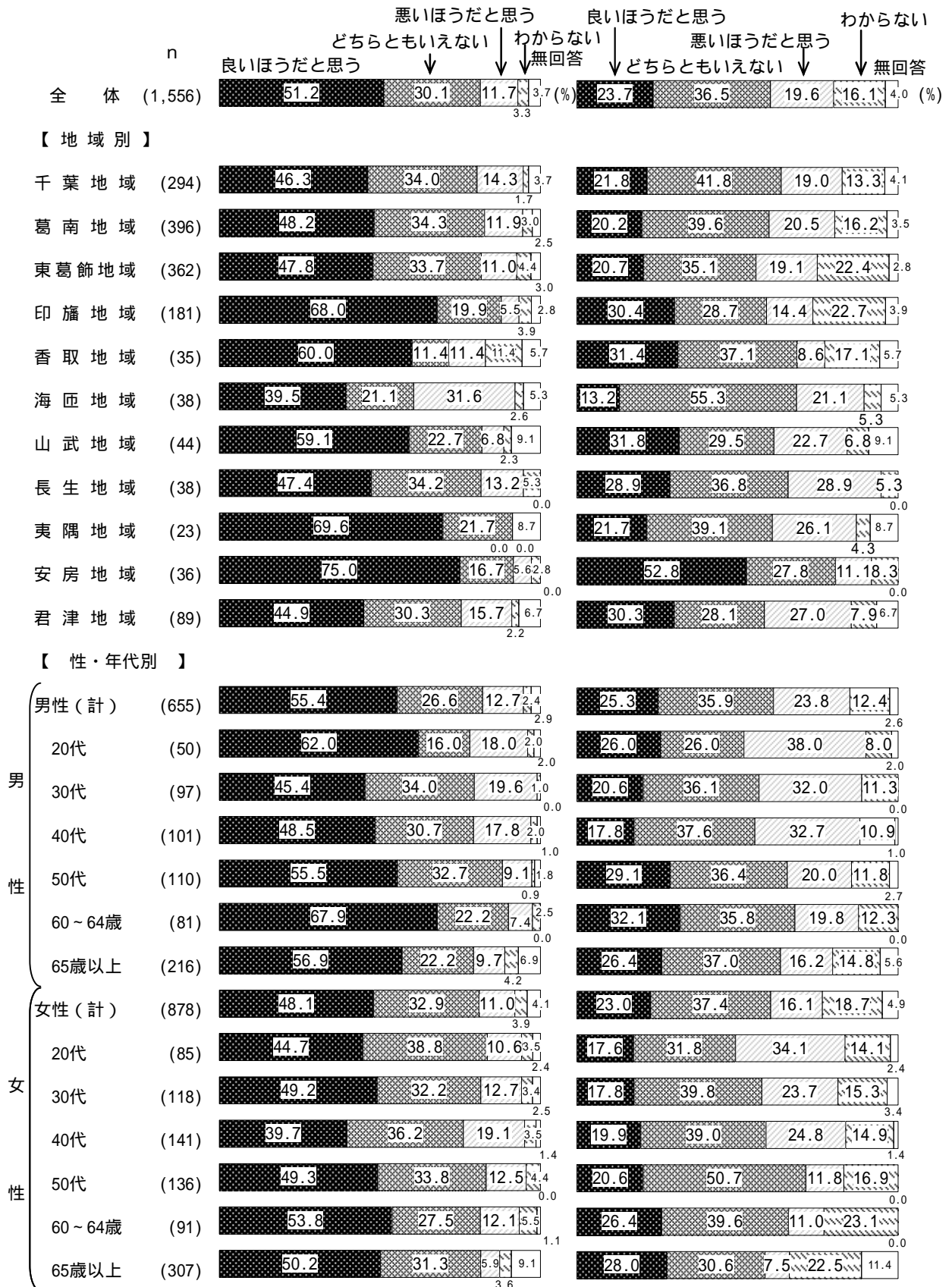
(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて





## (ウ) 大気汚染・悪臭などについて

## (エ) 海・川などの汚れについて

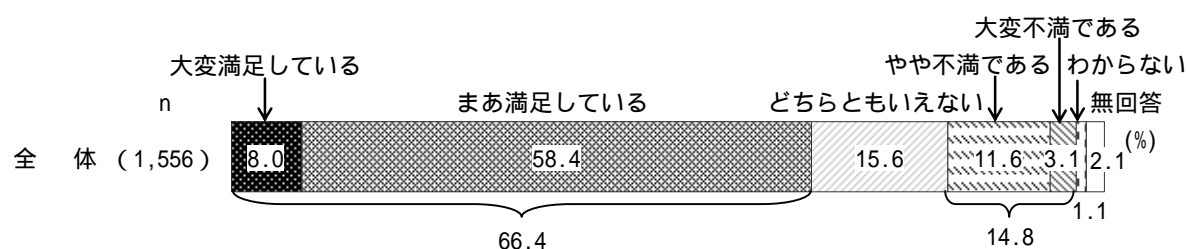


### ( 3 ) 生活環境全般の満足度

『満足している』は6割台半ば

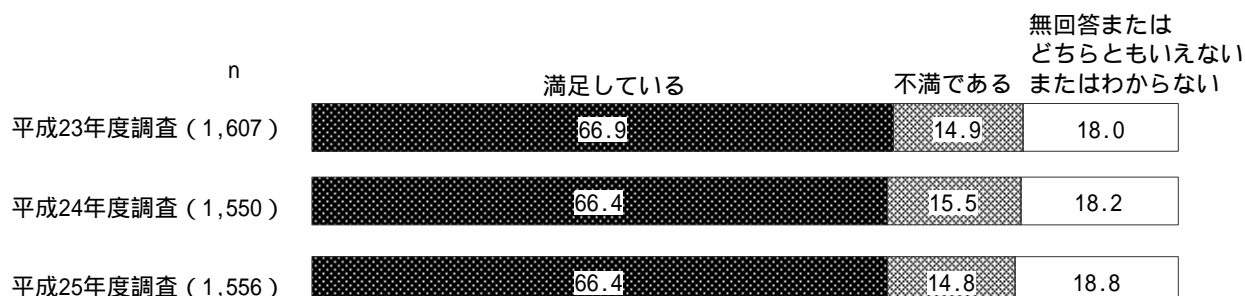
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。  
( は1つ )

<図表1 - 10> 生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(8.0%)と「まあ満足している」(58.4%)を合わせた『満足している』(66.4%)は6割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(11.6%)と「大変不満である」(3.1%)を合わせた『不満である』(14.8%)は1割台半ばとなっている。(図表1 - 10)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



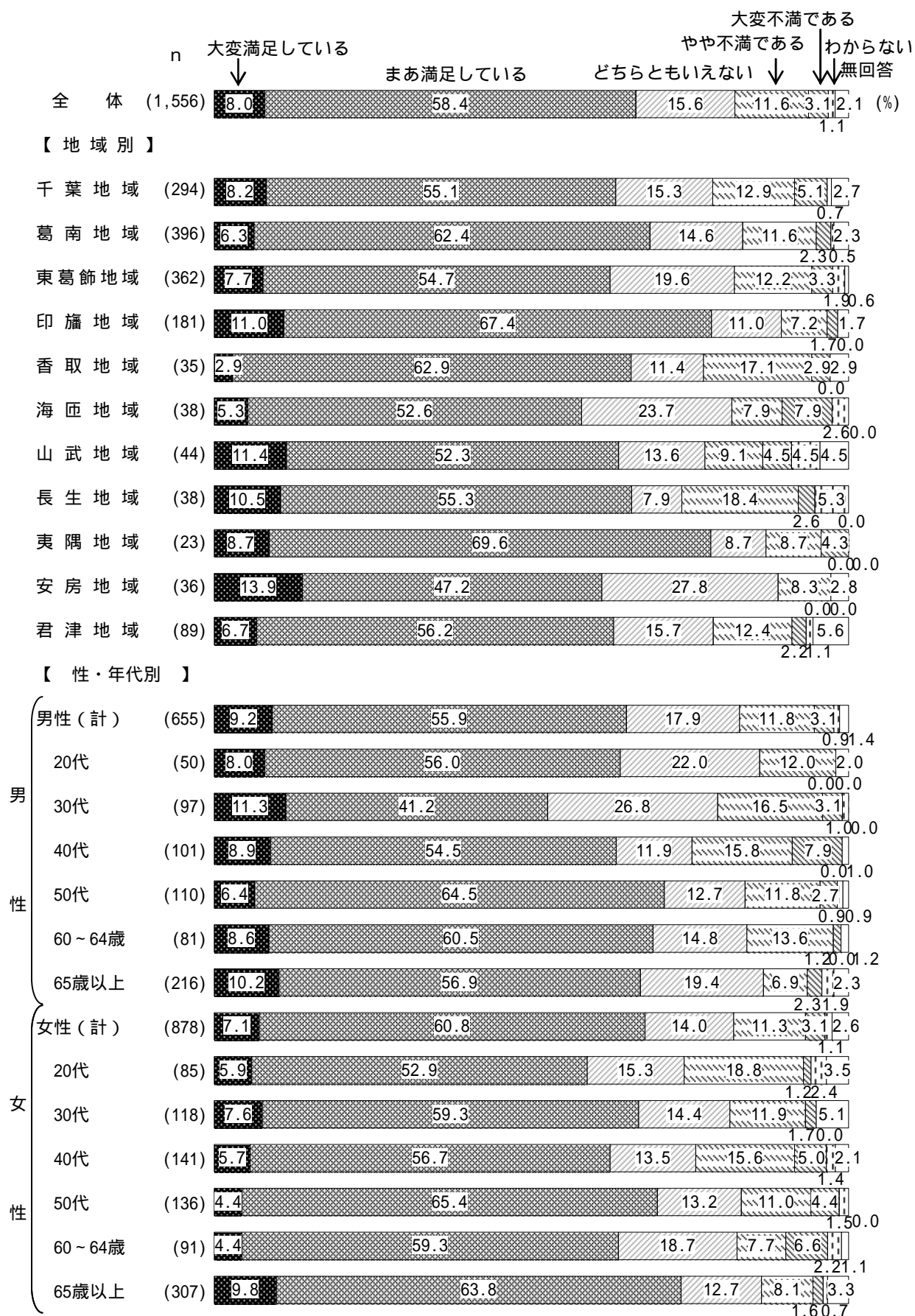
#### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“印旛地域”(78.5%)、“夷隅地域”(78.3%)が約8割と高くなっている一方、“海匝地域”(57.9%)で約6割に留まっている。(図表1 - 11)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上(73.6%)が最も高く、以下、男性の50代(70.9%)、女性の50代(69.8%)、男性の60～64歳以上(69.1%)と続いている。(図表1 - 11)

<図表 1 - 11> 生活環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



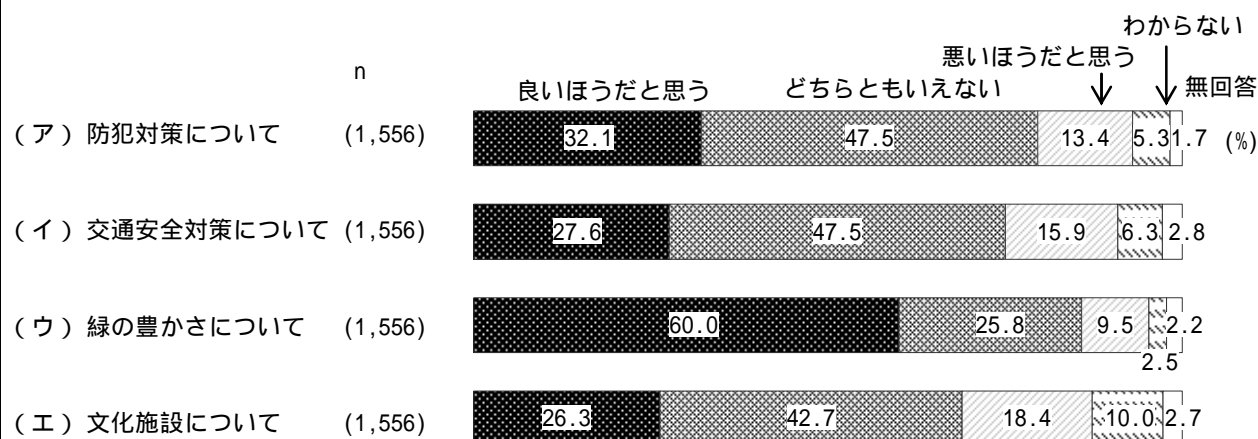
## (4) 周辺・自然環境について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて で6割

問4 あなたは、現在お住まいの地域の周辺・自然環境についてどう思いますか。

( はそれぞれ1つずつ)

<図表1-12> 周辺・自然環境について



周辺・自然環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは 緑の豊かさについて (60.0%) が6割となっており、以下、防犯対策について (32.1%)、交通安全対策について (27.6%)、文化施設について (26.3%) が続く。

(図表1-12)

### 【地域別】

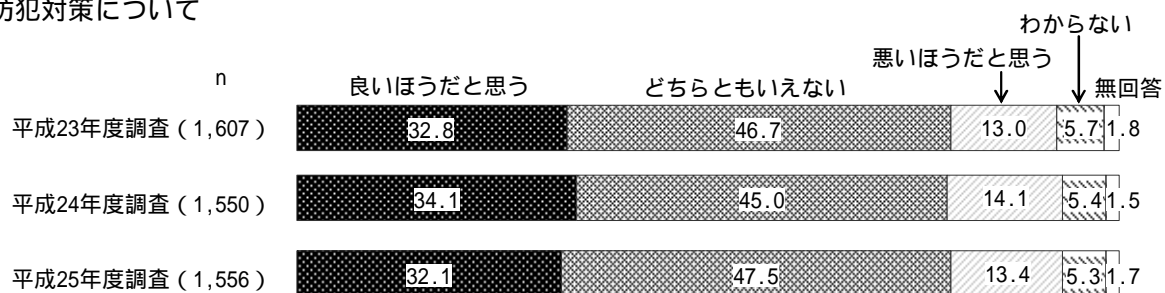
地域別にみると、防犯対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(39.2%)、“夷隅地域”(39.1%)が約4割となっている。交通安全対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は“長生地域”(31.6%)、“香取地域”(31.4%)、“千葉地域”(31.0%)が3割を超えている一方、「悪いほうだと思う」では“山武地域”(29.5%)が約3割となっている。緑の豊かさについてにおいて、「良いほうだと思う」は“夷隅地域”(95.7%)、“安房地域”(94.4%)が9割台半ばと高くなっている一方、“海匝地域”(44.7%)が4割台半ばと低くなっている。文化施設についてにおいて、「悪いほうだと思う」は“長生地域”(42.1%)が4割を超えている。(図表1-13)

### 【性・年代別】

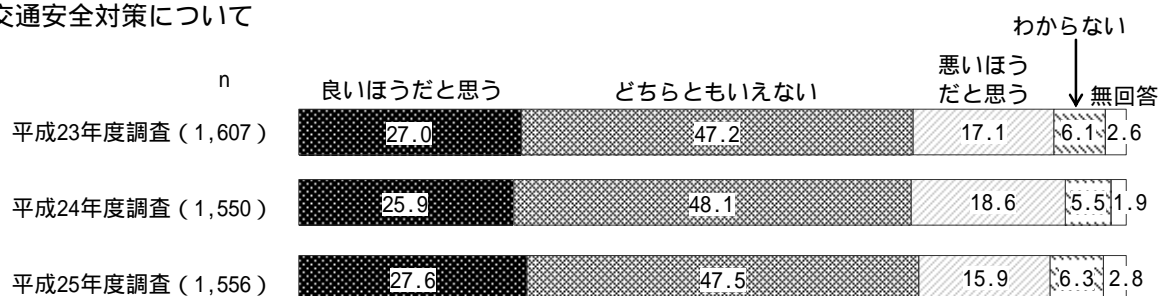
性・年代別でみると、防犯対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(43.3%)が4割台半ば、男性の65歳以上(41.2%)、男性の60～64歳(40.7%)が4割を超えている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代(30.0%)が3割、女性の20代(29.4%)と約3割と高くなっている。交通安全対策についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(38.8%)が約4割で最も高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の30代(29.9%)が約3割で最も高くなっている。緑の豊かさについてにおいて、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(65.4%)、女性の65歳以上(64.5%)が6割台半ばと高く、文化施設についてにおいて、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(31.6%)、女性の30代(31.4%)が3割を超えている。(図表1-13)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

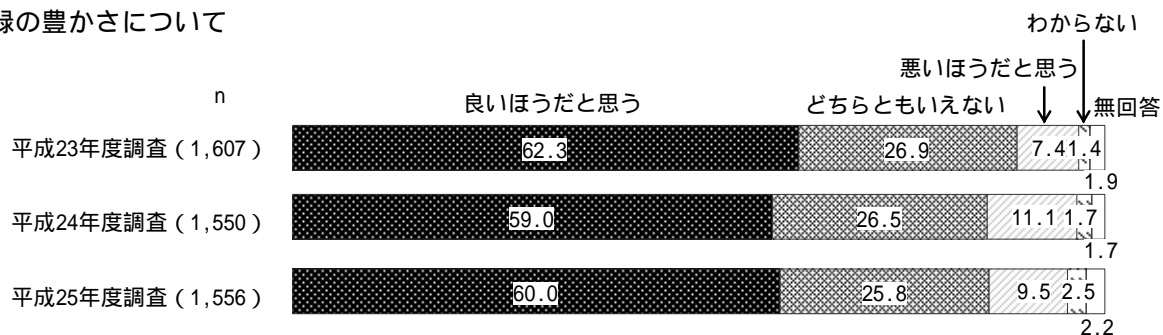
（ア）防犯対策について



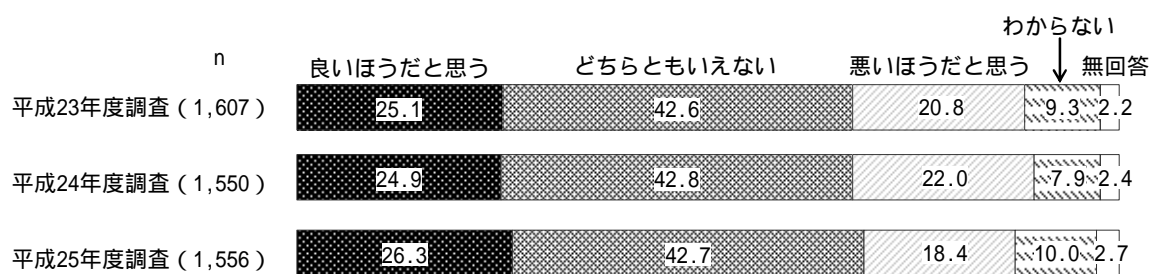
（イ）交通安全対策について



（ウ）緑の豊かさについて



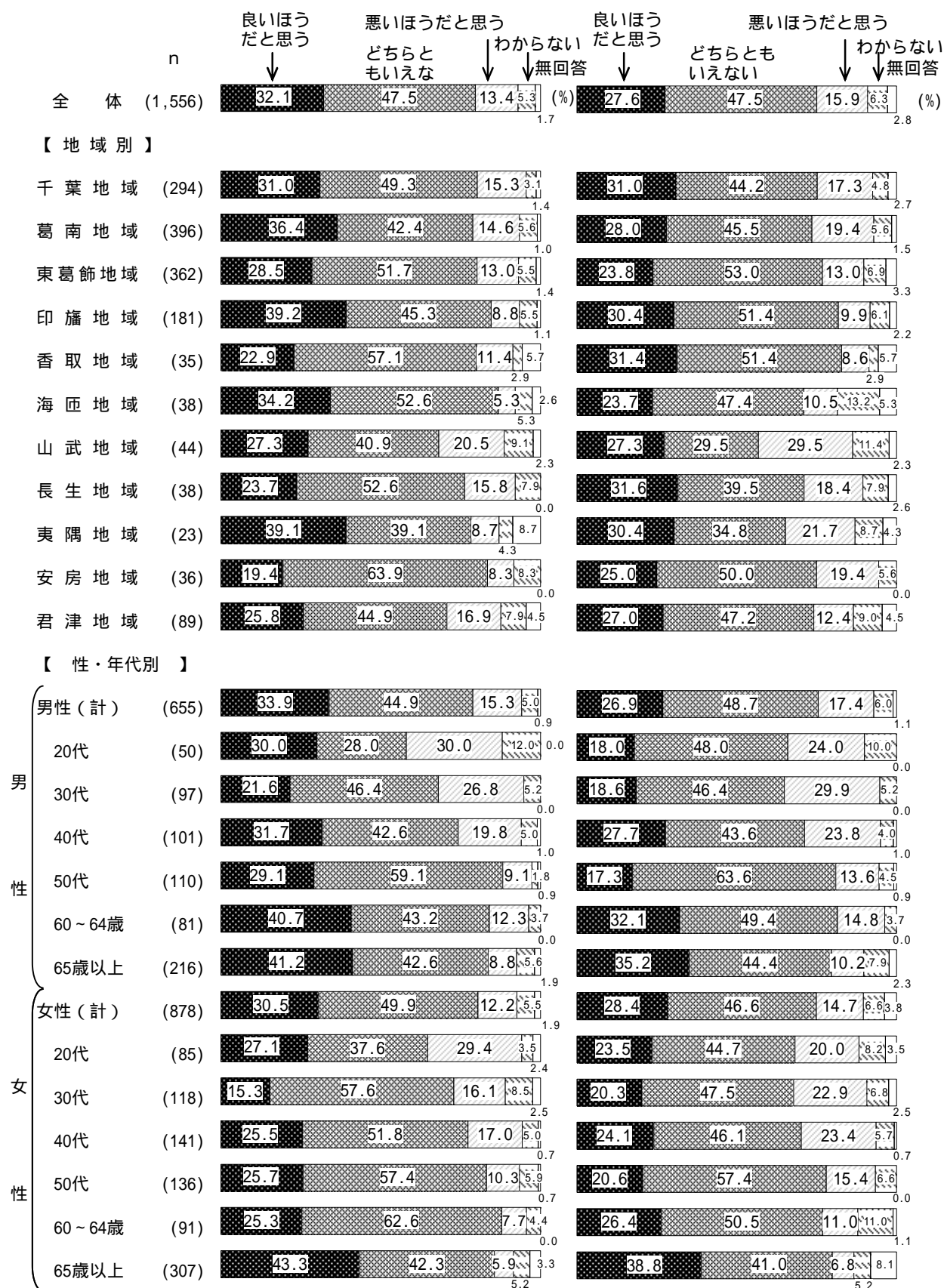
（エ）文化施設について



<図表 1 - 13> 周辺・自然環境について / 地域別、性・年代別

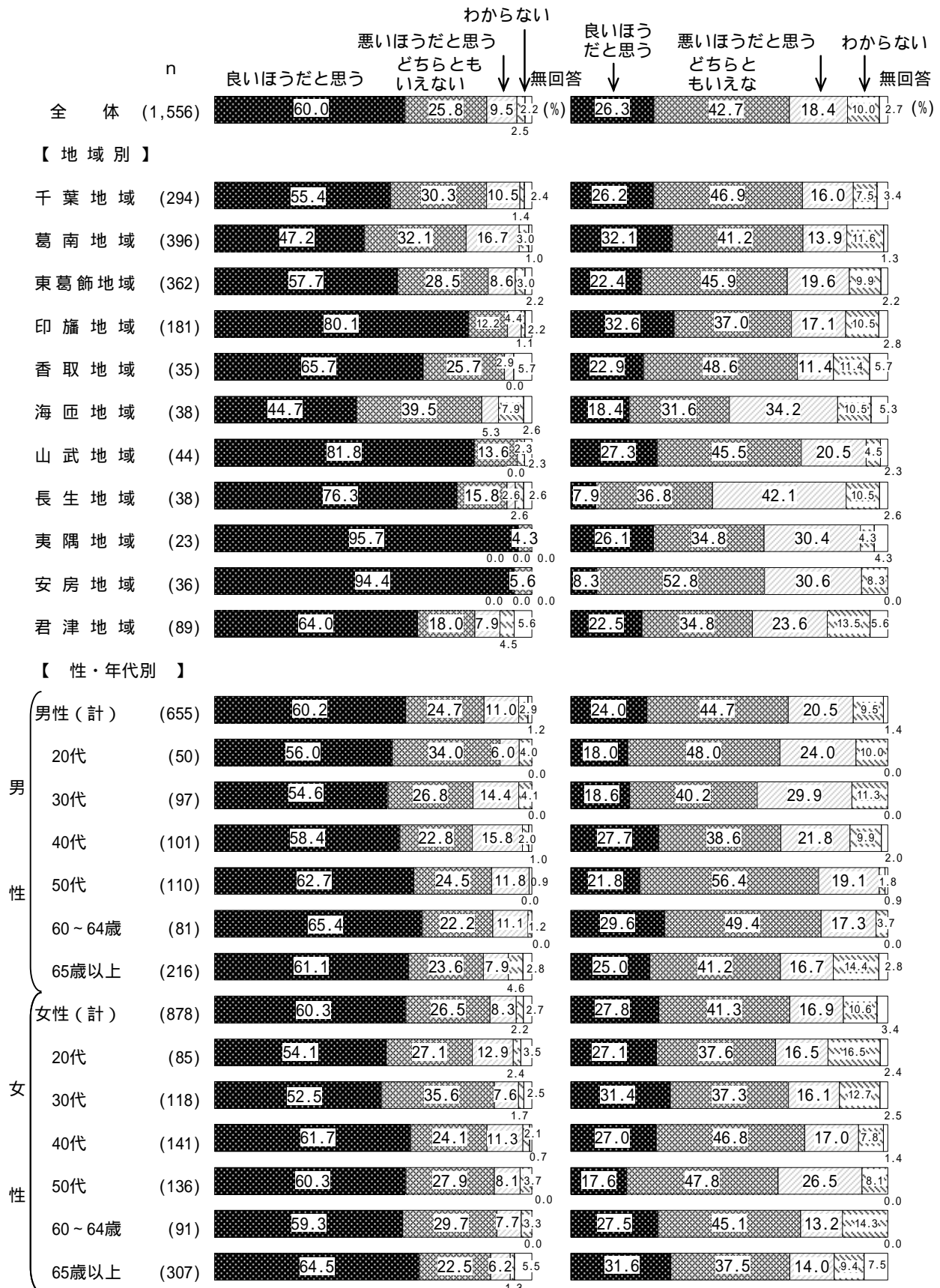
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

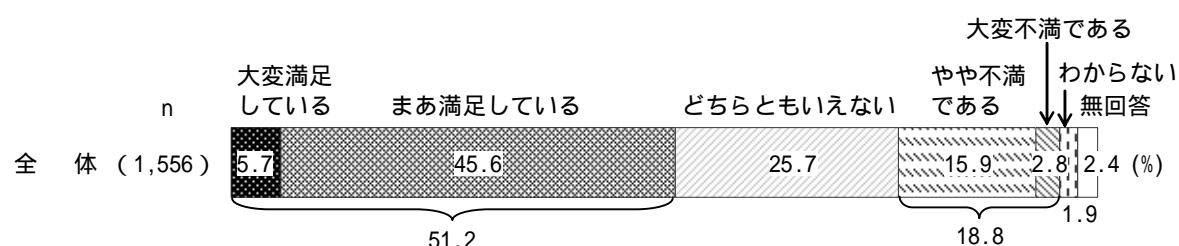


## ( 5 ) 周辺・自然環境全般の満足度

『満足している』は5割を超えている

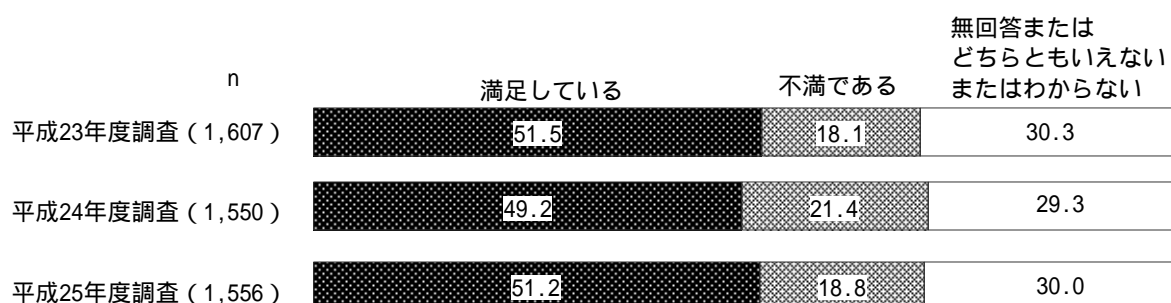
問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般について満足していますか。( 1 は1つ)

<図表1 - 14> 周辺・自然環境全般の満足度



周辺・自然環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.7%)と「まあ満足している」(45.6%)を合わせた『満足している』(51.2%)は5割を超えている。一方、「やや不満である」(15.9%)と「大変不満である」(2.8%)を合わせた『不満である』(18.8%)は約2割となっている。(図表1 - 14)

〔参考〕平成23年度・平成24年度調査の同様の項目による調査結果との比較



### 【地域別】

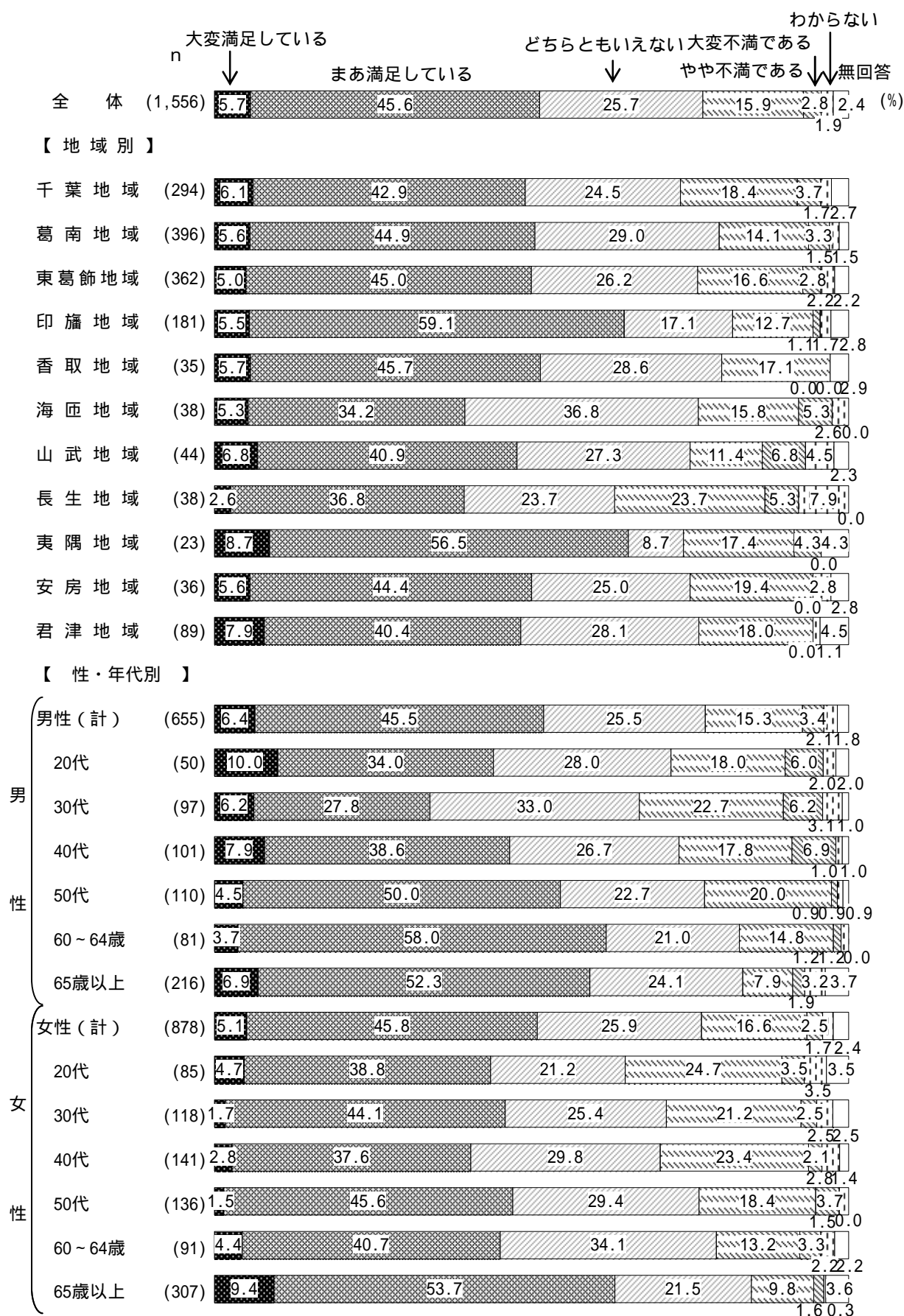
地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(65.2%)と“印旛地域”(64.6%)が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 15)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上(63.2%)と男性の60～64歳(61.7%)が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1 - 15)



<図表 1 - 15> 周辺・自然環境全般の満足度 / 地域別、性・年代別



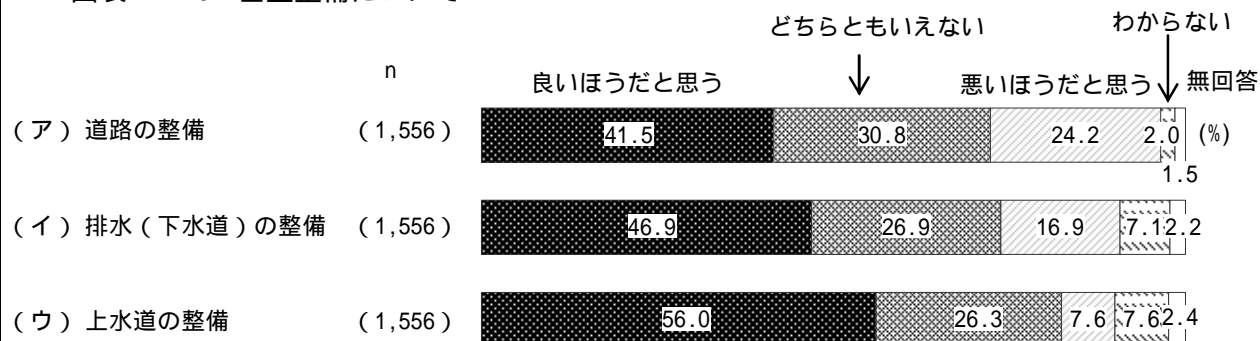
## ( 6 ) 基盤整備について

「良いほうだと思う」が最も高いのは 上水道の整備 で5割台半ば

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

( はそれぞれ1つずつ )

<図表1 - 16> 基盤整備について



基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、上水道の整備 (56.0%) で5割台半ばとなっている。次いで、排水(下水道)の整備 (46.9%) が4割台半ば、道路の整備 (41.5%) が4割を超えている。(図表1 - 16)

### 【地域別】

地域別にみると、道路の整備において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(49.2%)、“千葉地域”(48.6%)が約5割、「悪いほうだと思う」は“長生地域”(42.1%)が4割を超え、“安房地域”(38.9%)、“香取地域”(37.1%)が約4割となっている。排水(下水道)の整備において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”(55.8%)、“印旛地域”(54.7%)が5割台半ばである一方、「悪いほうだと思う」は“夷隅地域”(43.5%)、“山武地域”(43.2%)、“長生地域”(42.1%)が4割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。上水道の整備において、「良いほうだと思う」は葛南地域”(61.6%)、“千葉地域”(61.2%)が6割台半ばとなっている。(図表1 - 17)

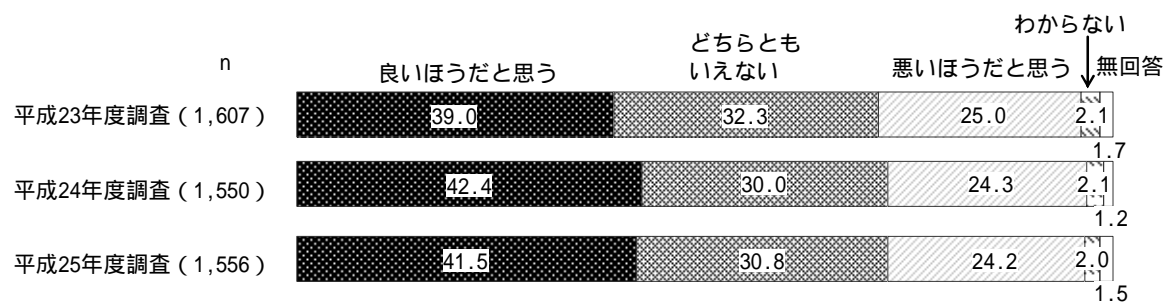
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、道路の整備において、「良いほうだと思う」は女性の65歳以上(47.9%)が約5割、女性の60~64歳(45.1%)、男性の60~64歳(43.2%)、男性の65歳以上(43.1%)が4割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の20代(42.0%)が4割を超えている。排水(下水道)の整備において、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳以上(61.7%)が6割を超え、女性30代(53.4%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。

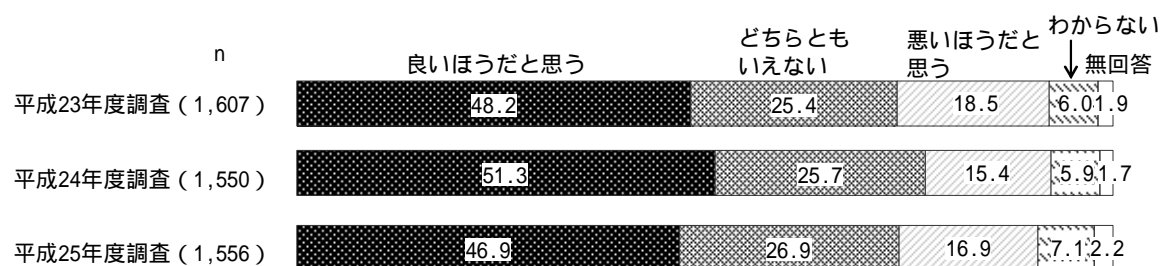
上水道の整備において、「良いほうだと思う」は男性の60~64歳(72.8%)が7割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1 - 17)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

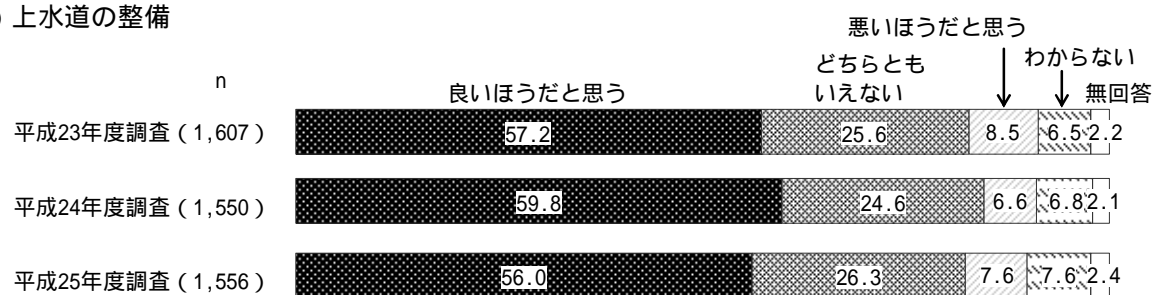
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



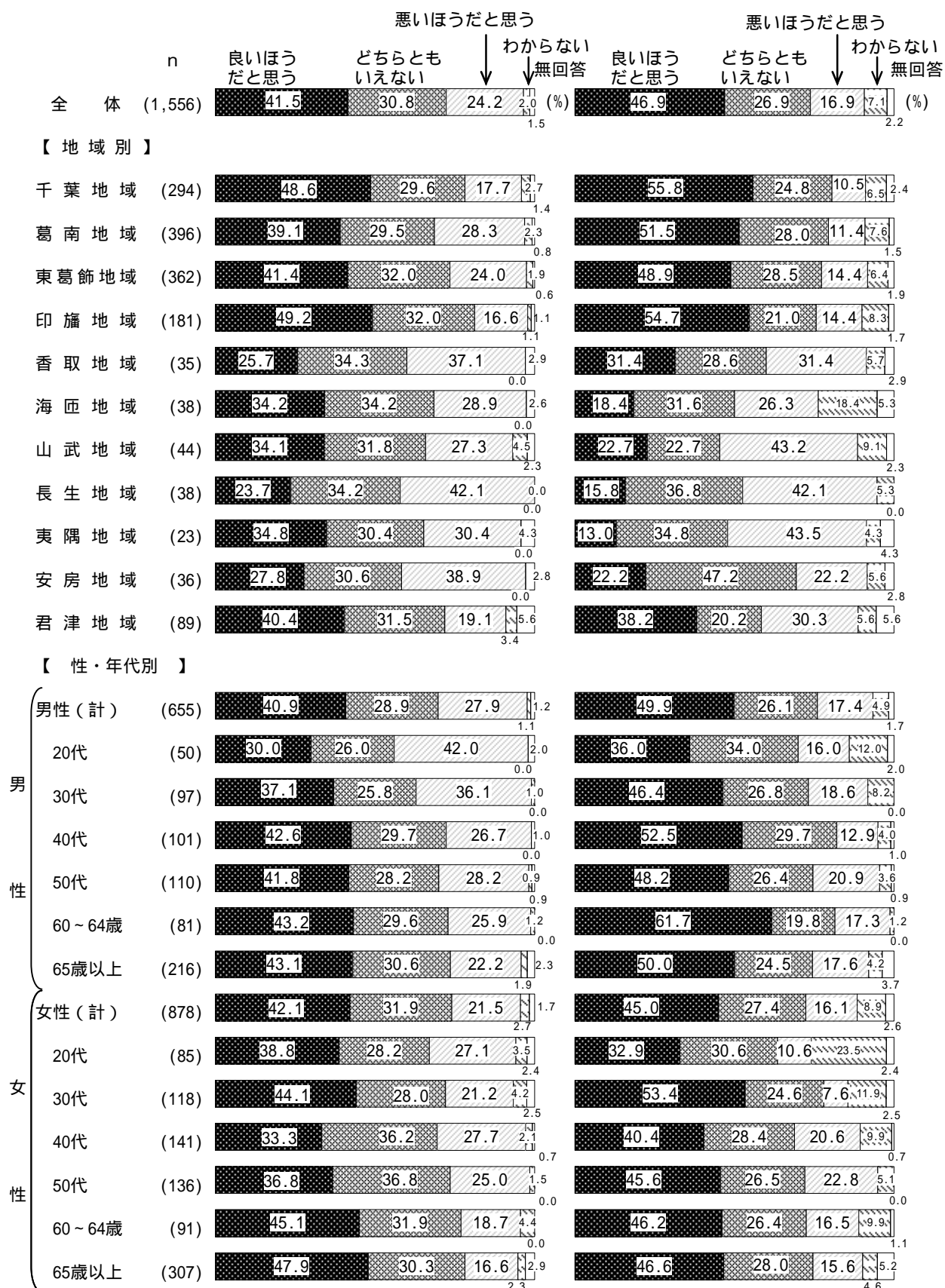
（ウ）上水道の整備



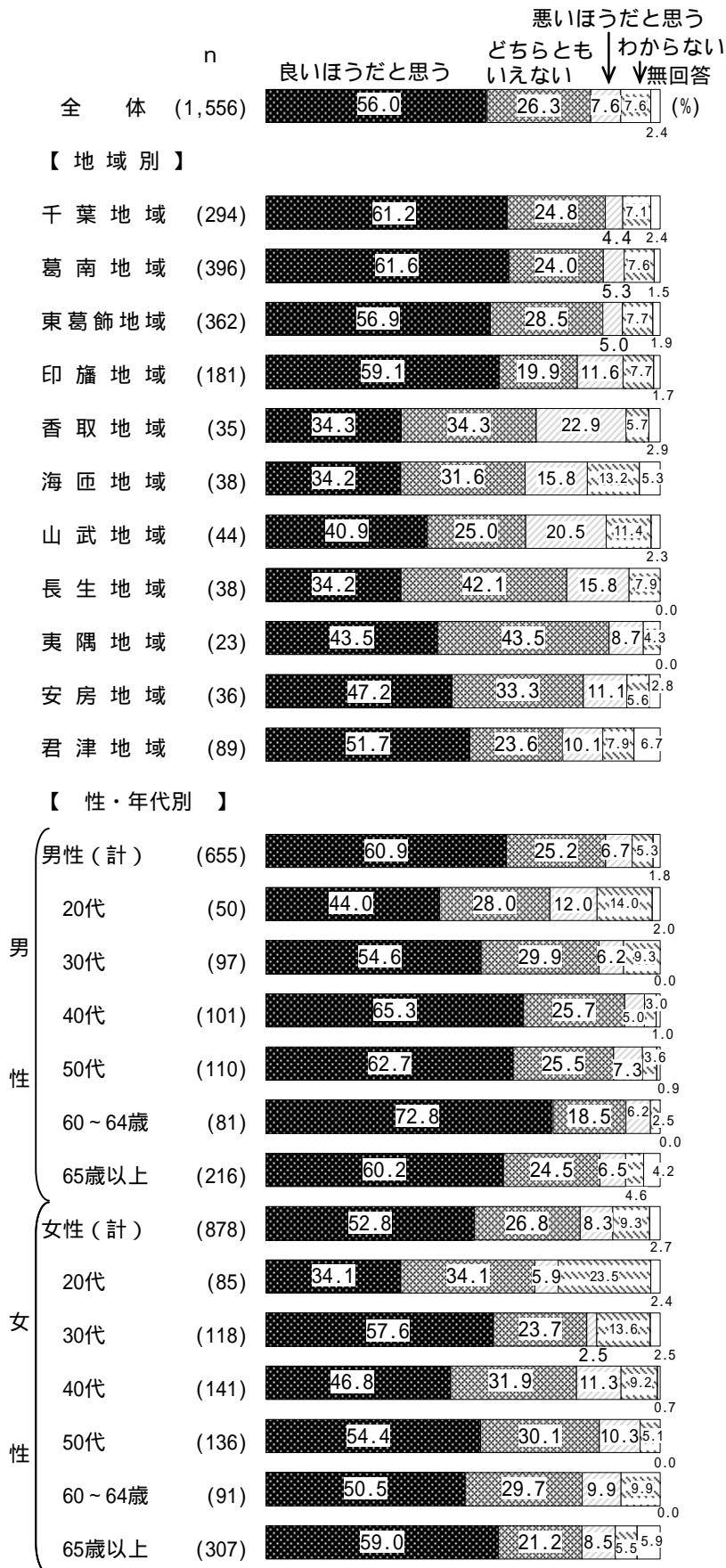
<図表 1 - 17> 基盤整備について / 地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ)排水(下水道)の整備



(ウ) 上水道の整備

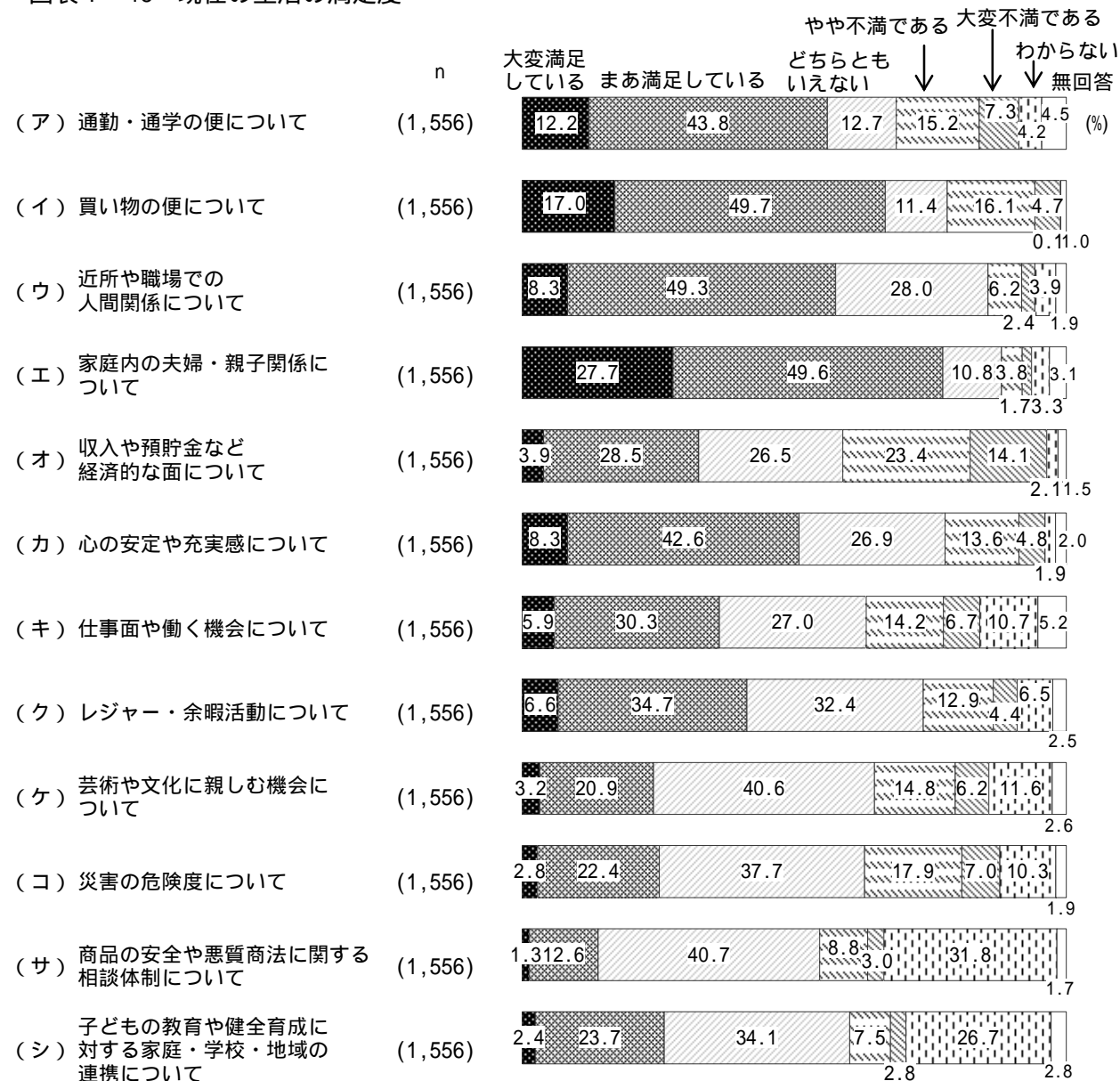


## ( 7 ) 現在の生活の満足度

『満足している』が最も高いのは 家庭内の夫婦・親子関係について で約 8 割

問 7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。( はそれぞれ 1 つずつ )

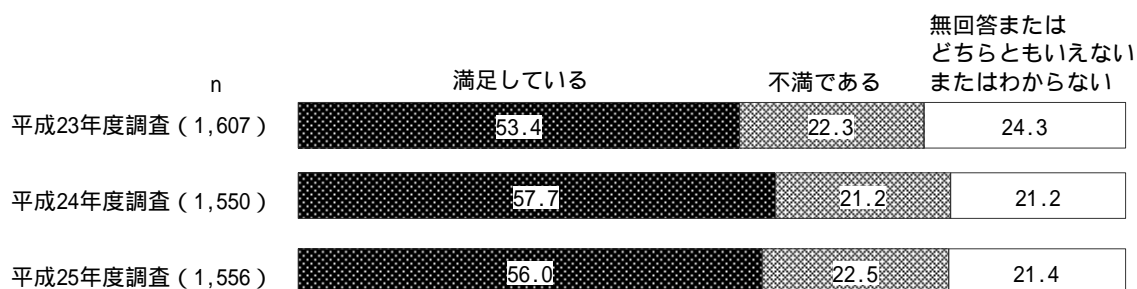
<図表 1 - 18> 現在の生活の満足度



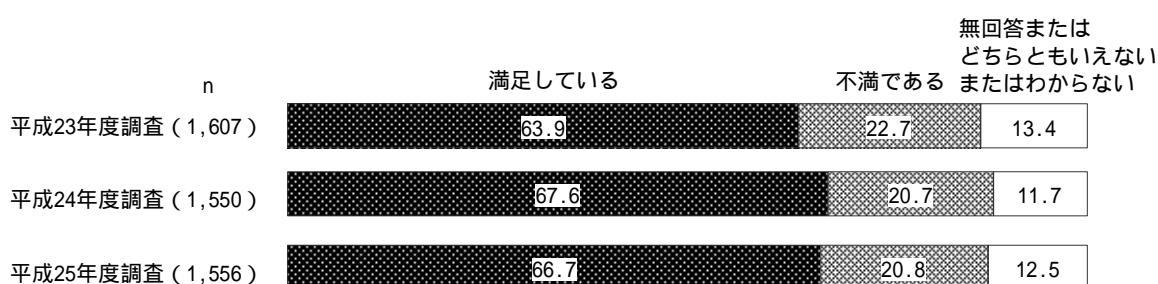
現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、家庭内の夫婦・親子関係について（77.2%）で約 8 割となっている。以下、買い物の便について（66.7%）、近所や職場での人間関係について（57.6%）、通勤・通学の便について（56.0%）と続く。一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて『不満である』の割合は、収入や預貯金など経済的な面について（37.5%）が約 4 割となっており、『不満である』の割合が『満足している』の割合を上回っている。（図表 1 - 18）

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

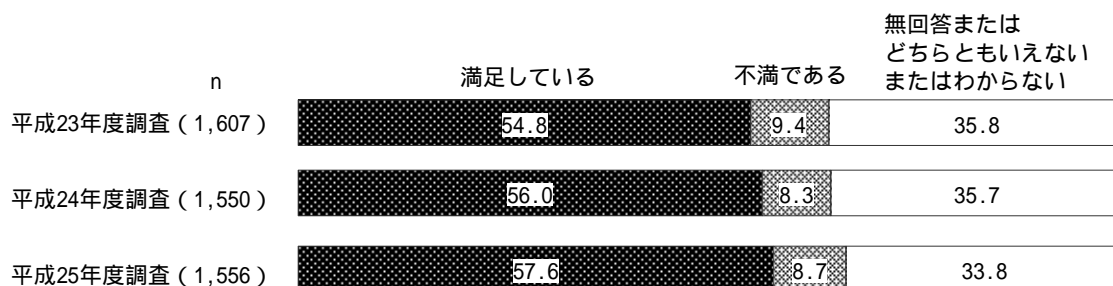
（ア）通勤・通学の便について



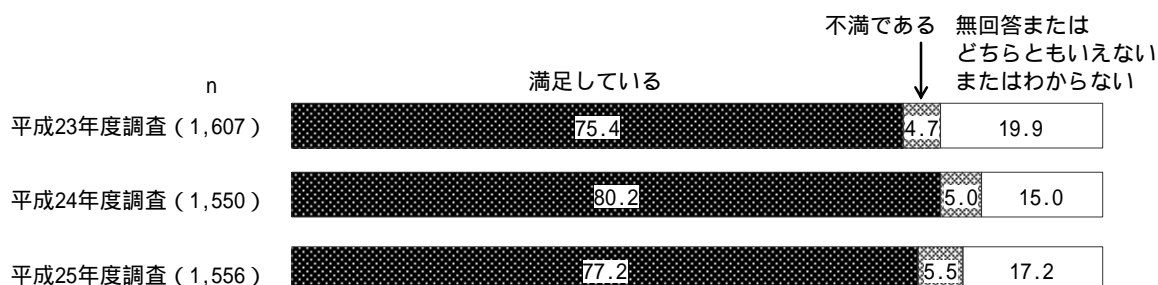
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

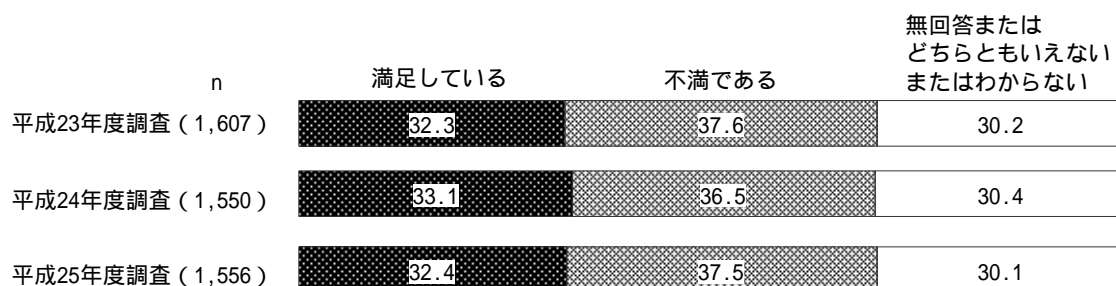


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

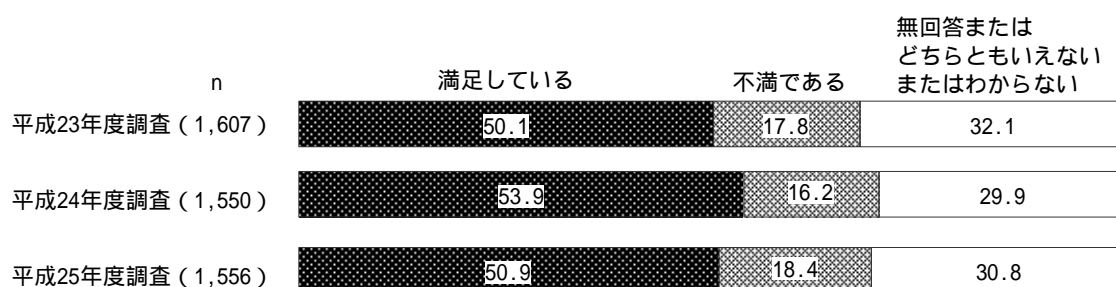


〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

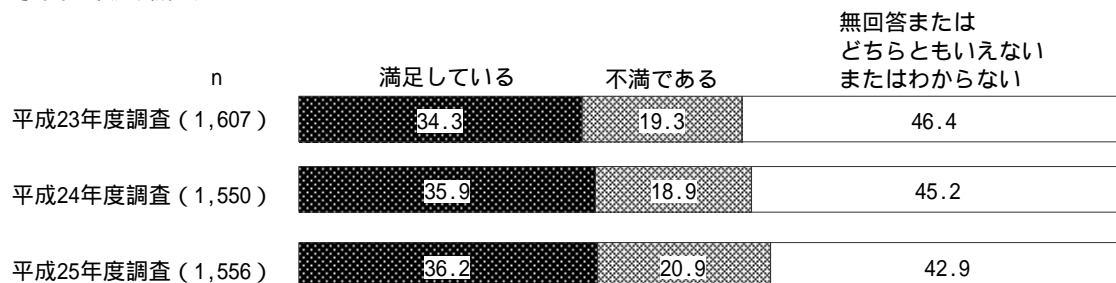
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



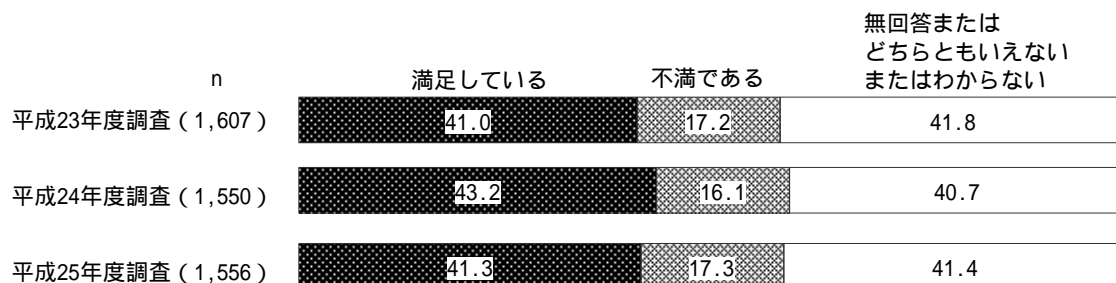
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について



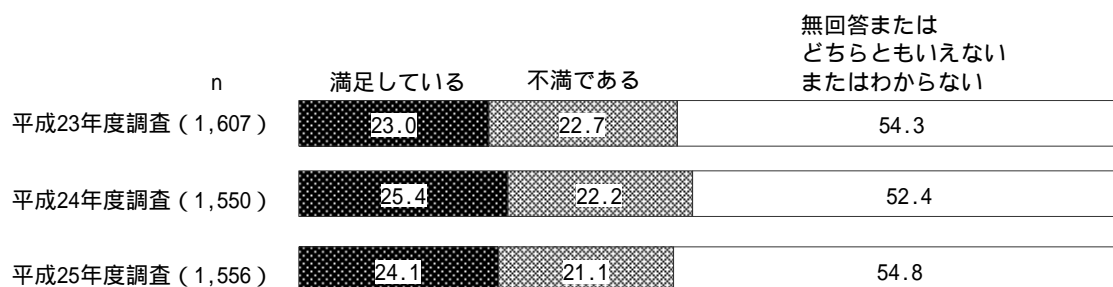
（ク）レジャー・余暇活動について



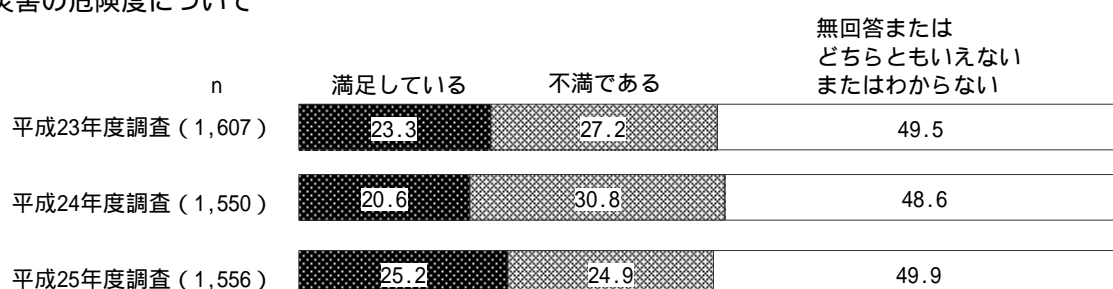


〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

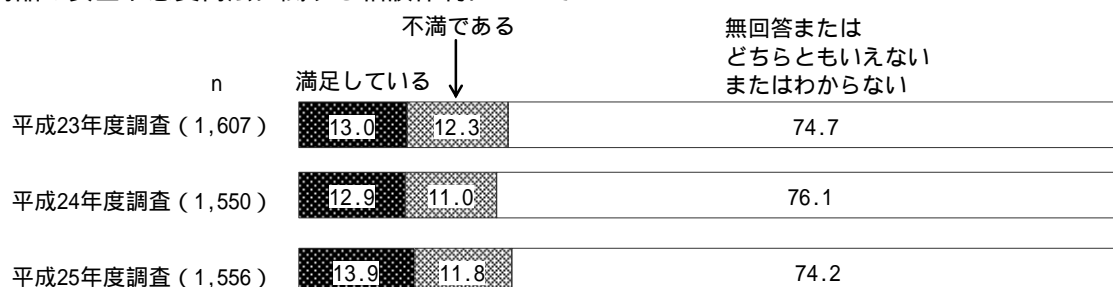
（ケ）芸術や文化に親しむ機会について



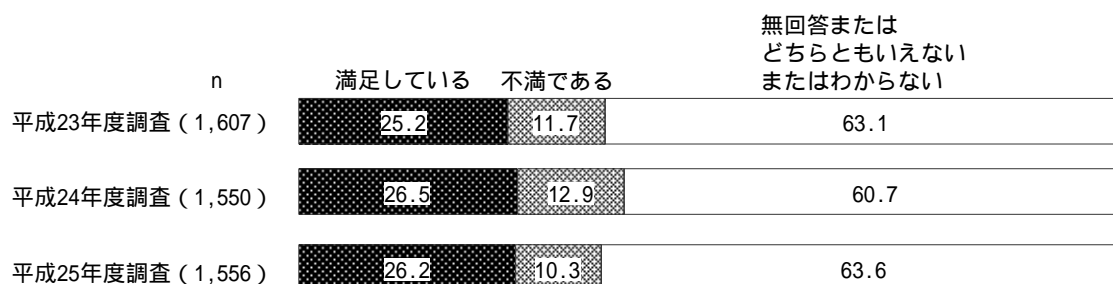
（コ）災害の危険度について



（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について



（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について



### 【地域別】

地域別にみると、通勤・通学の便について において、『満足している』は“葛南地域”(66.9%)が6割台半ばとなっている。

買い物の便について において、『満足している』は“葛南地域”(79.5%)が約8割となっている。

近所や職場での人間関係について において、『満足している』は“君津地域”(62.9%)が6割を超えている。

家庭内の夫婦・親子関係について において、『満足している』は“安房地域”(80.6%)が8割となっている。

収入や預貯金など経済的な面について において、『満足している』は“長生地域”(42.1%)が4割を超えている。一方、『不満である』は“海匝地域”(57.9%)が約6割となっている。

心の安定や充実感について において、『満足している』は“葛南地域”(54.5%)が5割台半ばとなっている。

仕事面や働く機会について において、『満足している』は“山武地域”(47.7%)が約5割となっている。一方、『不満である』は“安房地域”(36.1%)、 “香取地域”(34.3%)、 “海匝地域”(34.2%)で3割台半ばとなっている。

レジャー・余暇活動について において、『満足している』は“山武地域”(50.0%)が5割、“葛南地域”(47.5%)が約5割となっている。

芸術や文化に親しむ機会について において、『満足している』は“葛南地域”(28.3%)と約3割となっている。一方、『不満である』は“香取地域”(42.9%)と4割を超える。

災害の危険度について において、『満足している』は“印旛地域”(35.4%)、 “夷隅地域”(34.8%)、 “香取地域”(34.3%)で3割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“安房地域”(50.0%)で5割となっている。

商品の安全や悪質商法に関する相談体制について において、『不満である』は“夷隅地域”(30.4%)が3割となっている。

子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について において、『満足している』は“夷隅地域”(47.8%)が約5割となっている。(図表1 - 19)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、通勤・通学の便について において、『満足している』は男性の60～64歳(65.4%)、女性の30代(64.4%)が6割台半ばとなっている。

買い物の便について において、『満足している』は女性の30代(74.6%)が7割台半ば、男性の60～64歳(70.4%)、50代(70.0%)が7割となっている。

近所や職場での人間関係について において、『満足している』は女性の50代(64.0%)、女性の65歳以上(63.2%)が6割台半ば、男性の50代(62.7%)、男性の20代(60.0%)が6割以上となっている。

家庭内の夫婦・親子関係について において、『満足している』はすべての性・年代で7割以上となっており、特に女性の20代(83.5%)が8割台半ばとなっている。

収入や預貯金など経済的な面について において、『満足している』は男性の60～64歳(42.0%)が4割を超えている。

心の安定や充実感について において、『満足している』は男性の60～64歳(58.0%)、30代(57.7%)が約6割となっている。

仕事面や働く機会について において、『満足している』は男性の60～64歳（51.9%）が5割を超え、男性の30代（50.5%）、男性の50代（50.0%）が5割となっている。一方、『不満である』は女性の20代（30.6%）、女性の30代（30.5%）で3割となっている。

レジャー・余暇活動について において、『満足している』は男性の30代（52.6%）、男性の20代（52.0%）、女性の30代（51.7%）、女性の20代（50.6%）では5割以上となっている。

芸術や文化に親しむ機会について において、『満足している』は女性の20代（37.6%）が約4割となっている。一方、『不満である』は男性の50代（30.0%）、男性の60～64歳（29.6%）が約3割となっている。

災害の危険度について では、『満足している』は男性の50代（38.2%）が約4割となっている。一方『不満である』は、女性の20代（35.3%）、女性の30代（33.9%）が3割台半ばとなっている。

商品の安全や悪質商法に関する相談体制について において、『満足している』は女性の20代（20.0%）が2割、男性の60～64歳（18.5%）、女性の65歳以上（18.2%）で約2割と他の年代に比べて最も高くなっている。

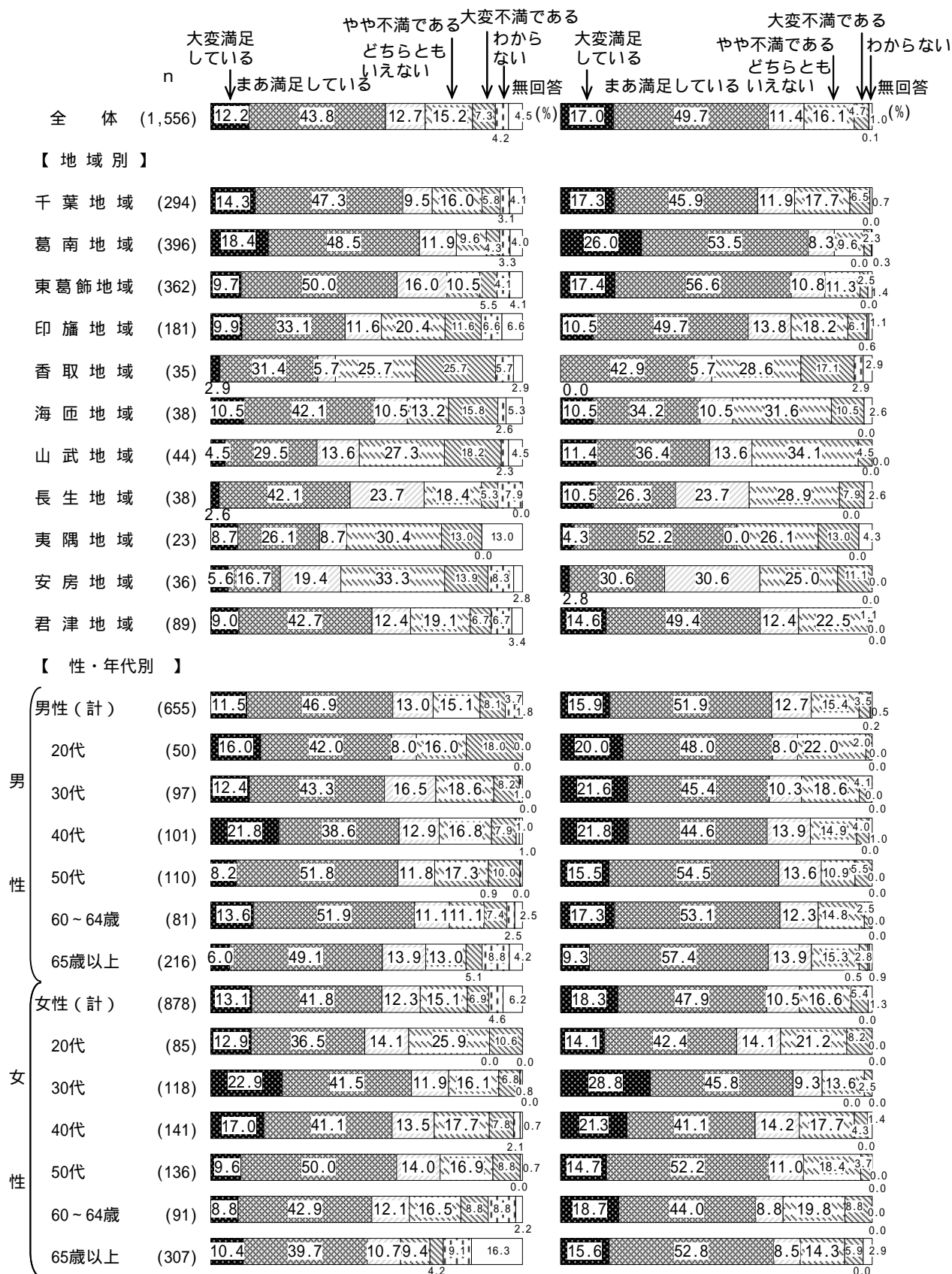
子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について において、『満足している』は男性の60～64歳（34.6%）が3割台半ばとなっている。

（図表 1 - 19）

<図表 1 - 19> 現在の生活の満足度 / 地域別、性・年代別

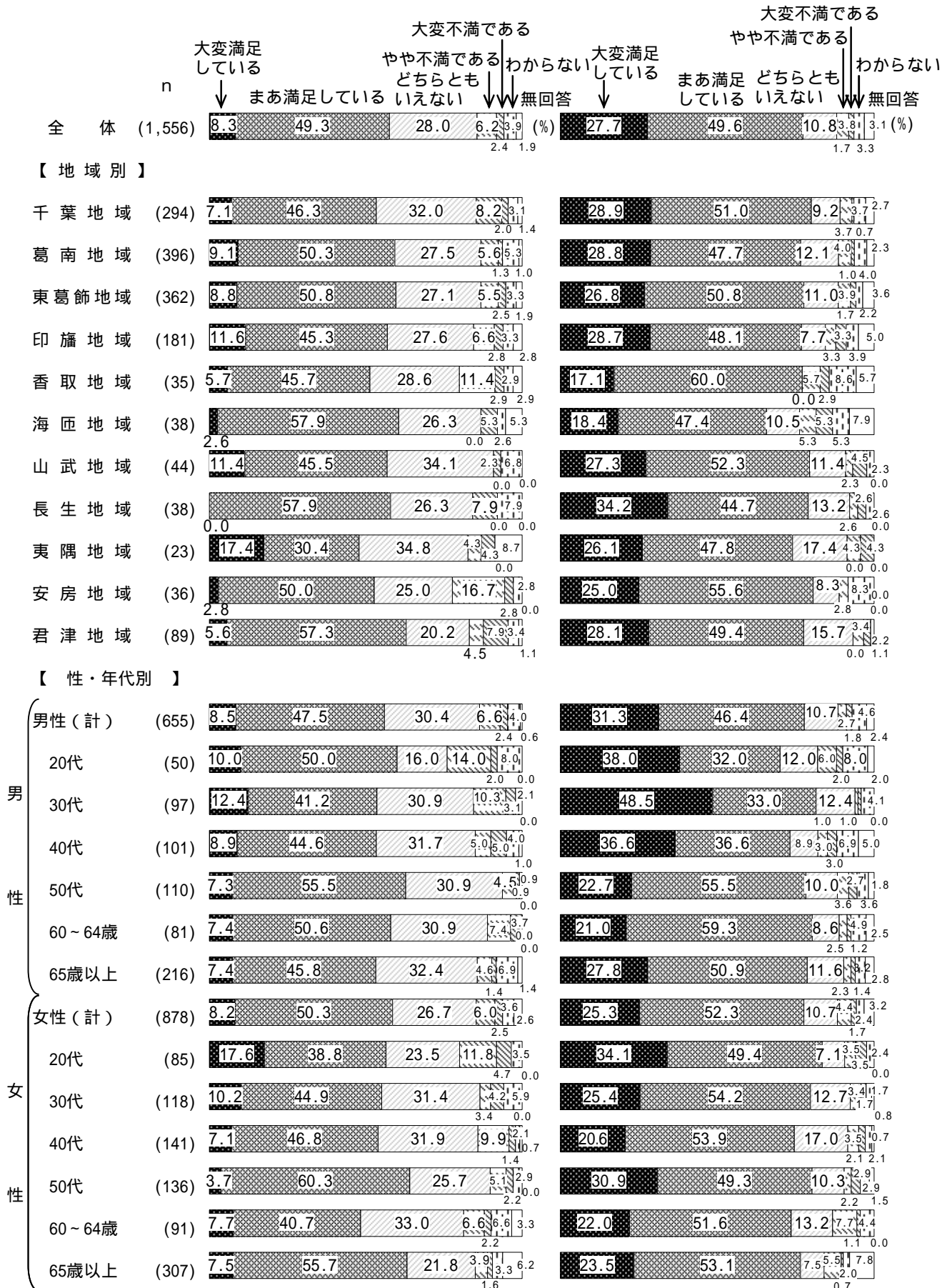
(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について



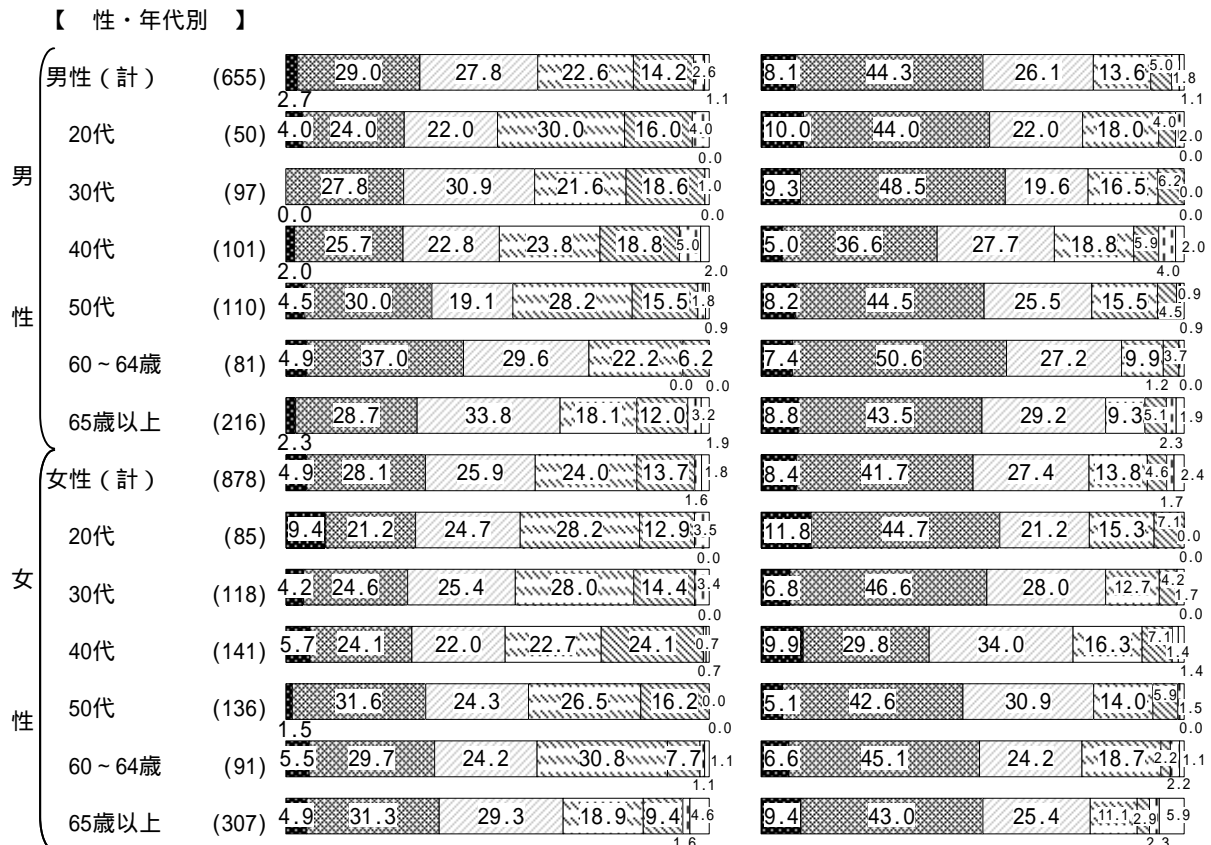
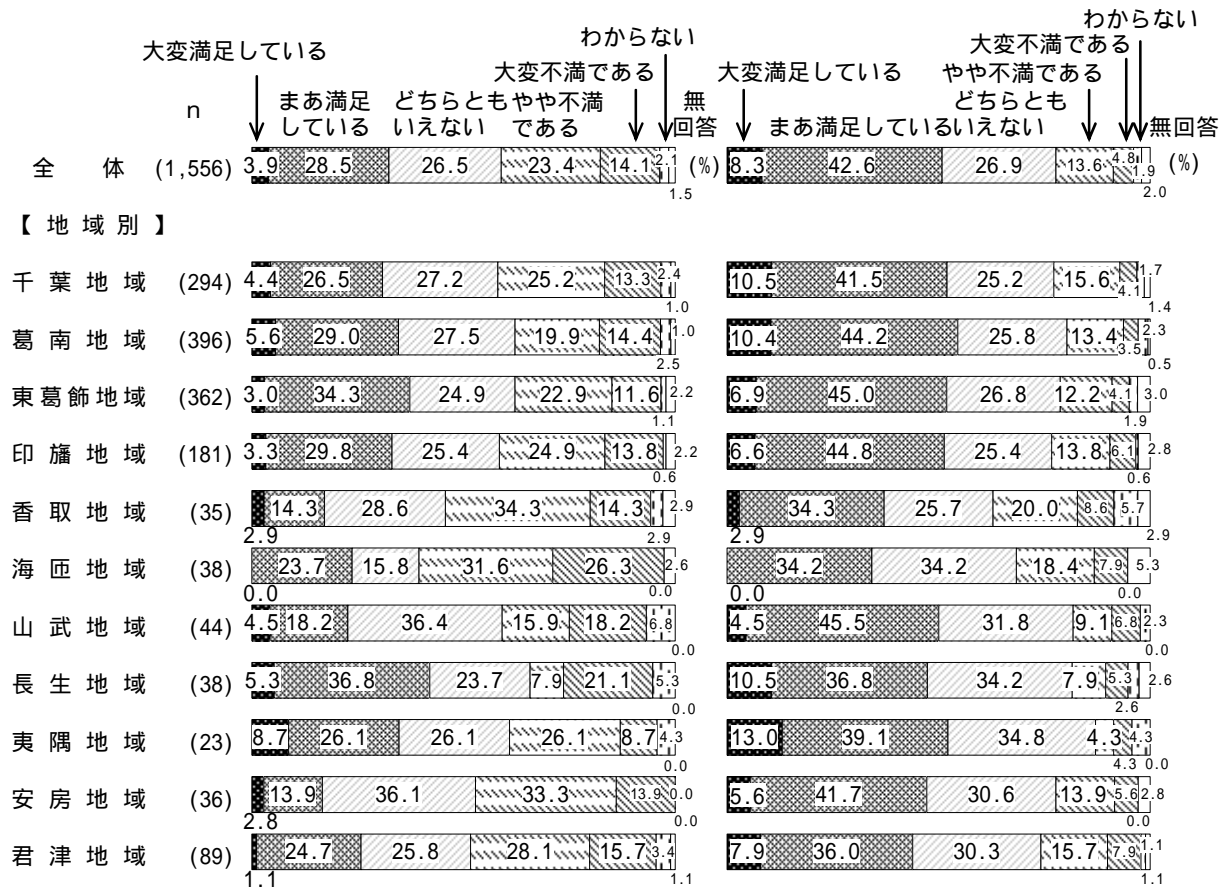
## (ウ) 近所や職場での人間関係について

## (エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



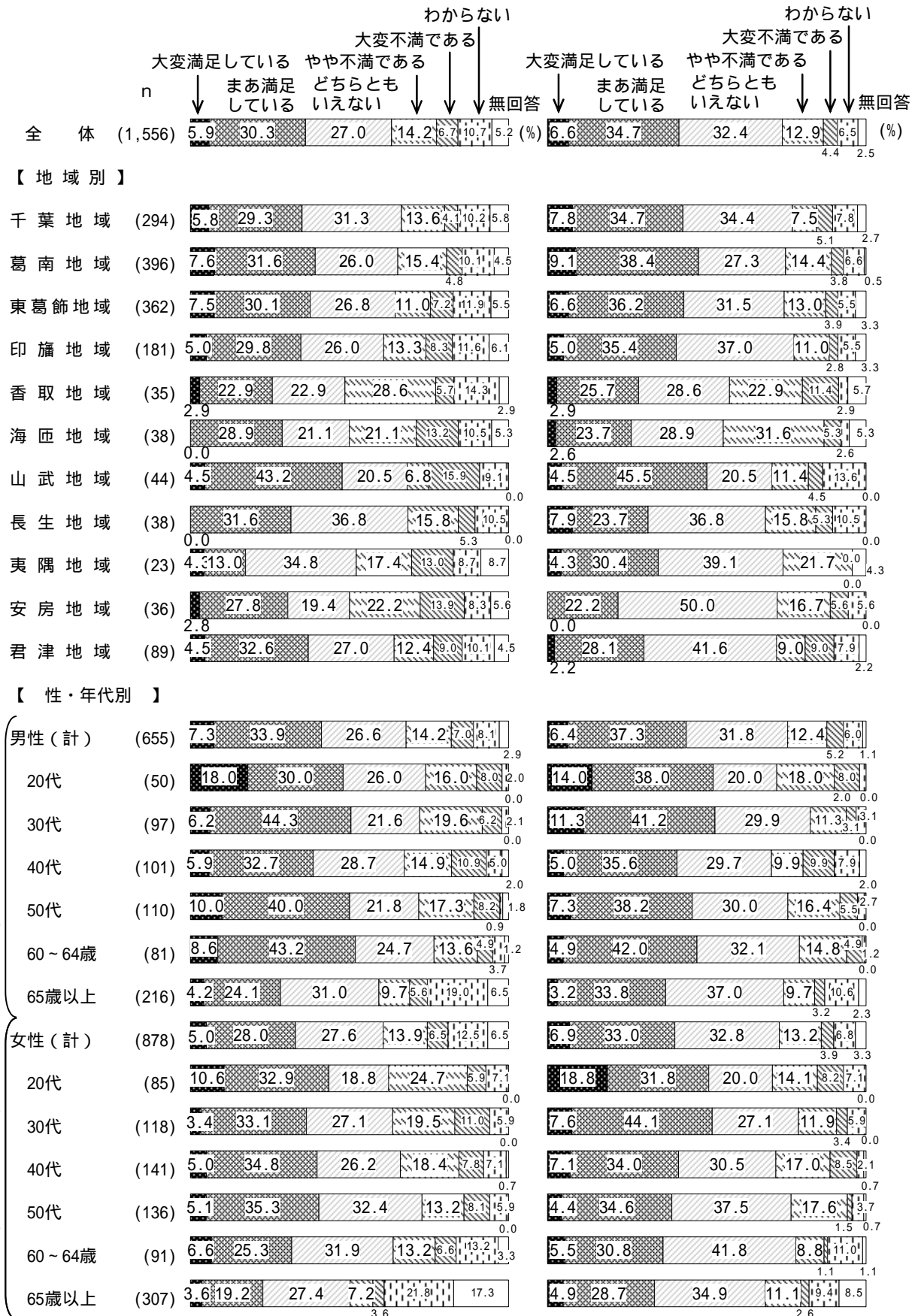
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

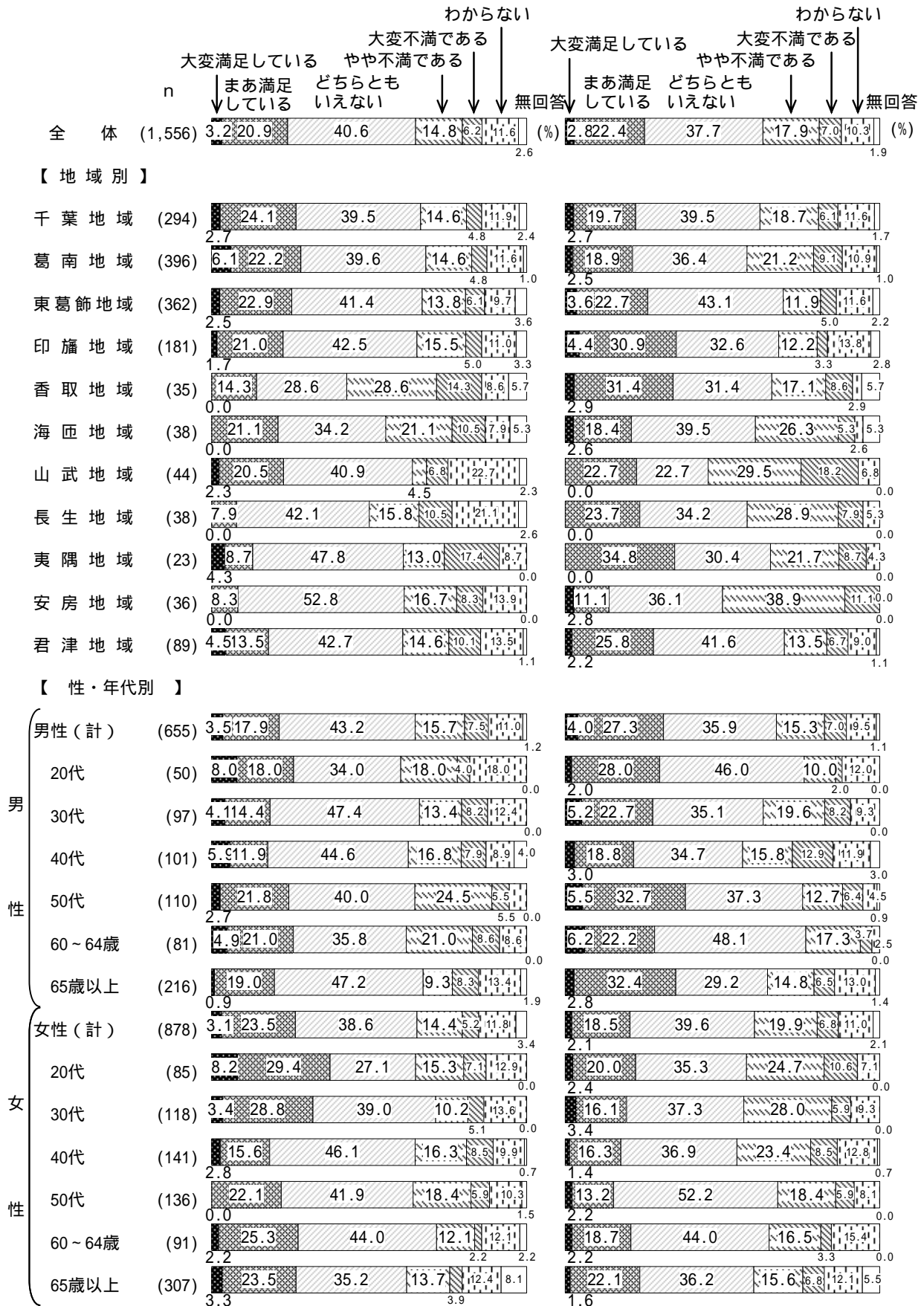


## (キ) 仕事面や働く機会について

## (ク) レジャー・余暇活動について



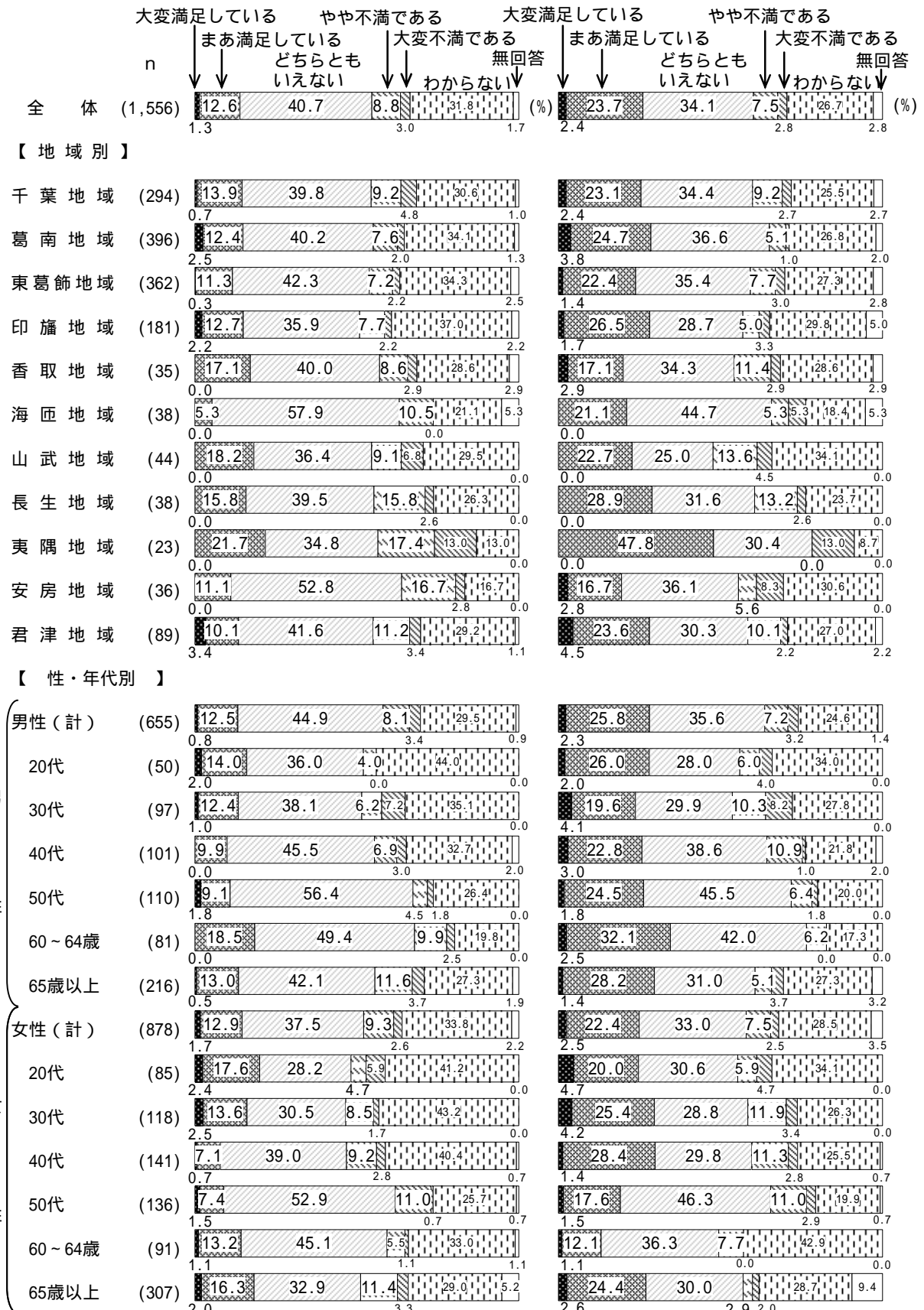
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 災害の危険度について





(サ) 商品の安全や悪質商法に関する  
相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する  
家庭・学校・地域の連携について

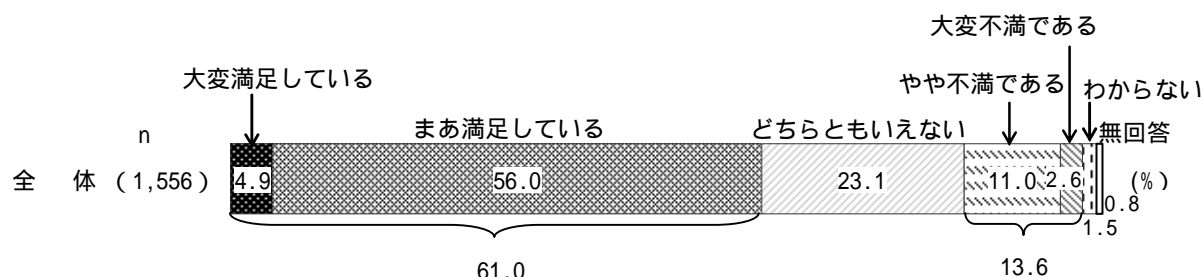


## ( 8 ) 住生活全般の満足度

『満足している』が6割を超えている

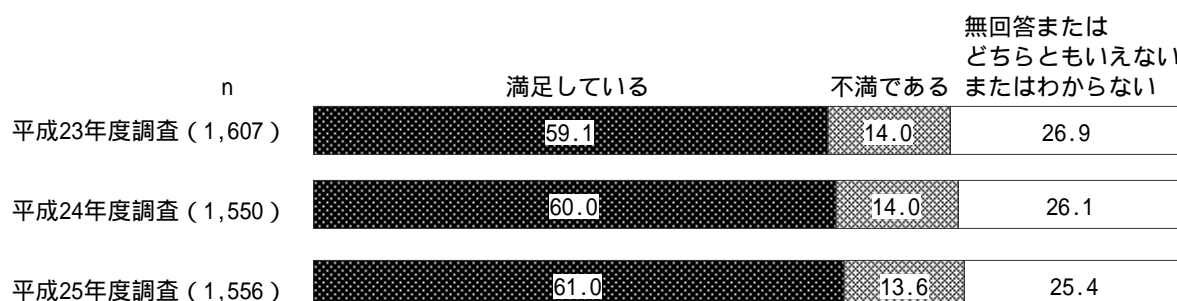
問 8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について満足していますか。  
( は1つ )

<図表 1 - 20> 住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.9%)と「まあ満足している」(56.0%)を合わせた『満足している』(61.0%)は6割を超えている。一方、「やや不満である」(11.0%)と「大変不満である」(2.6%)を合わせた『不満である』(13.6%)は1割台半ばとなっている。(図表 1 - 20)

〔参考〕平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果（単位：%）



### 【地域別】

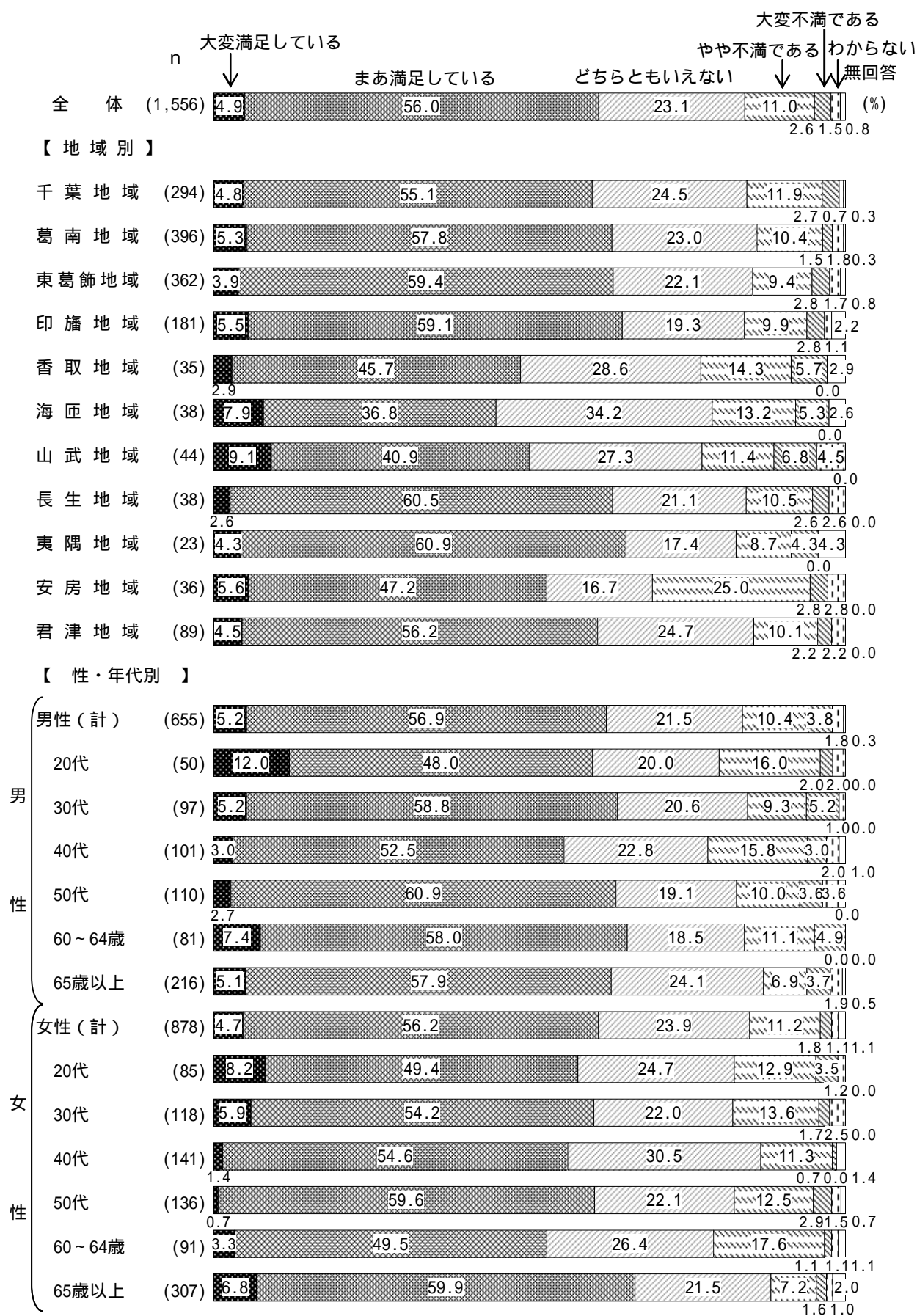
地域別にみると、『満足している』は“海匠地域”(44.7%)が4割台半ばで他の地域に比べて低くなっている。(図表 1 - 21)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性の65歳以上(66.8%)、男性の60～64歳(65.4%)、男性の30代(63.9%)、男性の50代(63.6%)、男性の65歳以上(63.0%)が6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の40代(18.8%)、女性の60～64歳(18.7%)、男性の20代(18.0%)が約2割となっている。

(図表 1 - 21)

<図表 1 - 21> 住生活全般の満足度 / 地域別、性・年代別

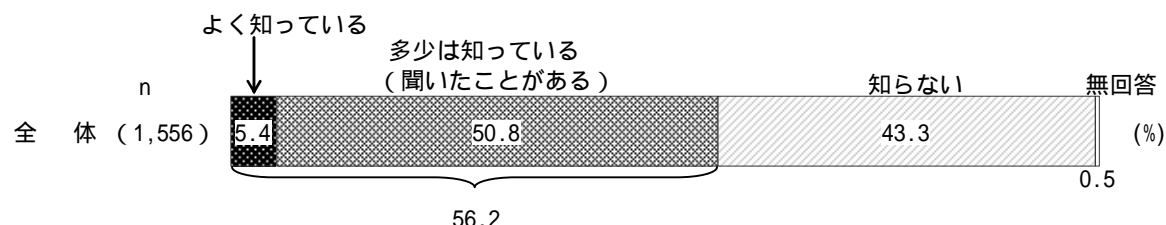


## ( 9 ) 市民活動団体の活動の認知度

『知っている』は5割台半ば

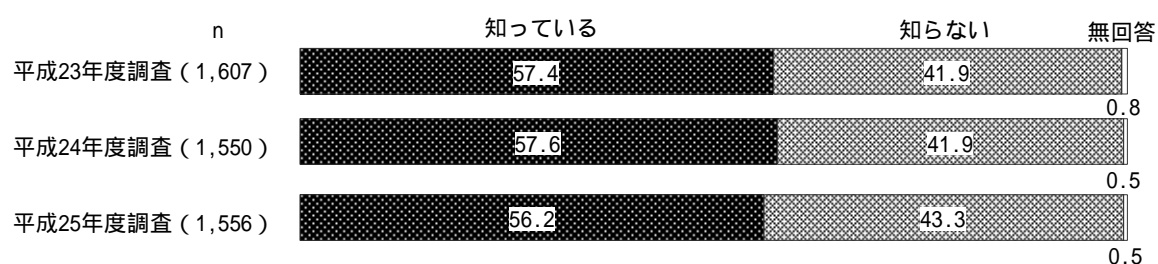
問9 あなたは、市民活動団体の活動を知っていますか。( は1つ )

<図表1 - 22> 市民活動団体の活動の認知度



市民活動団体の活動の認知度を聞いたところ、「多少は知っている (聞いたことがある)」(50.8%) が5割と最も高く、これと「よく知っている」(5.4%) の2つを合わせた『知っている』(56.2%) は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(43.3%) は4割台半ばとなっている。(図表1 - 22)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



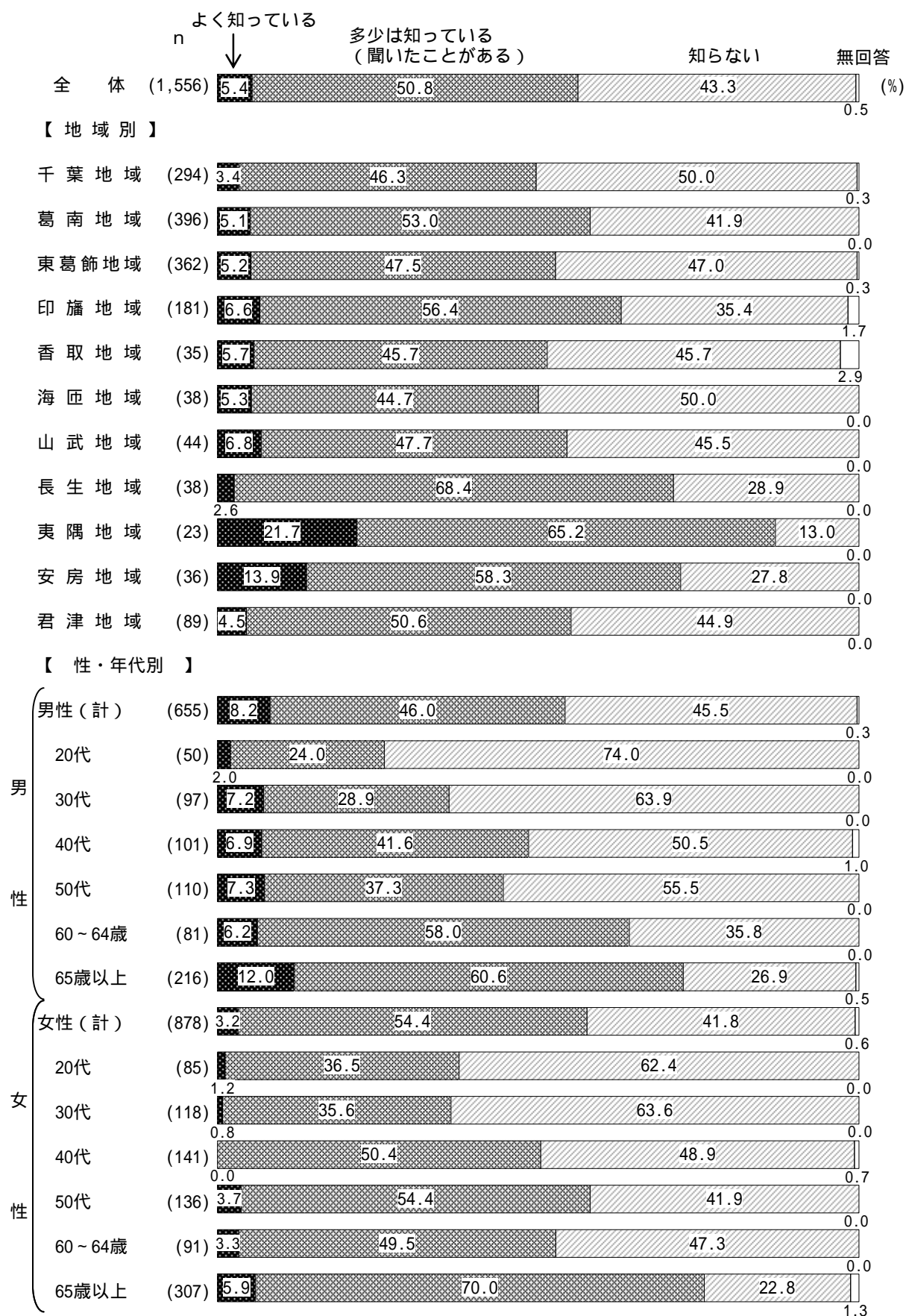
### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(87.0%) が約9割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 23)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(75.9%) が7割台半ば、男性の65歳以上(72.7%) が7割を超えて高くなっている。(図表1 - 23)

<図表 1 - 23> 市民活動団体の活動の認知度 / 地域別、性・年代別



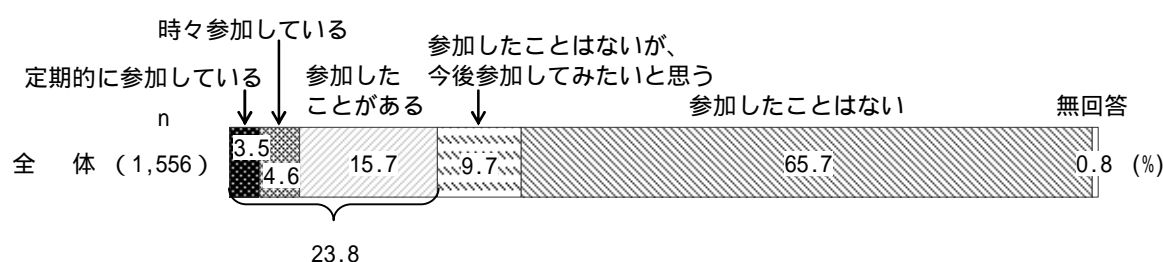
## (10) 市民活動団体の活動への参加経験

「参加したことはない」は6割台半ば

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。( は1つ)

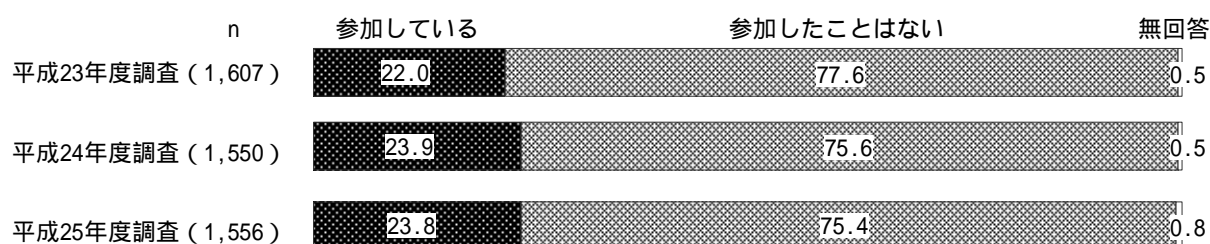
(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

<図表1-24> 市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.5%)と「時々参加している」(4.6%)、「参加したことがある」(15.7%)の3つを合わせた『参加している』(23.8%)は2割台半ばとなっている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(9.7%)は約1割、「参加したことはない」(65.7%)は6割台半ばとなっている。(図表1-24)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



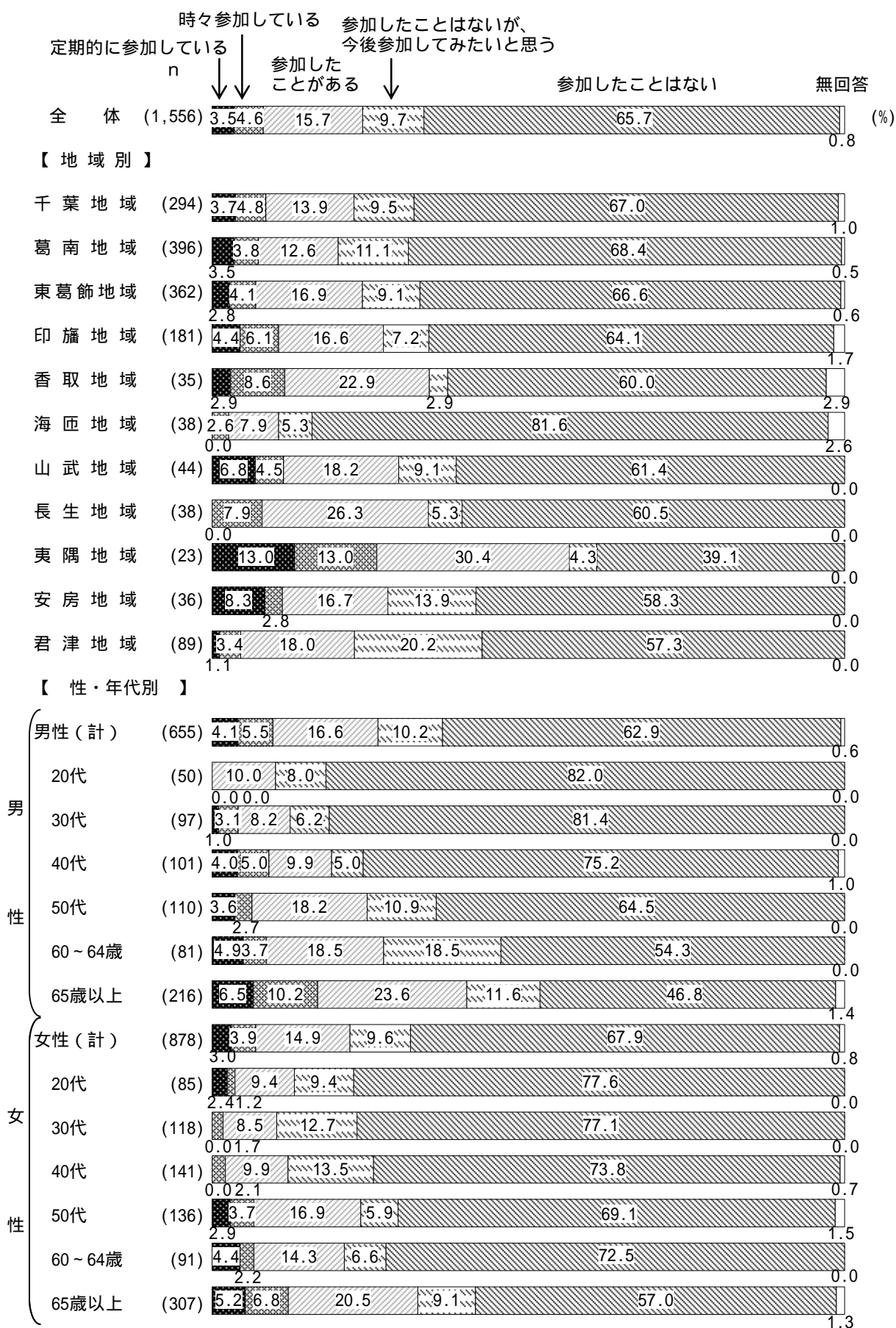
### 【地域別】

地域別にみると、『参加している』は“夷隅地域”(56.5%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1-25)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に男性の65歳以上(40.3%)が4割で他の年代に比べて高くなっている。(図表1-25)

<図表 1 - 25> 市民活動団体の活動への参加経験 / 地域別、性・年代別



## (11) ボランティア活動経験

「活動したことがある」は約2割

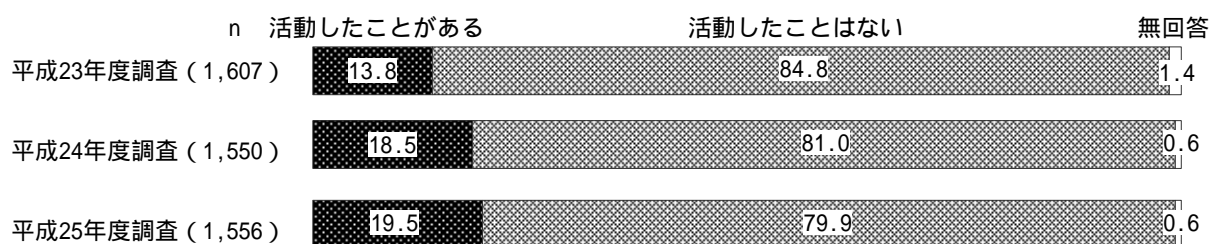
問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。( 1 は1つ )

<図表1 - 26> ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「活動したことがある」(19.5%)は約2割となっている。一方、「活動したことはない」(79.9%)は約8割となっている。(図表1 - 26)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



### 【地域別】

地域別にみると、「活動したことがある」は“夷隅地域”(39.1%)が約4割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1 - 27)

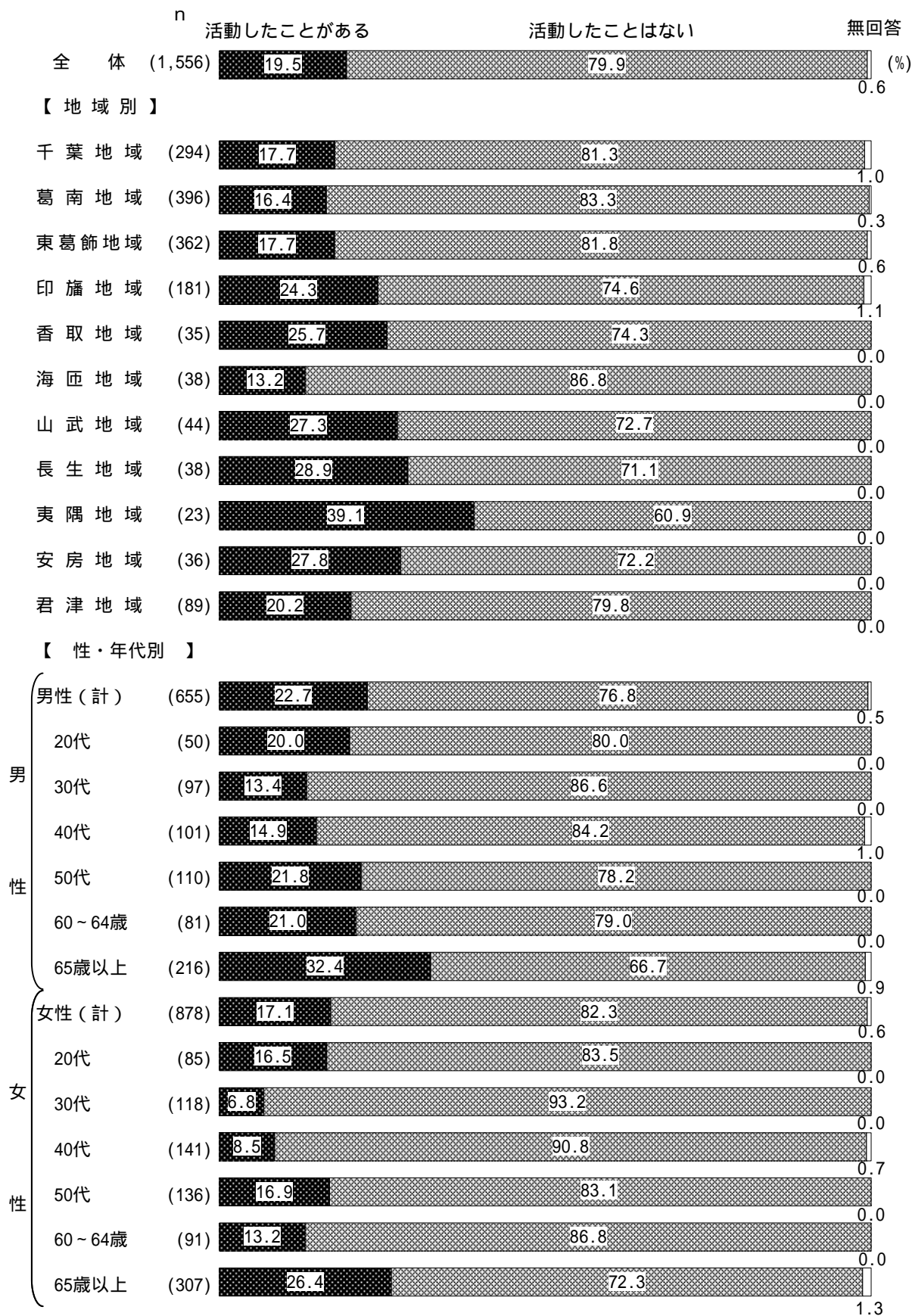
### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことがある」は男性の65歳以上(32.4%)が3割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。

(図表1 - 27)



<図表 1 - 27> ボランティア活動経験 / 地域別、性・年代別



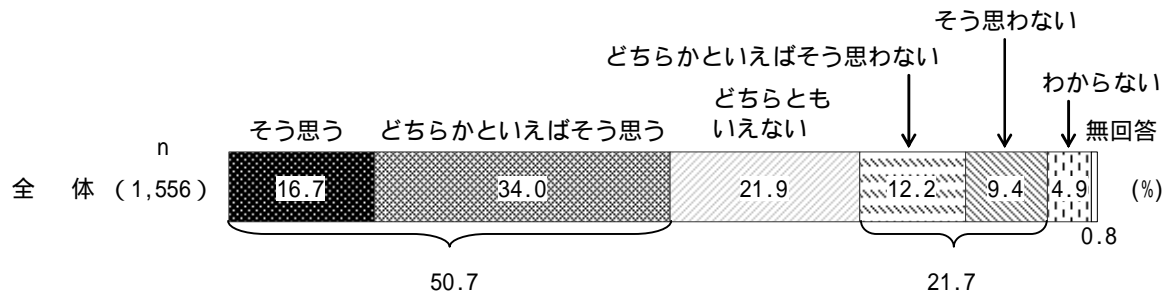
## 2 健康について

### (1) 健康づくりに取り組むことができる環境

『そう思う』が5割

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。  
( は1つ )

<図表2 - 1> 健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(16.7%)と「どちらかといえばそう思う」(34.0%)を合わせた『そう思う』(50.7%)は5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.2%)と「そう思わない」(9.4%)を合わせた『そう思わない』(21.7%)は2割を超えている。(図表2 - 1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成23年度調査(1,607)	52.2	19.0	28.8
平成24年度調査(1,550)	52.6	19.3	28.1
平成25年度調査(1,556)	50.7	21.7	27.6

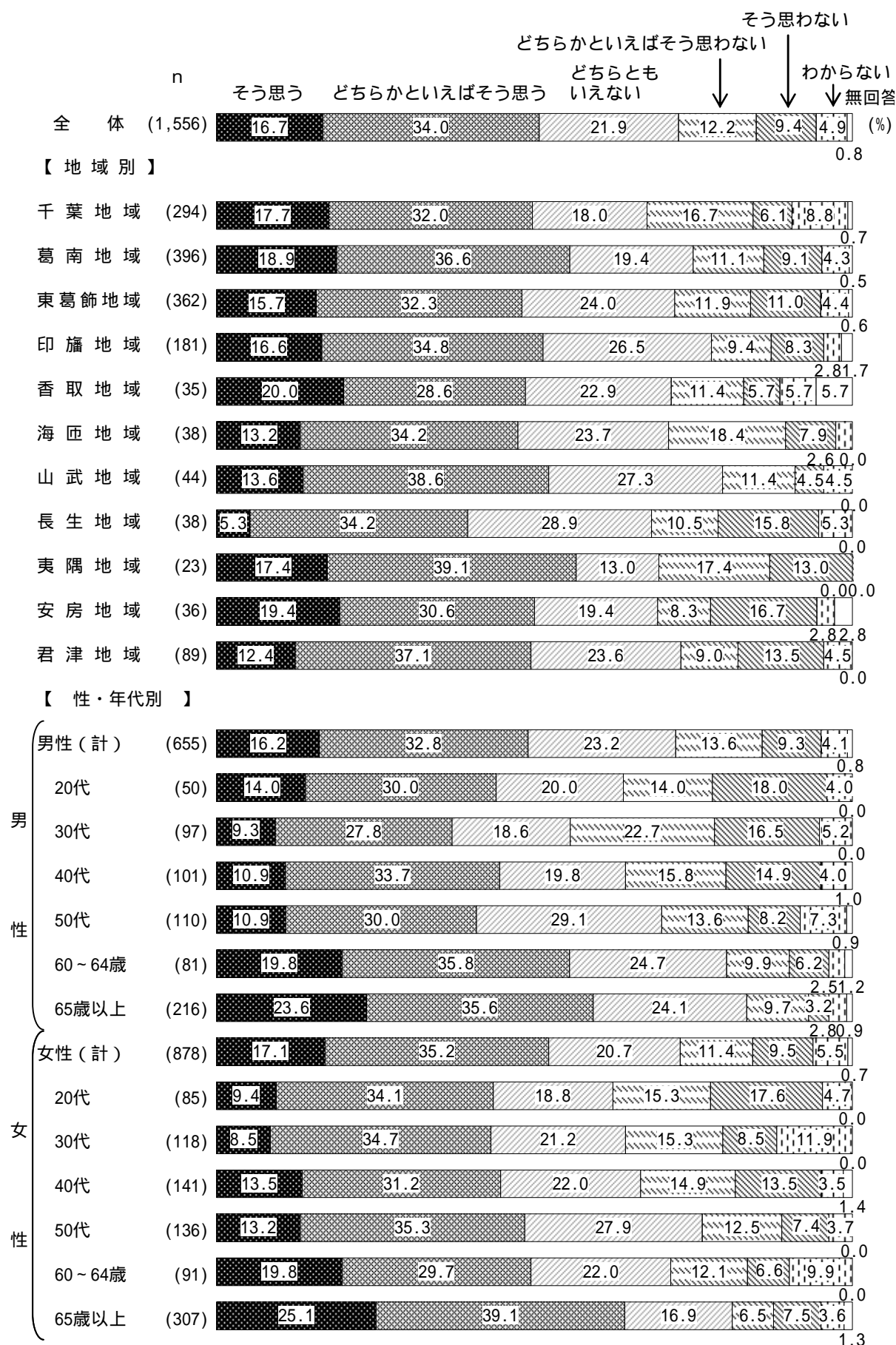
#### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“夷隅地域”(56.5%)と“葛南地域”(55.6%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表2 - 2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は女性の65歳以上(64.2%)が6割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2 - 2)

＜図表 2 - 2＞健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

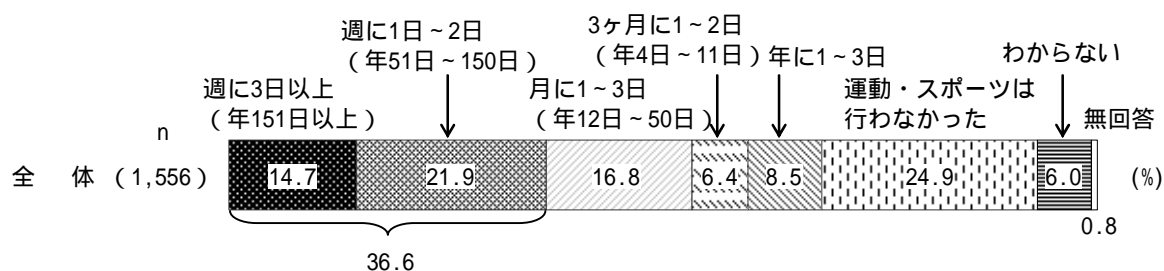


## (2) 健康づくりのための運動

『健康づくりのために週1日以上運動した』が3割台半ば

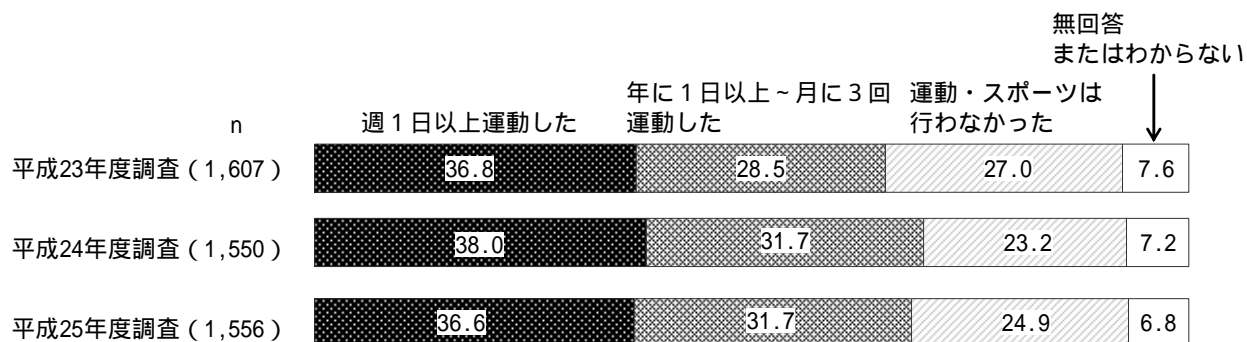
問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。  
(は1つ)

<図表2-3> 健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上(年151日以上)」(14.7%)、「週に1日~2日(年51日~150日)」(21.9%)を合わせた『健康づくりのために週1日以上運動した』(36.6%)は3割台半ばとなっている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(24.9%)は2割台半ばとなっている。(図表2-3)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



### 【地域別】

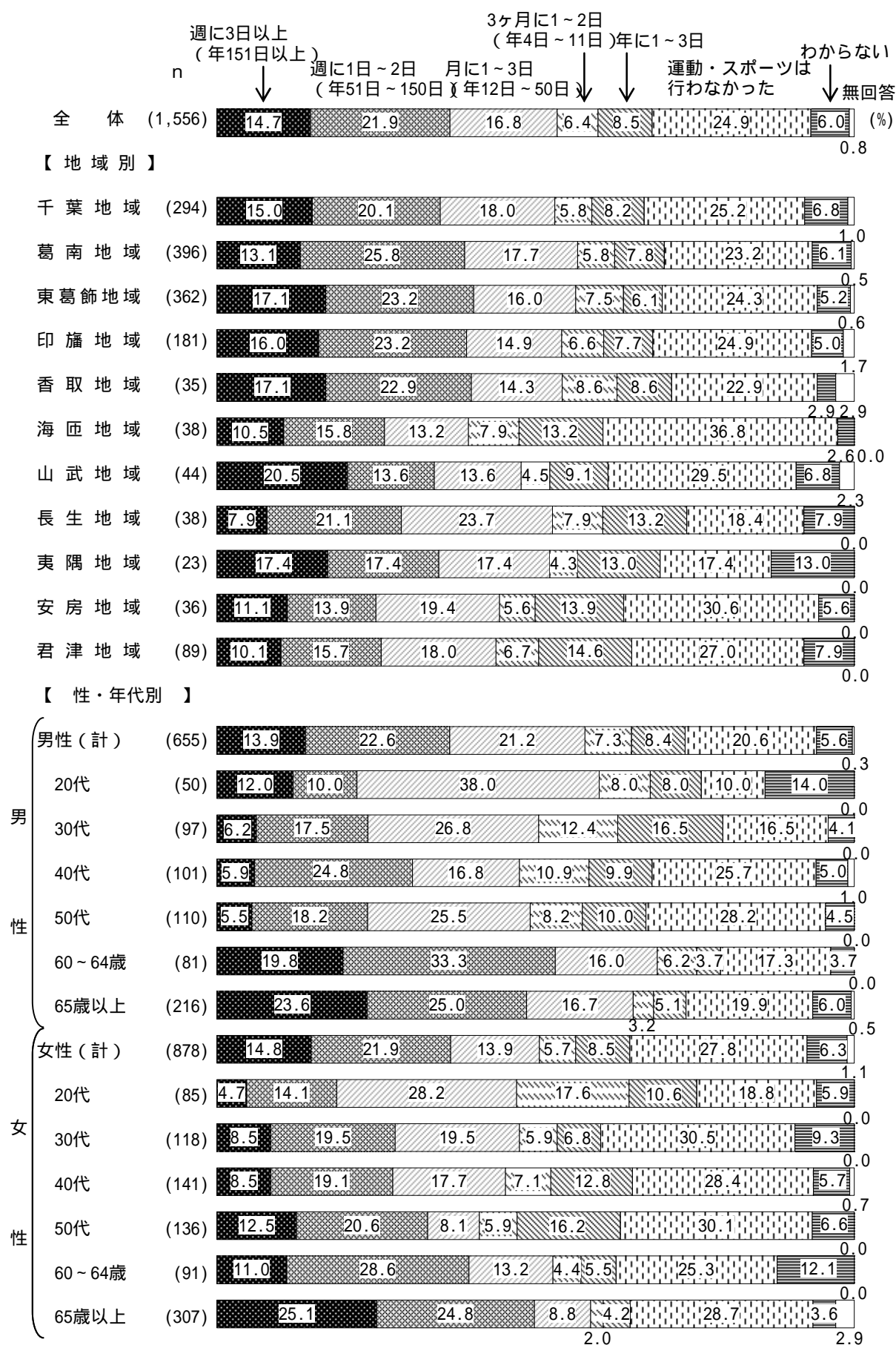
地域別にみると、『週1日以上運動した』は“東葛飾地域”(40.3%)、“香取地域”(40.0%)が4割、“印旛地域”(39.2%)、“葛南地域”(38.9%)が約4割と他の地域に比べて高くなっている。

(図表2-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の60~64歳(53.1%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2-4)

<図表2 - 4> 健康づくりのための運動/地域別、性・年代別

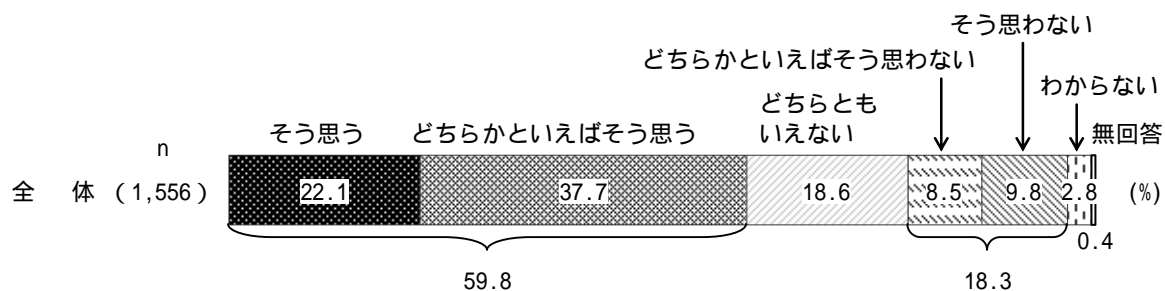


### ( 3 ) 安心して受診できる医療体制

『 と思う 』は約 6 割

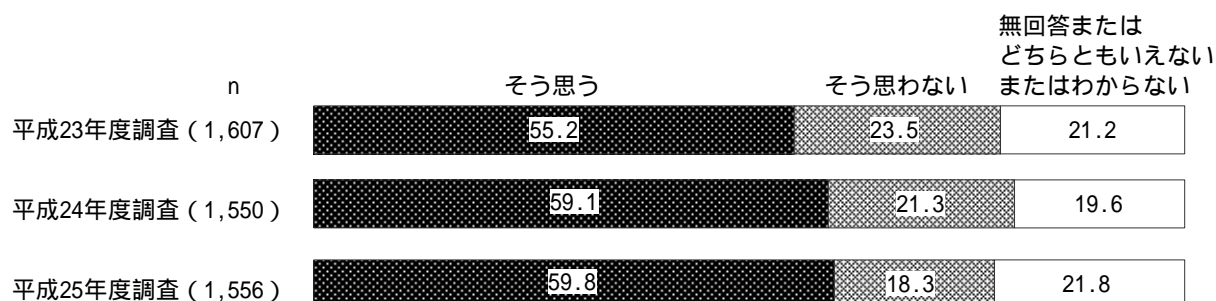
問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。  
( 1 は 1 つ )

< 図表 2 - 5 > 安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「 と思う 」( 22.1% ) と 「 どちらかといえば思う 」( 37.7% ) を合わせた 『 と思う 』( 59.8% ) は約 6 割である。一方、「 どちらかといえばそう思わない 」( 8.5% ) と 「 そう思わない 」( 9.8% ) を合わせた 『 そう思わない 』( 18.3% ) は約 2 割となっている。( 図表 2 - 5 )

〔 参考 〕 平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果との比較 ( 単位 : % )



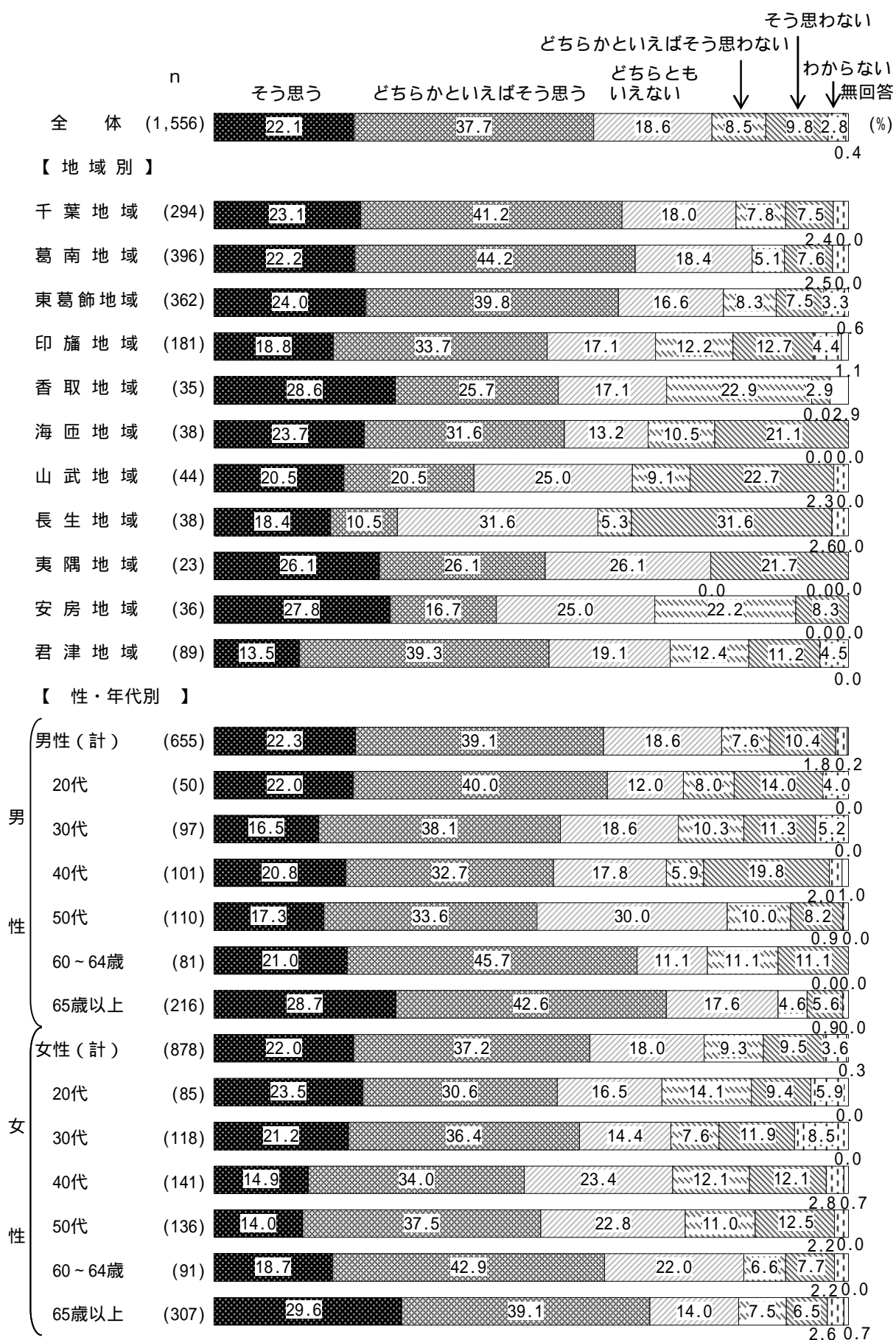
#### 【 地域別 】

地域別にみると、『 と思う 』は “ 葛南地域 ”( 66.4% ) 、 “ 千葉地域 ”( 64.3% ) 、 “ 東葛飾地域 ”( 63.8% ) が 6 割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。( 図表 2 - 6 )

#### 【 性・年代別 】

性・年代別にみると、『 と思う 』は男性の 65 歳以上( 71.3% ) が 7 割を超え、女性の 65 歳以上( 68.7% ) が約 7 割で他の年代に比べて高くなっている。( 図表 2 - 6 )

<図表2 - 6> 安心して受診できる医療体制 / 地域別、性・年代別



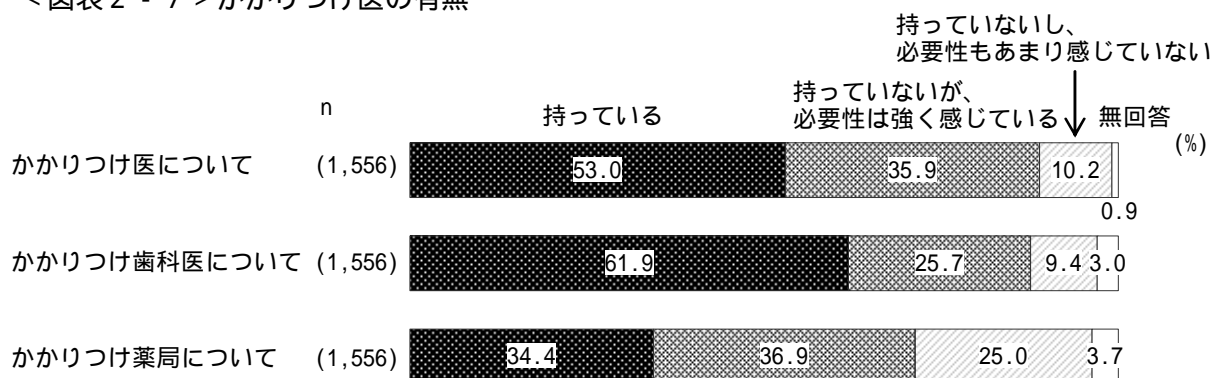
#### ( 4 ) かかりつけ医の有無

かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（ はそれぞれ1つずつ ）

<図表2 - 7> かかりつけ医の有無

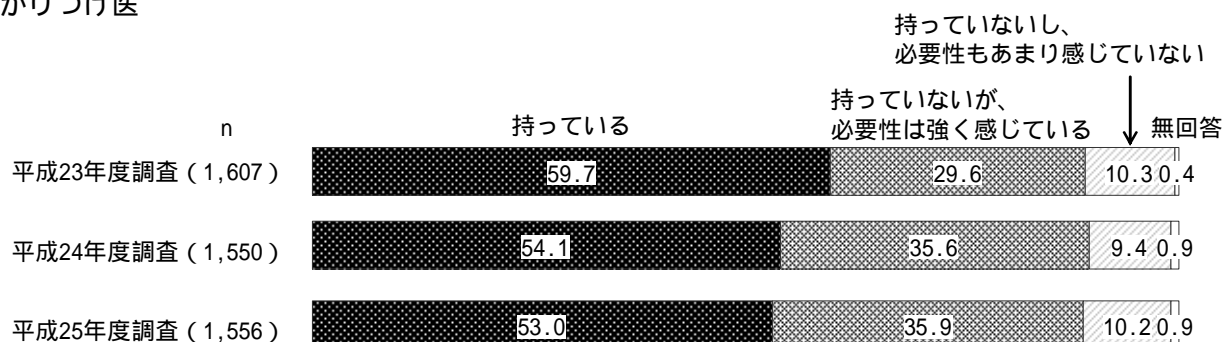


かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医（61.9%）で6割を超え、医師（53.0%）が5割台半ばであるが、薬局（34.4%）では3割台半ばである。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は薬局（36.9%）と医師（35.9%）で3割台半ばとなっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（25.0%）で2割台半ばとなっている。（図表2 - 7）

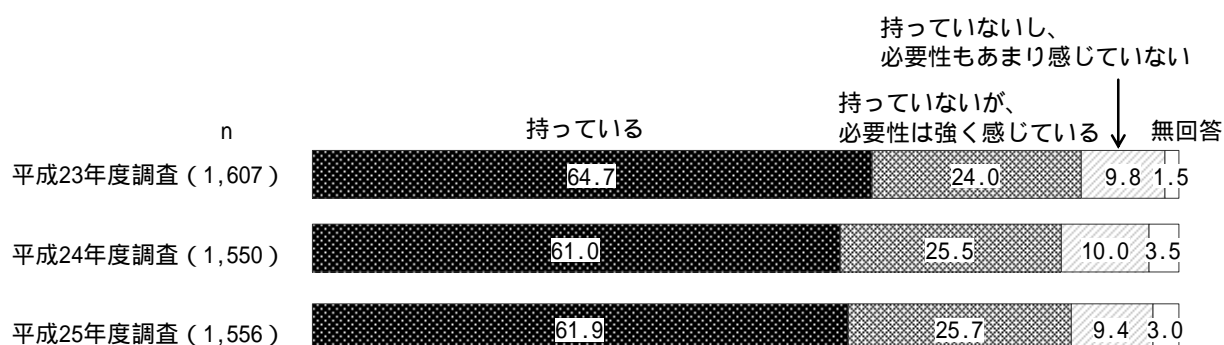


〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

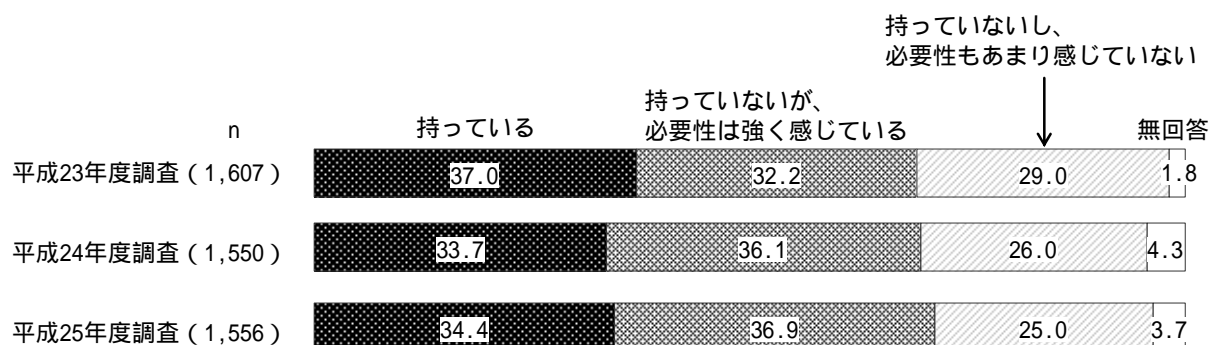
### かかりつけ医



### かかりつけ歯科医



### かかりつけ薬局



### 【地域別】

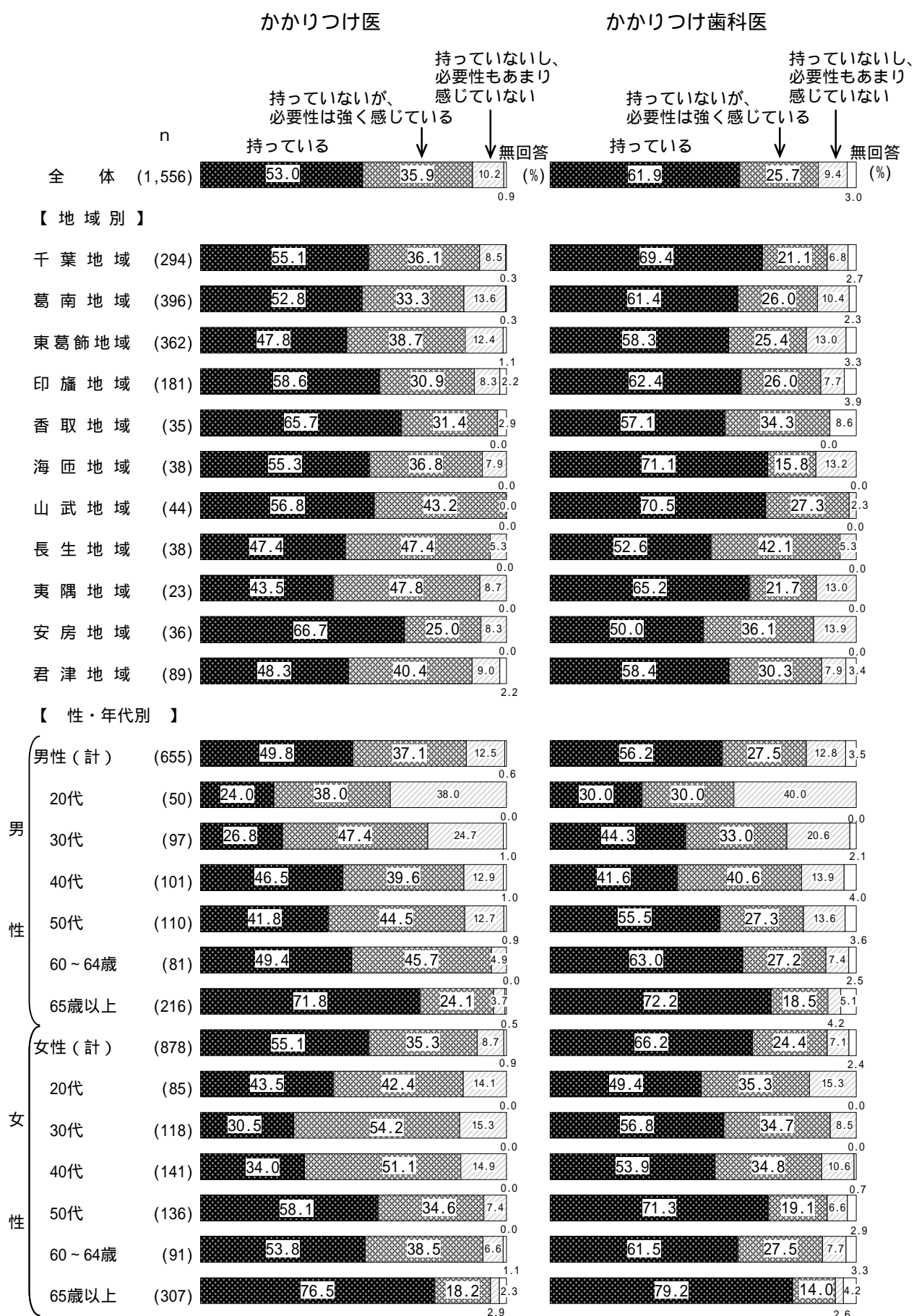
地域別にみると、かかりつけ医を「持っている」は“安房地域”（66.7％）“香取地域”（65.7％）が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は“海匝地域”（71.1％）“山武地域”（70.5％）が7割以上で他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は“香取地域”（48.6％）が約5割で他の地域に比べて高くなっている。（図表2 - 8）

### 【性・年代別】

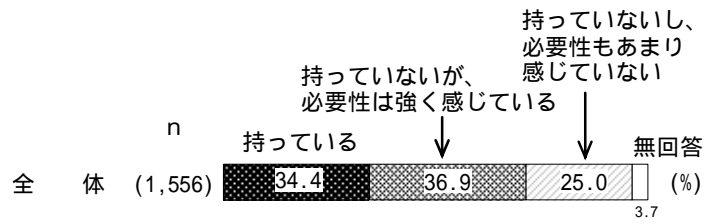
性・年代別に見ると、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局のいずれの項目でも「持っている」は女性の65歳以上（76.5％、79.2％、57.3％）が他の年代と比べて高くなっている。

（図表2 - 8）

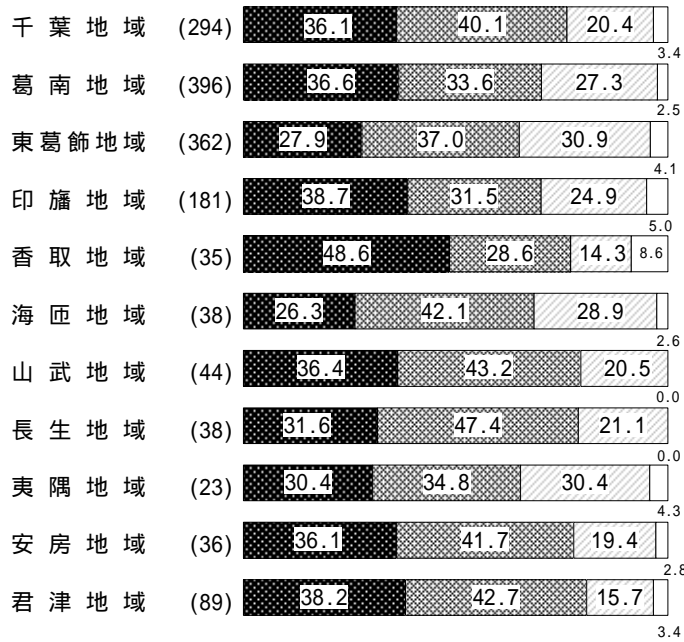
<図表2 - 8> かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



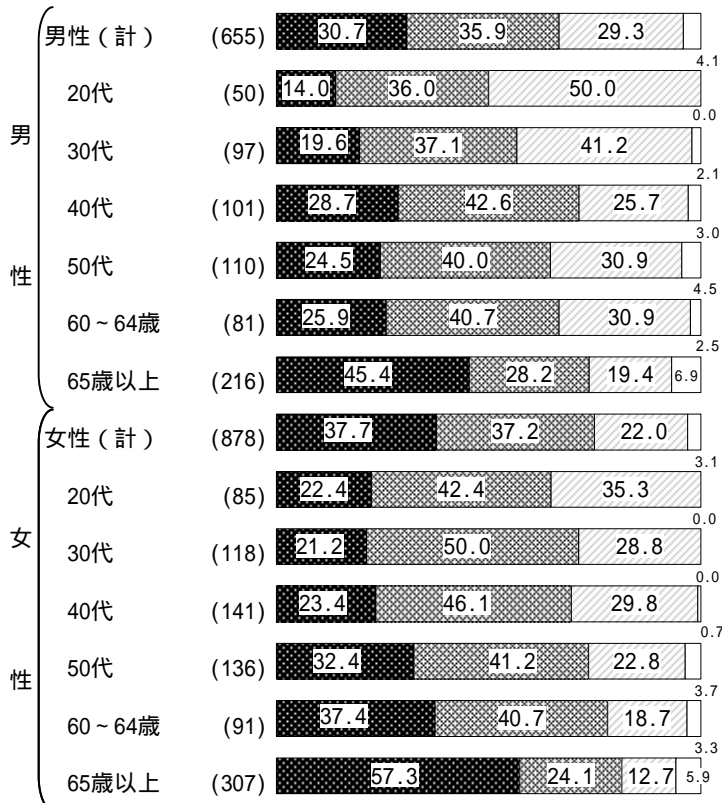
## かかりつけ薬局



### 【地域別】



### 【性・年代別】



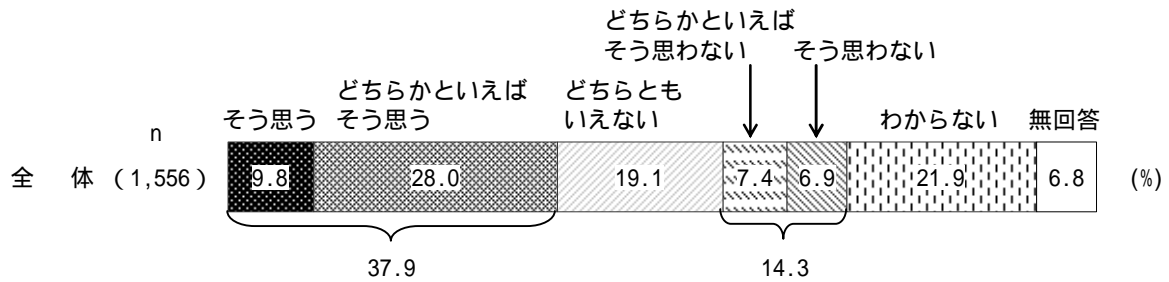
### 3 子育てと福祉について

#### (1) 安心して子育てできる環境

『そう思う』が約4割

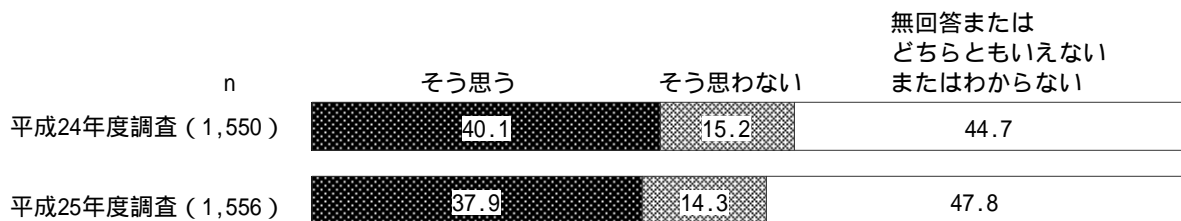
問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。( は1つ)

<図表3-1> 安心して子育てできる環境



自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(9.8%)と「どちらかといえばそう思う」(28.0%)を合わせた『そう思う』(37.9%)は約4割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(7.4%)と「そう思わない」(6.9%)を合わせた『そう思わない』(14.3%)は1割台半ばとなっている。(図表3-1)

〔参考〕平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



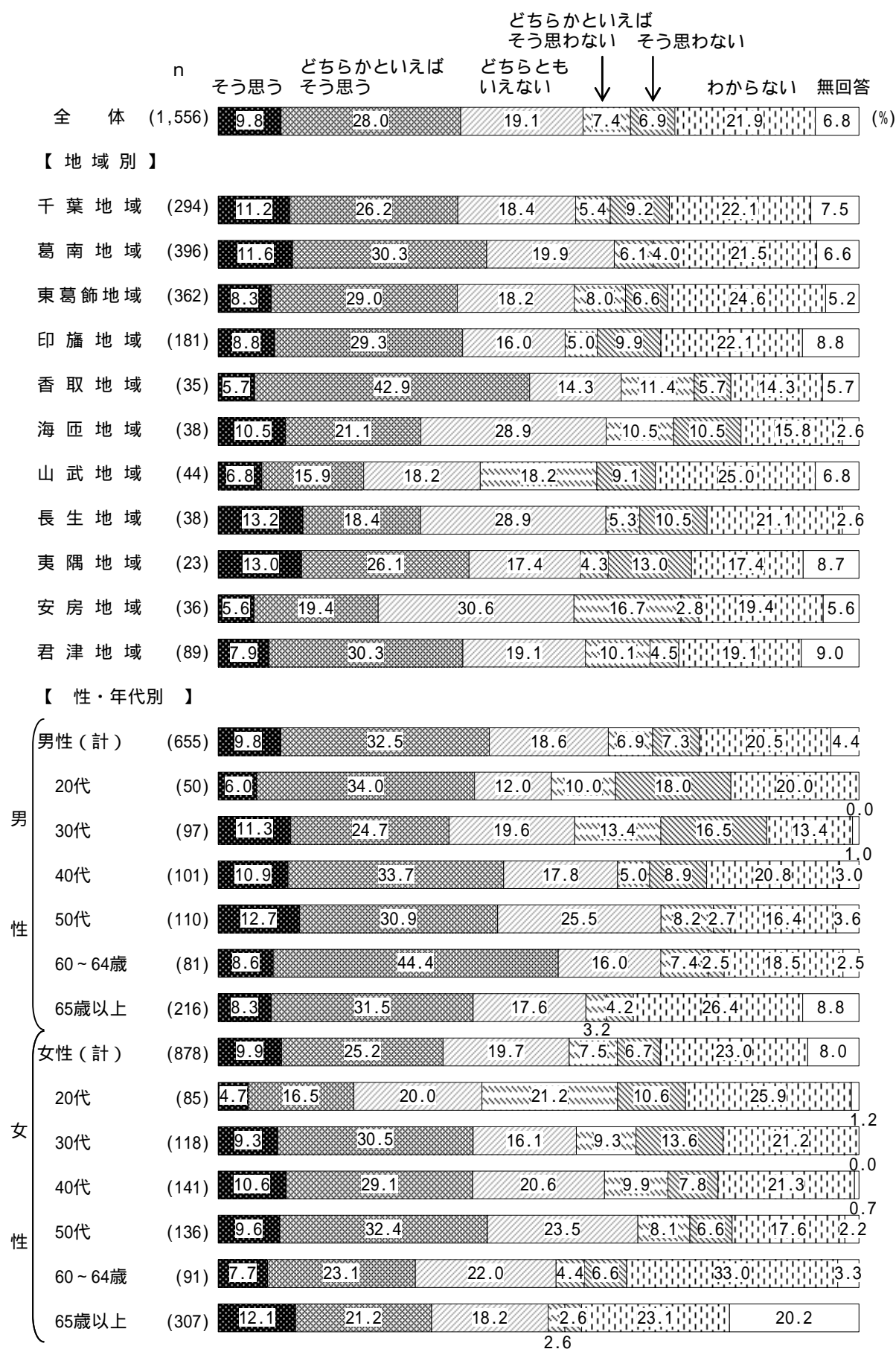
#### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“香取地域”(48.6%)で約5割となっている。一方、『そう思わない』は“山武地域”(27.3%)が約3割で他の地域に比べて高くなっている。(図表3-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の60~64歳(53.1%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は女性の20代(31.8%)では3割を超え、男性の30代(29.9%)男性の20代(28.0%)は約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表3-2)

<図表3 - 2> 安心して子育てできる環境 / 地域別、性・年代別



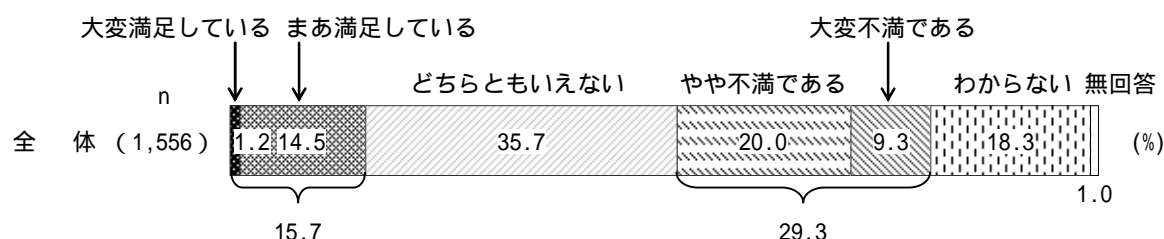
## ( 2 ) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について

『満足している』が1割台半ば、『不満である』が約3割

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じですか。

( は1つ )

<図表3 - 3> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じているか聞いたところ、「大変満足している」(1.2%)と「まあ満足している」(14.5%)を合わせた『満足している』(15.7%)が1割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(20.0%)と「大変不満である」(9.3%)を合わせた『不満である』(29.3%)は約3割となっている。(図表3 - 3)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成23年度調査(1,607)	17.0	29.8	53.1
平成24年度調査(1,550)	17.4	27.0	55.7
平成25年度調査(1,556)	15.7	29.3	55.0

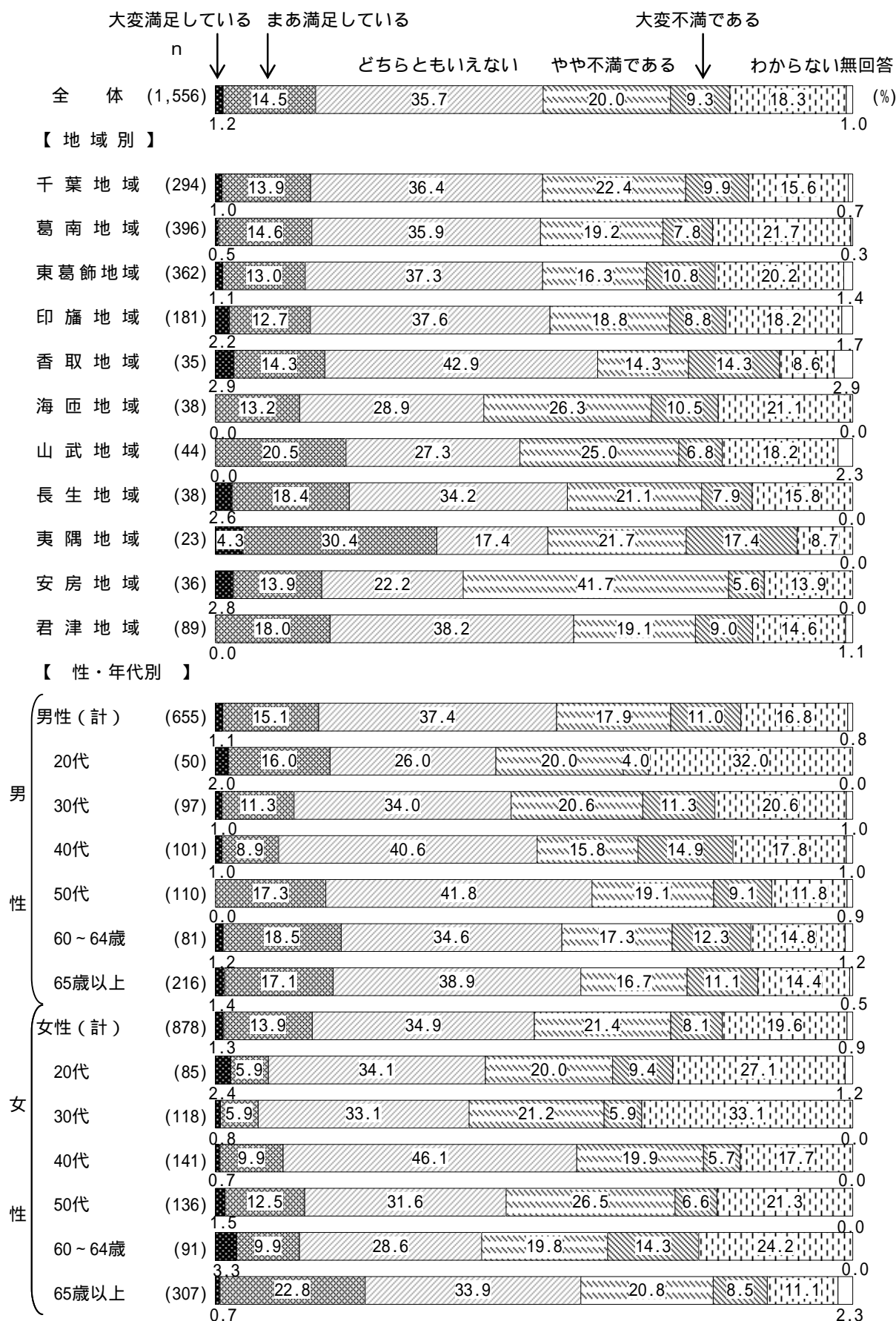
### 【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“夷隅地域”(34.8%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”(47.2%)が約5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表3 - 4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は女性65歳以上(23.5%)が2割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は女性の60～64歳(34.1%)、女性の50代(33.1%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表3 - 4)

<図表3 - 4> お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について / 地域別、性・年代別



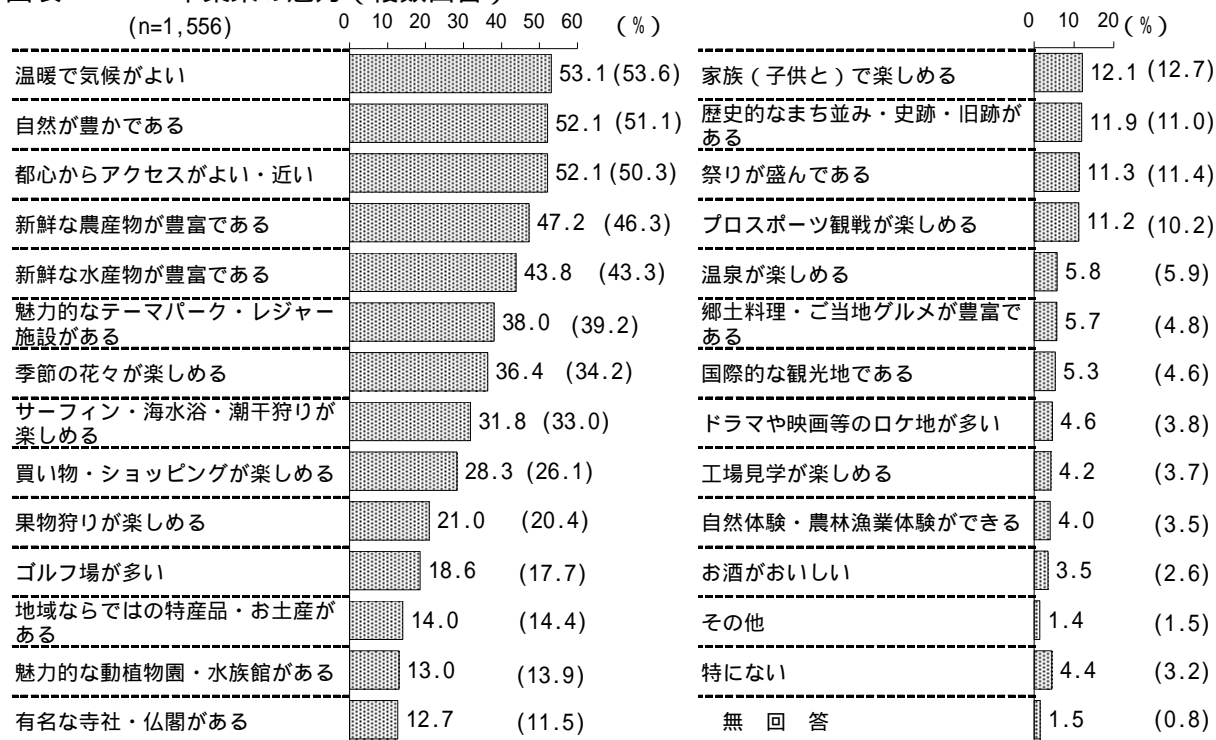
## 4 観光について

### (1) 千葉県の魅力

「温暖で気候がよい」が5割台半ば

問18 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。(はいいくつでも)

<図表4-1> 千葉県の魅力(複数回答)



千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「温暖で気候がよい」(53.1%)が5割台半ばで最も高くなっている。以下、「自然が豊かである」、「都心からアクセスがよい・近い」(同率52.1%)、「新鮮な農産物が豊富である」(47.2%)、「新鮮な水産物が豊富である」(43.8%)が続く。

(図表4-1)

#### 【地域別】

地域別にみると、「温暖で気候がよい」は“安房地域”(77.8%)が約8割となっている。「自然が豊かである」は“山武地域”(70.5%)が7割、“夷隅地域”(69.6%)は約7割となっている。「都心からアクセスがよい・近い」は“葛南地域”(64.9%)が6割台半ばとなっている。「新鮮な農産物が豊富である」は“夷隅地域”(69.6%)が約7割となっている。「新鮮な水産物が豊富である」は“安房地域”(77.8%)が約8割、“夷隅地域”(73.9%)は7割台半ばとなっている。「季節の花々が楽しめる」は“安房地域”(66.7%)、“夷隅地域”(65.2%)が6割台半ばとなっている。(図表4-2)

#### 【性・年代別】

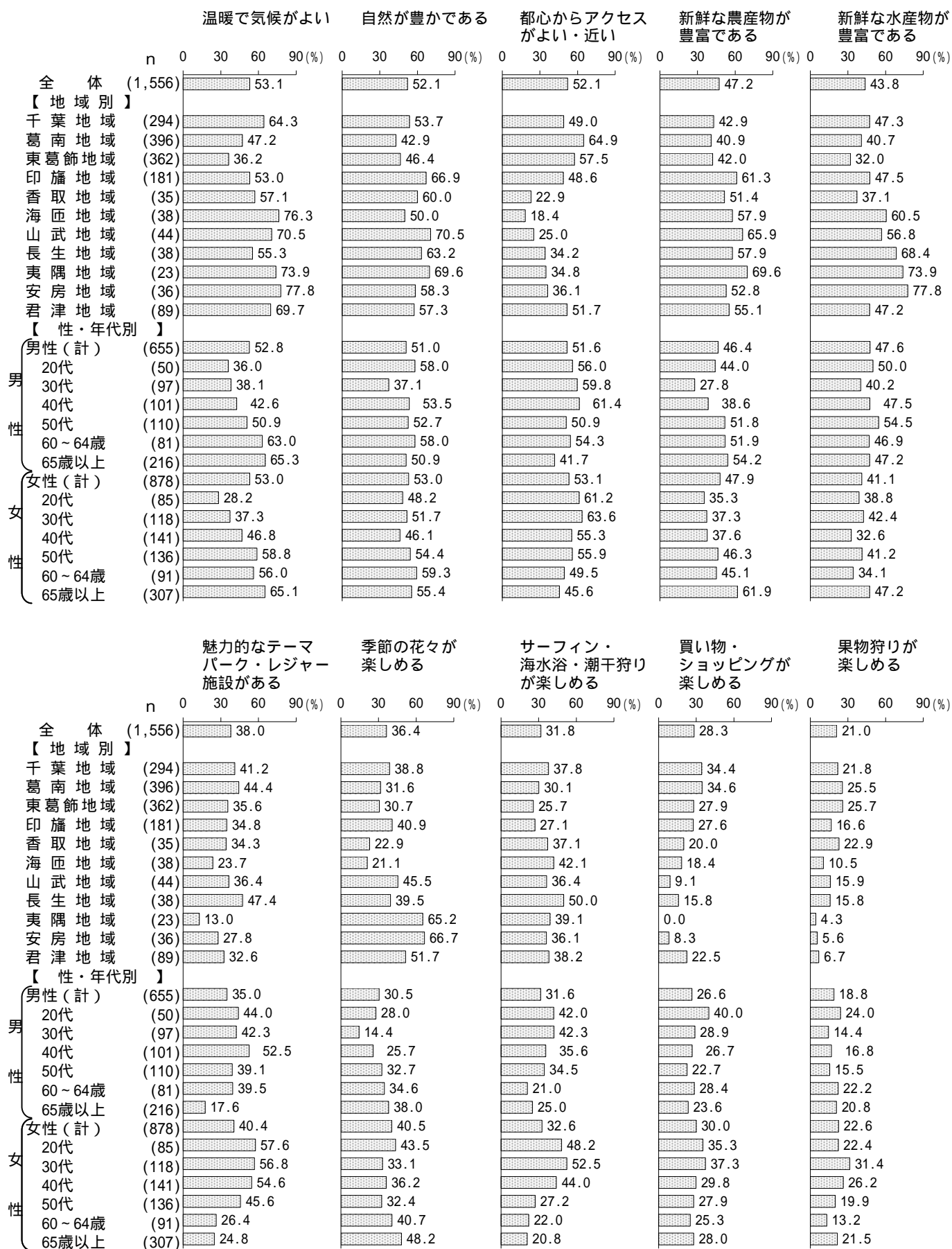
性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。「自然が豊かである」は女性の60～64歳(59.3%)、男性の60～64歳(58.0%)が約6割で、「都心からアクセスがよい・近い」は女性の30代(63.6%)が6割台半ば、男性の40代(61.4%)、女



性の20代（61.2％）が6割を超えている。「新鮮な農産物が豊富である」は女性の65歳以上（61.9％）で6割を超え、「魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある」は女性の20代（57.6％）が約6割、女性の30代（56.8％）、女性の40代（54.6％）が5割台半ばとなっている。「季節の花々が楽しめる」は女性の65歳以上（48.2％）が約5割となっている。

（図表4 - 2）

<図表4 - 2> 千葉県の魅力／地域別、性・年代別（上位10項目）

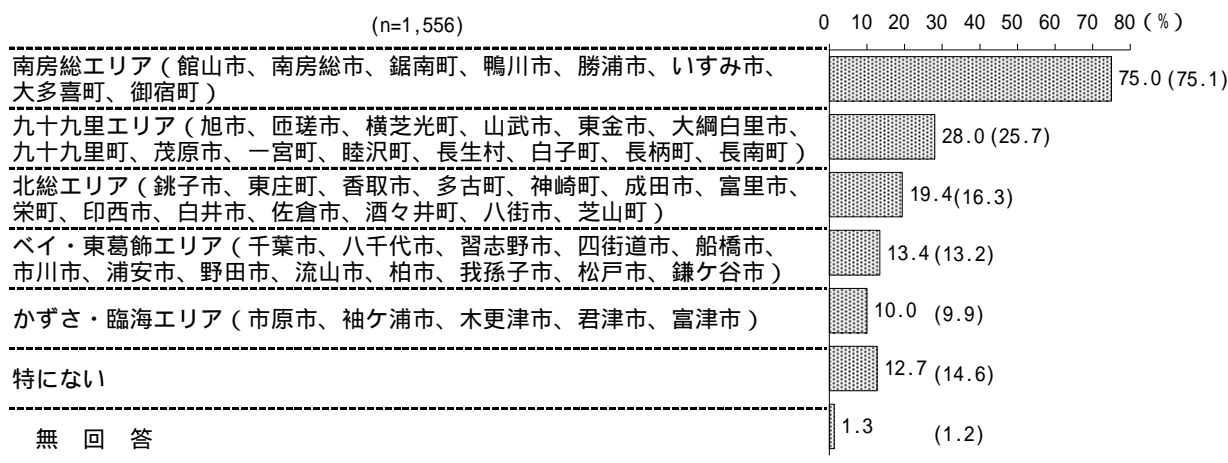


## ( 2 ) 県内で旅行に行きたいエリア

「南房総エリア」が7割台半ば

問19 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。  
( はいくつでも )

< 図表 4 - 3 > 県内で旅行に行きたいエリア ( 複数回答 )



県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」(75.0%)が7割台半ばで最も高くなっている。以下、「九十九里エリア」(28.0%)、「北総エリア」(19.4%)、「ベイ・東葛飾エリア」(13.4%)、「かずさ・臨海エリア」(10.0%)が続く。(図表4-3)

### 【地域別】

地域別にみると、「南房総エリア」は、“印旛地域”(84.0%)と“香取地域”(82.9%)で8割以上となっている。「九十九里エリア」は“安房地域”(38.9%)で約4割、“東葛飾地域”(34.5%)で3割台半ばとなっている。「ベイ・東葛飾エリア」は“山武地域”(29.5%)で約3割となっている。

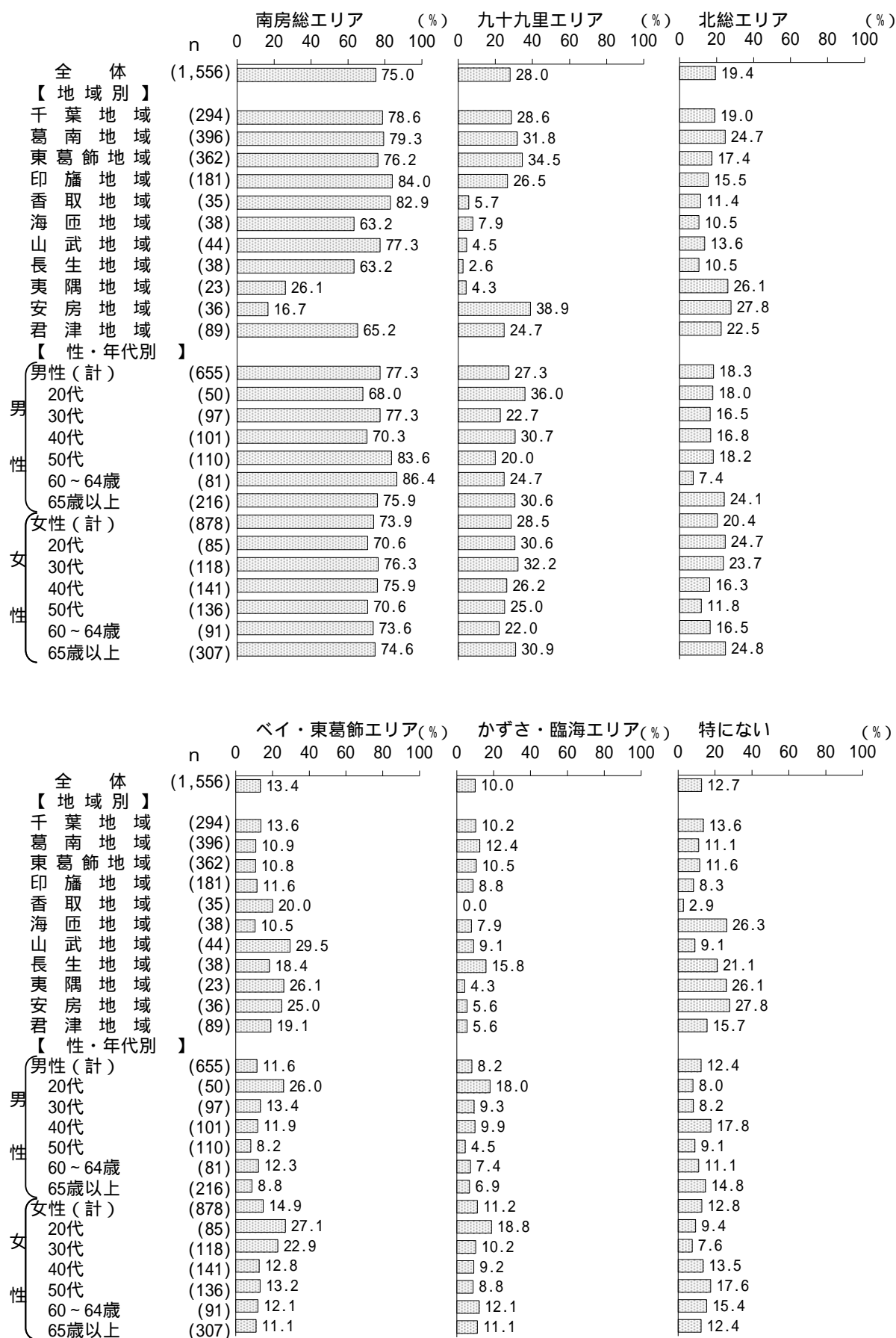
(図表4-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「南房総エリア」は男性の60～64歳(86.4%)と男性の50代(83.6%)が8割台半ば、「九十九里エリア」は男性の20代(36.0%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「ベイ・東葛飾エリア」は女性20代(27.1%)が約3割で他の年代に比べて高くなっている。

(図表4-4)

<図表4 - 4> 県内で旅行に行きたいエリア／地域別、性・年代別

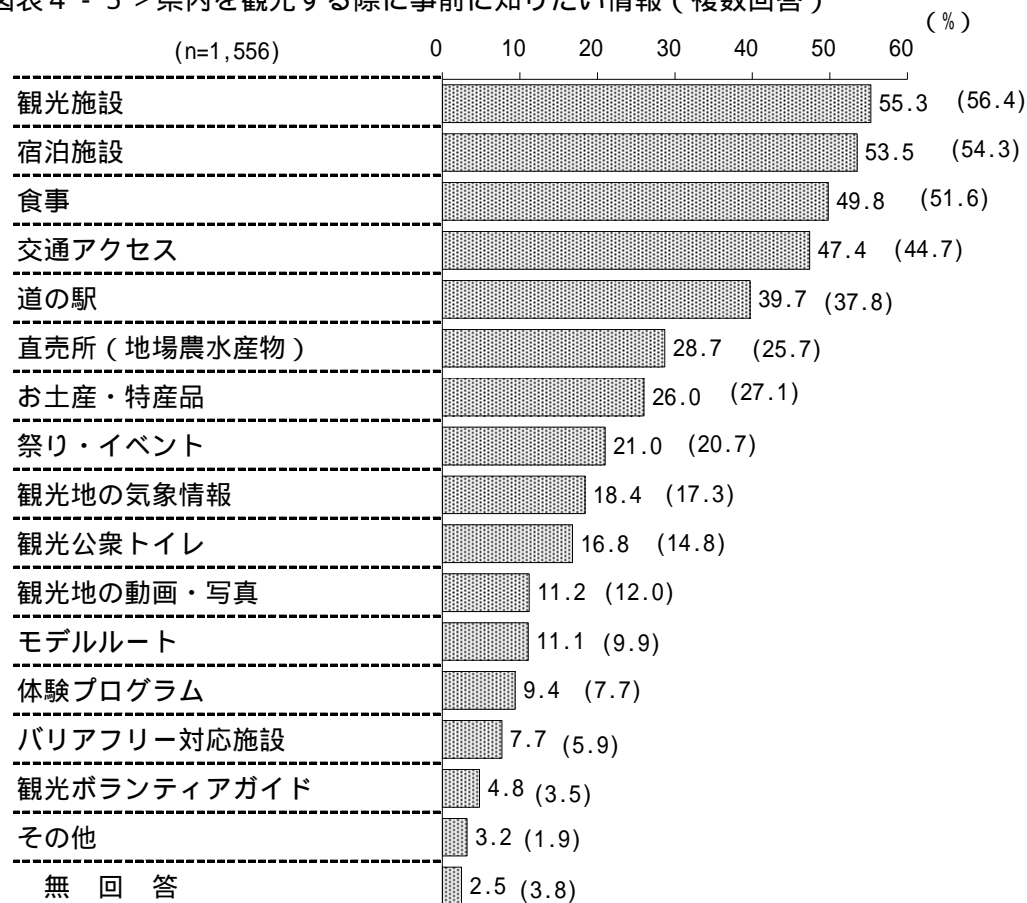


### ( 3 ) 県内を観光する際に事前に知りたい情報

「観光施設」と「宿泊施設」が５割台半ば

問 20 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。( はいいくつでも )

< 図表 4 - 5 > 県内を観光する際に事前に知りたい情報 ( 複数回答 )



県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「観光施設」( 55.3% )と「宿泊施設」( 53.5% )が５割台半ばで高くなっている。以下、「食事」( 49.8% )、「交通アクセス」( 47.4% )、「道の駅」( 39.7% )が続く。( 図表 4 - 5 )

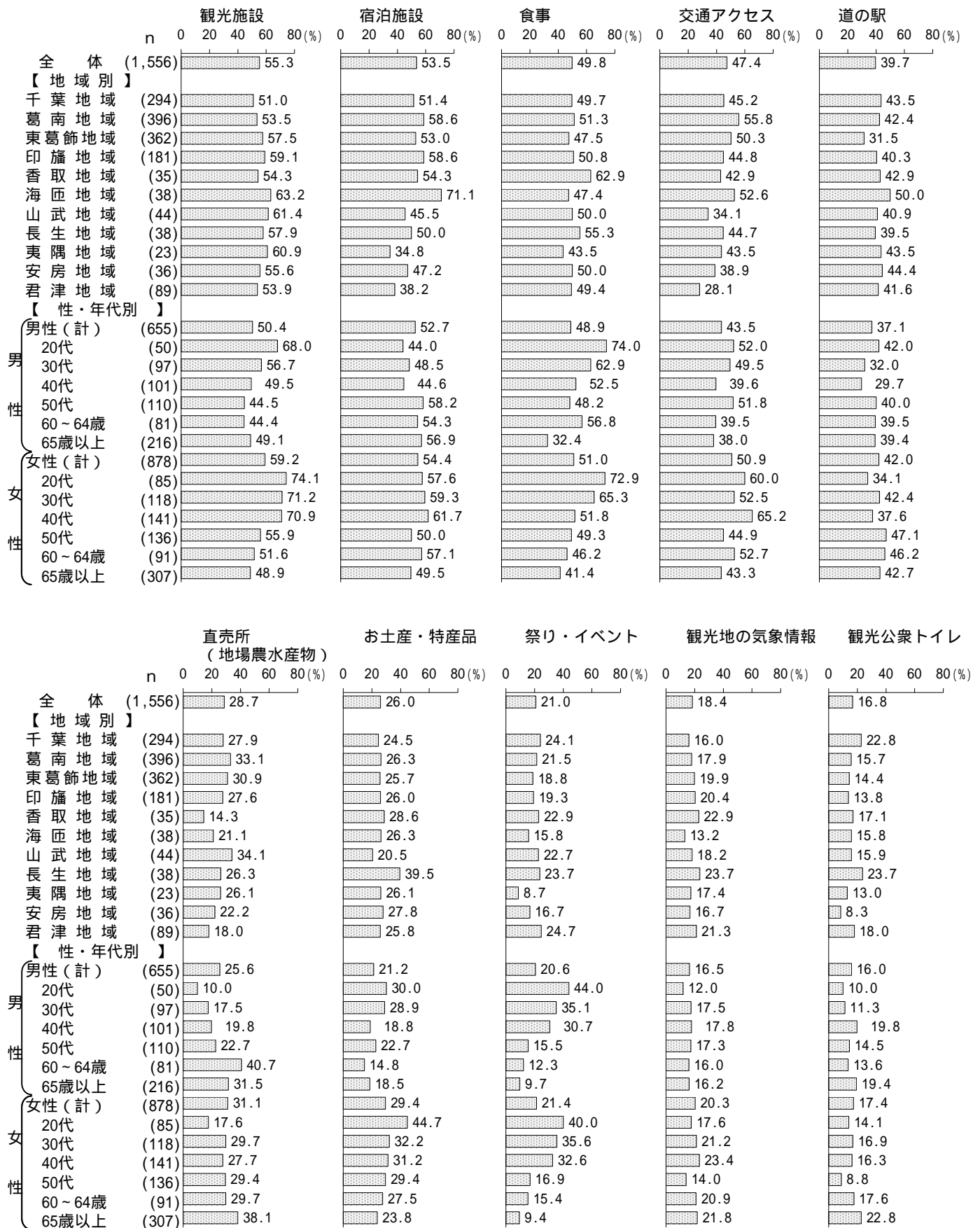
#### 【地域別】

地域別にみると、「観光施設」は“海匝地域”( 63.2% )が６割台半ば、「宿泊施設」は“海匝地域”( 71.1% )で７割を超え、「食事」は“香取地域”( 62.9% )が６割を超えて他の地域に比べ高くなっている。( 図表 4 - 6 )

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「観光施設」は女性の20代( 74.1% )・30代( 71.2% )・40代( 70.9% )が７割以上で他の年代に比べて高くなっている。「宿泊施設」は女性の40代( 61.7% )が６割を超え、「食事」は男性の20代( 74.0% )、女性の20代( 72.9% )が７割以上、「交通アクセス」は女性の40代( 65.2% )が６割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。( 図表 4 - 6 )

<図表4 - 6> 県内を観光する際に事前に知りたい情報／地域別、性・年代別（上位10項目）

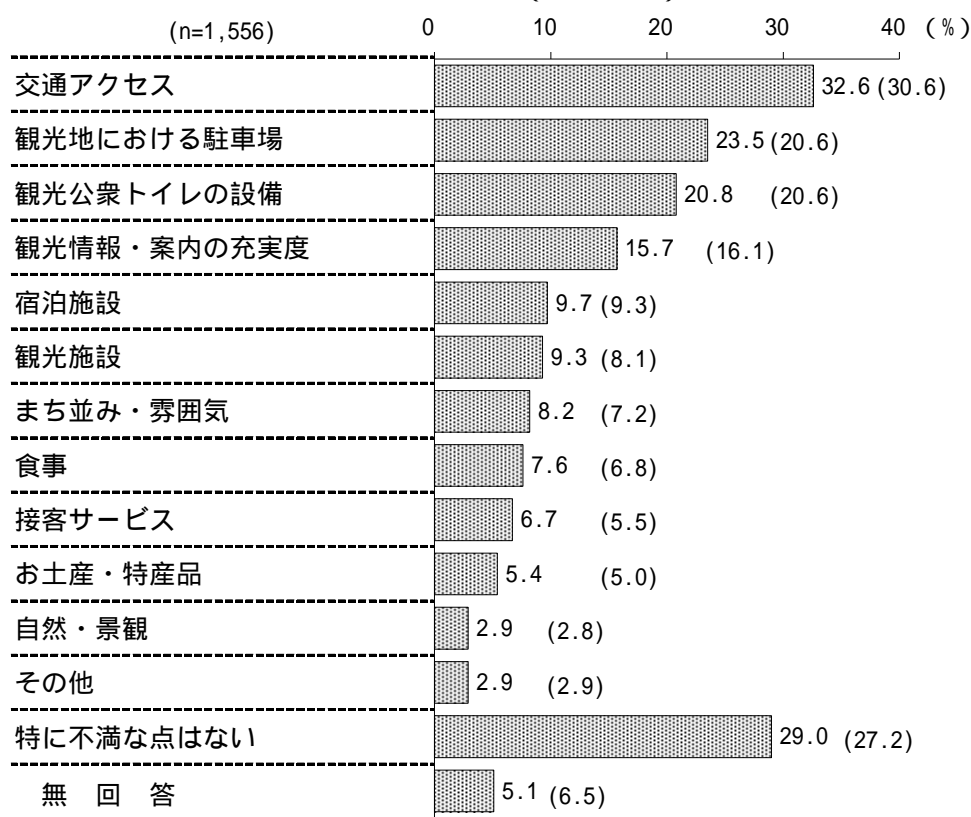


## ( 4 ) 県内を観光するときの不満

「交通アクセス」が3割を超える

問21 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。( はいくつでも )

<図表4 - 7> 県内を観光するときの不満(複数回答)



県内を観光する際に不満を感じることを聞いたところ、「交通アクセス」(32.6%)が3割で最も高くなっている。以下、「観光地における駐車場」(23.5%)、「観光公衆トイレの設備」(20.8%)、「観光情報・案内の充実度」(15.7%)が続く。(図表4 - 7)

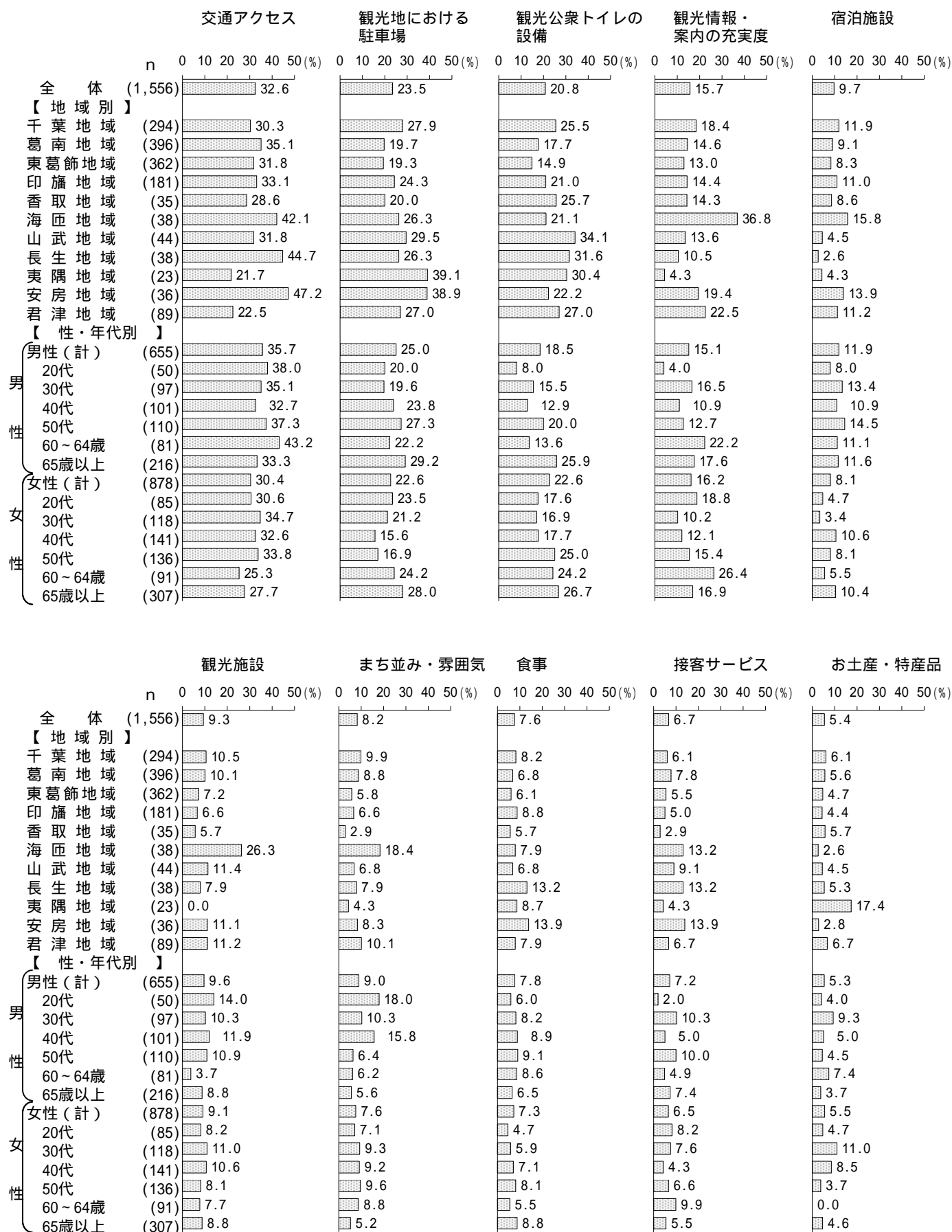
### 【地域別】

地域別にみると、「交通アクセス」は“安房地域”(47.2%)、「長生地域」(44.7%)、「海匝地域」(42.1%)が4割以上で他の地域に比べて高くなっている。「観光地における駐車場」は“夷隅地域”(39.1%)、「安房地域」(38.9%)が約4割、「観光情報・案内の充実度」は“海匝地域”(36.8%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表4 - 8)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「交通アクセス」は男性の60～64歳(43.2%)が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「観光地における駐車場」は男性の65歳以上(29.2%)、女性の65歳以上(28.0%)、男性の50代(27.3%)が約3割で他の年代に比べて高くなっている。(図表4 - 8)

<図表4 - 8> 県内を観光するときの不満／地域別、性・年代別（上位10項目）



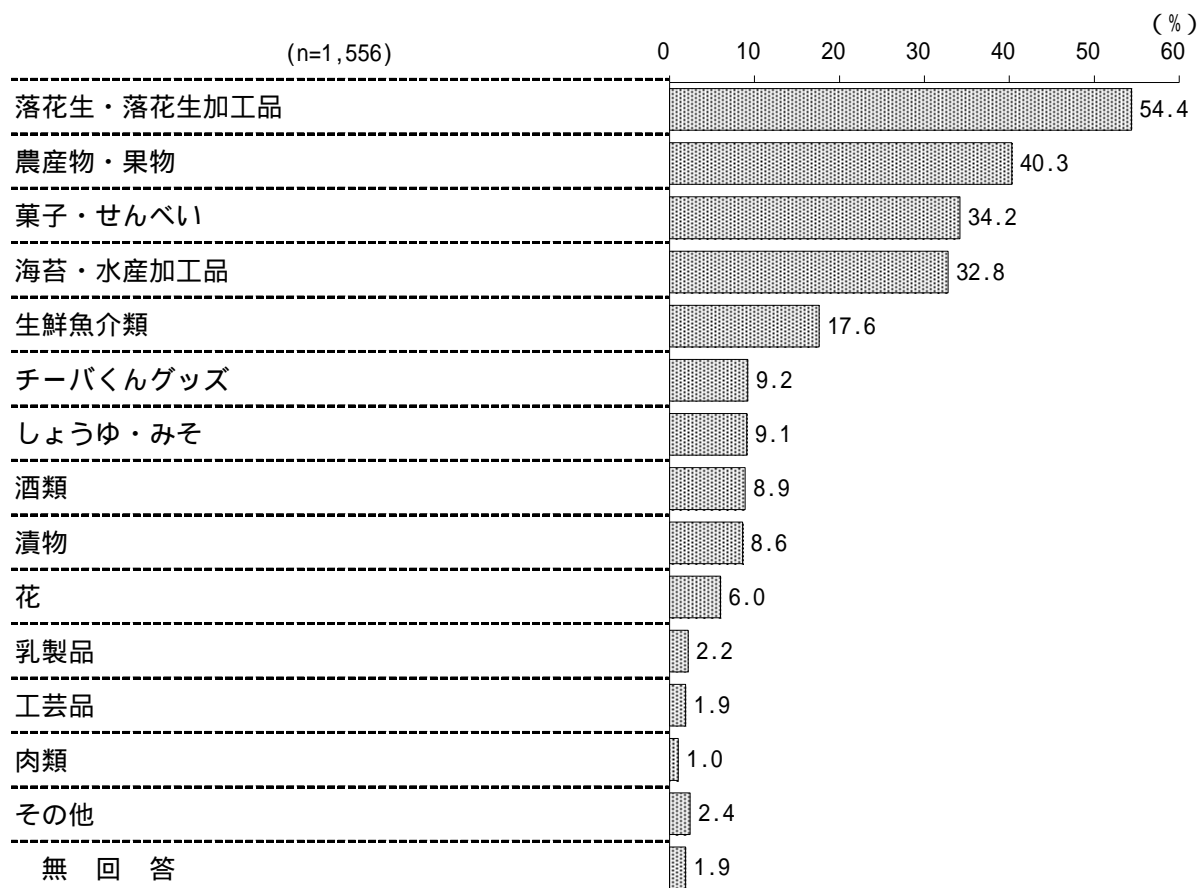


## ( 5 ) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

「落花生・落花生加工品」が５割台半ば

問22 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。( は３つ )

< 図表 4 - 9 > 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの ( 3 つ )



県産品をお土産や贈答品として使うものを聞いたところ、「落花生・落花生加工品」( 54.4% ) が 5 割台半ばで最も高くなっている。以下、「農産物・果物」( 40.3% ) 「菓子・せんべい」( 34.2% ) 「海苔・水産加工品」( 32.8% ) が続く。( 図表 4 - 9 )

### 【地域別】

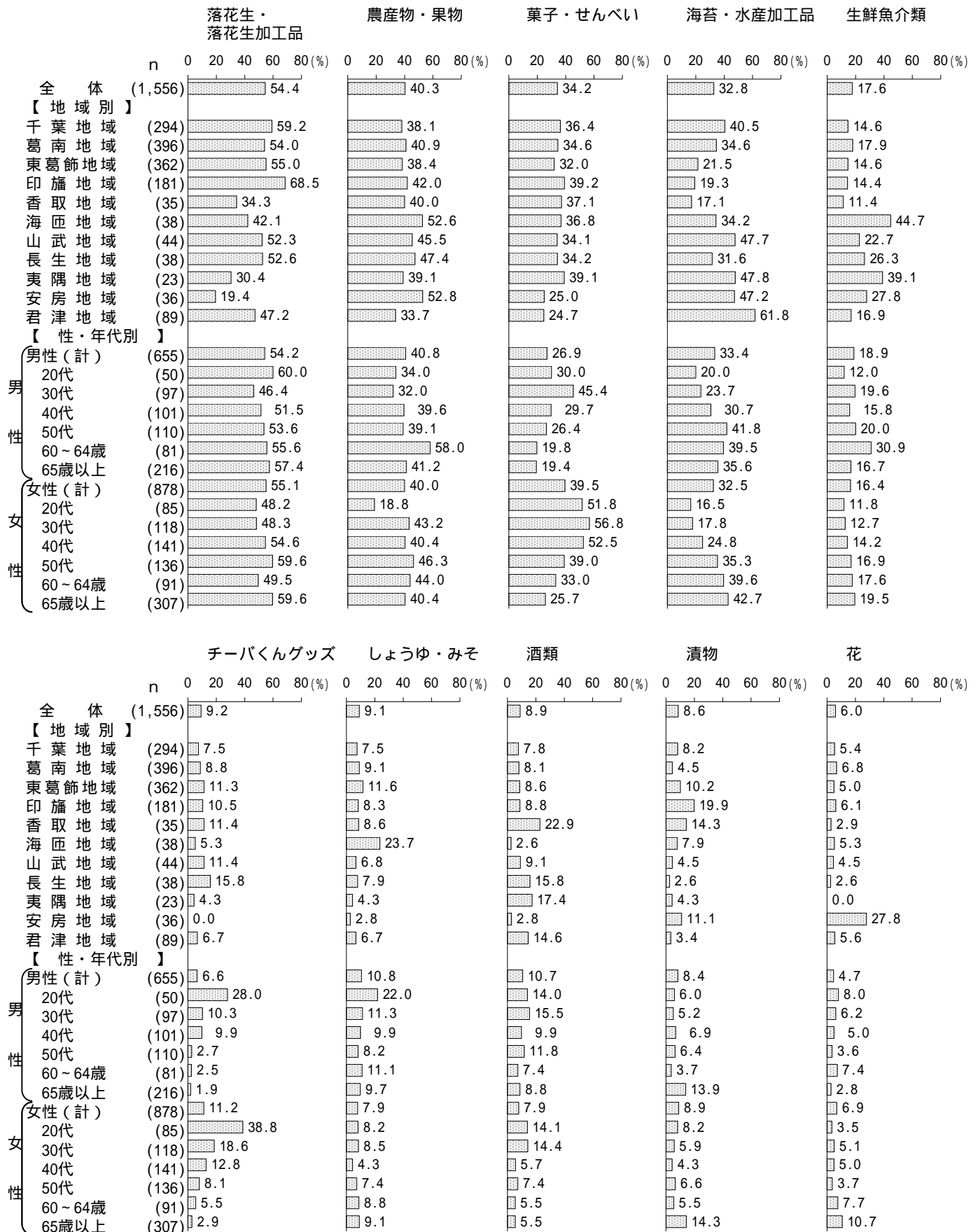
地域別にみると、「落花生・落花生加工品」は“ 印旛地域 ”( 68.5% ) が約 7 割で他の地域に比べて高くなっている。「農産物・果物」は“ 安房地域 ”( 52.8% ) “ 海匠地域 ”( 52.6% ) が 5 割を超え、「海苔・水産加工品」は“ 君津地域 ”( 61.8% ) が 6 割を超えて他の地域に比べて高くなっている。

( 図表 4 - 10 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「落花生・落花生加工品」は男性の 20 代( 60.0% ) が 6 割、女性の 50 代( 59.6% ) 、 65 歳以上( 59.6% ) 男性の 65 歳以上( 57.4% ) が約 6 割で他の年代に比べて高くなっている。「農産物・果物」は男性の 60 ～ 64 歳( 58.0% ) が約 6 割、「菓子・せんべい」で女性の 30 代( 56.8% ) が 5 割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。( 図表 4 - 10 )

<図表4 - 10> 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの、性・年代別（上位10項目）



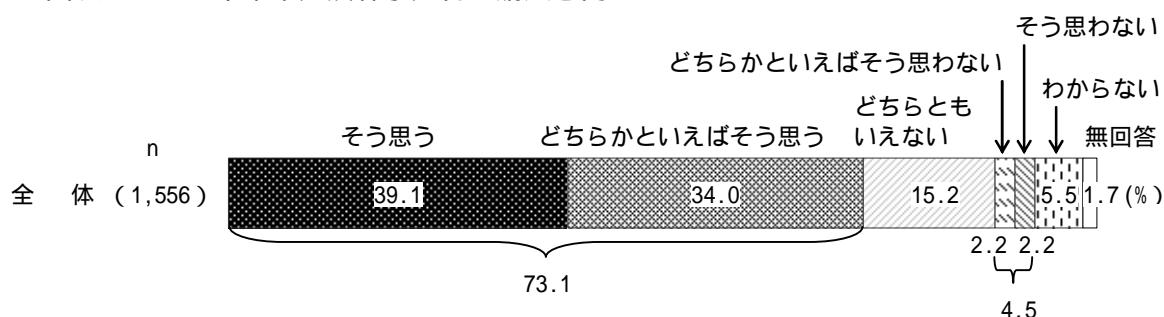
## 5 千葉県の農林水産物について

### (1) 千葉県産農林水産物の購入意向

『そう思う』は7割台半ば

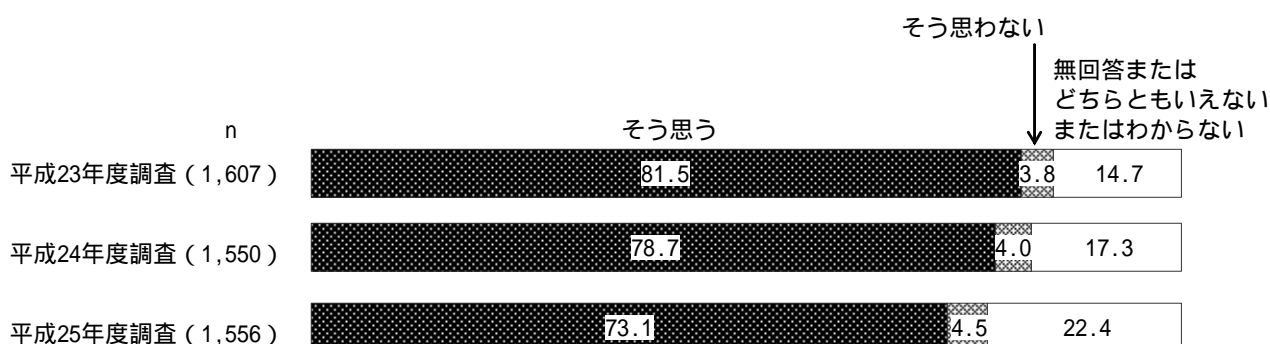
問23 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。( は1つ)

<図表5-1> 千葉県産農林水産物の購入意向



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(39.1%)が約4割で最も高く、「どちらかといえばそう思う」(34.0%)は3割を超える。これらを合わせた『そう思う』(73.1%)は7割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(2.2%)と「そう思わない」(2.2%)を合わせた『そう思わない』(4.5%)は1割未満になっている。(図表5-1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



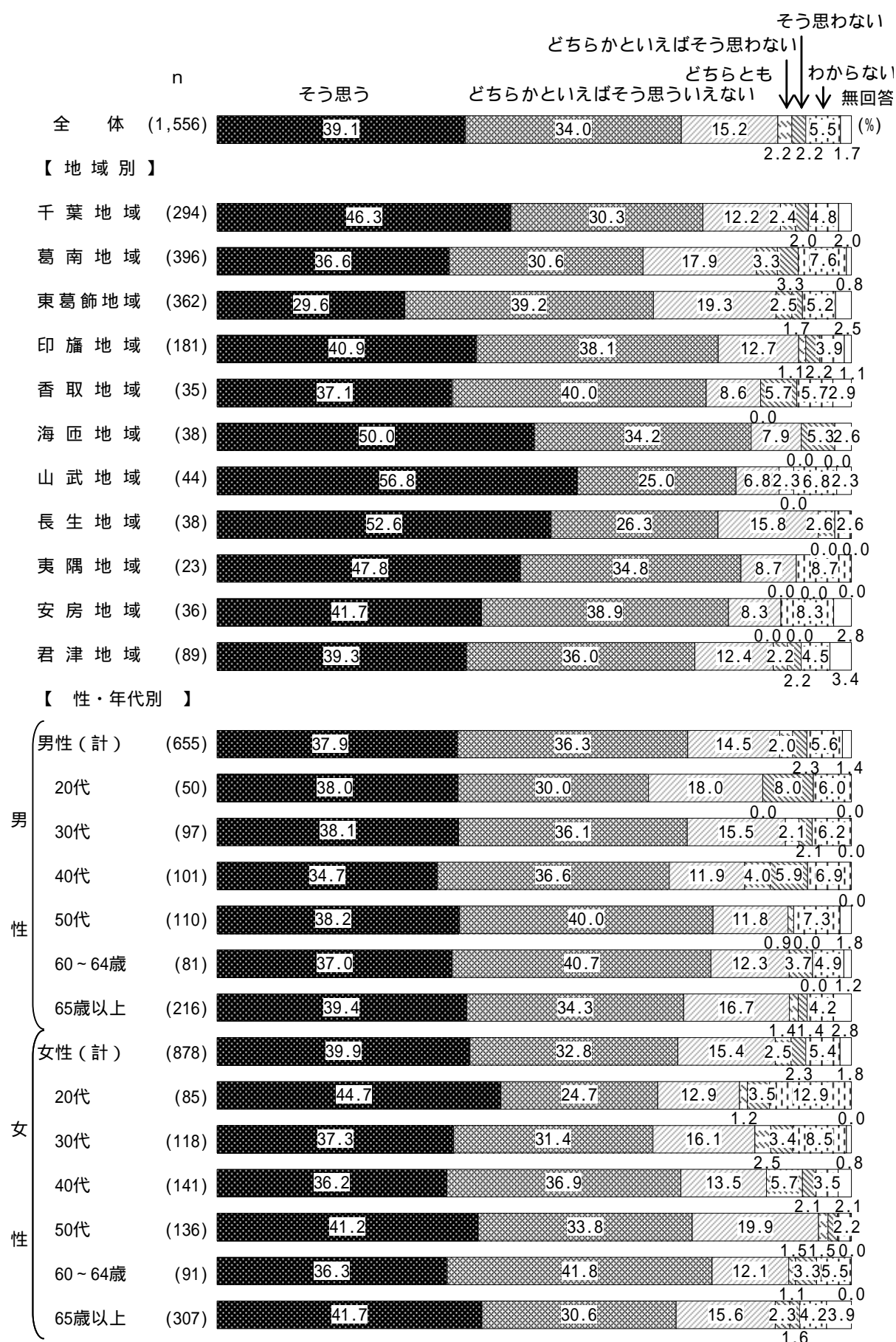
#### 【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は「海匝地域」(84.2%)、「夷隅地域」(82.6%)、「山武地域」(81.8%)、「安房地域」(80.6%)が8割以上で他の地域に比べて高くなっている。(図表5-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の50代(78.2%)と女性の60~64歳(78.0%)、男性の60~64歳(77.8%)が約8割で他の年代に比べて高くなっている。(図表5-2)

<図表5 - 2> 千葉県産農林水産物の購入意向 / 地域別、性・年代別

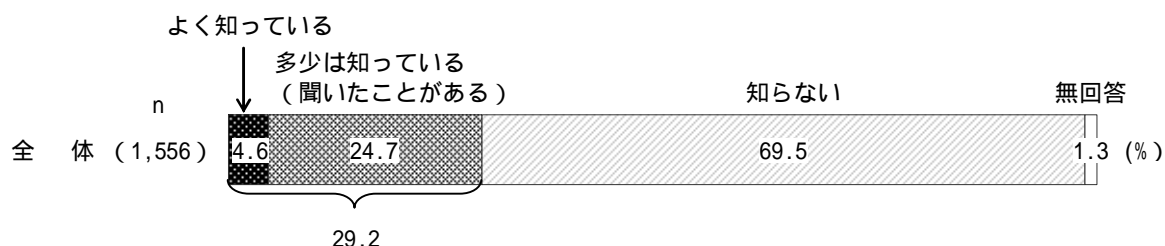


## (2)「ちばエコ農産物」の認知度

『知っている』は約3割

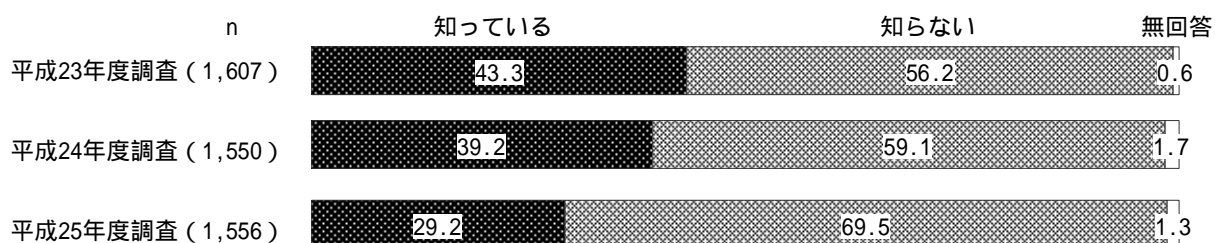
問24 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以上に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。( 1は1つ )

<図表5 - 3> 「ちばエコ農産物」の認知度



「ちばエコ農産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(4.6%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(24.7%)を合わせた『知っている』(29.2%)は約3割となっている。一方、「知らない」(69.5%)は約7割となっている。(図表5 - 3)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



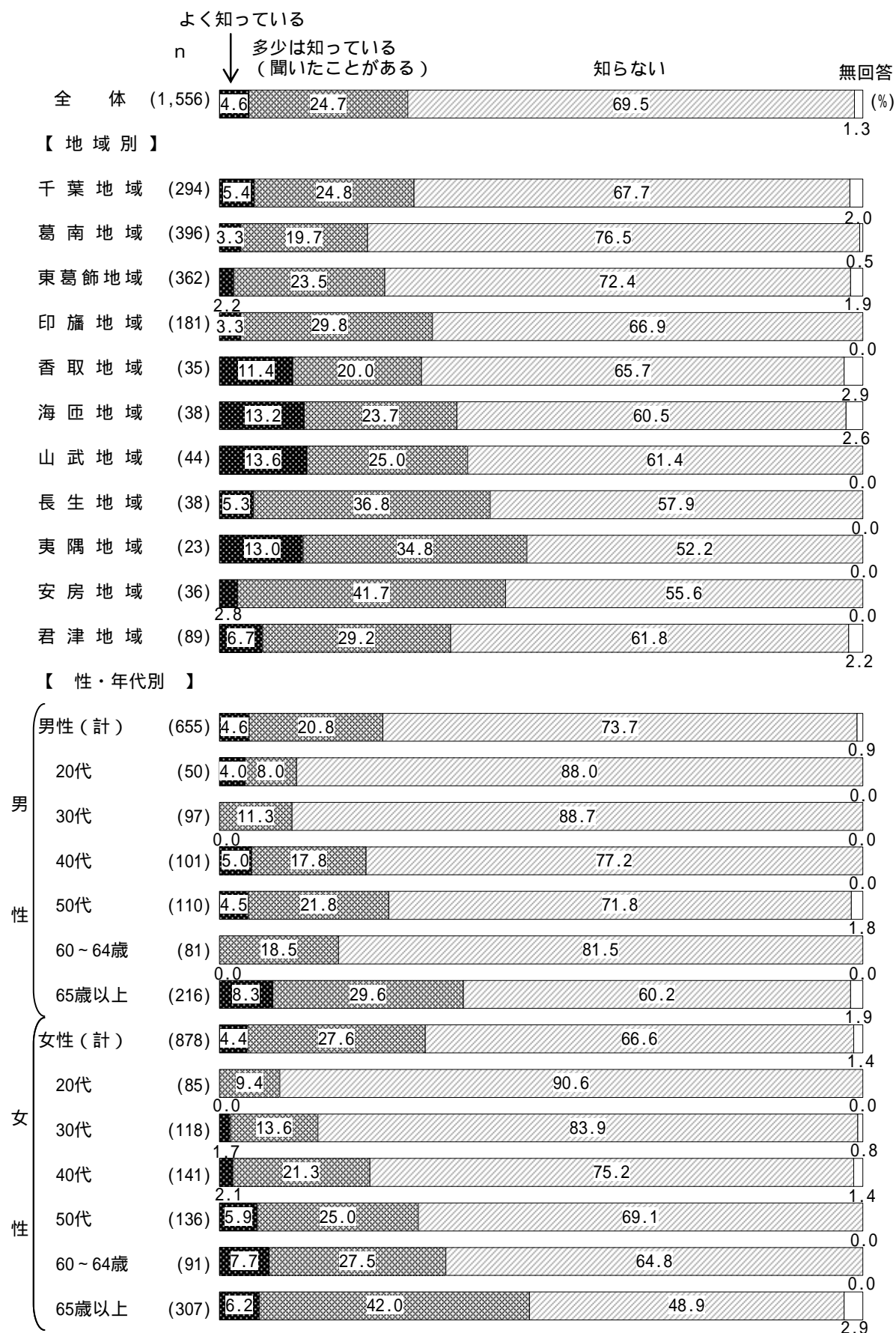
### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(47.8%)が約5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表5 - 4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(48.2%)が約5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表5 - 4)

<図表5 - 4> 「ちばエコ農産物」の認知度／地域別、性・年代別

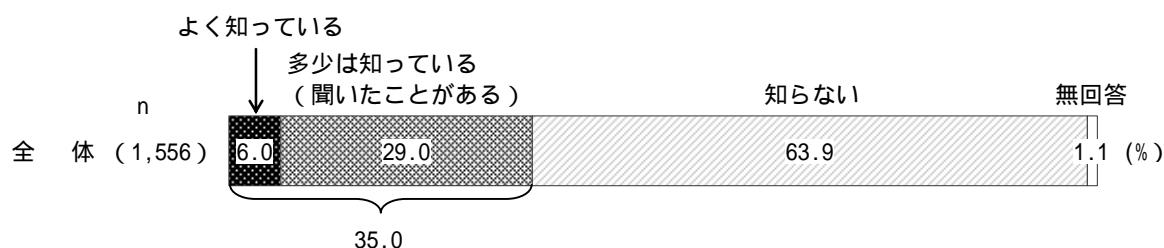


### (3)「千葉ブランド水産物」の認知度

『知っている』は3割台半ば

問25 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。( は1つ)

<図表5 - 5>「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(6.0%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(29.0%)を合わせた『知っている』(35.0%)は3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(63.9%)は6割台半ばとなっている。(図表5 - 5)

〔参考〕平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



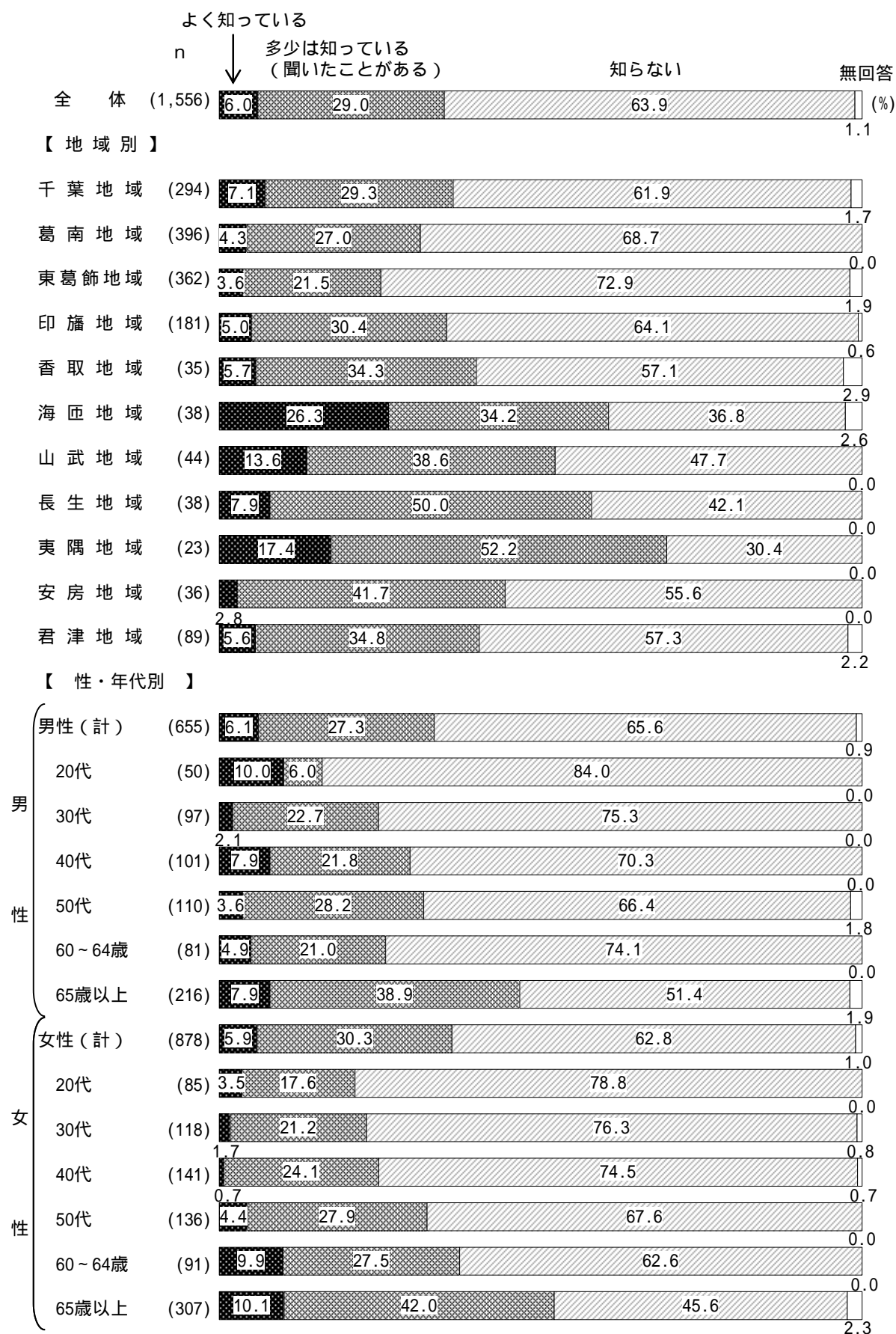
#### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(69.6%)が約7割、“海匠地域”(60.5%)が6割で他の地域に比べて高くなっている。(図表5 - 6)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男女ともにおおむね年代が上がるほど認知度が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(52.1%)が5割を超え、男性の65歳以上(46.8%)が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表5 - 6)

<図表5 - 6> 「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別





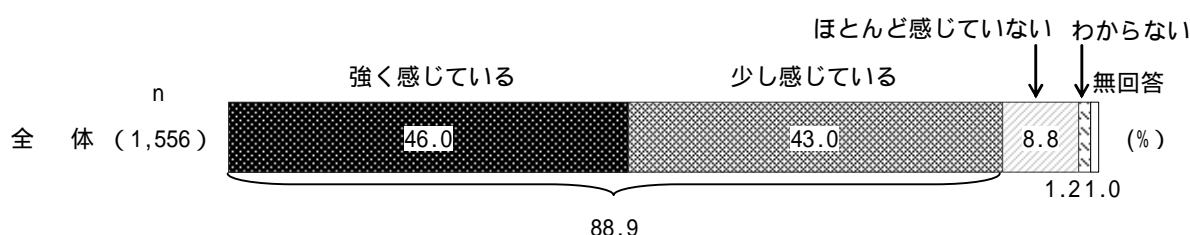
## 6 防災に関する取り組みについて

### (1) 大地震や風水害への不安

『感じている』が約9割

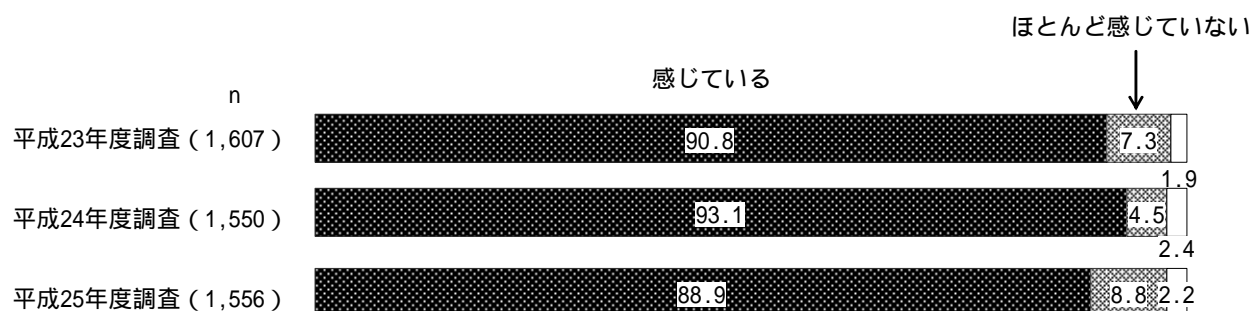
問26 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、近年、記録的な大雨や台風などにより国内では浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。( は1つ)

<図表6-1>大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」(46.0%)と「少し感じている」(43.0%)を合わせた『感じている』(88.9%)は約9割となっている。一方、「ほとんど感じていない」(8.8%)は約1割である。(図表6-1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



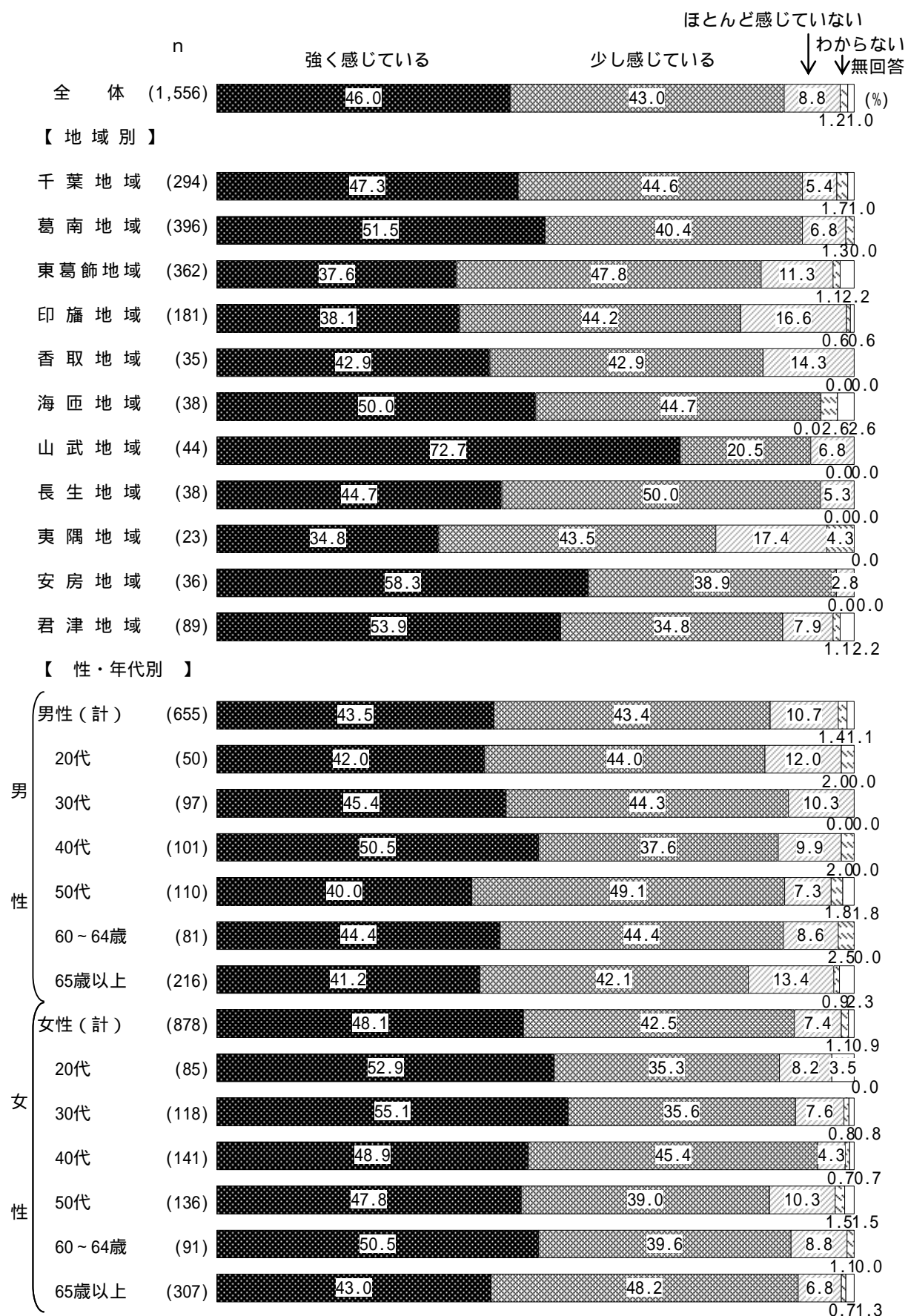
#### 【地域別】

地域別にみると、『感じている』は“夷隅地域”(78.3%)以外のすべての地域で8割以上となっている。(図表6-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『感じている』は全ての年代で8割以上となっている。女性では、20代(88.2%)、50代(86.8%)以外のすべての年代で9割以上となっている。(図表6-2)

<図表6 - 2>大地震や風水害への不安 / 地域別、性・年代別

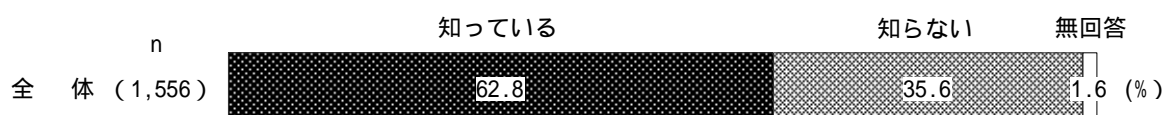


## (2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度

「知っている」が6割を超えている

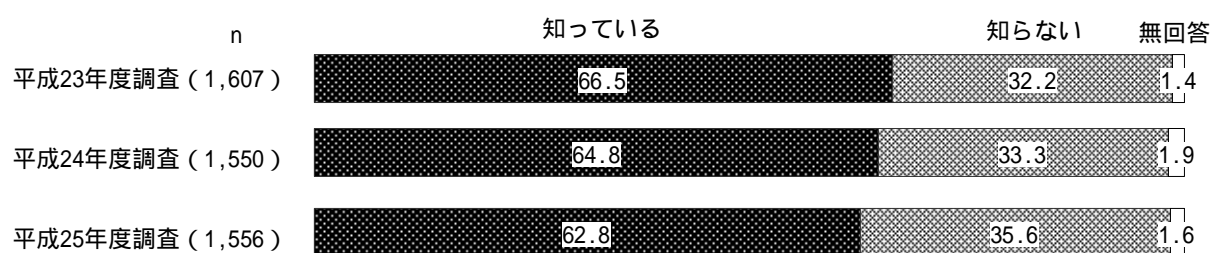
問27 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。( は1つ)

<図表6-3> 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度



「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度を聞いたところ、「知っている」(62.8%)が6割を超えている。一方、「知らない」(35.6%)は3割台半ばとなっている。(図表6-3)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



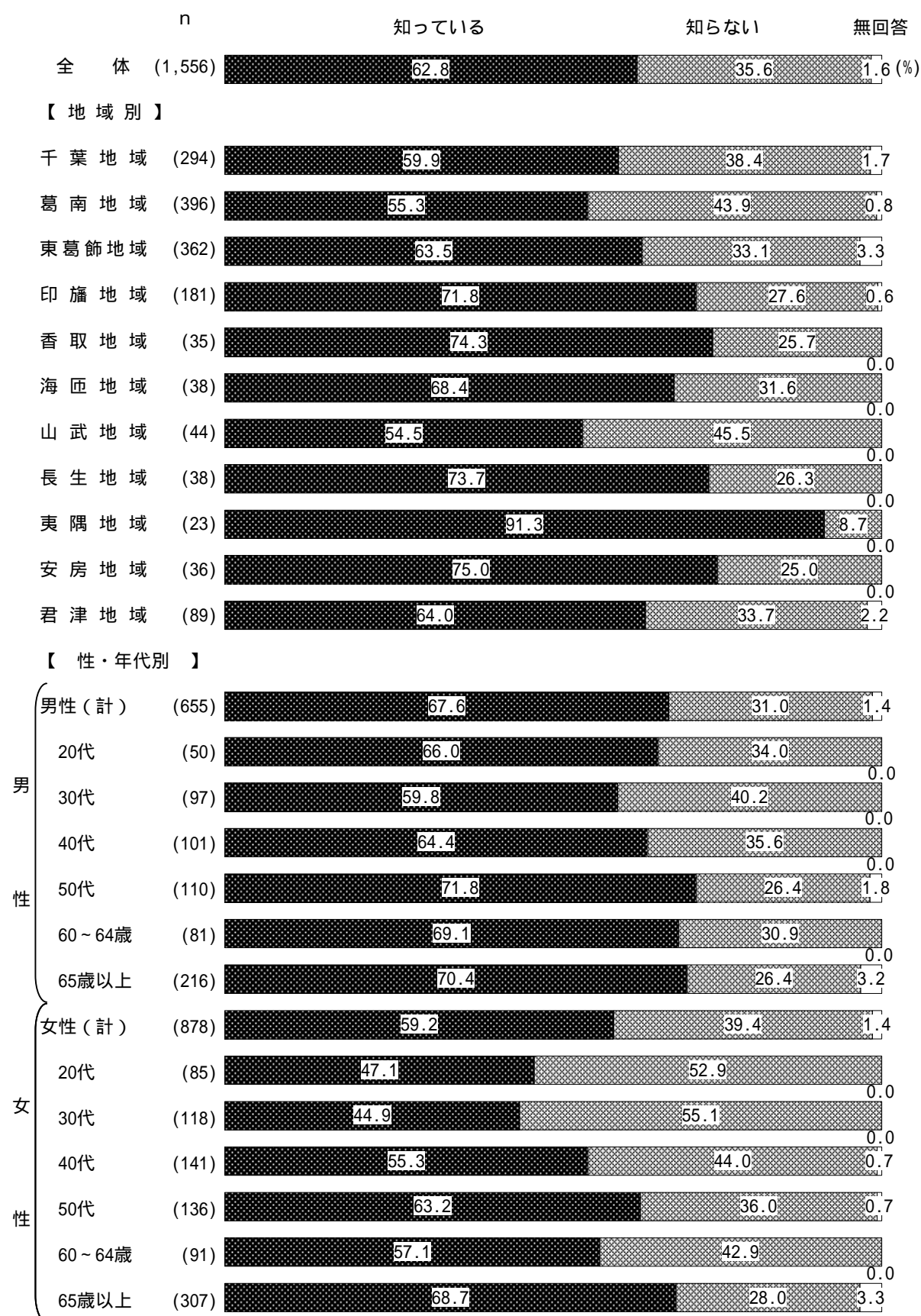
### 【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“夷隅地域”(91.3%)が9割を超え他の地域に比べて高くなっている。(図表6-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の50代(71.8%)、男性の65歳以上(70.4%)が7割以上で他の年代に比べて高くなっている。(図表6-4)

<図表6 - 4> 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度／地域別、性・年代別

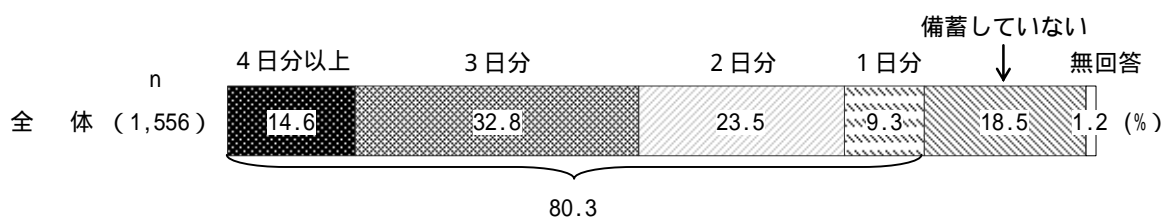


### ( 3 ) 飲料水や食料の備蓄状況

『備蓄している』は 8 割

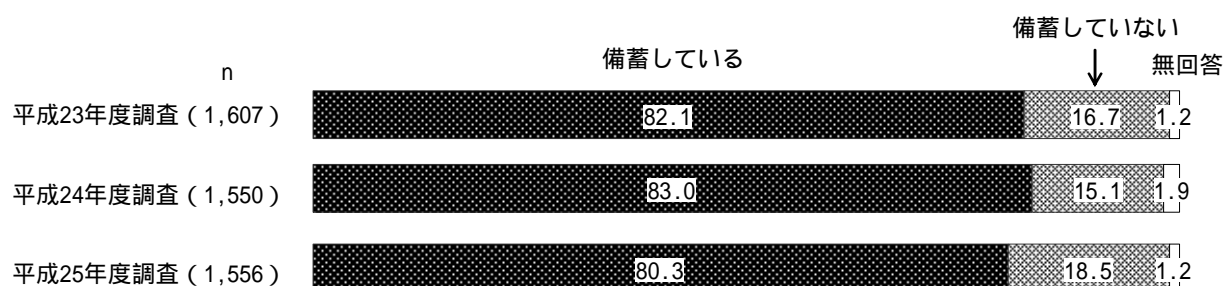
問28 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫等にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。( 1 は 1 つ )

< 図表 6 - 5 > 飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「3 日分」( 32.8% ) が 3 割を超え、「2 日分」( 23.5% ) は 2 割台半ば、「4 日分以上」( 14.6% ) は 1 割台半ば、「1 日分」( 9.3% ) は約 1 割となっており、この 4 つを合わせた『備蓄している』( 80.3% ) は 8 割となっている。「備蓄していない」( 18.5% ) は約 2 割となっている。( 図表 6 - 5 )

〔参考〕平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果との比較 ( 単位 : % )



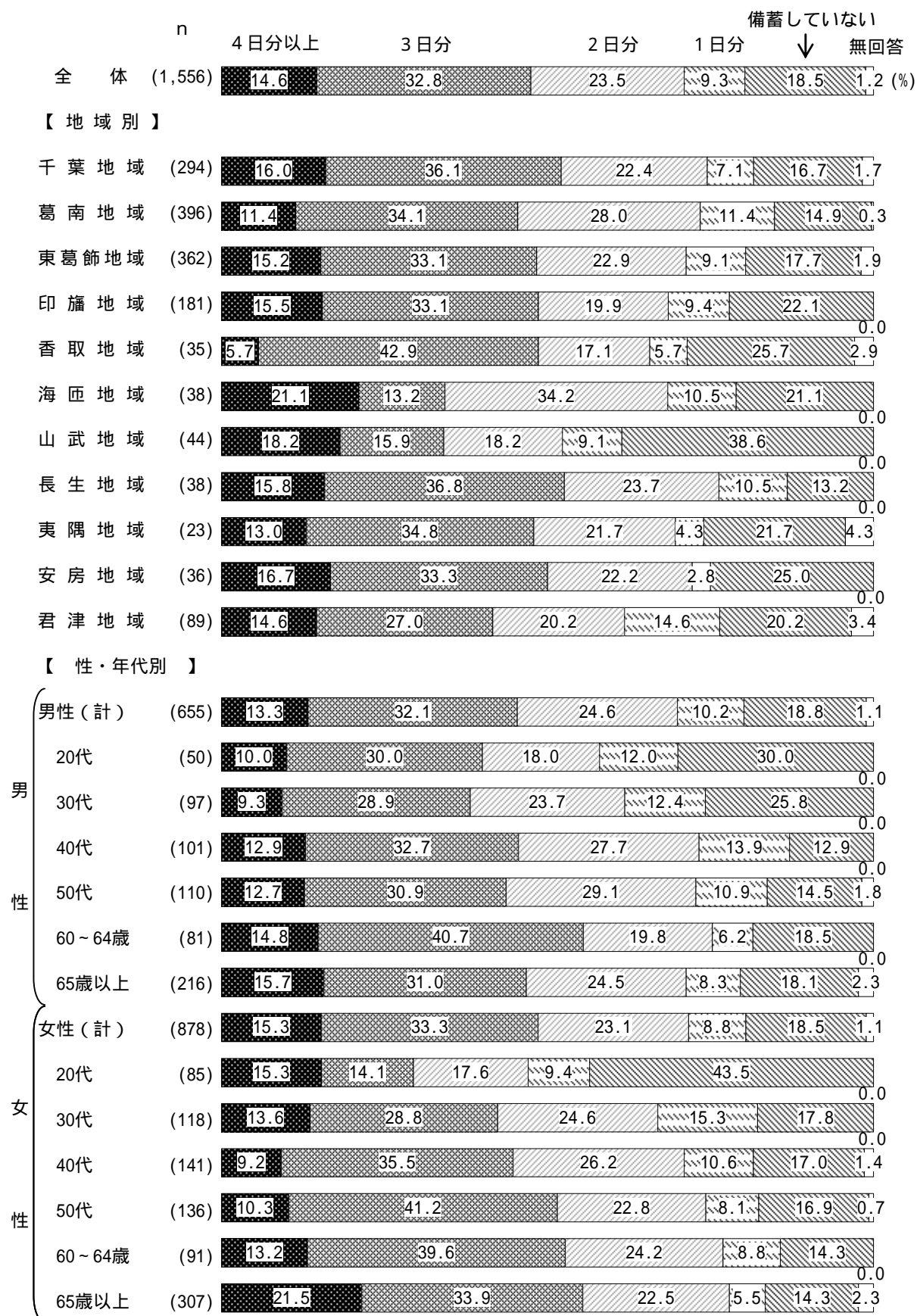
#### 【地域別】

地域別にみると、「備蓄していない」は“山武地域”( 38.6% ) が約 4 割で他の地域に比べて高くなっている。( 図表 6 - 6 )

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「備蓄していない」は女性の 20 代( 43.5% ) が 4 割台半ば、男性の 20 代( 30.0% ) が 3 割で他の年代に比べて高くなっている。( 図表 6 - 6 )

<図表 6 - 6> 飲料水や食料の備蓄状況 / 地域別、性・年代別



## ( 4 ) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

「知っている」は約 6 割

問29 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。東日本大震災でも、使用できなくなりました。

あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

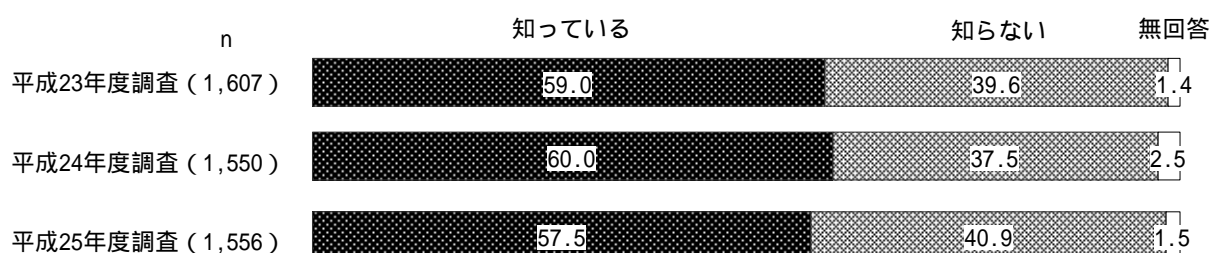
（ は 1 つ ）

< 図表 6 - 7 > 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度



災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度を聞いたところ、「知っている」( 57.5% )は約 6 割となっている。一方、「知らない」( 40.9% )は 4 割となっている。( 図表 6 - 7 )

〔 参考 〕 平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果との比較 ( 単位 : % )



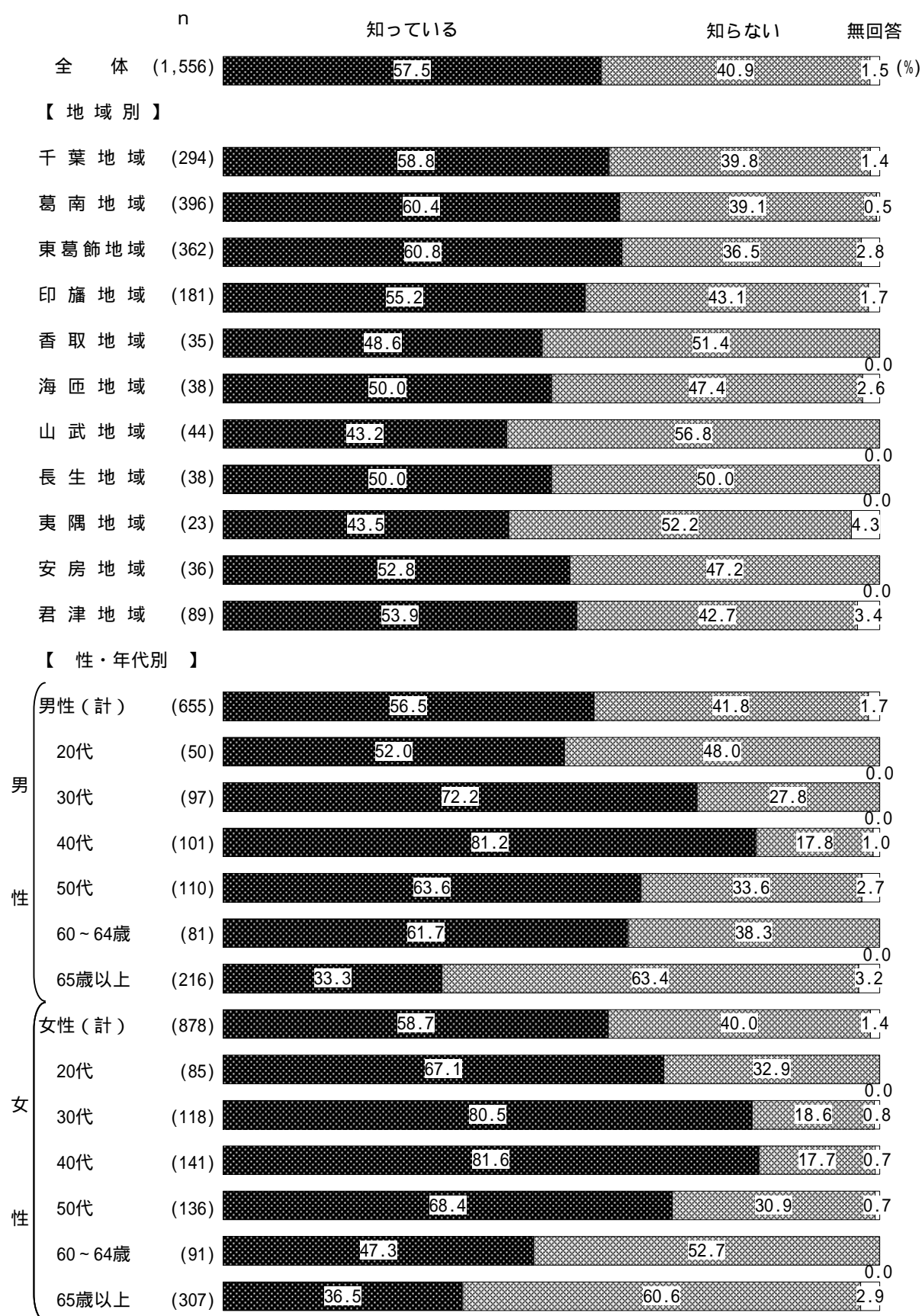
### 【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“ 東葛飾地域 ”( 60.8% ) “ 葛南地域 ”( 60.4% ) が 6 割で他の地域に比べて高くなっている。( 図表 6 - 8 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の 40 代 ( 81.6% ) 男性の 40 代 ( 81.2% ) 女性の 30 代 ( 80.5% ) が 8 割以上で他の年代に比べて高くなっている。( 図表 6 - 8 )

<図表6 - 8> 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 / 地域別、性・年代別





## ( 5 ) 地震の被害を防ぐための対策

「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約 6 割

問30 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか。（行う予定ですか）（ はいいくつでも）

< 図表 6 - 9 > 地震の被害を防ぐための対策（複数回答）



注 ) ( ) の数字は平成 24 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,550

地震の被害を防ぐための対策を聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（58.1%）が約 6 割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」（51.3%）が 5 割を超え、「住宅（昭和 5 6 年以前に建築されたもの）の耐震化」（9.4%）と「住宅の建替え（昭和 5 7 年以降）」（8.4%）が約 1 割と続いている。（図表 6 - 9）

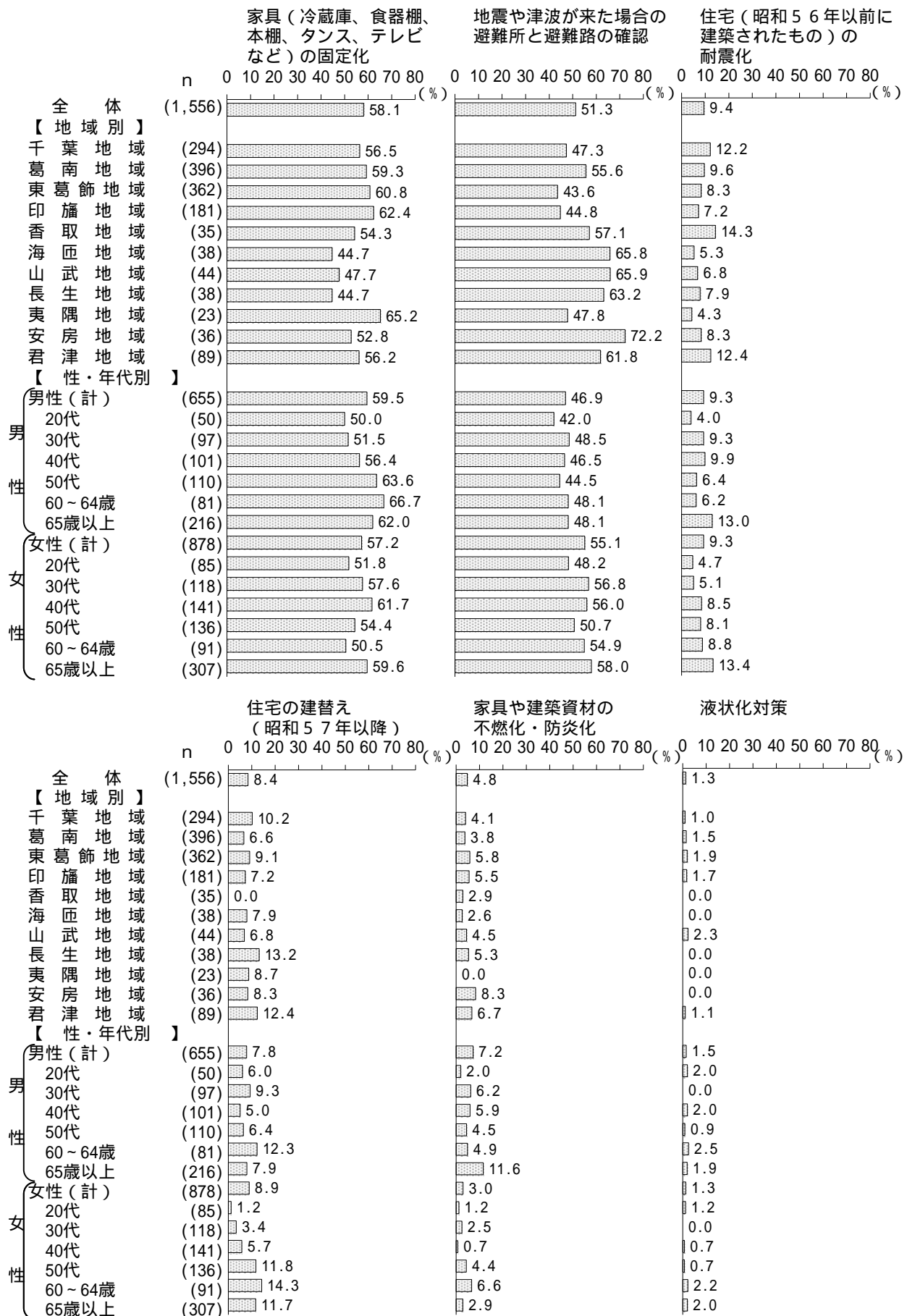
### 【地域別】

地域別にみると、「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」は“安房地域”（72.2%）が 7 割を超え、他の地域に比べて高くなっている。（図表 6 - 10）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は男性の 60 ~ 64 歳（66.7%）が 50 代（63.6%）6 割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」は女性の 65 歳以上（58.0%）が約 6 割で他の年代に比べて高くなっている。（図表 6 - 10）

<図表6 - 10> 地震の被害を防ぐための対策／地域別、性・年代別



## 7 地方分権について

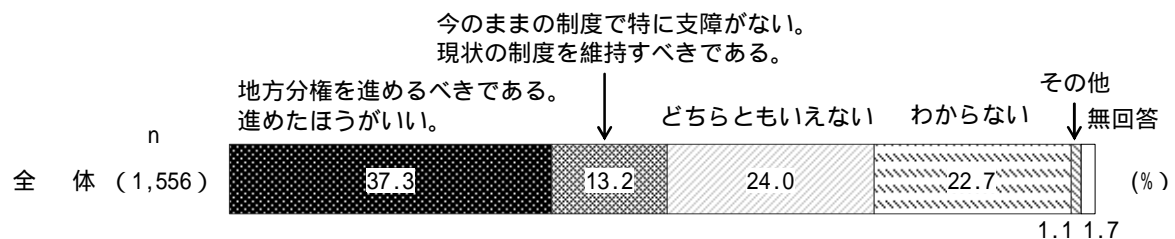
### (1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は約4割

問31 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。

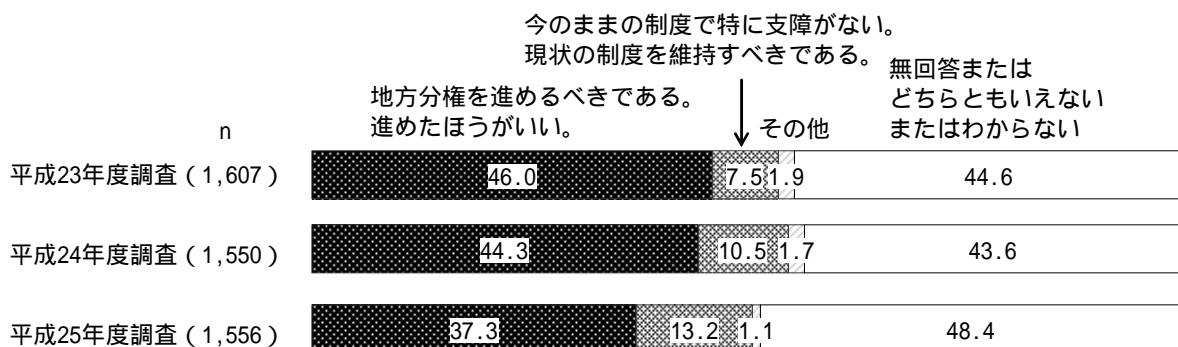
( は1つ )

<図表7-1> 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か



地方分権を今後さらに進めていくべきかどうかを聞いたところ、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」(37.3%)は約4割で、「今のままの制度で支障がない。現状の制度を維持すべきである」(13.2%)は1割台半ばとなっている。「どちらともいえない」(24.0%)は2割台半ば、「わからない」(22.7%)は2割を超えている。(図表7-1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



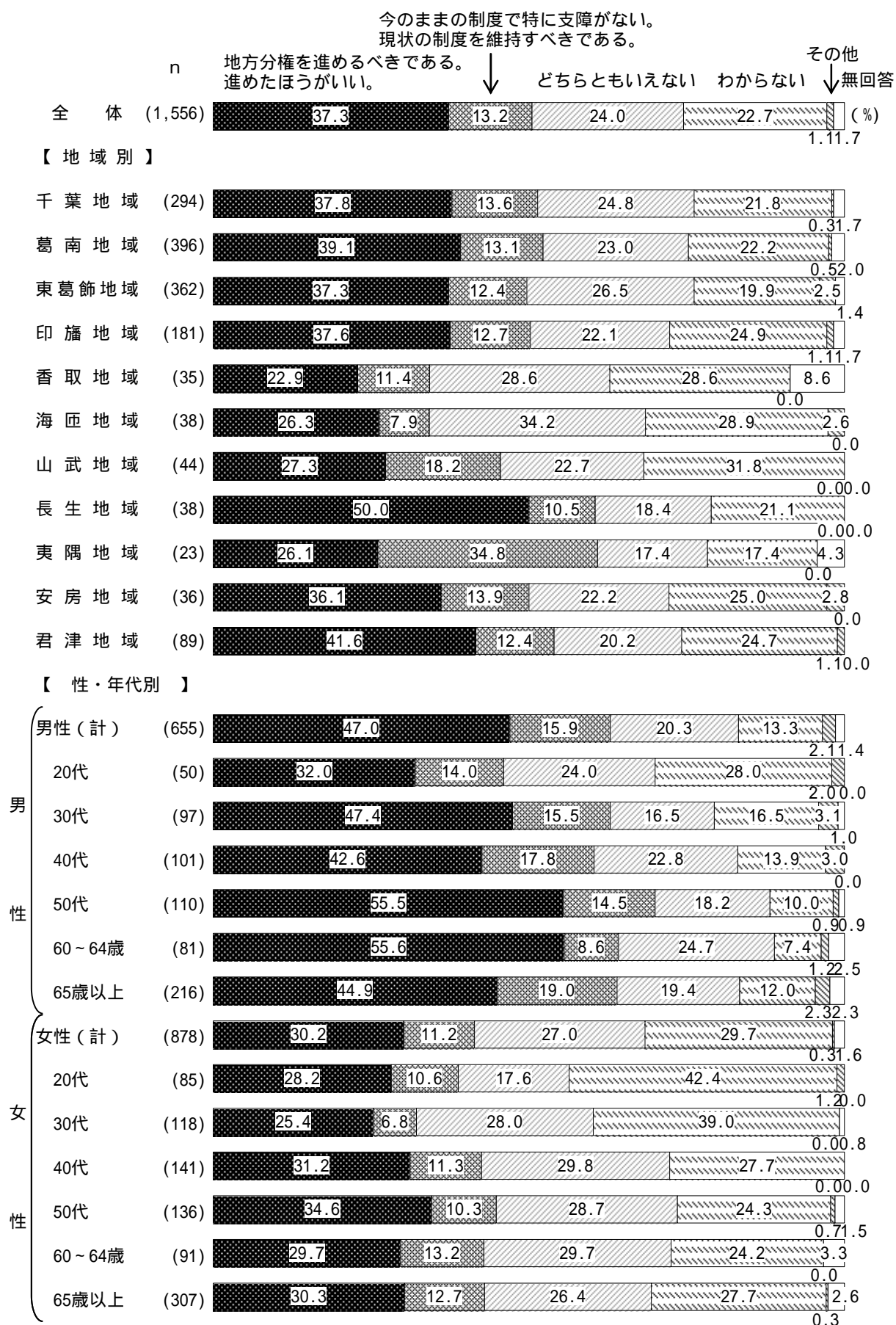
#### 【地域別】

地域別にみると、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は“長生地域”(50.0%)が5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表7-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は男性の60～64歳(55.6%)、男性の50代(55.5%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表7-2)

<図表 7 - 2> 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か / 地域別、性・年代別

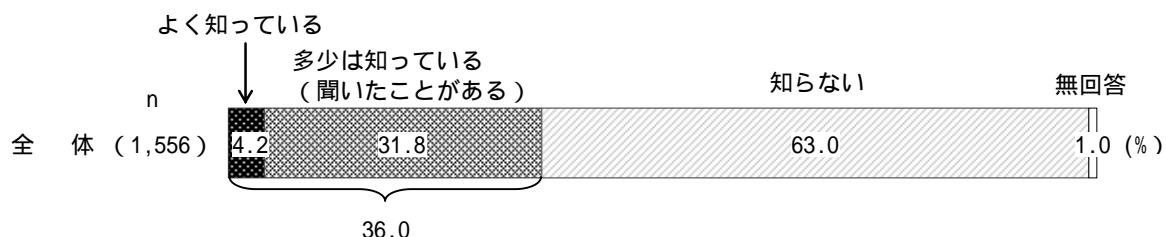


## (2) 「地方分権」による基準変更の認知度

『知っている』は3割台半ば

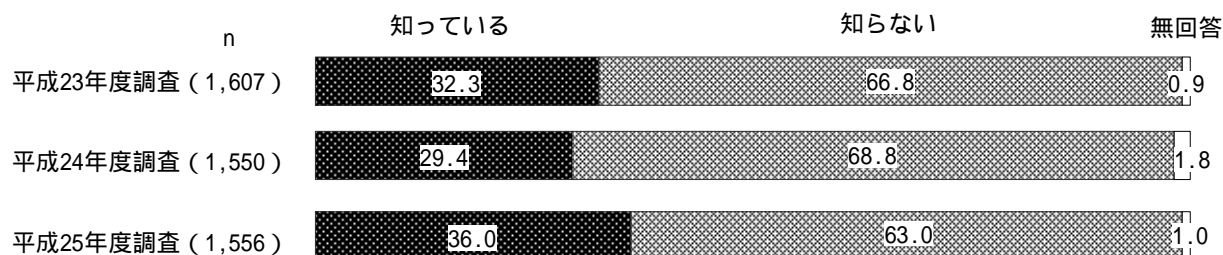
問32 平成23年度に公布された地方分権の法律により、今まで国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知っていますか。( は1つ)

<図表7-3> 「地方分権」による基準変更の認知度



今まで国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知ってるかを聞いたところ、「よく知っている」(4.2%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(31.8%)を合わせた『知っている』(36.0%)は3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(63.0%)は6割台半ばである。(図表7-3)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



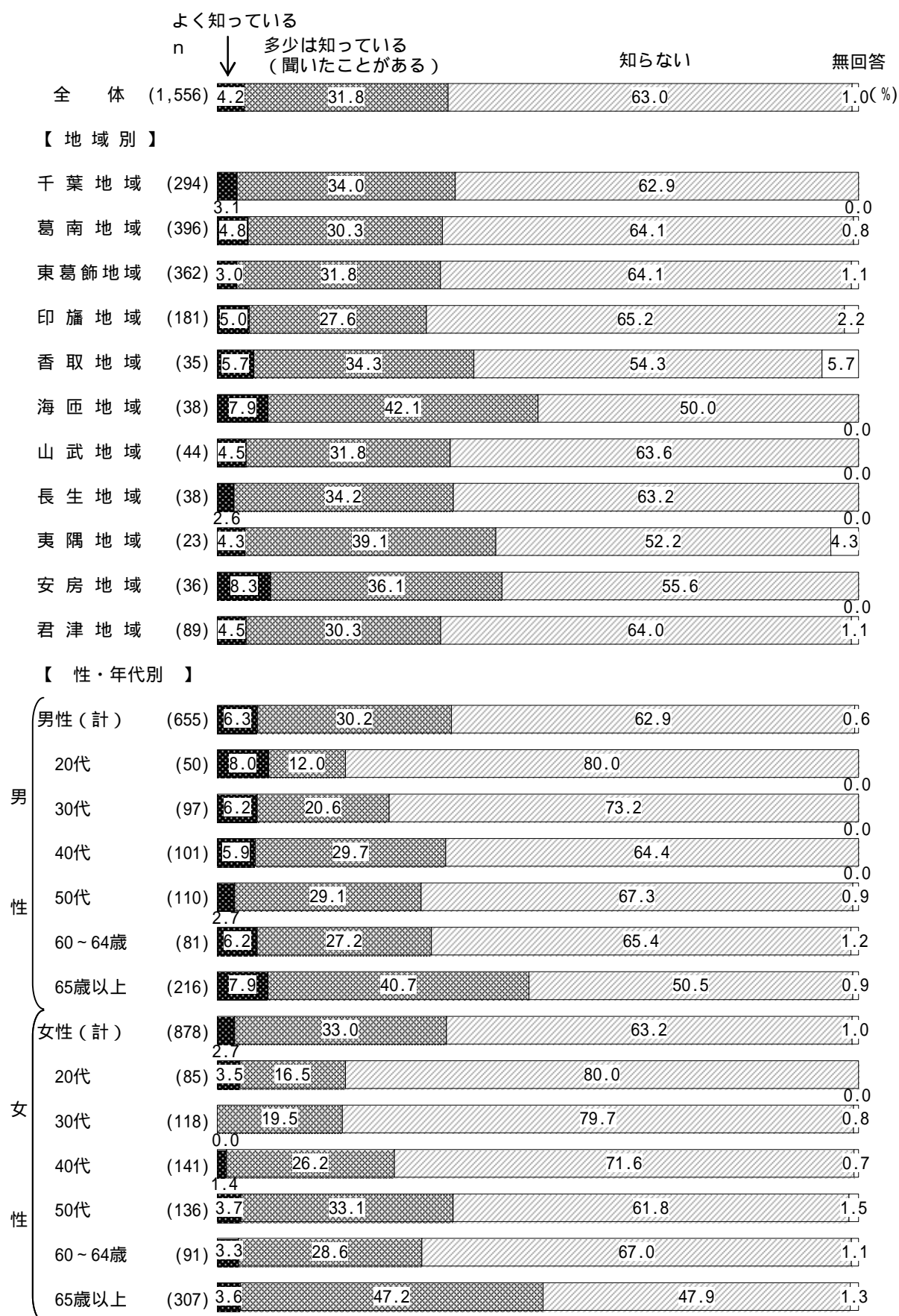
### 【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“海匠地域”(50.0%)が5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表7-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(50.8%)が5割、男性の65歳以上(48.6%)が約5割で他の年代に比べて高くなっている。(図表7-4)

<図表7 - 4> 「地方分権」による基準変更の認知度／地域別、性・年代別



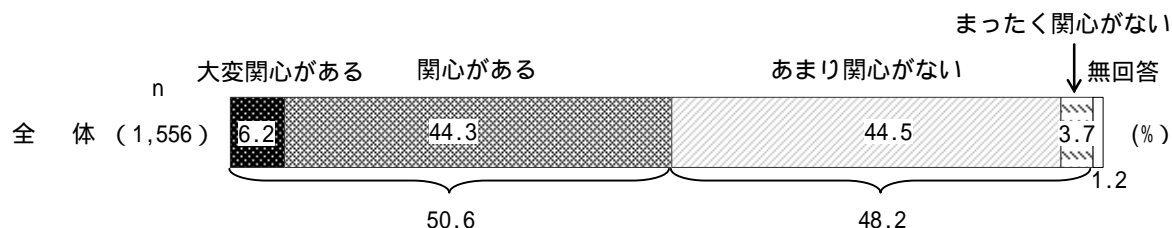
## 8 広報・広聴活動について

### (1) 県の施策や政策などについての関心度

『関心がある』は5割

問33 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。( は1つ)

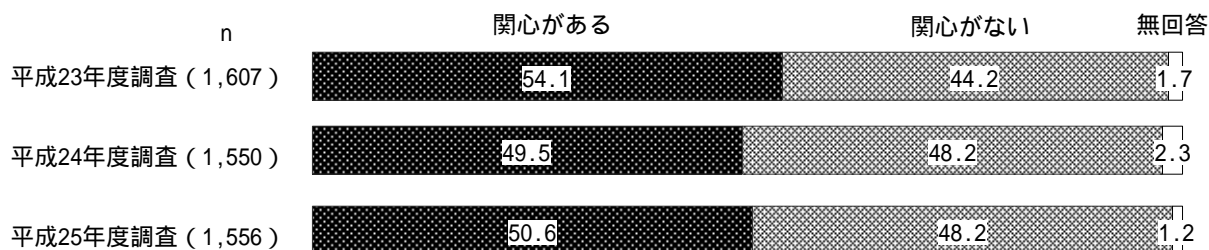
<図表8-1> 県の施策や政策などについての関心度



県の施策や政策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(6.2%)と「関心がある」(44.3%)を合わせた『関心がある』(50.6%)は5割である。一方、「あまり関心がない」(44.5%)と「まったく関心がない」(3.7%)を合わせた『関心がない』(48.2%)も約5割となっている。

(図表8-1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



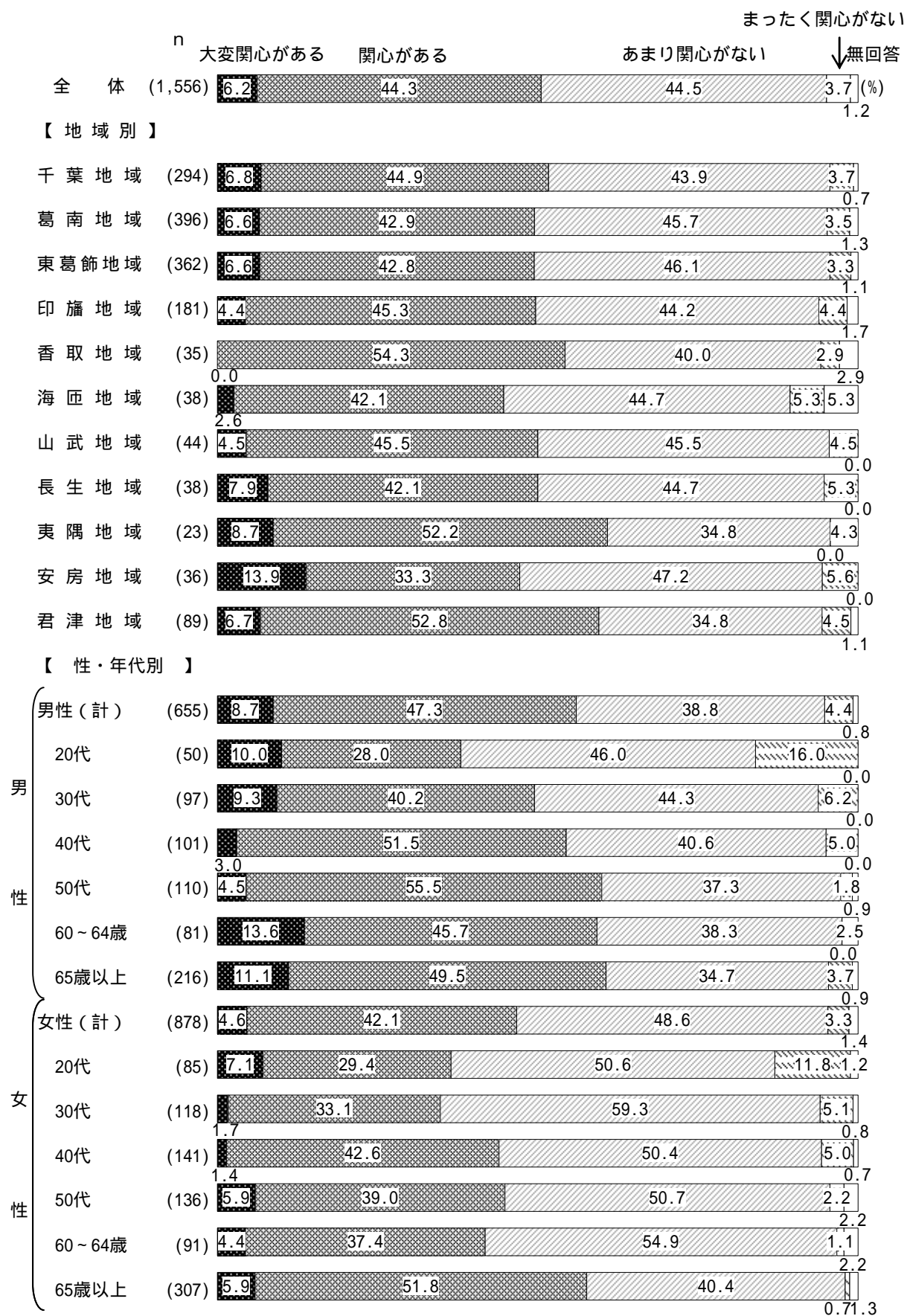
#### 【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“夷隅地域”(60.9%)が6割、“君津地域”(59.6%)が約6割で他の地域に比べて高くなっている。(図表8-2)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がない』は女性の30代(64.4%)が6割台半ば、女性の20代(62.4%)、男性の20代(62.0%)が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表8-2)

<図表8 - 2> 県の施策や政策などについての関心度 / 地域別、性・年代別



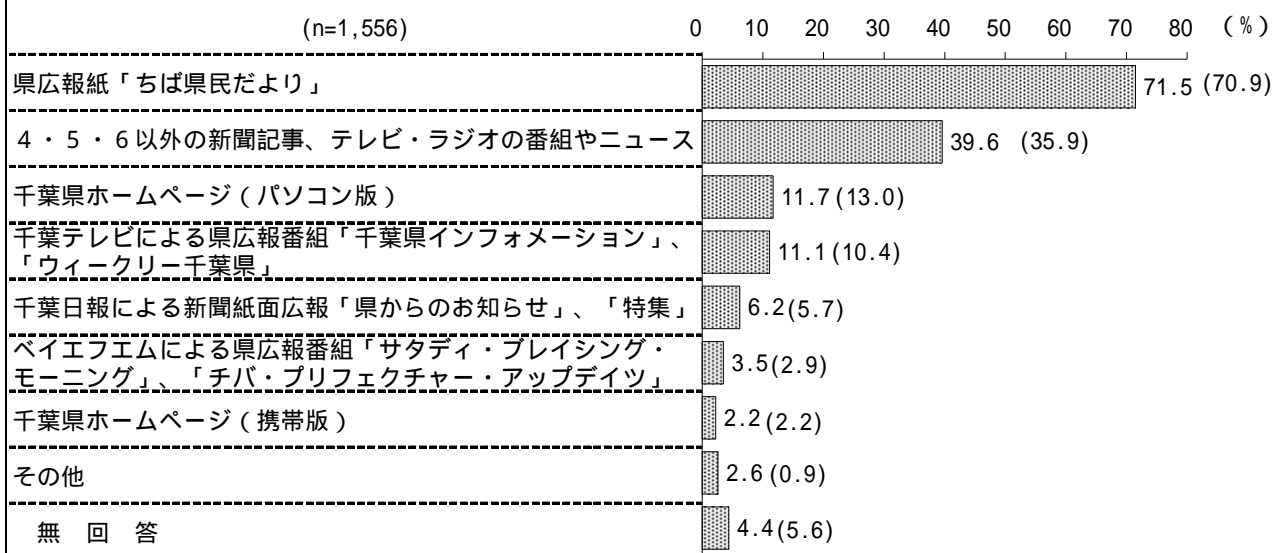


## ( 2 ) 県政に関する情報を得る手段

「県広報紙『ちば県民だより』」が7割を超える

問34 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。( はいくつでも )

< 図表 8 - 3 > 県政に関する情報を得る手段 ( 複数回答 )



注)( )の数字は平成24年度の同様の項目による調査結果 n = 1,550

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(71.5%)が7割を超えて最も高く、以下、「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(39.6%)が約4割、「千葉県ホームページ(パソコン版)」(11.7%)、「千葉テレビによる県広報番組『千葉県インフォメーション』、『ウィークリー千葉県』」(11.1%)が1割台で続いている。(図表8-3)

(「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、4・5・6とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデート」』を指す)

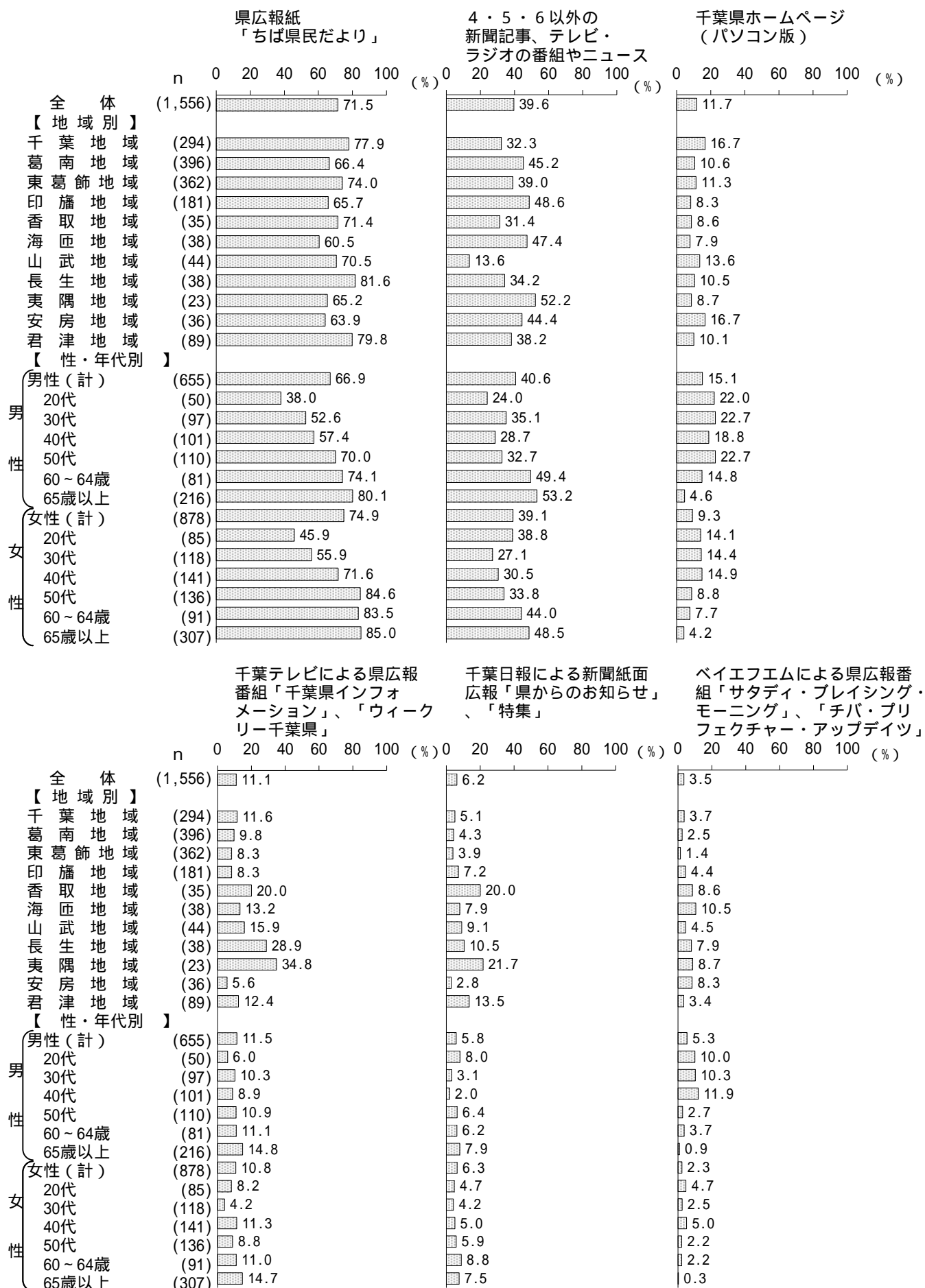
### 【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」はすべての地域で6割以上となっている。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は“夷隅地域”(52.2%)が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表8-4)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は女性の65歳以上(85.0%)・50代(84.6%)・60～64歳(83.5%)、男性の65歳以上(80.1%)が8割以上で他の年代に比べて高くなっている。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上(53.2%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表8-4)

<図表8 - 4> 県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位6項目）

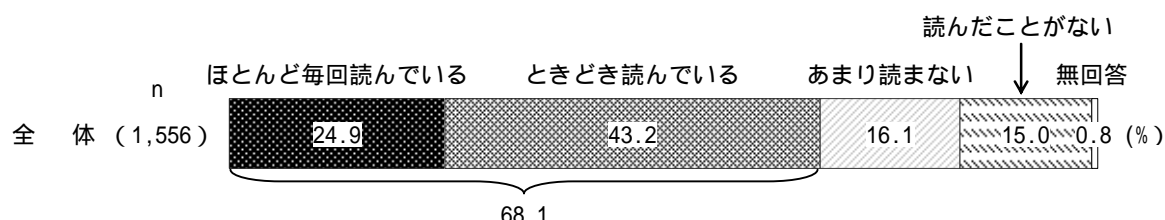


### (3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

『読んでいる』は約7割

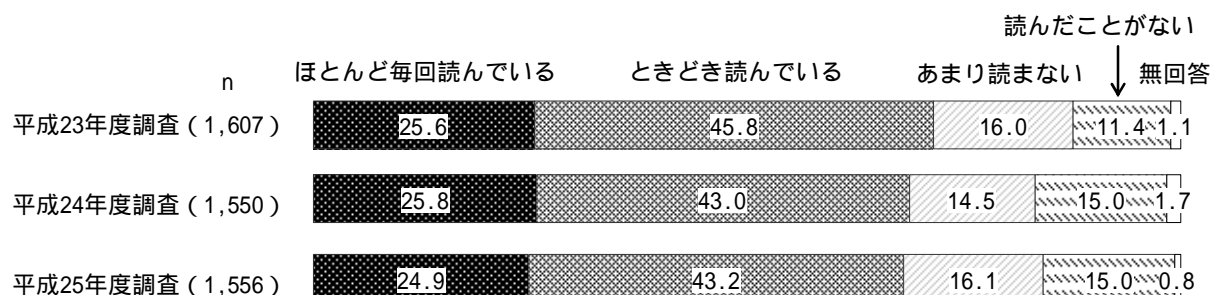
問35 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。( は1つ)

<図表8-5> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(24.9%)は2割台半ばで、「ときどき読んでいる」(43.2%)は4割台半ばで、これらを合わせた『読んでいる』(68.1%)は約7割となっている。一方、「あまり読まない」(16.1%)と「読んだことがない」(15.0%)はともに1割台半ばとなっている。(図表8-5)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



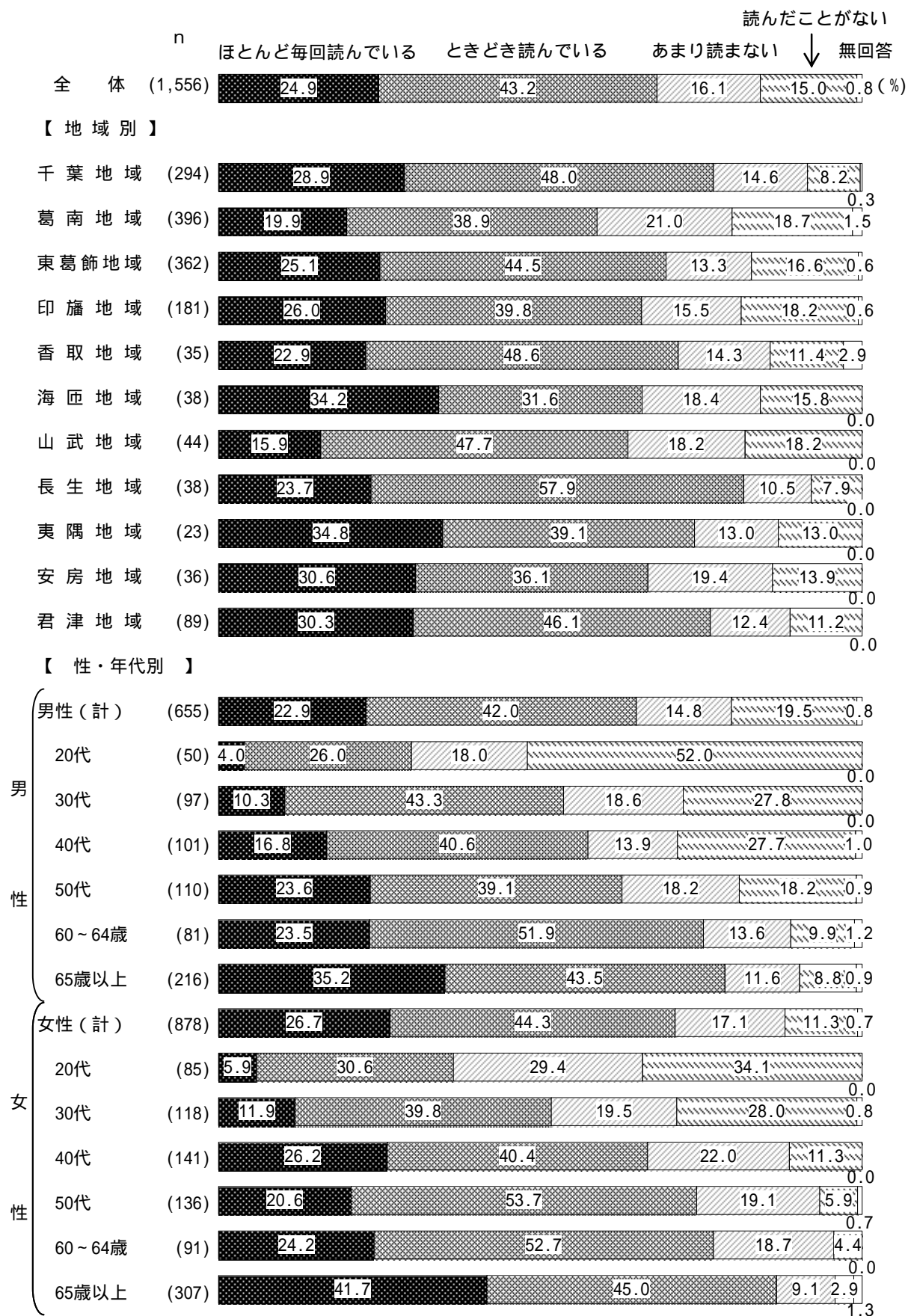
#### 【地域別】

地域別にみると、『読んでいる』は“長生地域”(81.6%)が8割を超え、他の地域に比べて高くなっている。(図表8-6)

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んでいる』は女性の65歳以上(86.6%)が8割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。一方、「読んだことがない」は男性の20代(52.0%)が5割を超え、女性の20代(34.1%)が3割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表8-6)

<図表 8 - 6> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 / 地域別、性・年代別



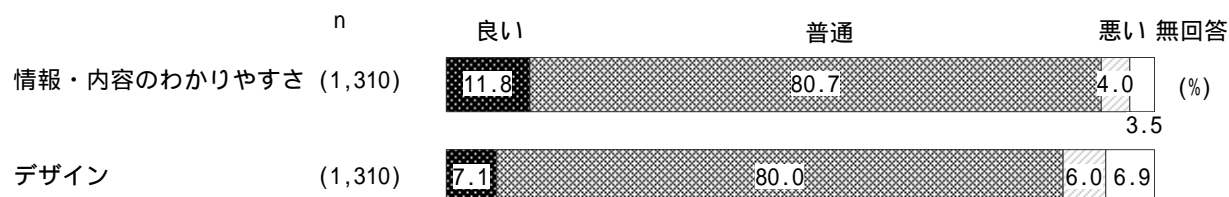
### ( 3 - 1 ) 「ちば県民だより」の内容について

情報・内容のわかりやすさの「良い」は1割超え、デザインの「良い」は約1割

( 問35で「ほとんど毎回読んでいる」「ときどき読んでいる」「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に )

問35 - 1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。( はそれぞれ1つずつ )

< 図表 8 - 7 > 「ちば県民だより」の内容について



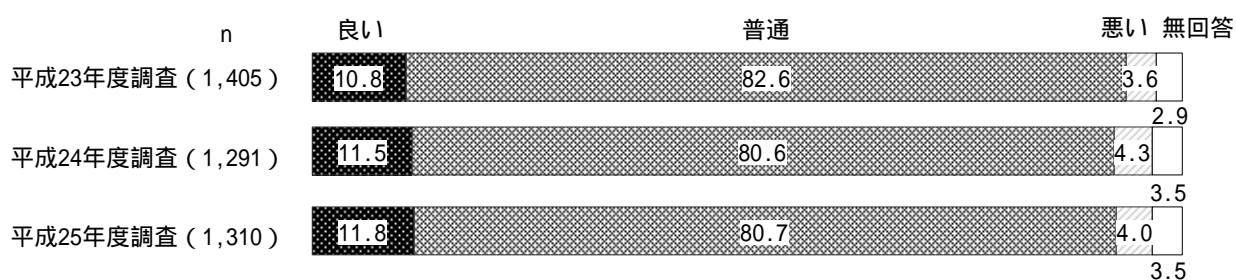
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,310人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、情報・内容のわかりやすさ において、「良い」(11.8%) は1割を超え、「普通」(80.7%) は8割となっている。

デザイン において、「良い」(7.1%) は約1割で、「普通」(80.0%) は8割となっている。

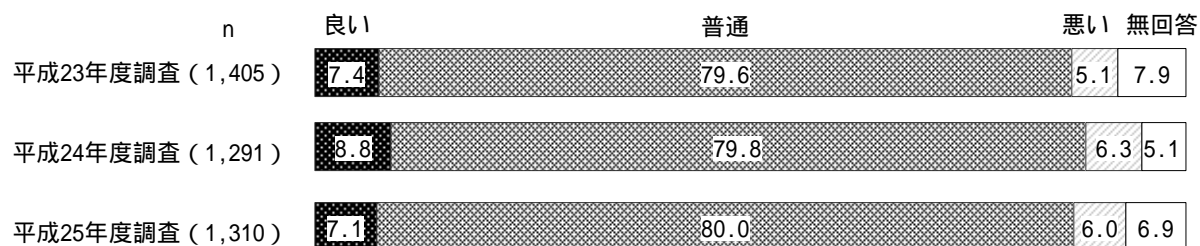
( 図表 8 - 7 )

[ 参考 ] 平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果との比較 ( 単位 : % )

情報・内容のわかりやすさ



デザイン



#### 【地域別】

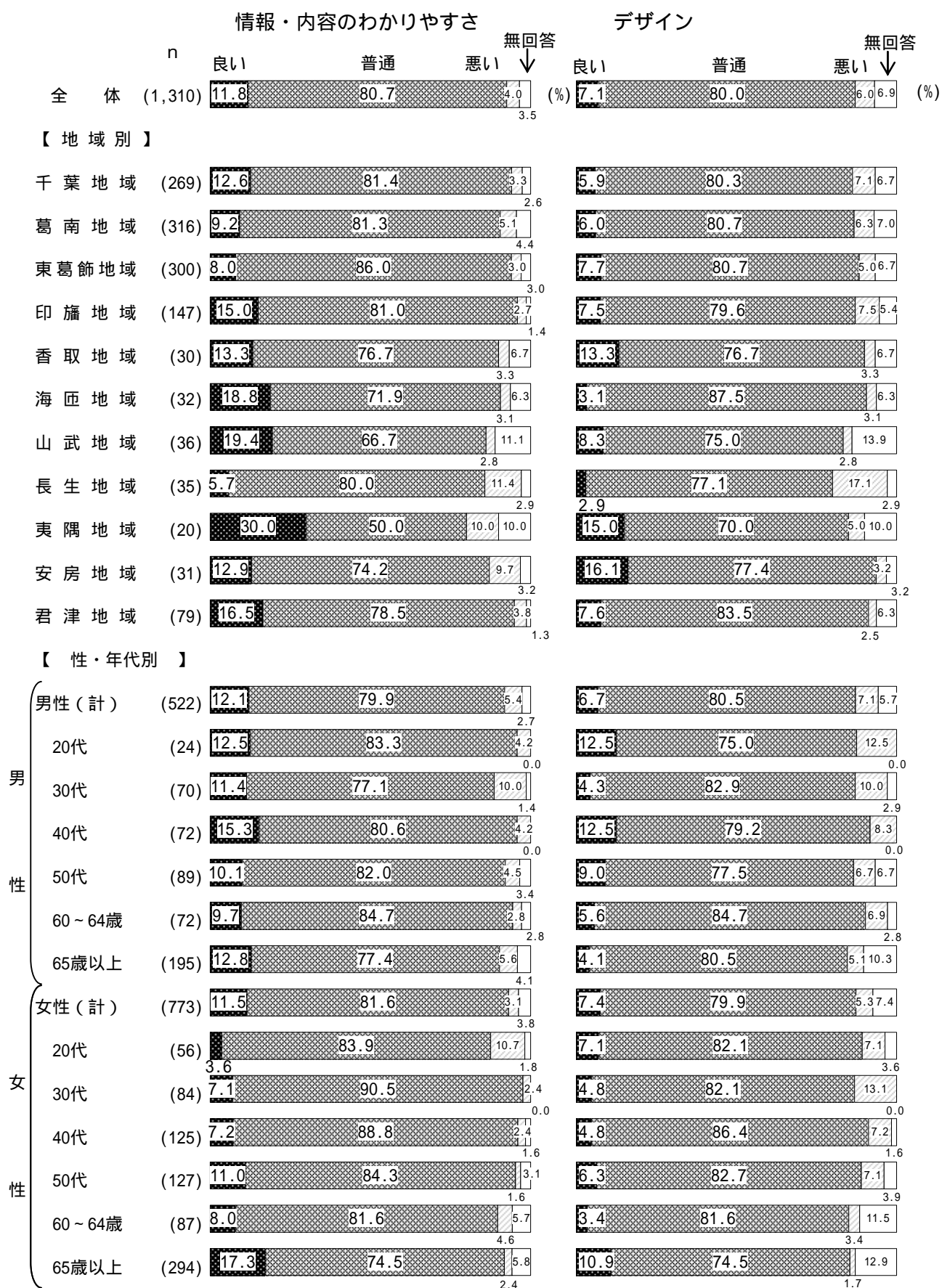
地域別にみると、情報・内容のわかりやすさ において、「良い」は“ 夷隅地域 ”( 30.0% ) が3割で他の地域に比べて高くなっている。デザイン において、「良い」は“ 安房地域 ”( 16.1% )、 “ 夷隅地域 ”( 15.0% )、 “ 香取地域 ”( 13.3% ) が1割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。

( 図表 8 - 8 )

#### 【性・年代別】

性・年代別にみると、情報・内容のわかりやすさ において、「良い」は女性の65歳以上 ( 17.3% ) が約2割で他の年代に比べて高くなっている。デザイン において、「良い」は男性の20代 ( 12.5% )・40代 ( 12.5% ) が1割を超えて他の年代に比べて高くなっている。( 図表 8 - 8 )

<図表8 - 8> 「ちば県民だより」の内容について / 地域別、性・年代別

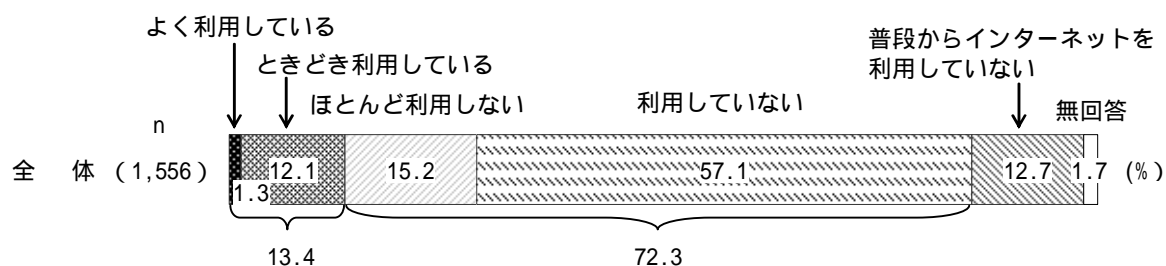


## ( 4 ) 千葉県ホームページの利用頻度

『利用している』は1割台半ば

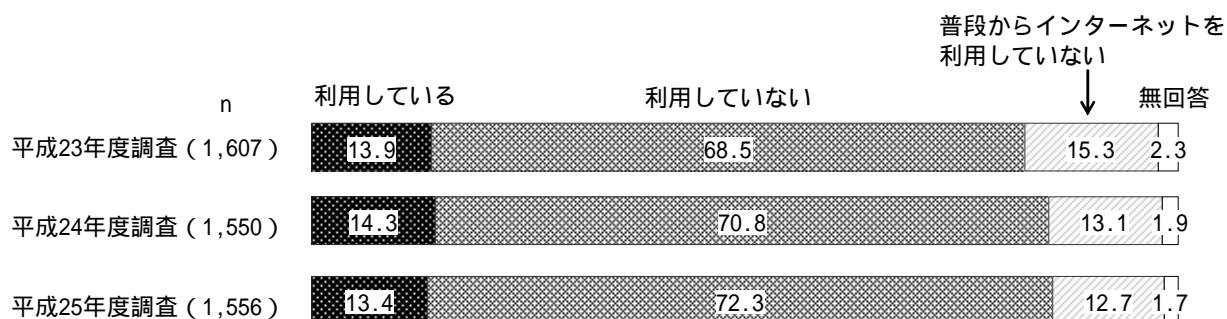
問36 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。( 1 は1つ )

<図表 8 - 9> 千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(1.3%)と「ときどき利用している」(12.1%)を合わせた『利用している』(13.4%)は1割台半ばとなっている。一方、「ほとんど利用しない」(15.2%)と「利用していない」(57.1%)を合わせた『利用していない』(72.3%)は7割を超えている。(図表 9 - 9)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



### 【地域別】

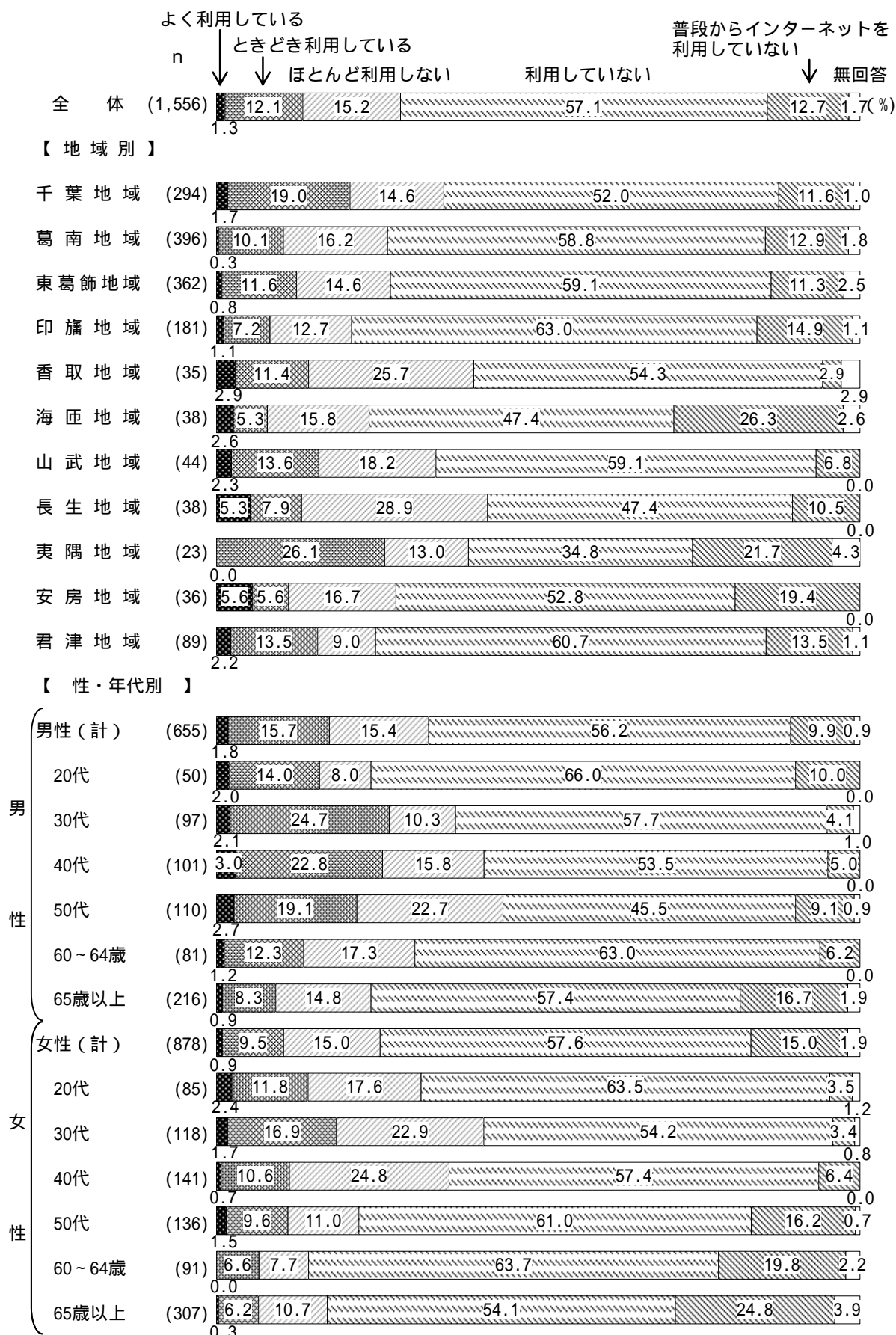
地域別にみると、『利用している』は“夷隅地域”(26.1%)が2割台半ば、“千葉地域”(20.7%)が約2割で他の地域に比べて高くなっている。(図表 8 - 10)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している』は男性の30代(26.8%)・40代(25.7%)が2割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表 8 - 10)



<図表 8 - 10> 千葉県ホームページの利用頻度 / 地域別、性・年代別



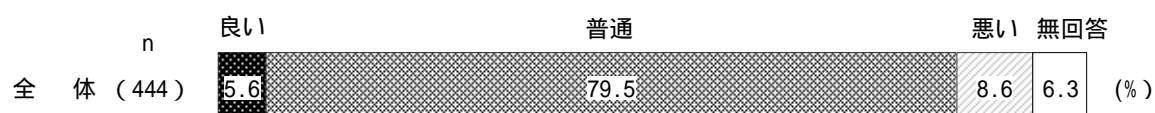
## ( 4 - 1 ) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ

情報・内容のわかりやすさが「普通」は約 8 割

( 問36で「よく利用している」「ときどき利用している」「ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に )

問36 - 1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。( 1 は 1 つ )

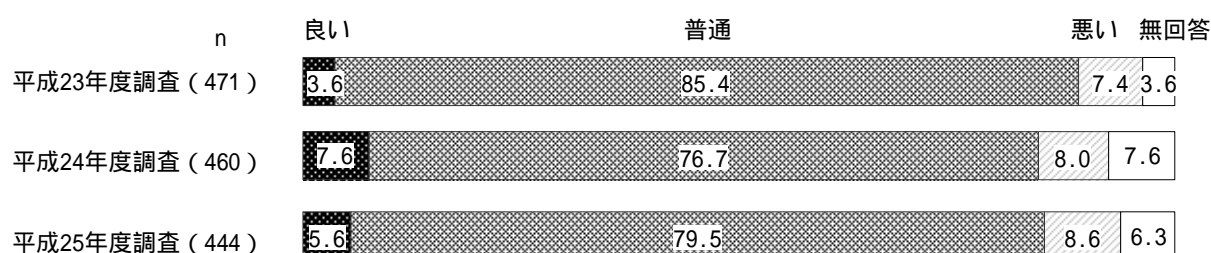
< 図表 8 - 11 > 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」と回答した444人を対象に、千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさについて聞いたところ、「良い」( 5.6% ) は 1 割に達せず、「普通」( 79.5% ) は約 8 割、「悪い」( 8.6% ) は約 1 割となっている。

( 図表 8 - 11 )

[ 参考 ] 平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果との比較 ( 単位 : % )



### 【地域別】

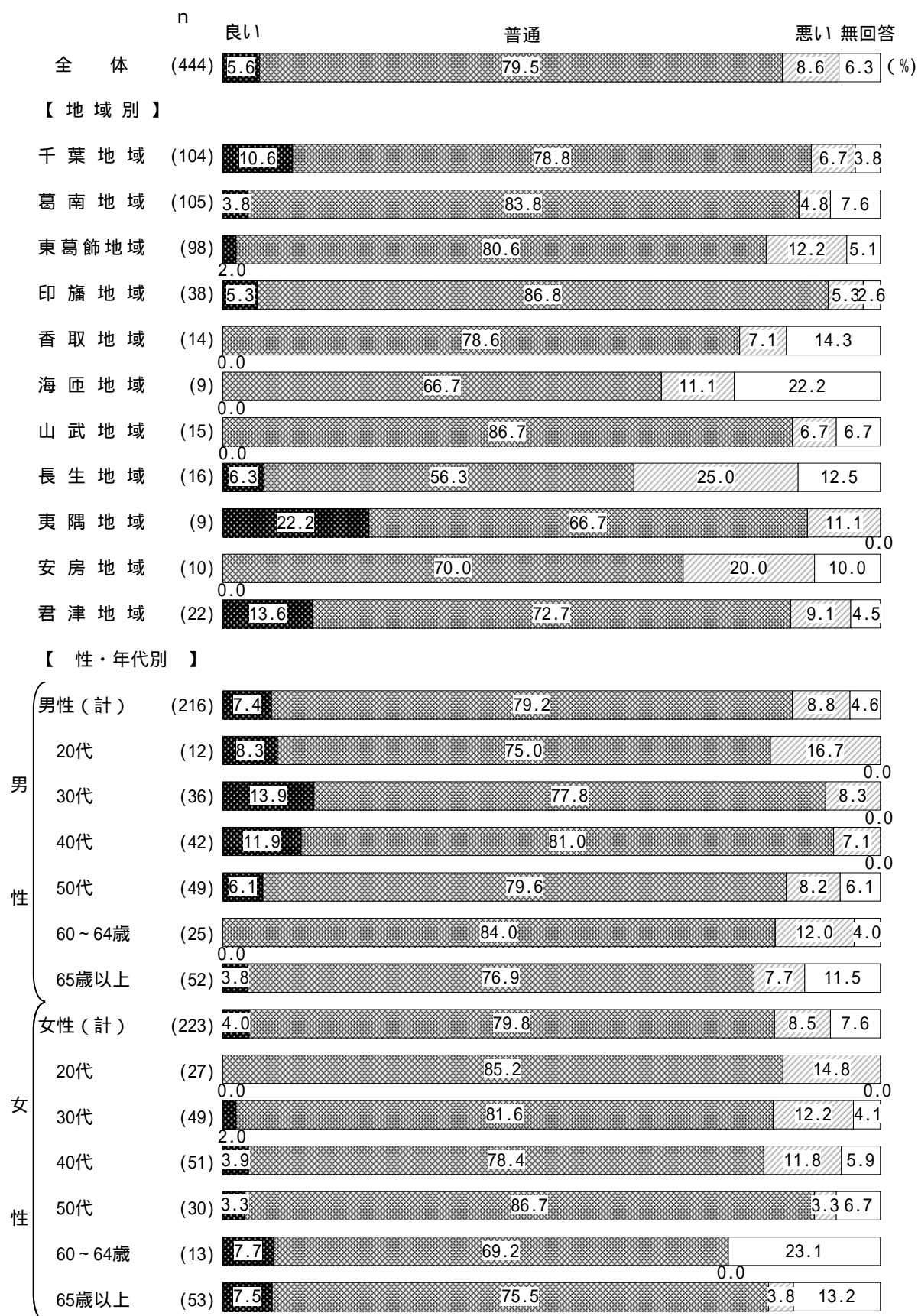
地域別にみると、「良い」は“ 夷隅地域 ”( 22.2% ) が 2 割を超え他の地域に比べて高くなっている。

( 図表 8 - 12 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「良い」は男性の30代 ( 13.9% ) が 1 割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。( 図表 8 - 12 )

<図表8 - 12> 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ / 地域別、性・年代別

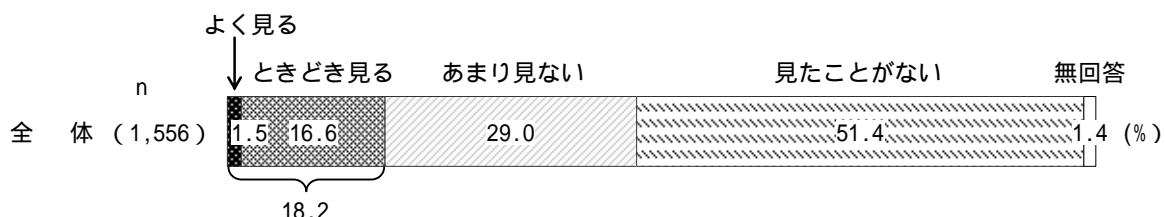


## ( 5 ) 県の広報番組の視聴状況

『見る』は約 2 割

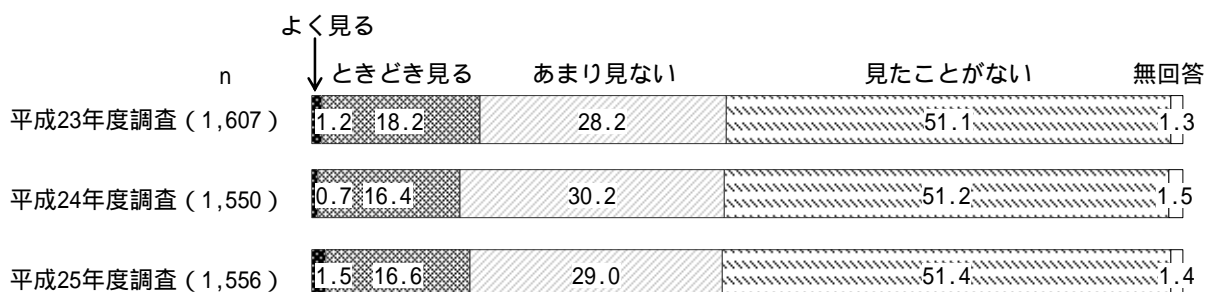
問37 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、  
「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっ  
ていますか。( 1 は 1 つ )

< 図表 8 - 13 > 県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」( 1.5% ) と 「ときどき見る」( 16.6% ) を合  
わせた『見る』( 18.2% ) は約 2 割である。一方、「あまり見ない」( 29.0% ) は約 3 割で、「見たこと  
がない」( 51.4% ) は 5 割を超えている。( 図表 8 - 13 )

〔参考〕平成 23 年度・平成 24 年度の同様の項目による調査結果との比較 ( 単位 : % )



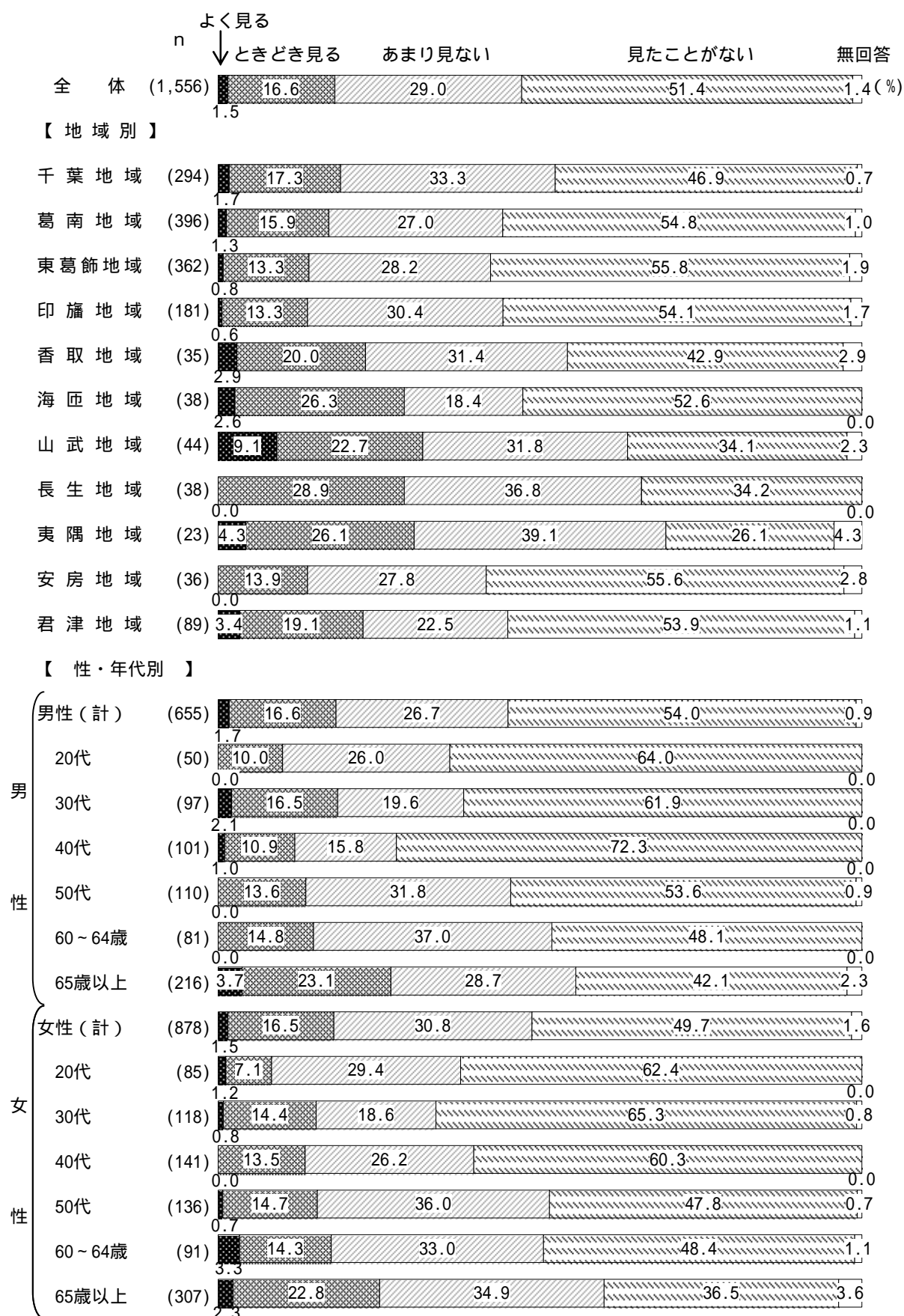
### 【地域別】

地域別にみると、『見る』は、“山武地域”( 31.8% ) 、 “夷隅地域”( 30.4% ) が 3 割以上で他の地域  
に比べて高くなっている。( 図表 8 - 14 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る』は男性の 65 歳以上 ( 26.9% ) 、 女性の 65 歳以上 ( 25.1% ) が 2 割台半  
ばで他の年代に比べて高くなっている。( 図表 8 - 14 )

<図表 8 - 14> 県の広報番組の視聴状況 / 地域別、性・年代別

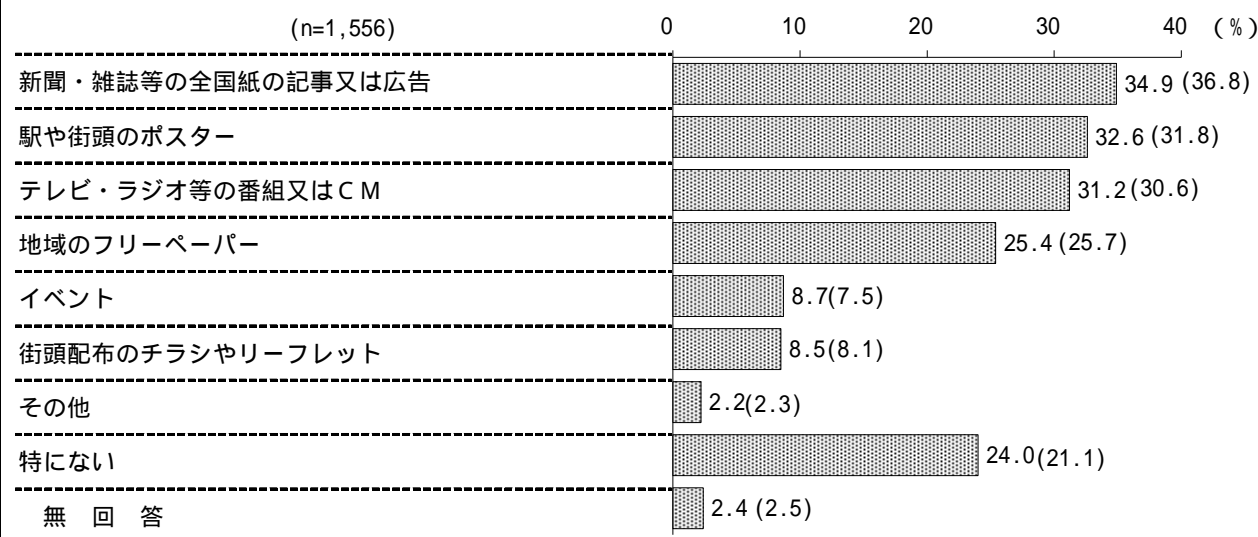


## ( 6 ) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」が3割台半ば

問38 あなたは、県の広報紙や広報番組（問34の選択肢「1」～「6」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（はいいくつでも）

<図表8 - 15> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注) ( ) の数字は平成24年度の同様の項目による調査結果 n = 1,550

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」（34.9%）が3割台半ばで最も高くなっている。以下、「駅や街頭のポスター」（32.6%）、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」（31.2%）、「地域のフリーペーパー」（25.4%）が続いている。（図表8 - 15）

（問34の選択肢「1」～「6」に掲げるものとは、『1 県広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉県ホームページ（パソコン版）』、『3 千葉県ホームページ（携帯版）』、『4 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」』、『特集』、『5 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」』、『ウィークリー千葉県』、『6 ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・ブレイシング・モーニング」』、『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』を指す）

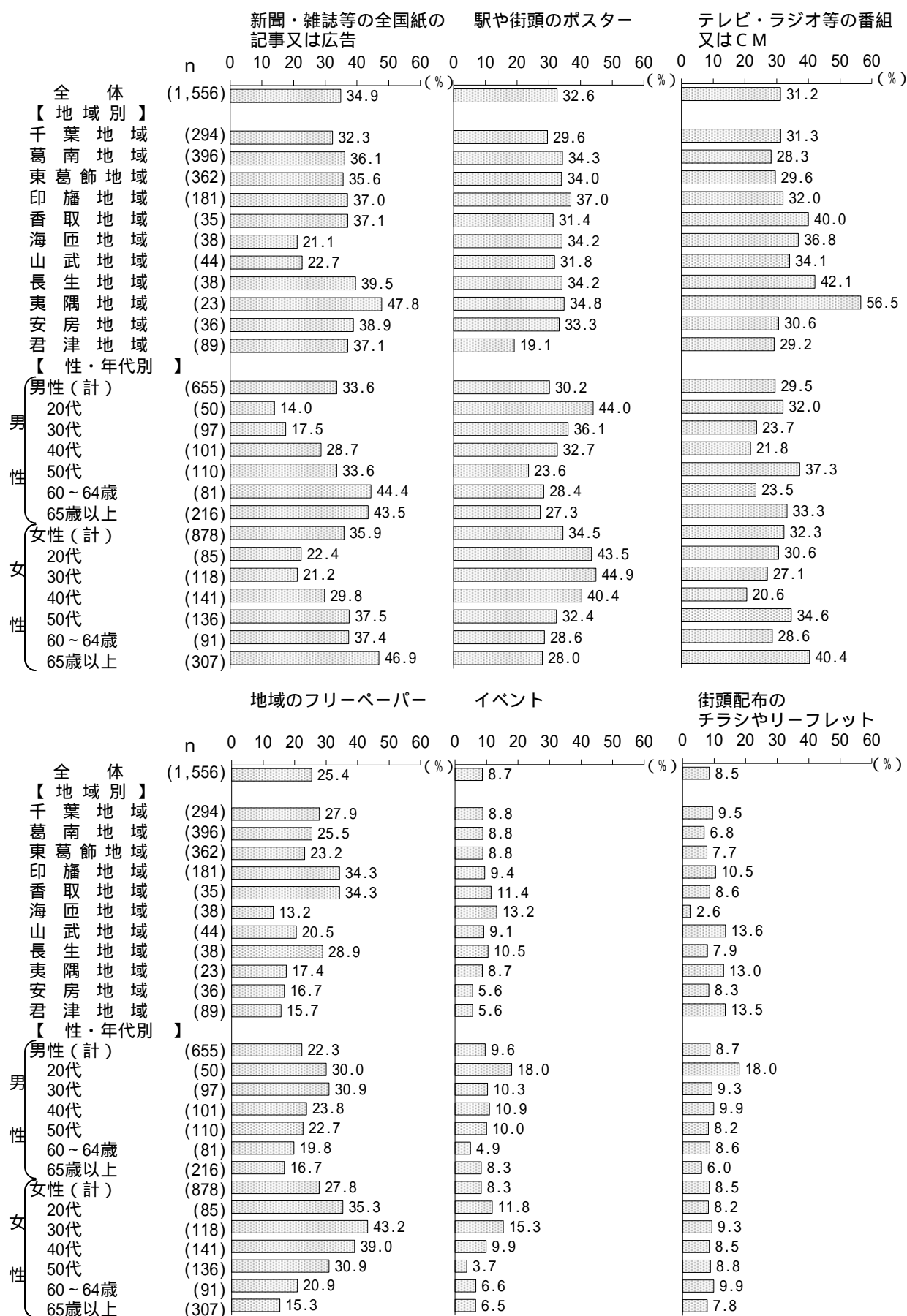
### 【地域別】

地域別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は「夷隅地域」（47.8%）が約5割、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は「夷隅地域」（56.5%）が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。（図表8 - 16）

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は女性の65歳以上（46.9%）男性の60～64歳（44.4%）男性の65歳以上（43.5%）が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「駅や街頭のポスター」は女性の30代（44.9%）男性の20代（44.0%）女性の20代（43.5%）が4割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「地域のフリーペーパー」は女性の30代（43.2%）が4割台半ばで他の年代に比べ高くなっている。（図表8 - 16）

<図表8 - 16> 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況 / 地域別、性・年代別（上位6項目）

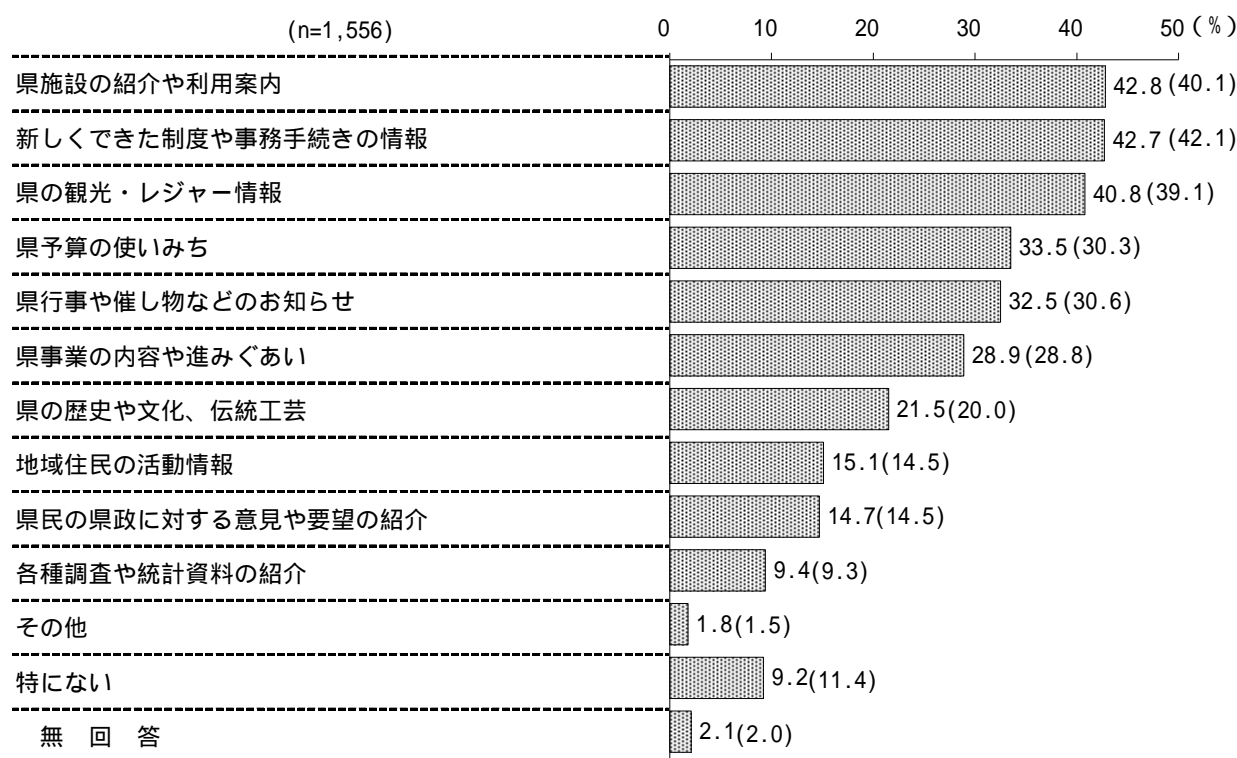


## ( 7 ) 県の知りたい情報

「県施設の紹介や利用案内」「新しくできた制度や事務手続きの情報」が4割を超える

問39 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。( はいくつでも )

< 図表 8 - 17 > 県の知りたい情報 ( 複数回答 )



注 )( ) の数字は平成 24 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,550

県の知りたい情報を聞いたところ、「県施設の紹介や利用案内」( 42.8% )、「新しくできた制度や事務手続きの情報」( 42.7% )「県の観光・レジャー情報」( 40.8% ) が 4 割以上となっている。

( 図表 8 - 17 )

### 【地域別】

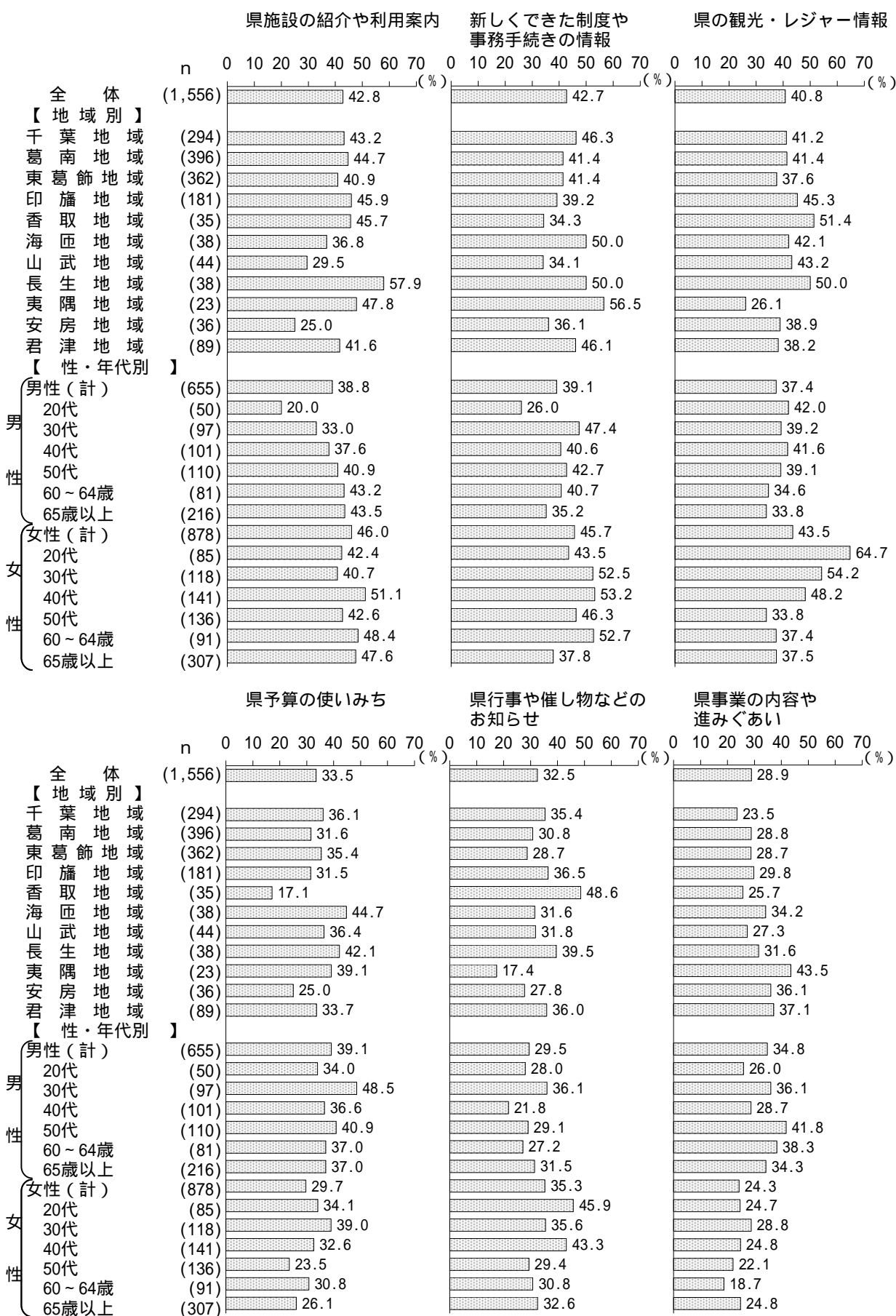
地域別にみると、「県施設の紹介や利用案内」は“長生地域”( 57.9% ) が約 6 割で他の地域に比べて高くなっている。「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、“夷隅地域”( 56.5% ) が 5 割台半ばで他の地域に比べ高くなっている。「県の観光・レジャー情報」は“香取地域”( 51.4% ) が 5 割を超えて他の地域に比べて高くなっている。( 図表 8 - 18 )

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の 40 代 ( 53.2% )・60～64 歳 ( 52.7% )・30 代 ( 52.5% ) が 5 割以上で他の年代に比べ高くなっている。「県の観光・レジャー情報」は女性の 20 代 ( 64.7% ) が 6 割台半ばと他の年代に比べ高くなっている。( 図表 8 - 18 )



<図表 8 - 18> 県の知りたい情報 / 地域別、性・年代別（上位 6 項目）

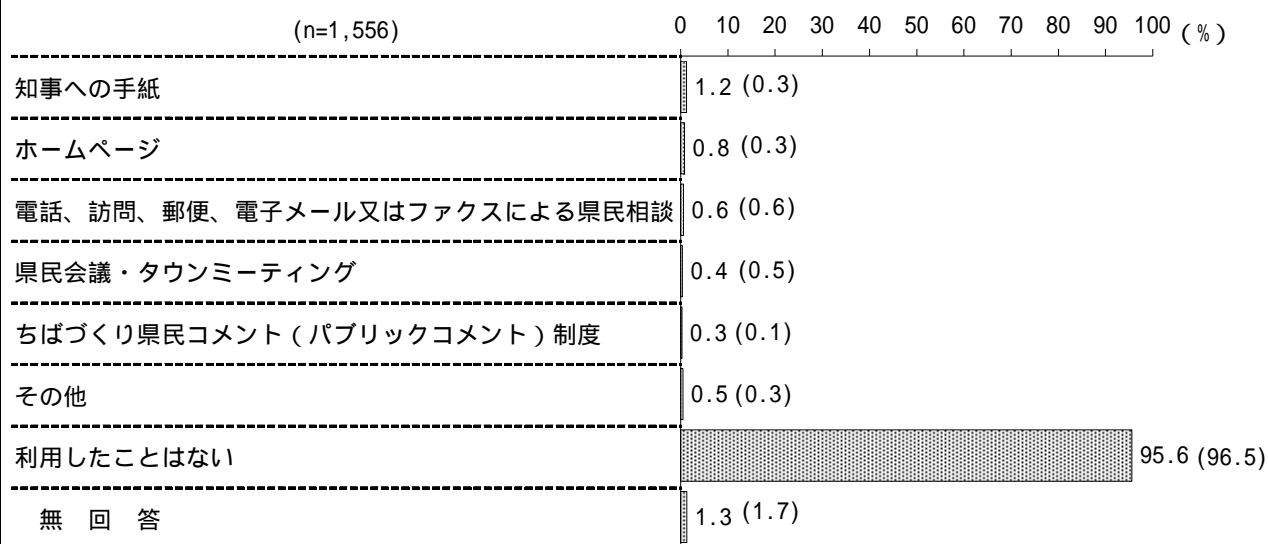


## ( 8 ) 知事への手紙などで意見を述べた経験

「利用したことはない」が9割台半ば

問40 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで今までに意見を述べたことがありますか。( はいいくつでも )

<図表 8 - 19> 知事への手紙などで意見を述べた経験 ( 複数回答 )



注 ) ( ) の数字は平成 24 年度の同様の項目による調査結果 n = 1,550

知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」( 95.6% ) が9割台半ばとなっている。利用したことのあるものでは、「知事への手紙」が1.2%、「ホームページ」が0.8%、「電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談」( 0.6% ) となっている。

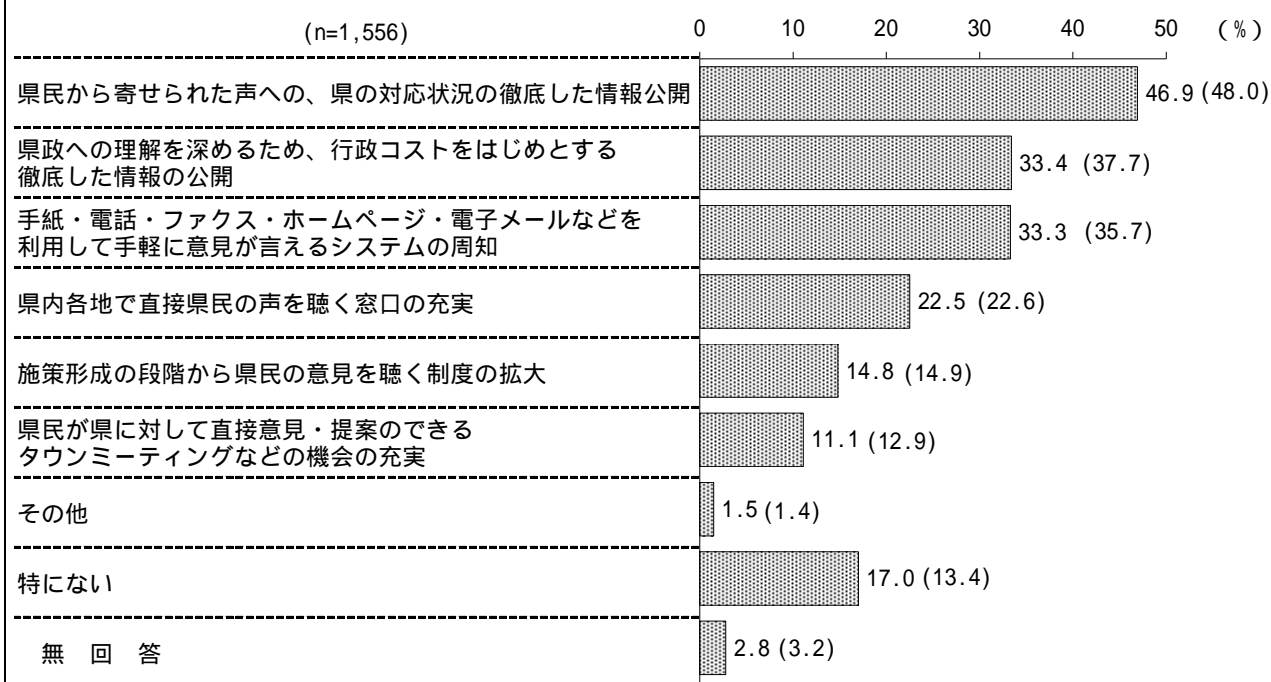
( 図表 8 - 19 )

## ( 9 ) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割台半ば

問41 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。( は3つまで)

<図表 8 - 20> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと(複数回答)



注)( )の数字は平成24年度の同様の項目による調査結果 n = 1,550

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(46.9%)が4割台半ばで最も高くなっている。以下、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(33.4%)、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(33.3%)などが続いている。(図表 8 - 20)

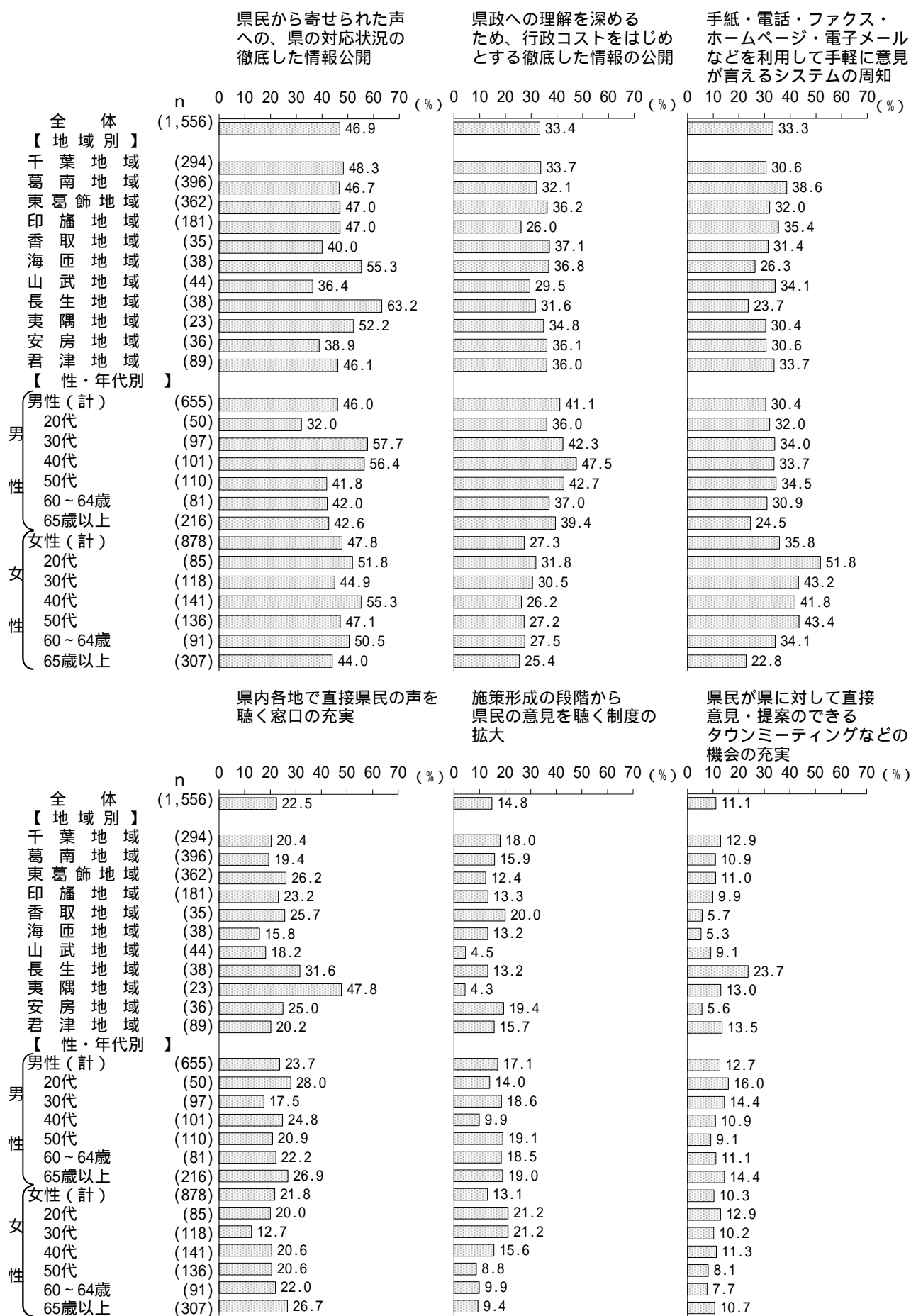
### 【地域別】

地域別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は“長生地域”(63.2%)が6割台半ばで他の地域と比べて高くなっている。(図表 8 - 21)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は男性の30代(57.7%)・40代(56.4%)、女性の40代(55.3%)で他の年代に比べ高くなっている。「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」は女性の20代(51.8%)が5割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表 8 - 21)

<図表 8 - 21> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと / 地域別、性・年代別(上位 6 項目)

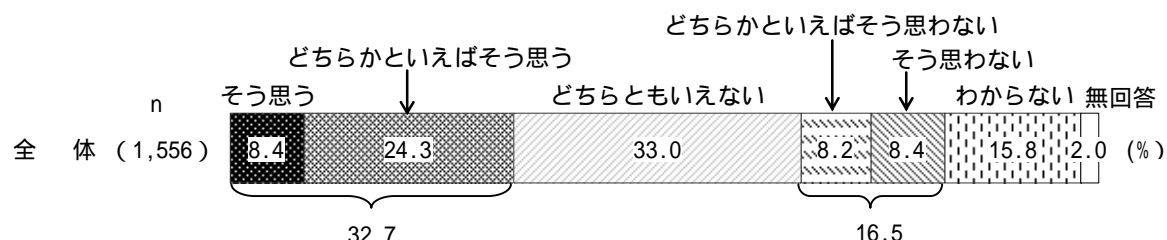


## (10) 県政への意見の反映

『そう思う』は3割を超える

問42 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。( は1つ)

<図表8-22> 県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(8.4%)と「どちらかといえばそう思う」(24.3%)を合わせた『そう思う』(32.7%)は3割を超えている。一方、「そう思わない」(8.4%)と「どちらかといえばそう思わない」(8.2%)を合わせた『そう思わない』(16.5%)は1割台半ばである。(図表8-22)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成23年度調査(1,607)	30.7	17.4	51.9
平成24年度調査(1,550)	33.5	14.9	51.7
平成25年度調査(1,556)	32.7	16.5	50.8

### 【地域別】

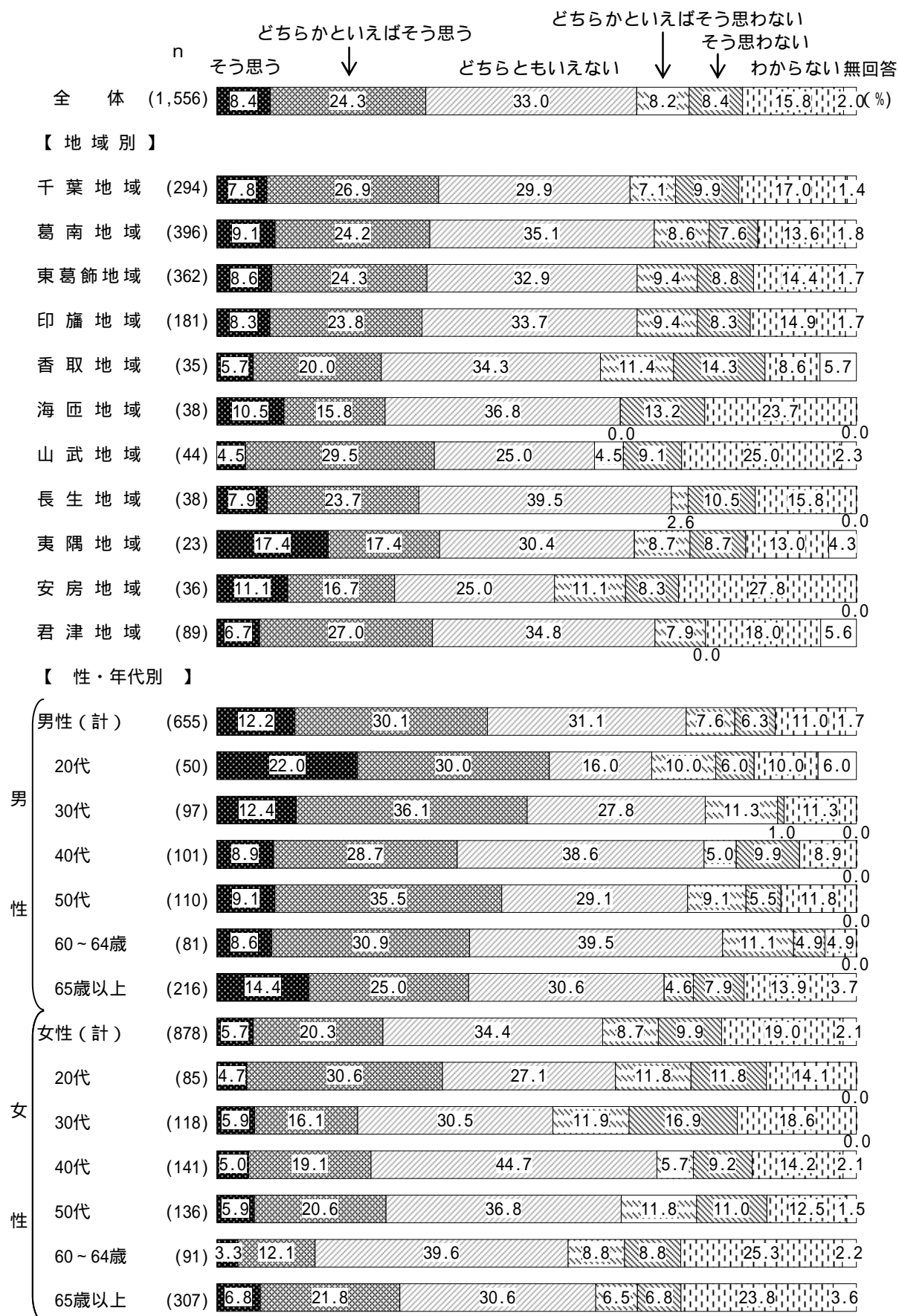
地域別にみると、『そう思う』は“夷隅地域”(34.8%)“千葉地域”(34.7%)“山武地域”(34.1%)“君津地域”(33.7%)“葛南地域”(33.3%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。

(図表8-23)

### 【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は、男性の20代(52.0%)が5割を超えて、他の年代に比べて高くなっている。(図表8-23)

<図表8 - 23> 県政への意見の反映 / 地域別、性・年代別



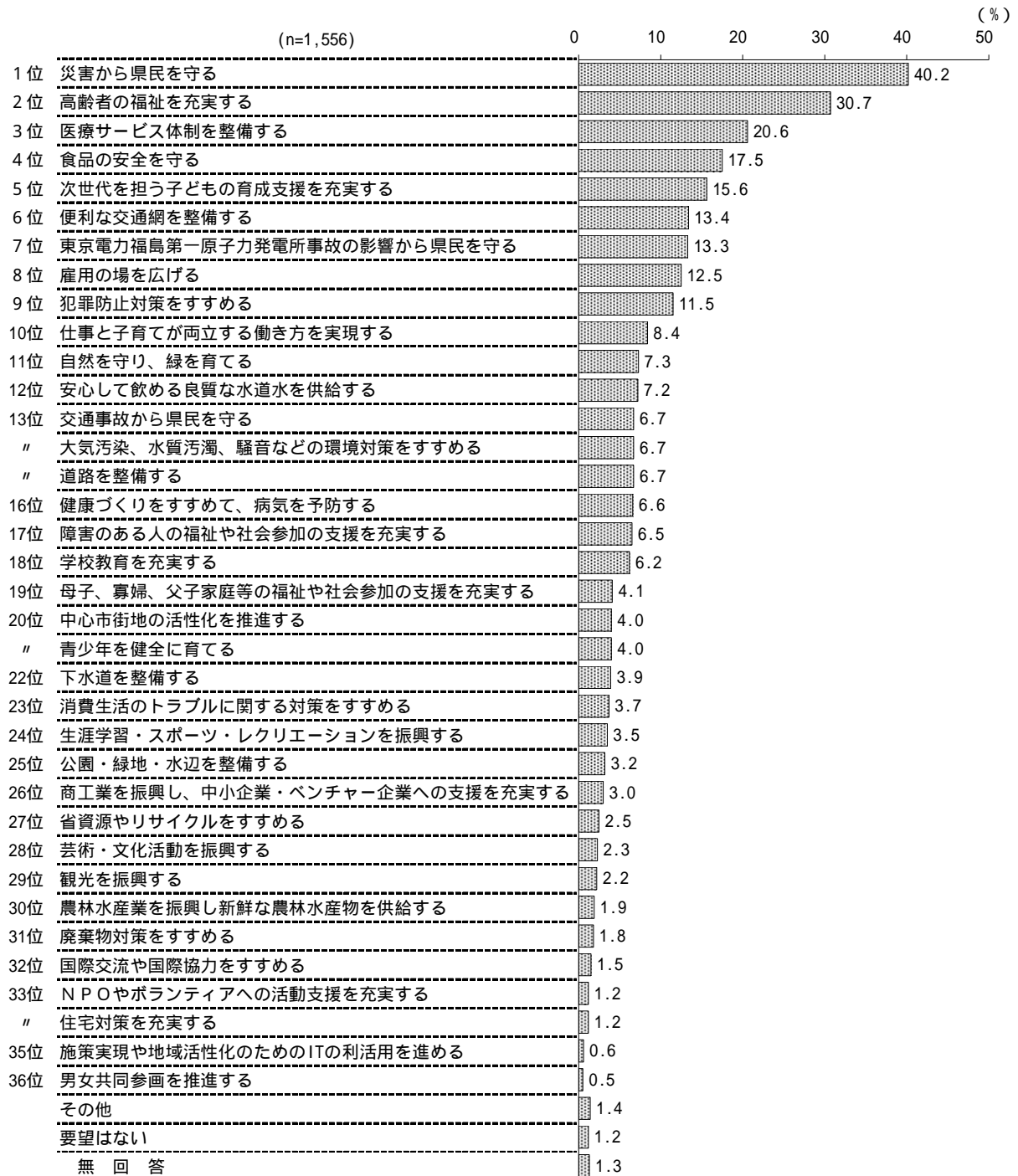
## 9 県政への要望

### (1) 県政への要望

「災害から県民を守る」が4割で最も高く、次いで「高齢者の福祉を充実する」

問43 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

<図表9 - 1> 県政への要望（複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」(40.2%)が1位で、次いで「高齢者の福祉を充実する」(30.7%)が2位、「医療サービス体制を整備する」(20.6%)が3位となっており、県民からの要望が特に高い。以下、「食品の安全を守る」(17.5%)が4位、「次世代を担う子供の育成支援を充実する」(15.6%)が5位と続いている。(図表9-1)

#### 【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」は「印旛地域」、「長生地域」以外の9つの地域で第1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は「印旛地域」、「君津地域」で第1位、「千葉地域」、「葛南地域」、「東葛飾地域」、「香取地域」、「長生地域」の5つの地域で第2位となっている。「医療サービス体制を整備する」は「長生地域」で第1位、「海匝地域」で第2位となっている。(図表9-3~4)

#### 【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに上位3位までは「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」の順になっている。

性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は、男性の60~64歳・65歳以上、女性の65歳以上を除くすべての年代で第1位、男性の60~64歳(34.6%)・65歳以上(33.3%)、女性の65歳以上(41.7%)で第2位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は、女性の65歳以上(48.5%)、男性の65歳以上(39.4%)、男性の60~64歳(38.3%)で第1位、男性の50代(25.5%)、女性の60~64歳(45.1%)・50代(26.5%)・40代(23.4%)で第2位となっている。「医療サービス体制を整備する」は女性の60~64歳(26.4%)・50代(25.7%)・40代(19.9%)、男性の65歳以上(24.1%)・60~64歳(21.0%)・50代(24.5%)・40代(19.8%)で第3位となっている。「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は男性の30代(27.8%)、女性の20代(21.2%)で第2位となっている。「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」は女性の30代(32.2%)で第2位となっている。「交通事故から県民を守る」は、男性の20代(24.0%)で第2位に、「福島第一原発事故の影響から県民を守る」は男性の40代(20.8%)で第2位になっている。(図表9-3~4)

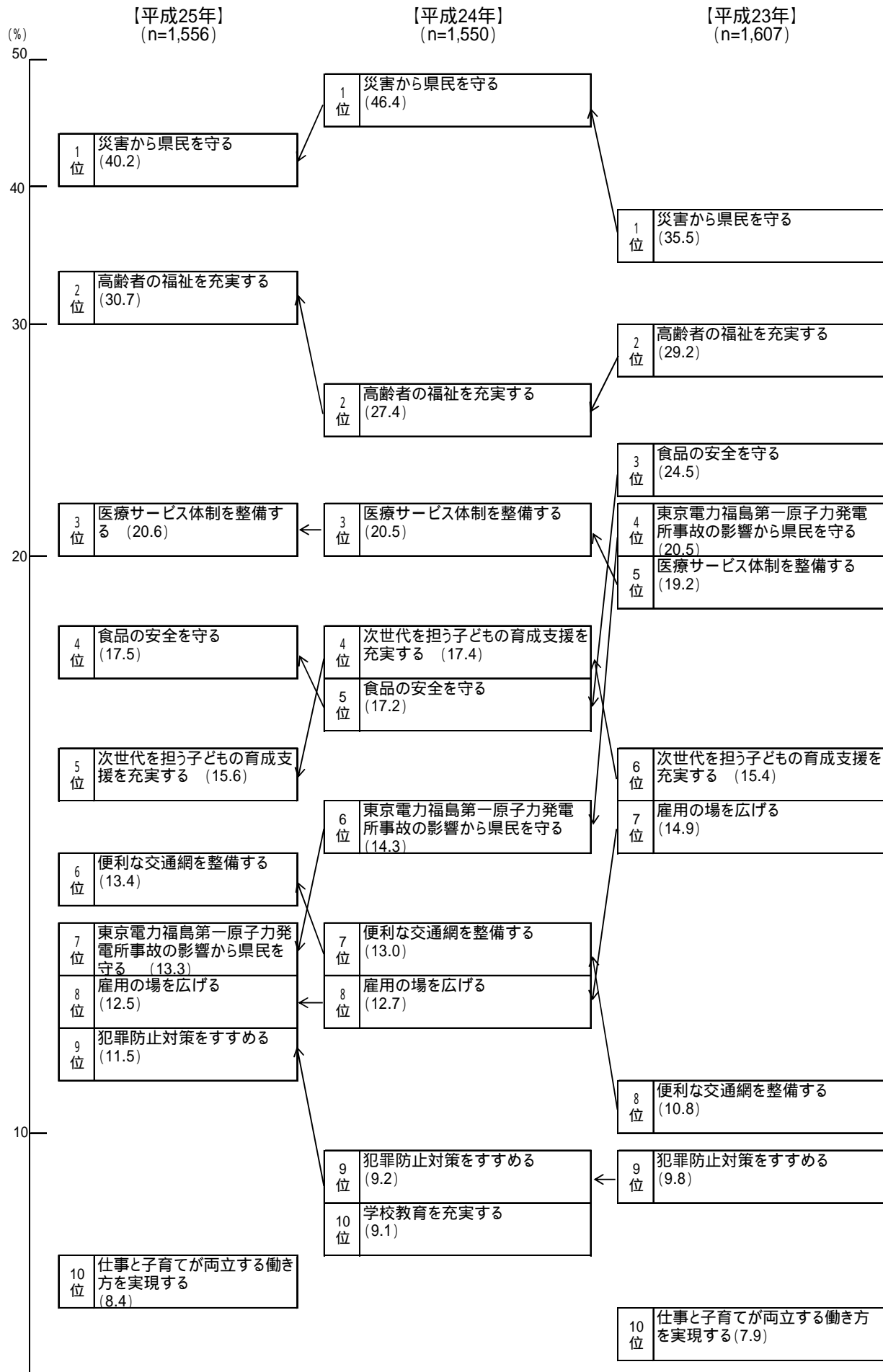
#### 【参考】平成23年以降の同様の項目による調査結果との比較(上位10項目の推移)(図表9-2)

#### 【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は24年度(46.4%)に引き続き第1位(40.2%)となったが、6.2ポイント減少している。
2. 「高齢者の福祉を充実する」は24年度(27.4%)に引き続き第2位(30.7%)となっている。
3. 「医療サービス体制を整備する」は24年度(20.5%)に引き続き第3位(20.6%)、「食品の安全を守る」は24年度の5位(17.2%)から第4位(17.5%)へ順位を上げている。
4. 「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は24年度の4位(17.4%)から第5位(15.6%)へと順位を下げている。
5. 「便利な交通網を整備する」は24年度の第7位(13.0%)から第6位(13.4%)へと順位を上げている。



<図表9 - 2> 県政への要望 / 上位 10 項目の推移



< 図表 9 - 3 > 県政への要望（上位 1 位～5 位）／地域別、性別、性・年代別

属性		順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
								(%)
全 体			1,556	災害から県民を守る (40.2)	高齢者の福祉を充実する (30.7)	医療サービス体制を整備する (20.6)	食品の安全を守る (17.5)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.6)
【 地 域 別 】								
千 葉 地 域			294	災害から県民を守る (41.8)	高齢者の福祉を充実する (34.4)	医療サービス体制を整備する (22.8)	食品の安全を守る (16.7)	便利な交通網を整備する (15.0)
葛 南 地 域			396	災害から県民を守る (43.2)	高齢者の福祉を充実する (28.5)	医療サービス体制を整備する (17.9)	食品の安全を守る (17.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.4)
東葛飾地 域			362	災害から県民を守る (40.9)	高齢者の福祉を充実する (30.9)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (21.0)	食品の安全を守る (19.3)	医療サービス体制を整備する (15.7)
印 旛 地 域			181	高齢者の福祉を充実する (31.5)	災害から県民を守る (29.8)	医療サービス体制を整備する (24.9)	便利な交通網を整備する (21.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (19.3)
香 取 地 域			35	災害から県民を守る (28.6)	高齢者の福祉を充実する / 次世代を担う子どもの育成支援を充実する (25.7)		食品の安全を守る (22.9)	医療サービス体制を整備する / 雇用の場を広げる
海 匝 地 域			38	災害から県民を守る (55.3)	医療サービス体制を整備する (28.9)	高齢者の福祉を充実する (26.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 雇用の場を広げる (21.1)	
山 武 地 域			44	災害から県民を守る (50.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 下水道を整備する (25.0)		医療サービス体制を整備する / 高齢者の福祉を充実する / 雇用の場を広げる (20.5)	
長 生 地 域			38	医療サービス体制を整備する (47.4)	高齢者の福祉を充実する (42.1)	災害から県民を守る (34.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (25.3)	雇用の場を広げる (23.7)
夷 隅 地 域			23	災害から県民を守る (34.8)	食品の安全を守る (26.1)	医療サービス体制を整備する / 高齢者の福祉を充実する (21.7)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 高齢者の福祉を (17.4)	便利な交通網を整備する / 安心して飲める良質な水道水を供給する / 福島第一原発事故の影響から県民を守る (17.4)
安 房 地 域			36	災害から県民を守る (41.7)	雇用の場を広げる (27.8)	便利な交通網を整備する (22.2)	医療サービス体制を整備する / 高齢者の福祉を充実する (19.4)	
君 津 地 域			89	災害から県民を守る / 高齢者の福祉を充実する (38.2)		雇用の場を広げる (22.5)	医療サービス体制を整備する (21.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
【 性・年代別 】								
男 性（計）			655	災害から県民を守る (36.8)	高齢者の福祉を充実する (26.9)	医療サービス体制を整備する (19.8)	便利な交通網を整備する (16.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.7)
20代			50	災害から県民を守る (34.0)	交通事故から県民を守る (24.0)	便利な交通網を整備する / 次世代を担う子どもの育成支援を充実する (20.0)		食品の安全を守る / 雇用の場を広げる / 自然を守り、緑を育てる / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する (14.0)
30代			97	災害から県民を守る (36.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (27.8)	犯罪防止対策をすすめる (23.7)	学校教育を充実する (18.6)	便利な交通網を整備する (17.5)
40代			101	災害から県民を守る (39.6)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (20.8)	医療サービス体制を整備する (19.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 犯罪防止対策をすすめる / 高齢者の福祉を充実する (14.9)	
50代			110	災害から県民を守る (44.5)	高齢者の福祉を充実する (25.5)	医療サービス体制を整備する (24.5)	便利な交通網を整備する (18.2)	雇用の場を広げる (16.4)
60～64歳			81	高齢者の福祉を充実する (38.3)	災害から県民を守る (34.6)	医療サービス体制を整備する (21.0)	便利な交通網を整備する (19.8)	犯罪防止対策をすすめる (18.5)
65歳以上			216	高齢者の福祉を充実する (39.4)	災害から県民を守る (33.3)	医療サービス体制を整備する (24.1)	食品の安全を守る (19.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.4)
女 性（計）			878	災害から県民を守る (43.5)	高齢者の福祉を充実する (33.1)	医療サービス体制を整備する (21.1)	食品の安全を守る (20.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.5)
20代			85	災害から県民を守る (47.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 便利な交通網を整備する (21.2)		高齢者の福祉を充実する (20.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (18.8)
30代			118	災害から県民を守る (38.1)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (32.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (27.1)	医療サービス体制を整備する (18.6)	雇用の場を広げる (16.9)
40代			141	災害から県民を守る (44.7)	高齢者の福祉を充実する (23.4)	医療サービス体制を整備する (19.9)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (15.6)	食品の安全を守る (14.9)
50代			136	災害から県民を守る (46.3)	高齢者の福祉を充実する (26.5)	医療サービス体制を整備する (25.7)	食品の安全を守る (19.1)	雇用の場を広げる (16.2)
60～64歳			91	災害から県民を守る (47.3)	高齢者の福祉を充実する (45.1)	医療サービス体制を整備する (26.4)	食品の安全を守る (24.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.7)
65歳以上			307	高齢者の福祉を充実する (48.5)	災害から県民を守る (41.7)	食品の安全を守る (27.7)	医療サービス体制を整備する (19.9)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (15.3)

< 図表 9 - 4 > 県政への要望（上位 6 位～10 位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10位
全 体		1,556	便利な交通網を整備する (13.4)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (13.3)	雇用を広げる (12.5)	犯罪防止対策をすすめる (11.5)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (8.4)
【 地 域 別 】							
千 葉 地 域		294	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.6)	犯罪防止対策をすすめる (12.2)	自然を守り、緑を育てる (10.5)	福島第一原発事故の影響から県民を守る / 雇用を広げる (10.2)	
葛 南 地 域		396	犯罪防止対策をすすめる (13.9)	便利な交通網を整備する (13.1)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (12.9)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (9.3)	雇用を広げる (9.1)
東葛飾地 域		362	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 犯罪防止対策をすすめる (13.8)	雇用を広げる (11.3)	便利な交通網を整備する (11.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (9.1)	
印 旛 地 域		181	食品の安全を守る (18.2)	福島第一原発事故の影響から県民を守る / 雇用を広げる (11.6)			自然を守り、緑を育てる (8.8)
香 取 地 域		35	-	福島第一原発事故の影響から県民を守る / 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (14.3)	便利な交通網を整備する (11.4)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (8.6)	
海 匝 地 域		38	食品の安全を守る / 福島第一原発事故の影響から県民を守る (15.8)		便利な交通網を整備する / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する (10.5)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (7.9)	
山 武 地 域		44	-	福島第一原発事故の影響から県民を守る (15.9)	食品の安全を守る / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する (11.4)	自然を守り、緑を育てる (9.1)	
長 生 地 域		38	下水道を整備する (15.8)	便利な交通網を整備する (15.8)	食品の安全を守る (13.2)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する / 自然を守り、緑を育てる (5.3)	
夷 隅 地 域		23	-		健康づくりをすすめて、病気を予防する / 中心市街地の活性化を推進する (13.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (8.7)	
安 房 地 域		36	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.4)	食品の安全を守る (13.9)	犯罪防止対策をすすめる / 仕事と子育てが両立する働き方を実現する (11.1)	交通事故から県民を守る (8.3)	
君 津 地 域		89	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 食品の安全を守る (13.5)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (9.0)	学校教育を充実する / 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する (7.9)		
【 性・年代別 】							
男 性 (計)		655	食品の安全を守る (13.7)	雇用を広げる / 犯罪防止対策をすすめる / 福島第一原発事故の影響から県民を守る (12.8)			自然を守り、緑を育てる (8.4)
20代		50	-			観光を振興する (12.0)	公園・緑地・水辺を整備する (10.0)
30代		97	雇用を広げる (16.5)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (15.5)	高齢者の福祉を充実する (14.4)	交通事故から県民を守る (13.4)	食品の安全を守る (11.3)
40代		101	-	便利な交通網を整備する / 雇用を広げる (13.9)		自然を守り、緑を育てる (11.9)	道路を整備する (11.9)
50代		110	福島第一原発事故の影響から県民を守る (13.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 食品の安全を守る (12.7)		自然を守り、緑を育てる / 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる (10.9)	
60～64歳		81	福島第一原発事故の影響から県民を守る (14.8)	道路を整備する (13.6)	食品の安全を守る (12.3)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (11.1)	雇用を広げる (9.9)
65歳以上		216	便利な交通網を整備する (13.4)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (13.0)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (9.7)	雇用を広げる (9.7)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (9.3)
女 性 (計)		878	福島第一原発事故の影響から県民を守る (13.4)	雇用を広げる (12.5)	便利な交通網を整備する (11.5)	犯罪防止対策をすすめる (10.6)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (9.7)
20代		85	医療サービス体制を整備する / 犯罪防止対策をすすめる (17.6)		母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する (13.6)	食品の安全を守る / 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (10.6)	
30代		118	便利な交通網を整備する (15.3)	犯罪防止対策をすすめる (14.4)	食品の安全を守る (13.6)	高齢者の福祉を充実する / 福島第一原発事故の影響から県民を守る (12.7)	
40代		141	次世代を担う子どもの育成支援を充実する / 雇用を広げる (14.2)		犯罪防止対策をすすめる (12.8)	自然を守り、緑を育てる (10.6)	学校教育を充実する (9.9)
50代		136	便利な交通網を整備する (14.0)	福島第一原発事故の影響から県民を守る (13.2)	犯罪防止対策をすすめる / 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する (8.8)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する (8.1)
60～64歳		91	雇用を広げる (15.4)	便利な交通網を整備する (9.9)	福島第一原発事故の影響から県民を守る / 犯罪防止対策をすすめる (8.8)		健康づくりをすすめて、病気を予防する (5.5)
65歳以上		307	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (12.4)	健康づくりをすすめて、病気を予防する (11.7)	雇用を広げる (8.8)	便利な交通網を整備する (7.8)	犯罪防止対策をすすめる (7.5)

## ( 1 - 1 ) 各政策への具体的な要望

問44 問43で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問43で選んだ3項目についてののみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号につけてください。( はそれぞれ1つ )

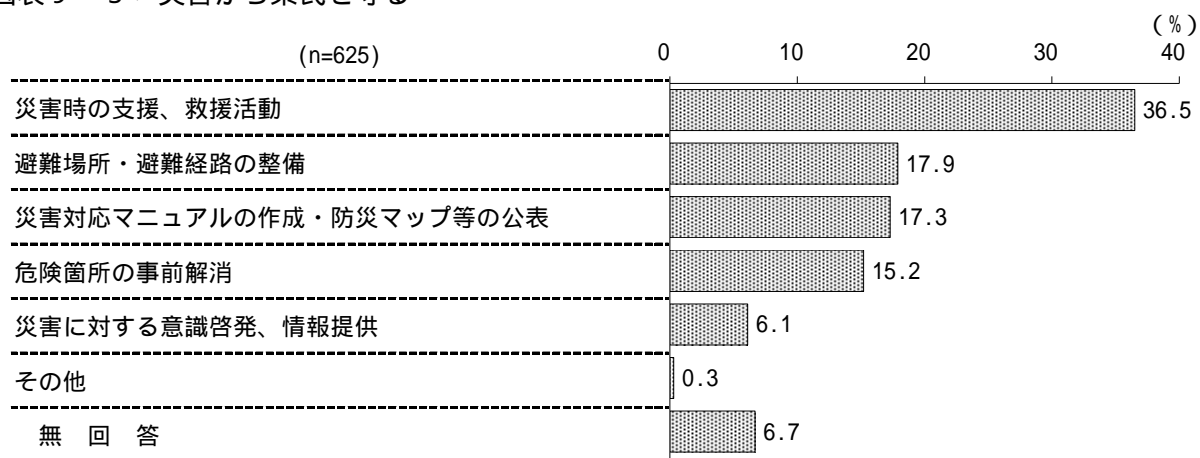
問43で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問43の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

### 1 災害から県民を守る ( 40.2%、1 位 )

「災害時の支援、救援活動」( 36.5% ) が3割台半ばで最も高く、以下、「避難場所・避難経路の整備」( 17.9% )、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」( 17.3% ) が続く。( 図表 9 - 5 )

< 図表 9 - 5 > 災害から県民を守る

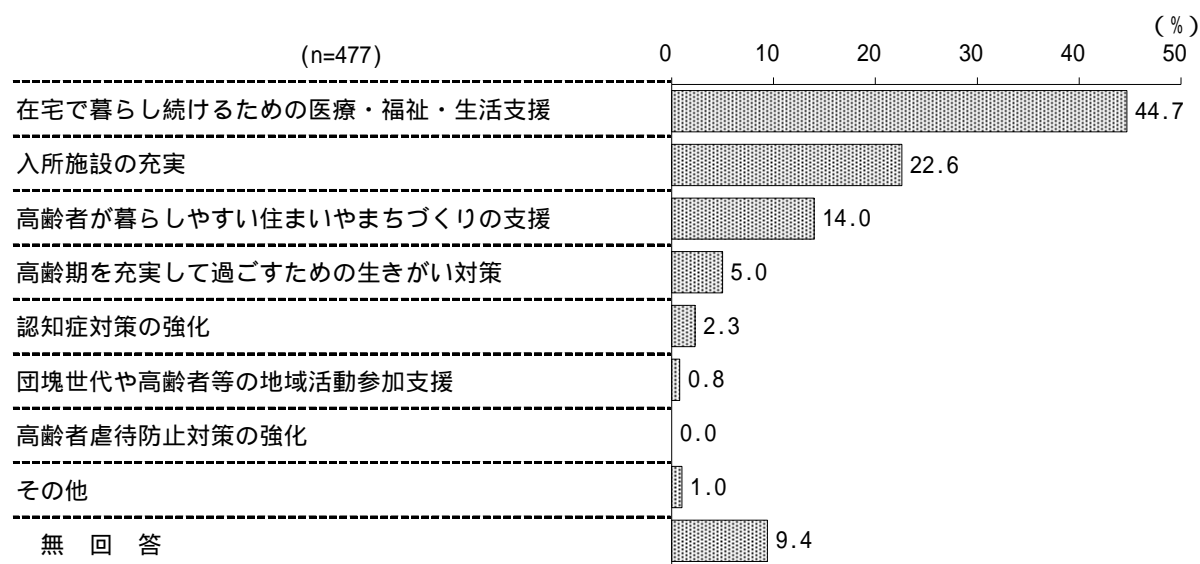


## 2 高齢者の福祉を充実する（30.7%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（44.7%）が4割台半ばで最も高く、以下、「入所施設の充実」（22.6%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（14.0%）が続く。

（図表9-6）

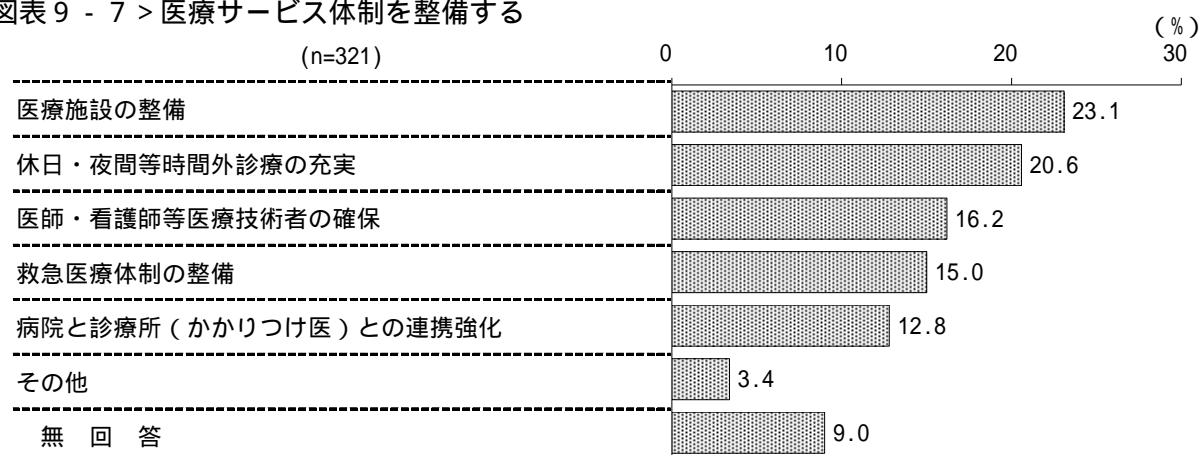
<図表9-6> 高齢者の福祉を充実する



## 3 医療サービス体制を整備する（20.6%、3位）

「医療施設の整備」（23.1%）が2割台半ばで最も高く、以下、「休日・夜間等時間外診療の充実」（20.6%）、「医師・看護師等医療技術者の確保」（16.2%）が続く。（図表9-7）

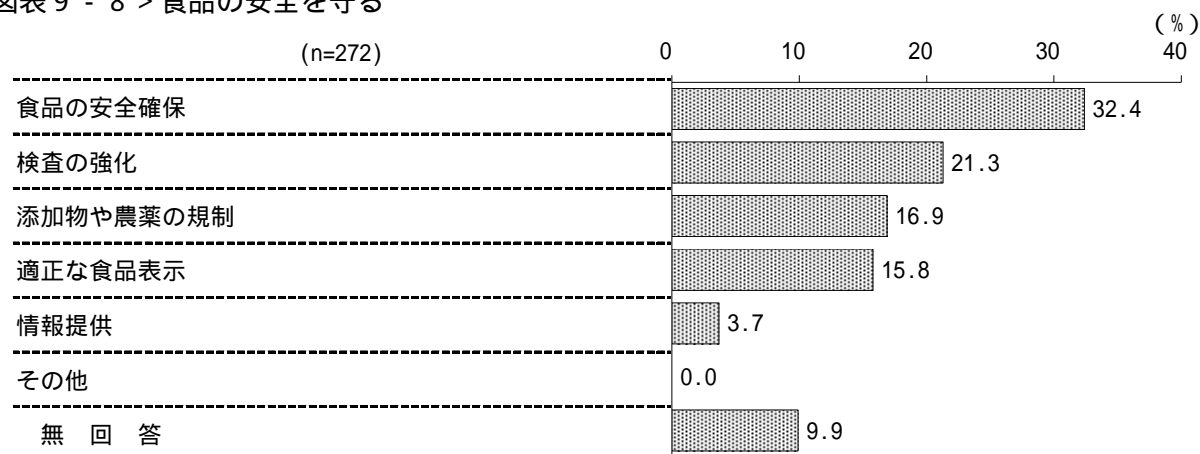
<図表9-7> 医療サービス体制を整備する



#### 4 食品の安全を守る（17.5%、4位）

「食品の安全確保」（32.4%）が3割を超えて最も高く、以下、「検査の強化」（21.3%）、「添加物や農薬の規制」（16.9%）が続く。（図表9-8）

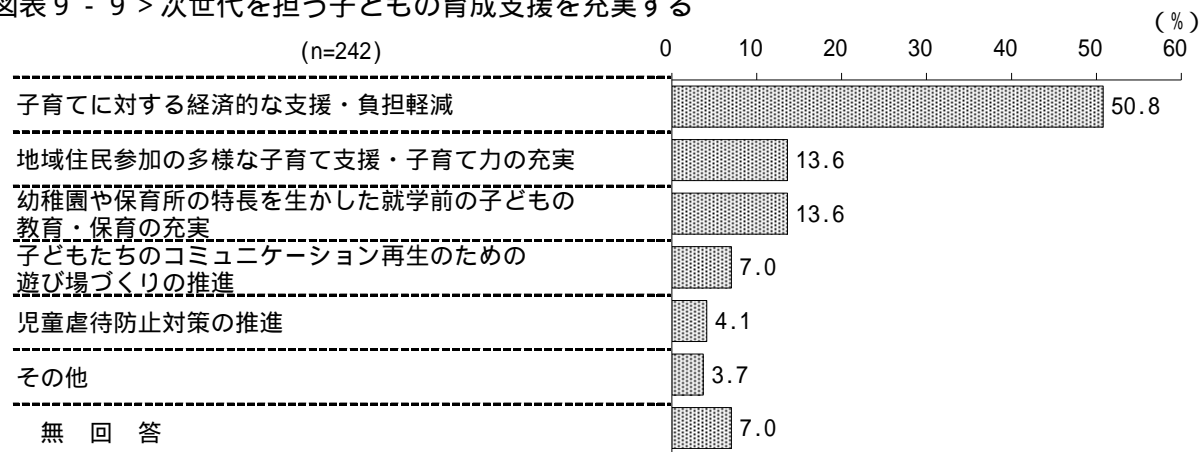
<図表9-8> 食品の安全を守る



#### 5 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（15.6%、5位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（50.8%）が5割と最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（13.6%）、「幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実」（13.6%）が続く。（図表9-9）

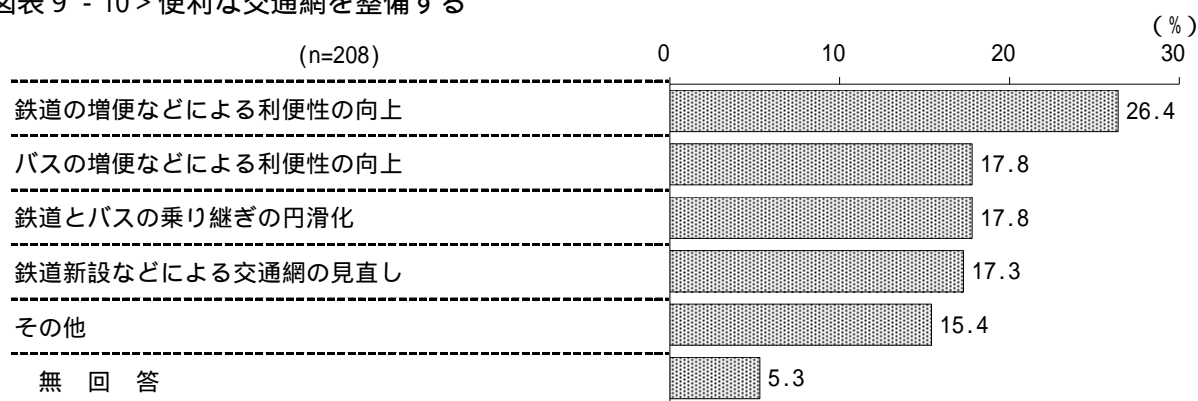
<図表9-9> 次世代を担う子どもの育成支援を充実する



## 6 便利な交通網を整備する（13.4%、6位）

「鉄道の増便などによる利便性の向上」（26.4%）が2割台半ばで最も高く、以下、「バスの増便などによる利便性の向上」（17.8%）、「鉄道とバスの乗り継ぎの円滑化」（17.8%）、「鉄道新設などによる交通網の見直し」（17.3%）が続く。（図表9 - 10）

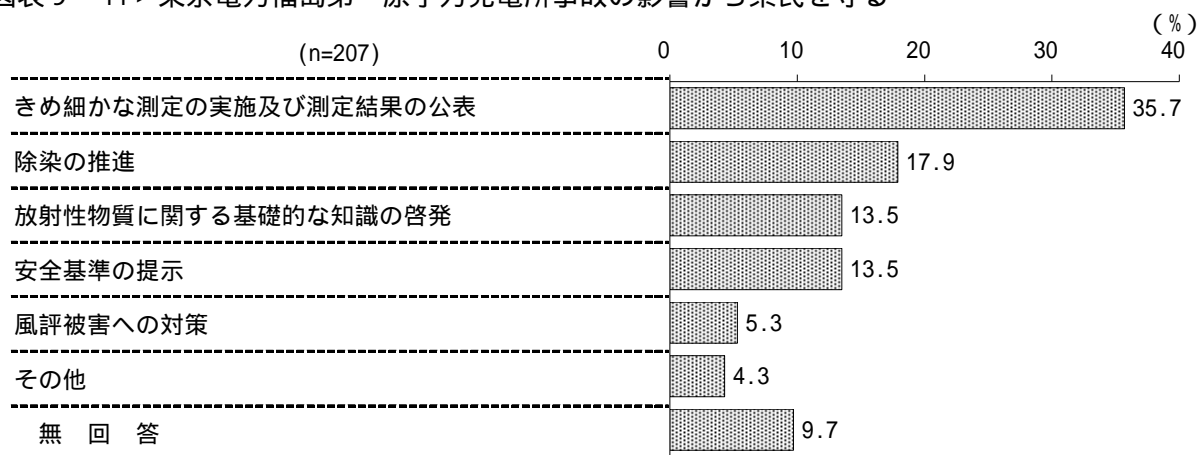
<図表9 - 10> 便利な交通網を整備する



## 7 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る（13.3%、7位）

「きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表」（35.7%）が3割台半ばで最も高く、以下、「除染の推進」（17.9%）、「放射性物質に関する基礎的な知識の啓発」（13.5%）、「安全基準の提示」（13.5%）が続く。（図表9 - 11）

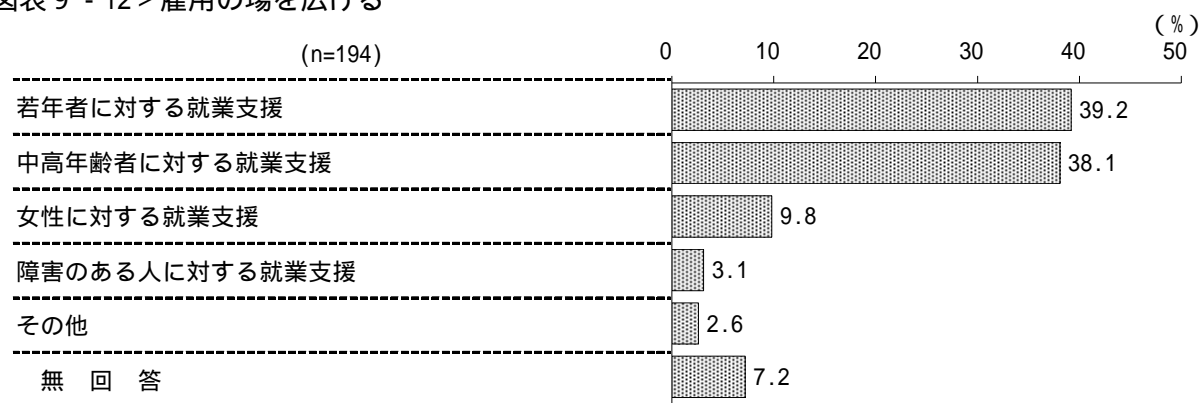
<図表9 - 11> 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る



## 8 雇用の場を広げる（12.5%、8位）

「若年者に対する就業支援」（39.2%）が約4割で最も高く、以下、「中高年齢者に対する就業支援」（38.1%）が続く。（図表9 - 12）

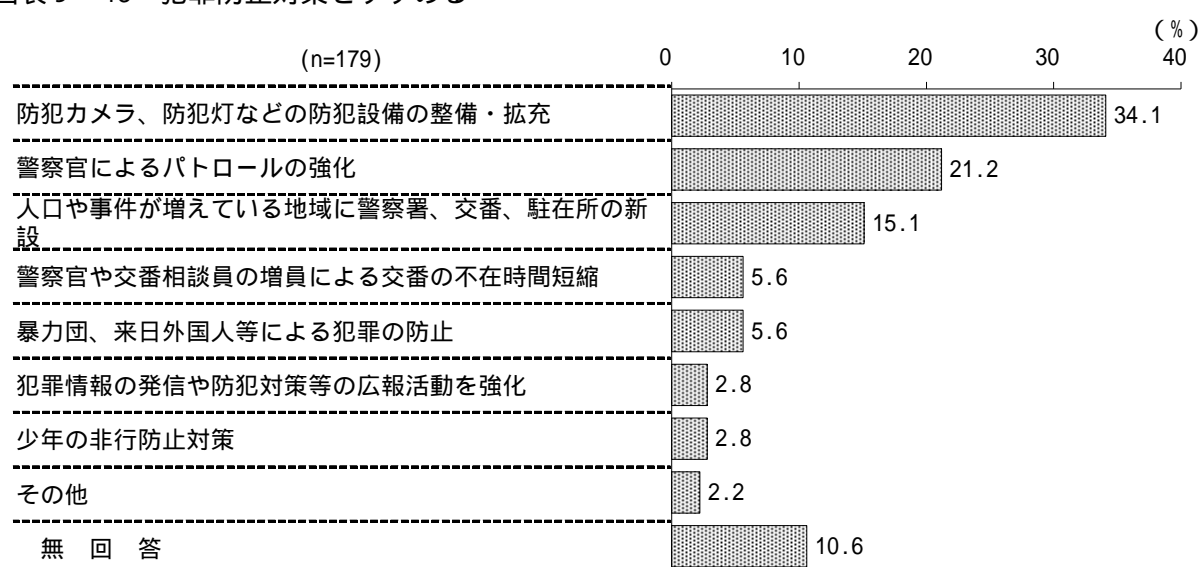
<図表9 - 12> 雇用の場を広げる



## 9 犯罪防止対策をすすめる（11.5%、9位）

「防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充」（34.1%）が3割台半ばで最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（21.2%）、「人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設」（15.1%）が続く。（図表9 - 13）

<図表9 - 13> 犯罪防止対策をすすめる

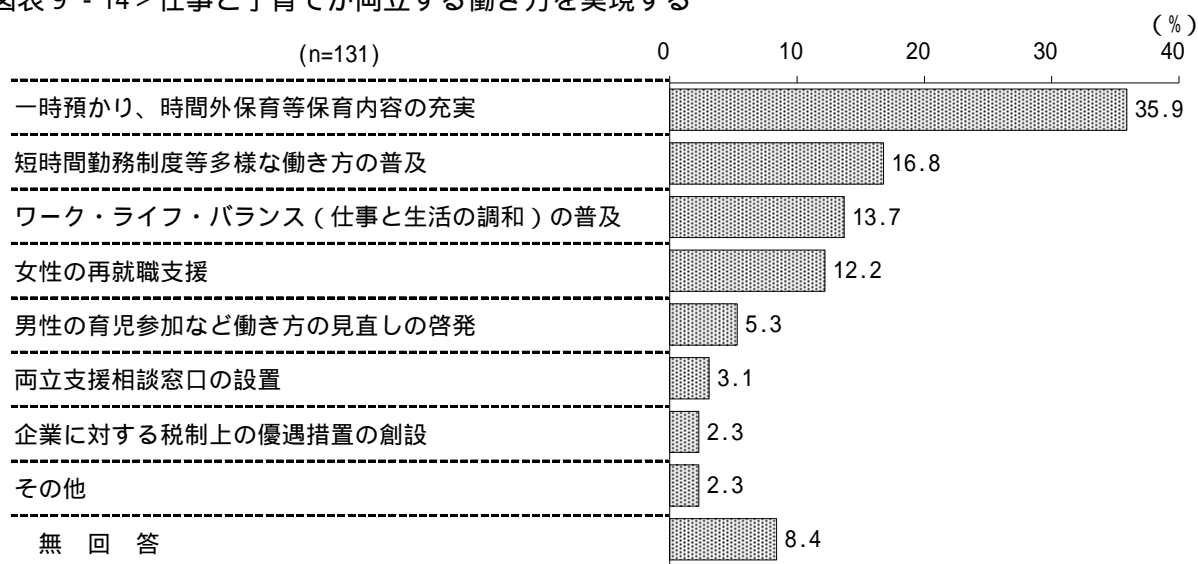




## 10 仕事と子育てが両立する働き方を実現する（8.4%、10 位）

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（35.9%）が3割台半ばと最も高く、以下、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（16.8%）「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及」（13.7%）「女性の再就職支援」（12.2%）が続く。（図表9 - 14）

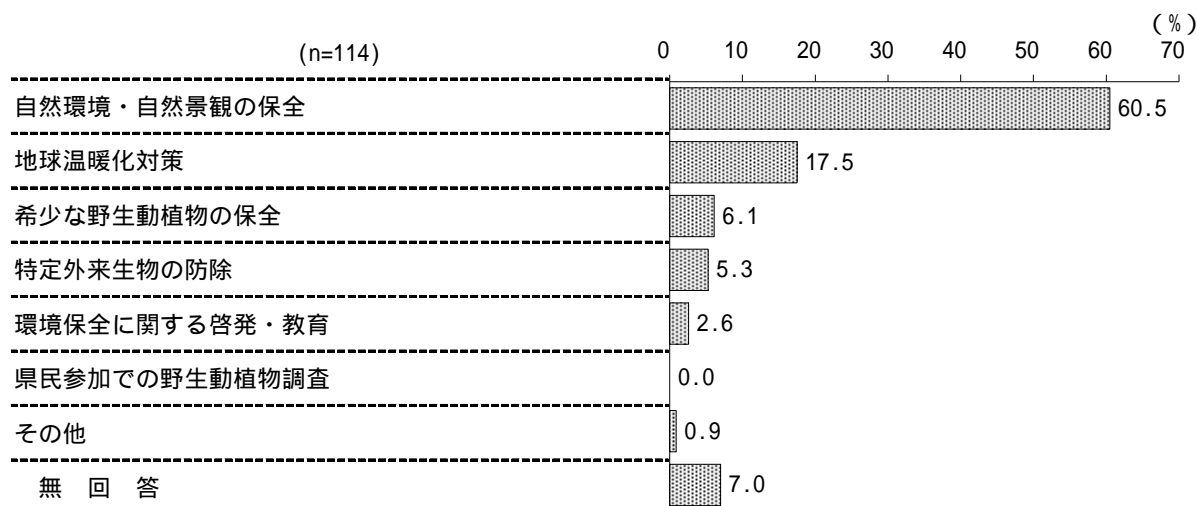
<図表9 - 14> 仕事と子育てが両立する働き方を実現する



## 11 自然を守り、緑を育てる（7.3%、11 位）

「自然環境・自然景観の保全」（60.5%）が6割で最も高く、以下、「地球温暖化対策」（17.5%）が続く。（図表9 - 15）

<図表9 - 15> 自然を守り、緑を育てる



## 12 安心して飲める良質な水道水を供給する（7.2%、12 位）

「上水道の水質の改善・維持」（50.9%）が5割で最も高く、以下、「水源となる湖沼や川の汚染対策」（32.1%）が続く。（図表9 - 16）

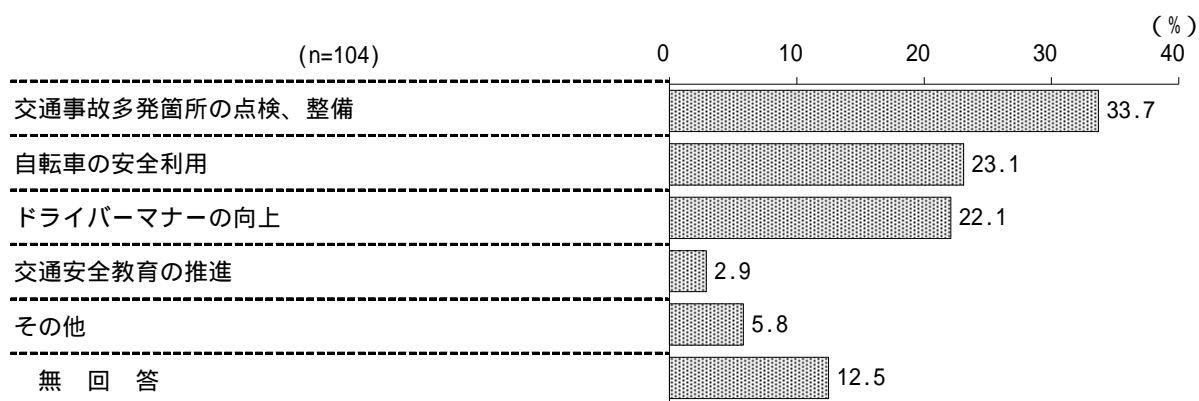
<図表9 - 16> 安心して飲める良質な水道水を供給する



## 13 交通事故から県民を守る（6.7%、13 位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（33.7%）が3割台半ばで最も高く、以下、「自転車の安全利用」（23.1%）、「ドライバーマナーの向上」（22.1%）が続く。（図表9 - 17）

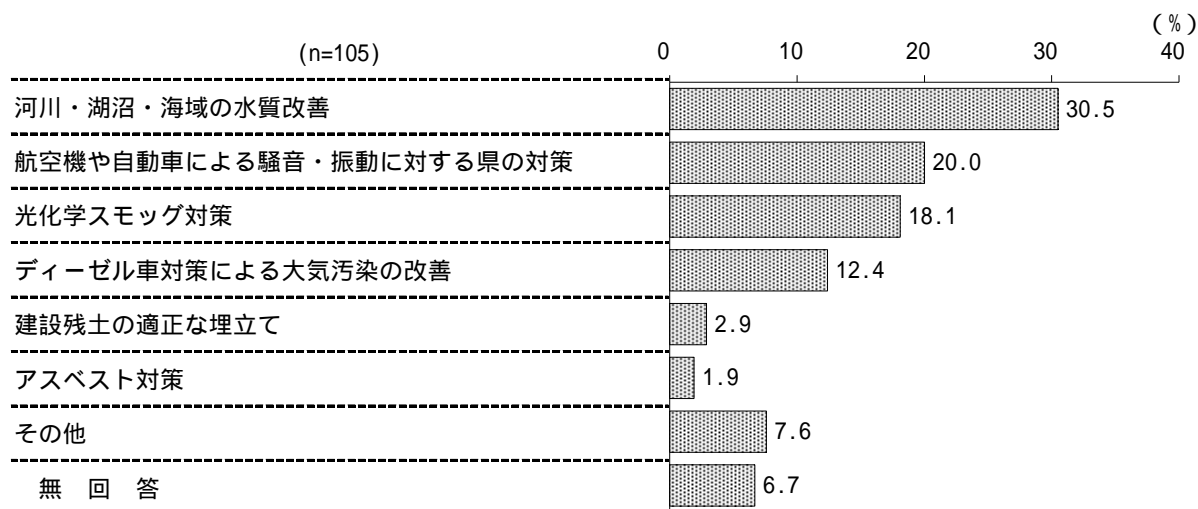
<図表9 - 17> 交通事故から県民を守る



#### 14 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（6.7%、13 位）

「河川・湖沼・海域の水質改善」（30.5%）が3割と最も高く、以下、「航空機や自動車による騒音・振動に対する県の対策」（20.0%）、「光化学スモッグ対策」（18.1%）が続く。（図表9 - 18）

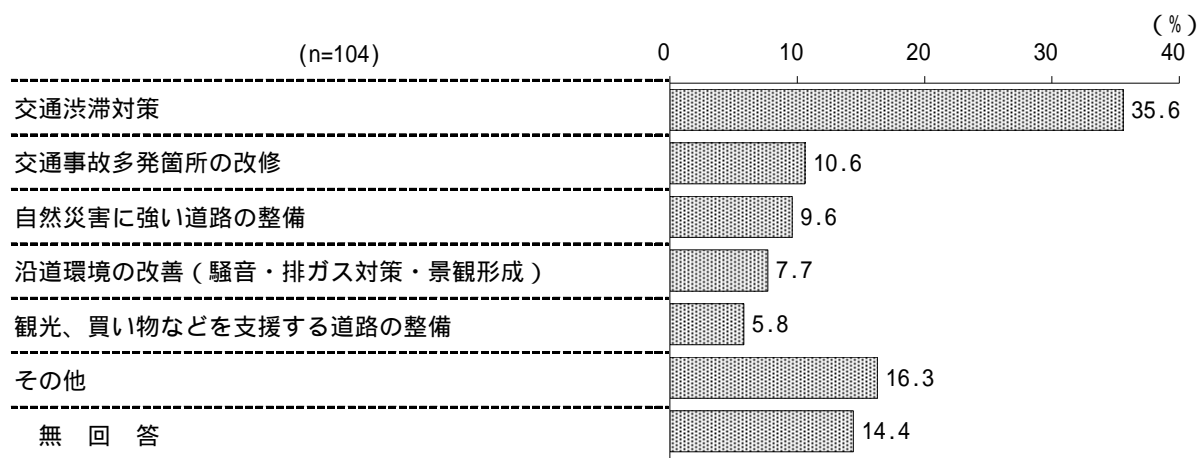
<図表9 - 18> 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



#### 15 道路を整備する（6.7%、13 位）

「交通渋滞対策」（35.6%）が3割台半ばで最も高く、以下、「交通事故多発箇所の改修」（10.6%）、「自然災害に強い道路の整備」（9.6%）が続く。（図表9 - 19）

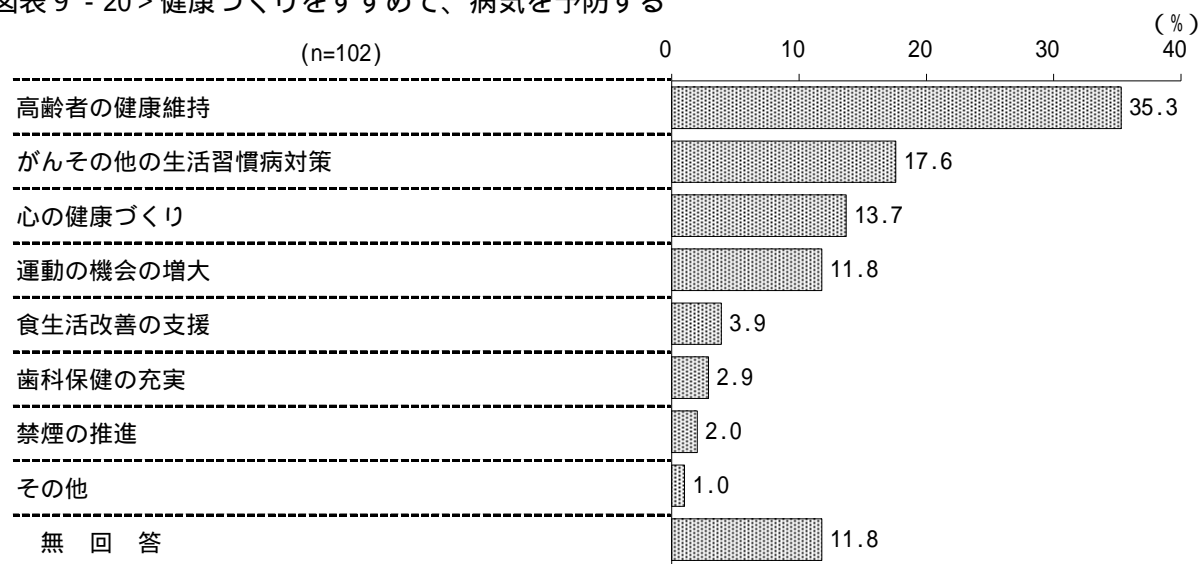
<図表9 - 19> 道路を整備する



16 健康づくりをすすめて、病気を予防する（6.6%、16 位）

「高齢者の健康維持」（35.3%）が3割台半ばと最も高く、以下、「がんその他の生活習慣病対策」（17.6%）、「心の健康づくり」（13.7%）が続く。（図表9 - 20）

<図表9 - 20> 健康づくりをすすめて、病気を予防する



17 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（6.5%、17 位）

「就労・自立対策・社会参加への促進」（33.7%）が3割台半ばで最も高く、以下、「障害のある人が住みやすく・生活上の各種の障壁のないまちづくり」（29.7%）、「経済的な支援・負担の軽減」（16.8%）が続く。（図表9 - 21）

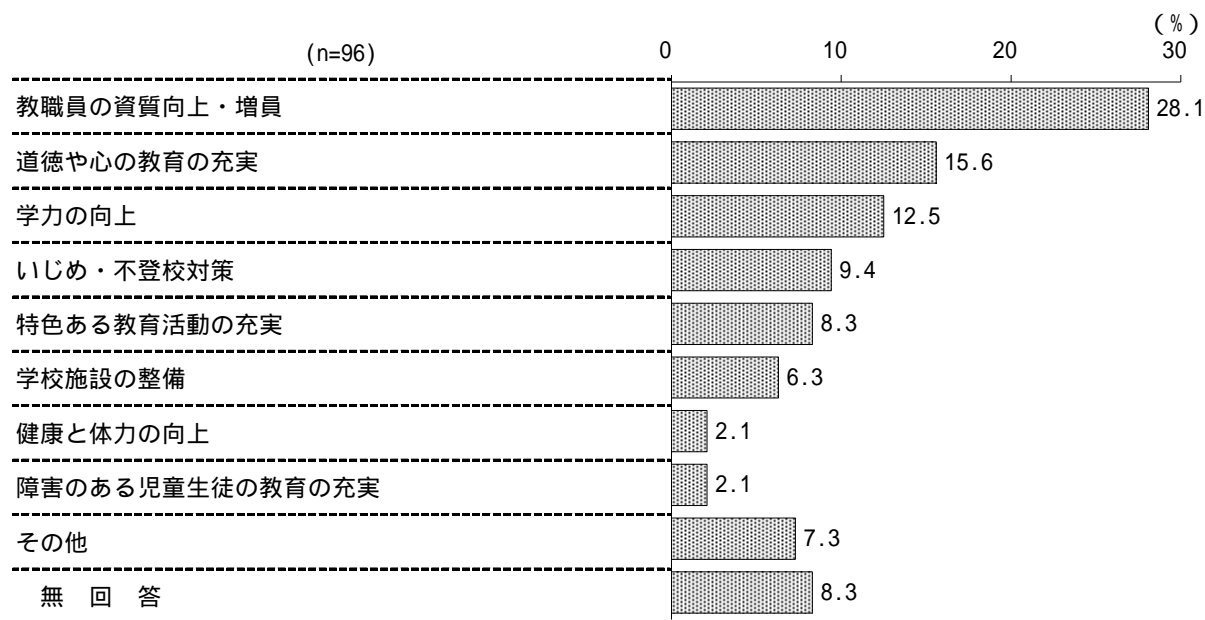
<図表9 - 21> 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



## 18 学校教育を充実する（6.2%、18 位）

「教職員の資質向上・増員」（28.1%）が約3割と最も高く、以下、「道徳や心の教育の充実」（15.6%）、「学力の向上」（12.5%）、「いじめ・不登校対策」（9.4%）が続く。（図表9 - 22）

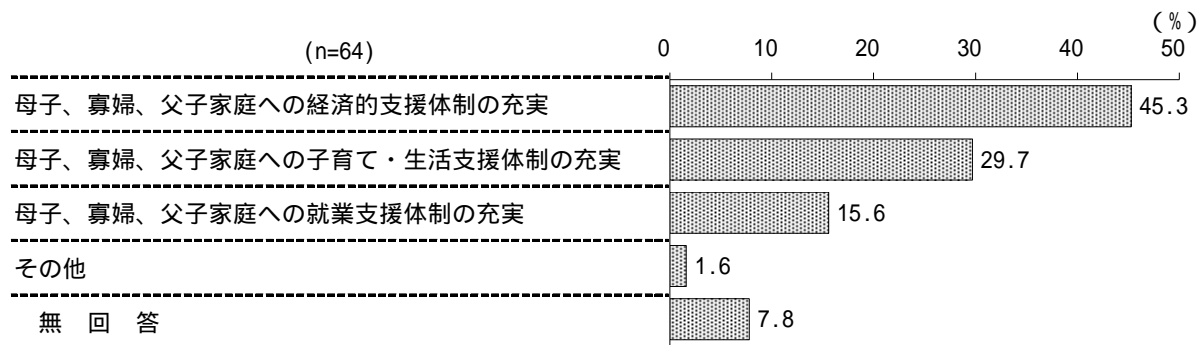
<図表9 - 22> 学校教育を充実する



## 19 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する（4.1%、19 位）

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」（45.3%）が4割台半ばで最も高く、以下、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」（29.7%）、「母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実」（15.6%）が続く。（図表9 - 23）

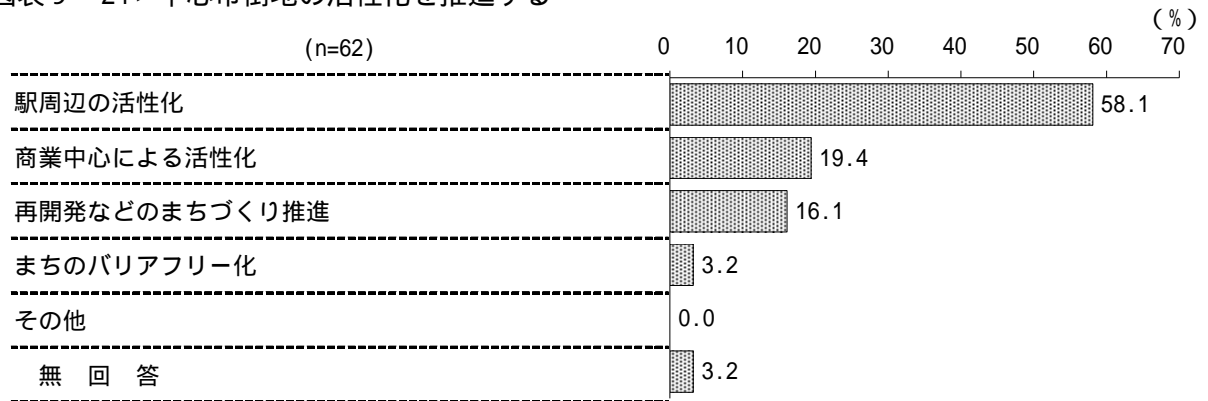
<図表9 - 23> 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する



20 中心市街地の活性化を推進する（4.0%、20 位）

「駅周辺の活性化」（58.1%）が約 6 割と最も高く、以下、「商業中心による活性化」（19.4%）「再開発などのまちづくり推進」（16.1%）が続く。（図表 9 - 24）

<図表 9 - 24> 中心市街地の活性化を推進する

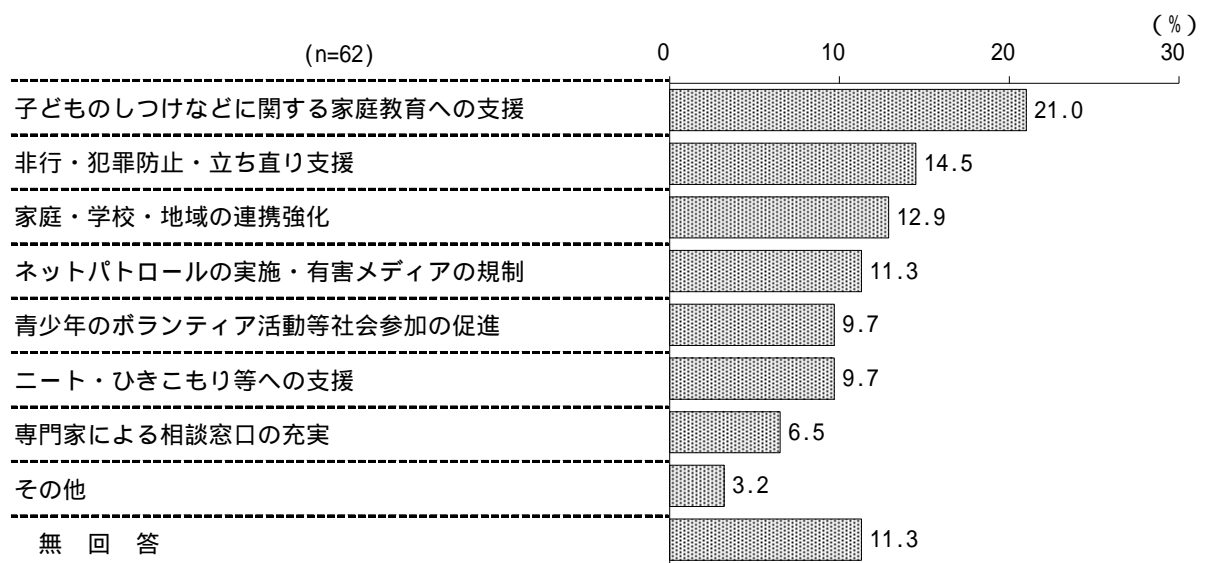


21 青少年を健全に育てる（4.0%、20 位）

「子どものしつけなどに関する家庭教育への支援」（21.0%）が 2 割を超えて最も高く、以下、「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（14.5%）「家庭・学校・地域の連携強化」（12.9%）が続く。

（図表 9 - 25）

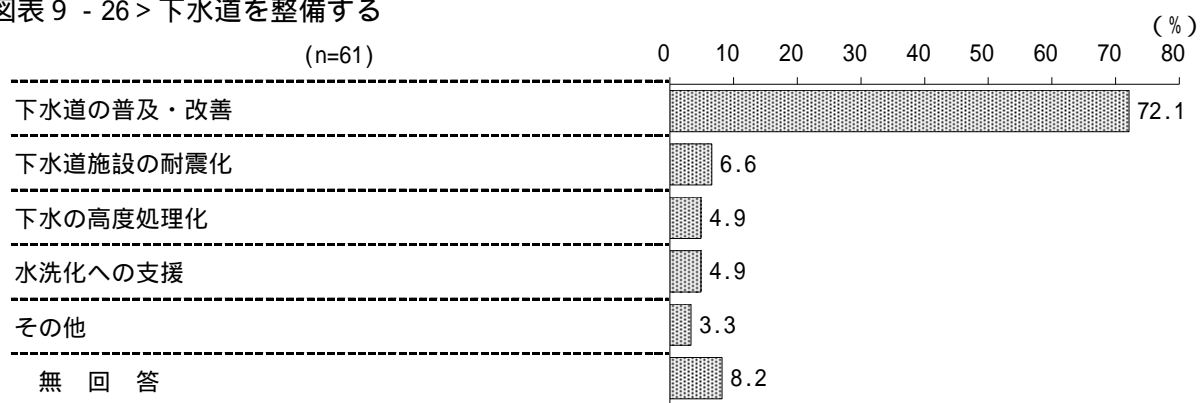
<図表 9 - 25> 青少年を健全に育てる



## 22 下水道を整備する（3.9%、22 位）

「下水道の普及・改善」（72.1%）が7割を超えて最も高く、以下「下水道施設の耐震化」（6.6%）が続く。（図表9 - 26）

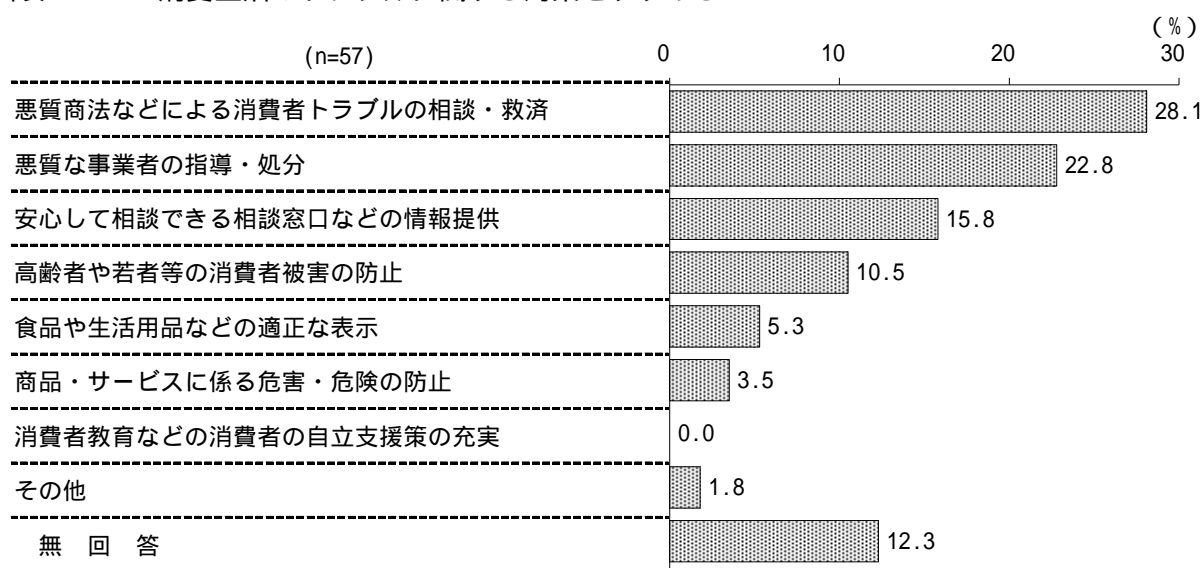
<図表9 - 26> 下水道を整備する



## 23 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（3.7%、23 位）

「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（28.1%）が約3割と最も高く、以下「悪質な事業者の指導・処分」（22.8%）、「安心して相談できる相談窓口などの情報提供」（15.8%）が続く。（図表9 - 27）

<図表9 - 27> 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



24 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（3.5%、24 位）

「施設の整備・充実」（32.7%）が3割を超えて最も高く、以下、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（25.5%）、「学習機会の充実」（20.0%）が続く。（図表9 - 28）

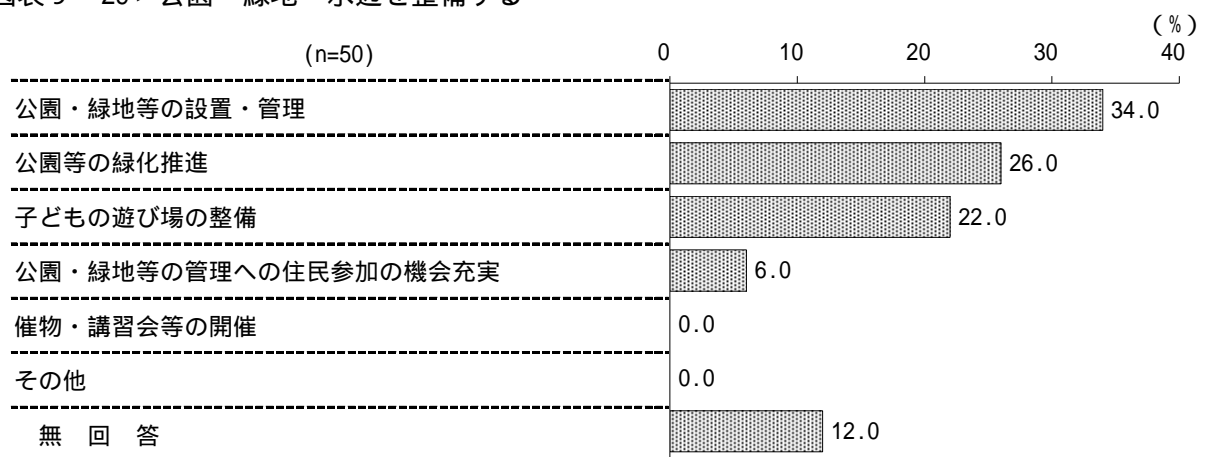
<図表9 - 28> 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



25 公園・緑地・水辺を整備する（3.2%、25 位）

「公園・緑地等の設置・管理」（34.0%）が3割台半ばで最も高く、以下、「公園等の緑化推進」（26.0%）、「子どもの遊び場の整備」（22.0%）が続く。（図表9 - 29）

<図表9 - 29> 公園・緑地・水辺を整備する

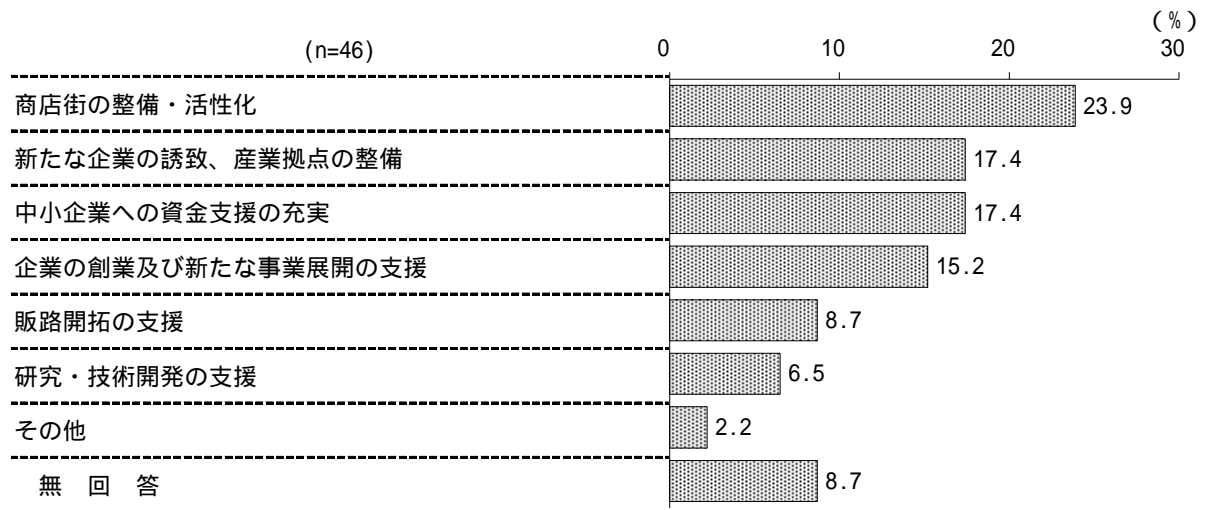




26 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する（3.0%、26 位）

「商店街の整備・活性化」（23.9%）が2割台半ばで最も高く、以下、「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（17.4%）、「中小企業への資金支援の充実」（17.4%）が続く。（図表9 - 30）

<図表9 - 30> 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する



27 省資源やリサイクルをすすめる（2.5%、27 位）

「廃棄物の再資源化促進」（38.5%）が約4割で最も高い。（図表9 - 31）

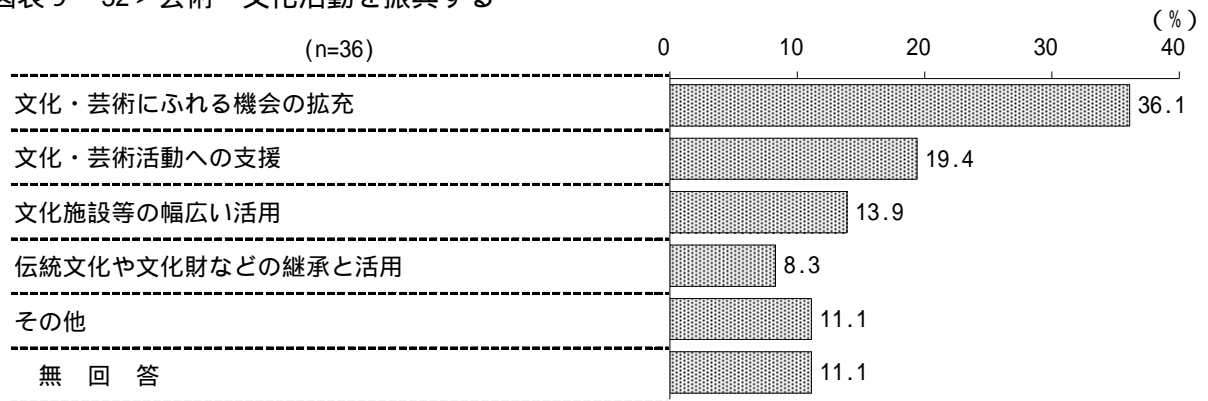
<図表9 - 31> 省資源やリサイクルをすすめる



28 芸術・文化活動を振興する（2.3%、28 位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（36.1%）が3割台半ばで最も高い。（図表9 - 32）

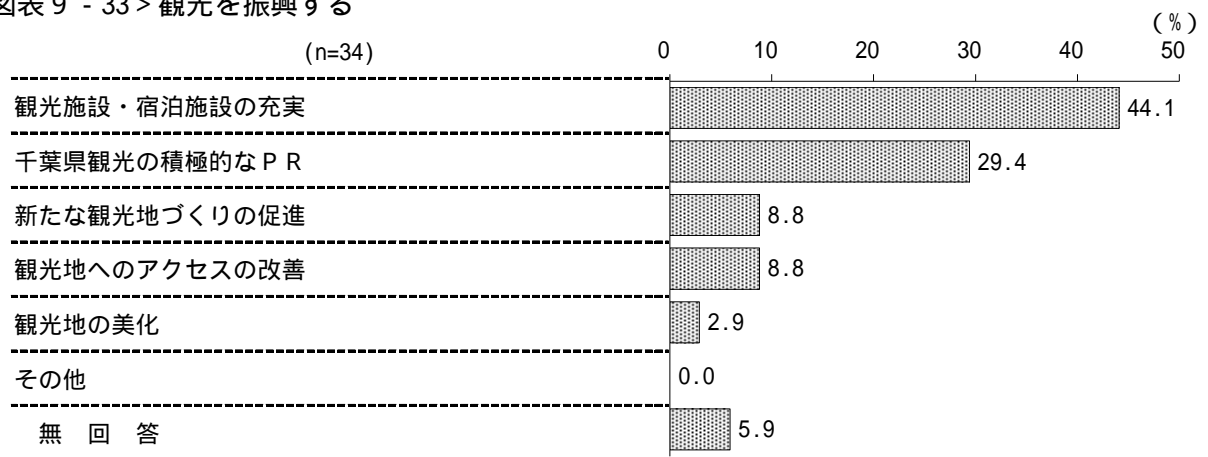
<図表9 - 32> 芸術・文化活動を振興する



29 観光を振興する（2.2%、29 位）

「観光施設・宿泊施設の充実」（44.1%）が4割台半ばで最も高く、以下、「千葉県観光の積極的なPR」（29.4%）が続く。（図表9 - 33）

<図表9 - 33> 観光を振興する

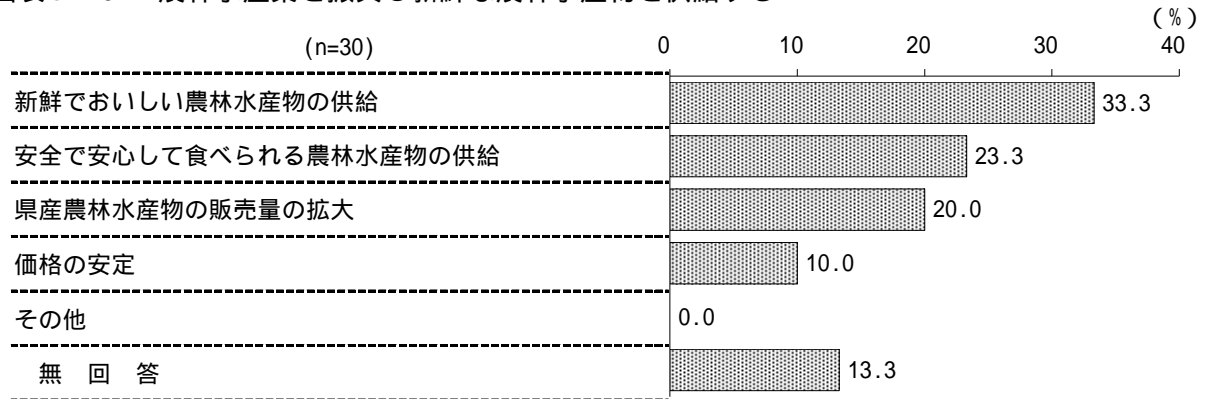


30 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（1.9%、30 位）

「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（33.3%）が3割台半ばで最も高く、以下、「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（23.3%）、「県産農林水産物の販売量の拡大」（20.0%）が続く。

（図表9 - 34）

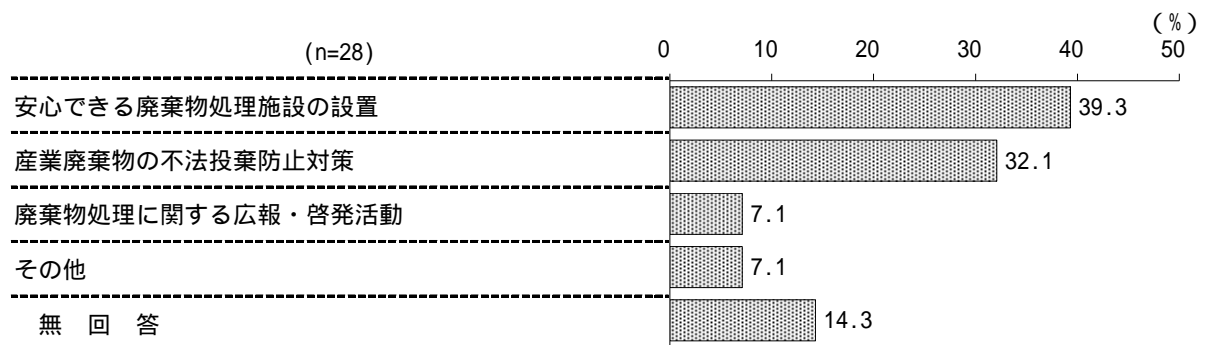
<図表9 - 34> 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



31 廃棄物対策をすすめる（1.8%、31 位）

「安心できる廃棄物処理施設の設置」（39.3%）が約4割で最も高く、以下、「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（32.1%）が続く。（図表9 - 35）

<図表9 - 35> 廃棄物対策をすすめる

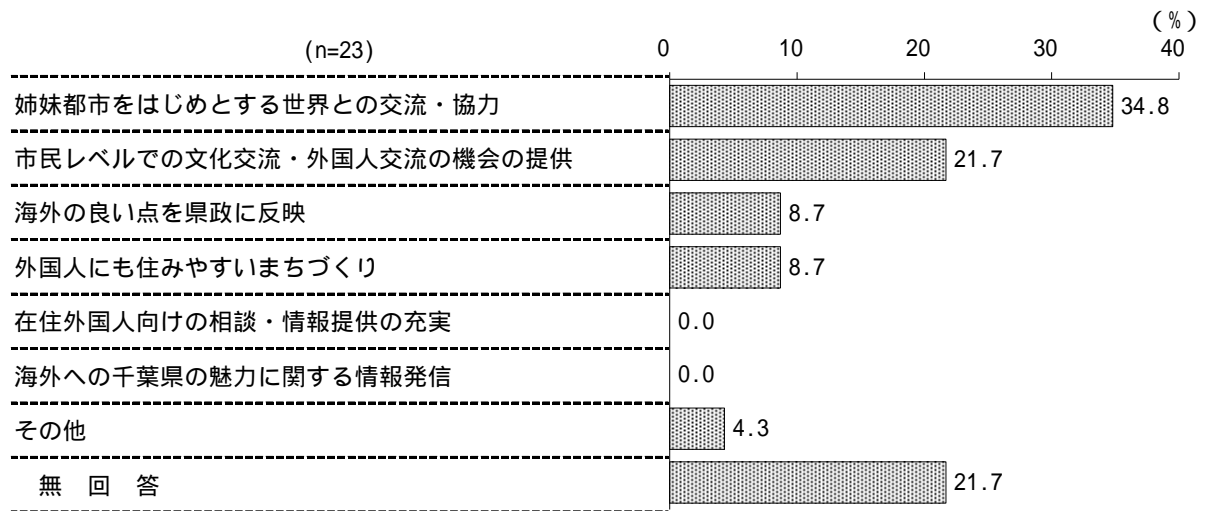


32 国際交流や国際協力をすすめる（1.5%、32 位）

「姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力」（34.8%）が3割台半ばで最も高い。

（図表9 - 36）

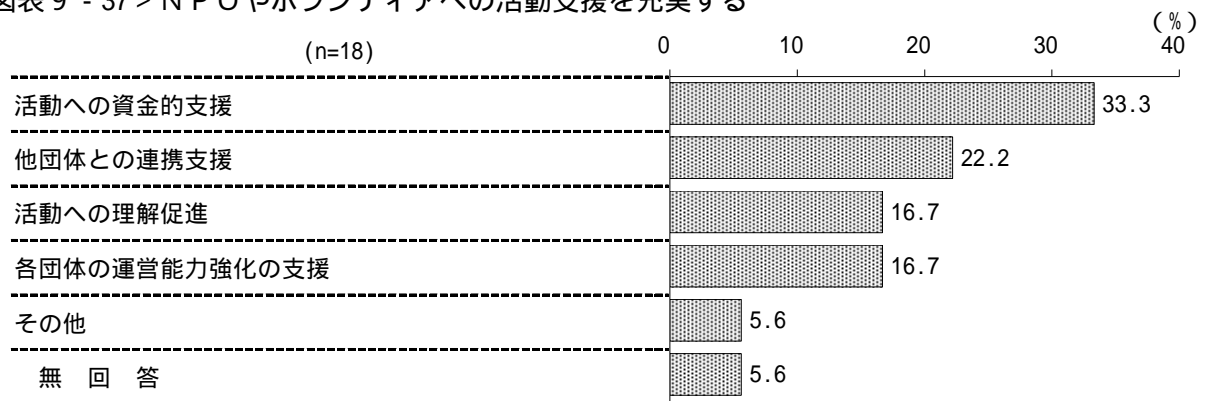
<図表9 - 36> 国際交流や国際協力をすすめる



33 NPOやボランティアへの活動支援を充実する（1.2%、33 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9 - 37）

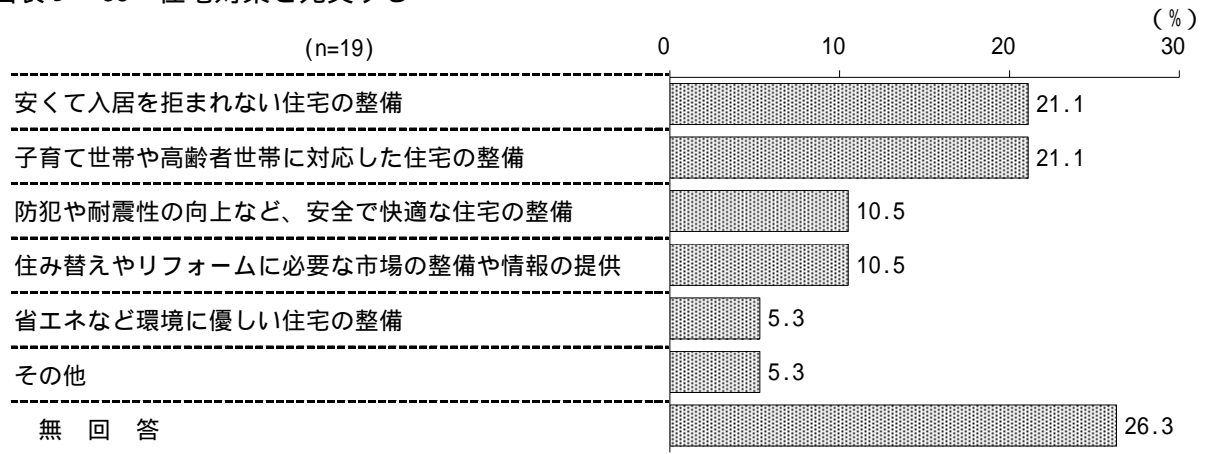
<図表9 - 37> NPOやボランティアへの活動支援を充実する



34 住宅対策を充実する（1.2%、33 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9 - 38）

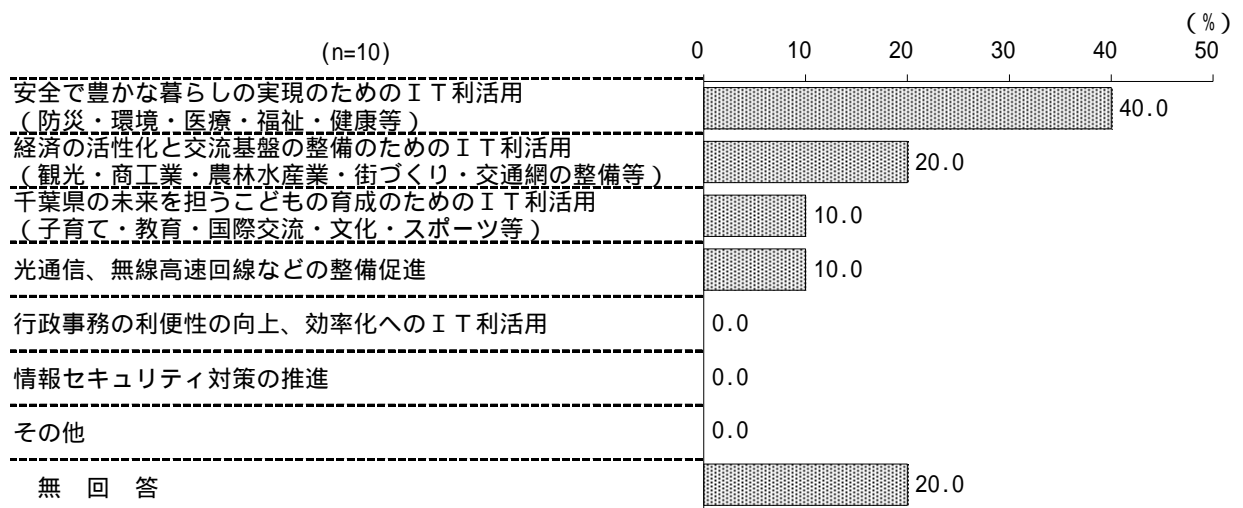
<図表 9 - 38> 住宅対策を充実する



35 施策実現や地域活性化のための I T の利活用を進める（0.6%、35 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9 - 39）

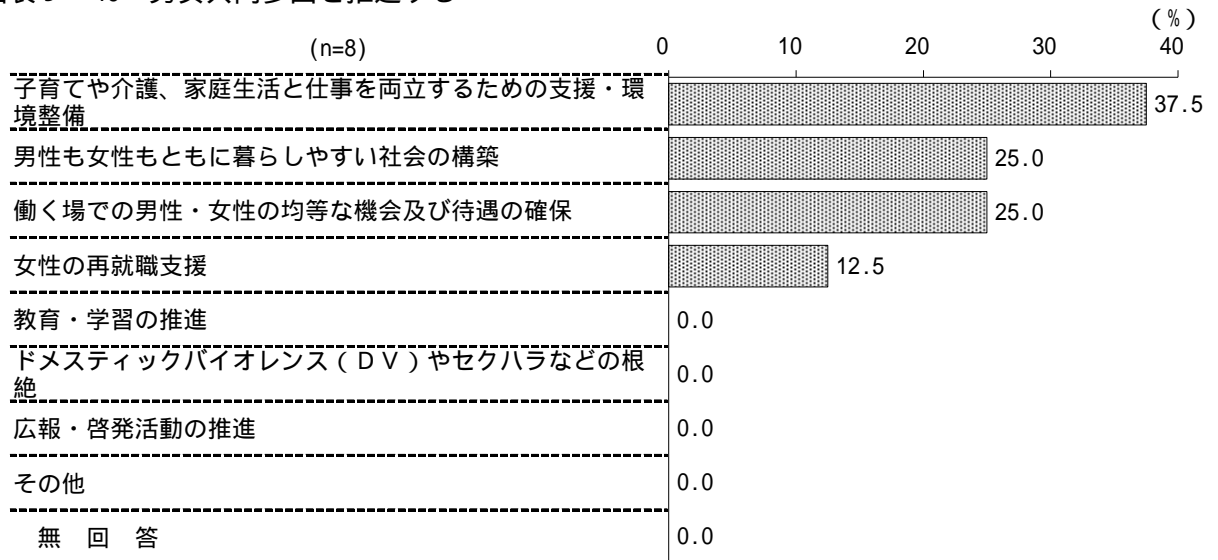
<図表 9 - 39> 施策実現や地域活性化のための I T の利活用を進める



36 男女共同参画を推進する（0.5%、36 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9 - 40）

<図表9 - 40> 男女共同参画を推進する



## 10 自由回答

問 県への意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、338人から延べ387件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計38項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部抜粋してご意見を記載するものとする。

### 【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	79
第2位	高齢者の福祉を充実する	30
第3位	道路を整備する	24
第4位	県政情報の発信や活動のPRについて	22
第5位	便利な交通網を整備する	20
第6位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	14
第7位	医療サービス体制を整備する	12
"	災害から県民を守る	12
第9位	観光を振興する	11
第10位	アクアラインについて	10
"	雇用の場を広げる	10
第12位	調査について	8
"	犯罪防止対策をすすめる	8
第14位	公園・緑地・水辺を整備する	7
第15位	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	6
"	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	6
"	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	6
"	交通事故から県民を守る	6
第19位	学校教育を充実する	5
"	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	5
第21位	中心市街地の活性化を推進する	4
"	仕事と子育てが両立する働き方を実現する	4
"	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	4
"	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	4
第25位	街の景観	3
"	自然を守り、緑を育てる	3
"	母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する	3
第28位	国際交流や国際協力をすすめる	2
"	青少年を健全に育てる	2
"	施策実現や地域活性化のためのITの利活用を進める	2

（次ページに続く）

第31位	省資源やりサイクルをすすめる	1
"	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	1
"	安心して飲める良質な水道水を供給する	1
"	食品の安全を守る	1
"	男女共同参画を推進する	1
"	芸術・文化活動を振興する	1
"	下水道を整備する	1
"	廃棄物対策をすすめる	1
	その他	47
	うち、住んでいる市町村への要望	16
	うち、国政への要望	7
合 計		387

## 【自由回答の記述】(意見の多い項目の一部抜粋)

### 県政全般に関する要望

県外に住む県民にもサービスが行き届くようになれば良いと思いました。県外からでも選挙の投票ができる。県外の病院でも頸がん検診のサービス券が使えるなど(県政ではないかもしれませんが...)。(女性、20～29歳、香取地域)

千葉県と千葉市の連携強化による県都としての魅力的かつ独自性を持った街作りを推進してほしい。神奈川県海洋資源を活用した街づくり、観光資源の活用を参考として魅力作りを考えていきたい。世代を引き継ぎ、長く千葉に生活基盤を作れる税制を考えていきたい。

(男性、40～49歳、千葉地域)

他県と比べて行政サービスが悪い。例えば運転免許更新手続き、パスポート取得等において(隣接県と比して)。(男性、50～59歳、東葛飾地域)

関東6県の中で最も魅力ある県になる様な施策を打ち出し、住人(人口)が増え、企業を誘致する様にしてほしい。その為には、お金を使うところは使っていいと考えます。一方、不要と考えられる施策にはお金を絞ってほしい。メリハリのある県政を希望します。

(男性、30～39歳、千葉地域)

県民の声が届く千葉県であってほしいと思います。県民としても、千葉県に住んでいるからには、しっかり千葉の情報を学び、知っていくことを意識したいです。

(女性、20～29歳、葛南地域)

少子化、高齢化の中で、福祉政策のビジョンがわかりにくい。例えば、横浜市の待機児童0など、県民をうならせるようなものが見えない。法律に基づく諸計画も県・市ともに特異なものもなく、これらに取り組む姿勢が感じられない。(男性、65歳以上、葛南地域)

税金は大切な事はわかります。使い方は一人一人の気持ちを思って、平等に、政治は誰もが納得する使い道をお願いします。(女性、65歳以上、海匝地域)



人口流出を防ぐ対策を考えるべき（特に若い世代）。（女性、65歳以上、印旛地域）

人口が市街地ばかりに集中するのではなく、県全体どこでも住み易いような県にして欲しいです。（男性、20～29歳、山武地域）

厳しい県の財政を立て直していく道筋を、県民にはっきりと示し、納得させてほしい。行政に携わる人々が必死の姿勢を見せれば県民も協力する。私は戦後生まれだが、戦中戦後の辛い苦しい頑張りや祖父母、両親から聞いて、物心ついたころから知っている。公務に従事する人々の公僕を忘れない真摯な態度、行いが、県の借金返済の為に耐えて協力する県民を生んでいくと信じている。（女性、65歳以上、長生地域）

### 高齢者福祉を充実する

母の介護、看取りをして、娘でもつらかったと思っています。子どもにはその負担をかけたくありません。仕事をしていてはとても無理だと思えますし。在宅でも高齢者が一人で暮らしていけるサービス、福祉の充実を切に希望します。（女性、50～59歳、千葉地域）

高齢者が（特に単身者）非常に多くなってきています。なるべく病院に行かなくて済むように、近くで集って習い事とかおしゃべりが出来るような施設がほしいです。元気でいられると思います。（女性、65歳以上、東葛飾地域）

家に年寄りだけで、どのような支援を受けられるのか、誰に相談していいのか？どこまでみていただけるのか、いくらお金がかかるのか、不安です。（女性、60～64歳、海匝地域）

老いた時に健康のために歩く散歩路がほしい。小さな公園があちらこちらにあるのですが、これから増える認知症対策として近くの自治会で自由参加のトレーニングの場が定期的に開かれたらと思います。（女性、65歳以上、千葉地域）

一人暮らしの高齢者が多い地域に住んでいます。自分たちが元気なうちなら、なんとか見れますが、だんだん年齢が重なるにつれ見てあげられるかどうか不安な時もあります。高齢者対策をどんどん進めて欲しいです。（女性、40～49歳、千葉地域）

高齢者が安心して暮らせる県であるように。（男性、40～49歳、葛南地域）

高齢者が増える時代です。もっと気軽に利用できる施設を考えてほしい。

（女性、60～64歳、千葉地域）

自分自身の勝手な考えですが、今は車に乗ったり自転車に乗る事ができるから良いが、75才になりますので、乗り物に自分で利用できなくなると近くにお買い物する所が少ないので、今より少々不便になるかと心細い気がします。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

子育てに関しては申し分ないと思うが、年寄りには冷たく感じる。

（女性、65歳以上、印旛地域）

老夫婦の暮らしです。平穏な暮らしが続く様な施策を望んでいます。高齢者と子供たちのふれあう場所とか。（男性、65歳以上、千葉地域）

## 道路を整備する

道路の渋滞緩和に対し、改善を急いでいただきたいです。（男性、20～29歳、千葉地域）

道路がせまい。子供の通学路になっている道の歩道の整備をぜひお願いいたします。

（女性、40～49歳、葛南地域）

圏央道の開通により東京へのアクセスがとても良くなり、感謝しています。もっともっと都会から緑豊かないすみ市に来て頂きたいと思います。（女性、60～64歳、夷隅地域）

自転車専用道路をもっと作ってほしい。（女性、65歳以上、千葉地域）

ずっとできあがらない都市計画道路がある。そのせいで近くの住宅街の道が抜け道になってしまっていて、通学路を車がたくさん通って危険。無駄はなくしていかなくてはならないけど、必要な物はちゃんと作って欲しい。（男性、30～39歳、千葉地域）

## 県政情報の発信や活動のPRについて

千葉県は都心に近い割に海もあって自然に恵まれています。私も含めて千葉県民自身があまり魅力に気付いていないように思います。千葉の魅力をずいぶん以前に比べればいろいろとアピールするようになったと感じておりますが、今後も発信していただけたらと思っております。

（女性、30～39歳、葛南地域）

広報誌など、各家庭に配布された方が良いと思います（TV、インターネット等は自らが見ようとしなければ見れないので）。他にも県市含め、個人が困り必要として調べるのではなく、公の県（市）から個人（家庭）全体への情報の知らせが必要と思います。

（女性、50～59歳、海匝地域）

Web等で県政を閲覧出来ない人の為に、もっと紙面での公開、広報を望む。

（男性、50～59歳、葛南地域）

全てのことに對してもっとわかりやすく説明等もしっかりしてほしい。今、県が何をしているのか何に力を入れているのかがさっぱりわからない。千葉県は被災地、被災者のためにどのようなことをしているのか。（女性、20～29歳、千葉地域）

千葉県に関する情報があまり入ってこないと思いました。私は熊本県から来たのですが、ここではどのテレビ局でも県に関する情報を放送していたので、自然に情報を得る事ができていました。しかし、千葉県では千葉テレビしかなく、今でもあまり千葉県のことを知りません。

（男性、20～29歳、東葛飾地域）

## 便利な交通網を整備する

南房総地区への電車の便を良くしてほしい。快速電車とは名ばかりで、ほとんどの駅に停車するので各駅と変わりがない。同じ県内でも都内へ行くより、時間がかかることがある。

（女性、40～49歳、君津地域）

終電が早すぎる！！ 都内から帰る場合、特に不便です。都内まで行かないと買えないものが多い。ファッションなど…化粧品など。（女性、20～29歳、印旛地域）

県中南部、北東部での交通弱者対策の実施（廃止、減便された路線バスの代替交通の確保）。

（男性、30～39歳、千葉地域）

外房地域の交通の利便性向上。（男性、20～29歳、夷隅地域）

千葉ニュータウンに住んでいるが、北総線の運賃の高さは目を見はるばかり。都内で240円を支払うと、かなりの距離を移動できるのに、当地では隣駅まで行けない状態（隣駅まで290円）。これらの状態から中高生以上の子を持つ家庭は、引越し等をせまられる現状がある。また、就職に関しても交通費負担が多いため、企業としては北総線を使う人を採用しない...という話も耳にしている。このあたりをなんとか改善してもらいたい。北総線を使うことには、こだわってはいない。（女性、60～64歳、印旛地域）

## 次世代を担う子どもの育成支援を充実する

公園がまわりにたくさんあるのですが、子供が遊んでいる姿をあまり見ません。少子化対策をお願いします。（女性、40～49歳、君津地域）

高齢者の福祉対策として配分される予算が多いと思いますが、子育ても重視して頂きたい（経済面というよりも、子育てをしていく上での相談、健康、幼稚園の情報提供などの充実を希望）。

（男性、30～39歳、東葛飾地域）

不登校の子ども達の安心できる居場所や活動の場を作してほしい。また、その親への支援も必要だと思います。未来を担う子ども達のため、子どもを育てる親が明るくならなければ、明るい未来はないと思うので、学力ばかりに目を向けずに、心に余裕ができる政策を期待します。（女性、40～49歳、東葛飾地域）

市により福祉やサービス内容に格差があるため、なるべくその差を少なくしてほしい。例えば、子供の医療費助成も小学3年生までのところもあれば、小学6年生や中学生までのところもある。（女性、30～39歳、山武地域）

私は子育て世代ですが、一番お金のかかる時期です。しかし、子供がいる（小学生2人）世代ですが、補助金や「チーパス」があるおかげで随分と助かっています。欲を言うなら「チーパス」の加盟店を増やしてもらったり、お得感を感じられるカードやクーポンなどが他にもあるといいと思います。あと、チーパスカードに加盟しているお店の方でも、利用頻度を上げられる様、声をかけてくれるといいと思います。

（女性、40～49歳、葛南地域）

## 医療サービス体制を整備する

訪問診療ができる医師を増やして欲しい。（男性、60～64歳、千葉地域）

救急の受け入れ先が民間でダメな場合、最終的には県or市の病院で必ず受け入れるとなれば幸いです。（女性、60～64歳、千葉地域）

病院が少なく、どの病院へ行っても混んでいます。もっと病院を増やして頂きたい。

（男性、40～49歳、君津地域）

医療施設が最低限整っていないと不安を感じます。（女性、30～39歳、山武地域）

どうか千葉県の母体搬送のシステムと医師不足の改善をお願いします。

（女性、30～39歳、葛南地域）

## 災害から県民を守る

やはり災害への対策をもっと強化していただきたいです。東日本大震災を教訓に、事前防止策から発生時の対応まで、もっと県民を巻き込んで取り組んでいくべきだと思います。

（女性、20～29歳、葛南地域）

現在各地域ごとに指定されている災害発生時の避難場所及び避難所等は、地震、火災等には有効だが、低地である校庭、公園等は津波（東日本大地震の例）発生時には、ほぼ無力に近いと思う。高層ビルの指定及び高台の遊技場、公園、公共施設等の利用がより効果的と考えられますが、いかがでしょうか！（男性、65歳以上、千葉地域）

災害時避難場所の細密化(わが家から指定されている公共施設まで5kmほど離れている為)。

（男性、30～39歳、千葉地域）

津波、水害、汚染等の被害の対策等、TVや新聞で報道されない住居近辺のことを知りたいと思います。それにより、住民各々の自覚も生まれると思いました。

（女性、65歳以上、印旛地域）

万一津波が来た際の避難場所も不明ですし、避難場所とされている小学校や公園の液状化も目立ちました。避難場所、及びそこまでの道のりの液状化対策を望みます。

（女性、30～39歳、葛南地域）

## 観光を振興する

千葉は、自然豊かな素晴らしい所です。もっと観光アピールをしたらよいと思います。南房総にも魅力的な観光地が増えるとよいのですが…。（女性、20～29歳、葛南地域）

都心にも近く、自然環境に恵まれながら、海に面した観光地がいずれも雑然としているのが残念です。整備をしたら、もっと美しい県になると思うのですが。

（女性、65歳以上、東葛飾地域）

近隣の県とも連携し、関東にもっと諸外国から観光に来るような仕組み作りを行ってほしいです。（男性、30～39歳、葛南地域）

県の銘菓や特産品の印象が薄いので、アピールや開発に力を入れるとよいと思います。道の駅が少しずつ増えていて利用させていただいてます。利用しやすく、大変便利です。

（女性、30～39歳、山武地域）

森田県知事がテレビで千葉県の魅力を伝えていくとおっしゃっていました。日本には多くの外国人が訪れています。県民がもっと自身の県を理解し、魅力を伝えていけるようになればいいなと思います。そして、外国人の方も含め、多くの方が観光で来てくれるくらい活性化した県になったらいいなと思います！（女性、30～39歳、東葛飾地域）

## アクアラインについて

東京から鴨川に行く交通としてアクアラインを利用しています。頻繁に利用する者にとって、料金の設定は重要ですのでよろしくお願いします。（女性、40～49歳、安房地域）

アクアラインを安くする事より、他にやる事があると思う。（男性、40～49歳、千葉地域）

現在、アクアラインをETCで800円で利用させて頂いています。大変便利で頻繁に使っていますが、これは一時的なもので終わってしまうのでしょうか？今の一般料金、3000円、往復で6000円になると今までの様には通行する事は出来なくなってしまいます。妥当な料金設定を望んでいます。（女性、65歳以上、君津地域）

アクアラインの値下げは観光客の増加など、千葉経済に効果が出ていると思います。継続or定常化をお願いします。（男性、30～39歳、千葉地域）

## 雇用の場を広げる

お年寄りや障害をもつ方、シングルマザーの方が社会で働きやすい環境を作っていただきたいです。そうすれば千葉県が活性化すると思いますし、税金の収入も上がると思うので、今は先行投資の形で支援して頂けるとありがたいと思います。（男性、30～39歳、葛南地域）

地方地域でも若者が働ける、または帰ってこれるためにも職場の確保が必要だと思います。学校（大学）などで都会に出ても、働く場所があればもっと地元に戻ってきやすいと思います。今は医療者は気軽に帰ってこれますが、他の仕事では帰ってこれないと思います。

（女性、30～39歳、安房地域）

65才が定年で会社をやめました。年金だけでは生活できなくて就職を希望しているのですが、なかなか職につけません。どうして生計をたてるか悩んでいます。

（女性、65歳以上、東葛飾地域）

正社員の雇用が必要と思う。特に若い男性、老人福祉など正社員の雇用はあるが、給料が低い。労働がきつい。その結果が離職となる。国では無理、千葉県独自で子供、結婚、労働と増加する仕組みを作れないものか？あと60才～70才の方の労働活用の仕組みも！

（男性、40～49歳、長生地域）

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、158人からの回答が寄せられた。これらのご意見から、一部抜粋してご意見を記載した。

世論調査がある事を今回初めて知りました。改めて千葉県の事を考える時間ができて良かったです。逆に千葉県民ですが、千葉を身近に感じられました。これからは何かあれば千葉県の事を親子で見たり、調べたりしたいと思います。（女性、30～39歳、千葉地域）

問4 3「県政への要望」3つまでにしぼって選択できません。残念です。

（女性、40～49歳、葛南地域）

調査結果公表後の対策を知りたいですね。折りにふれて、何らかを長期間にわたっても結構ですから、公表して下さい。決しておざなりにしないで下さいね。

（女性、65歳以上、東葛飾地域）

この調査が本当に県政に反映されるのかは分かりませんが、アンケートを取るだけで終わりにしてほしくはありません。アンケート調査をしっかりと県政に活かして頂き、明るい未来の千葉県へと導いて下さい。千葉県は本当に良い所です。千葉県民である事に誇りを感じます。

（男性、30～39歳、葛南地域）

世論調査が送られて、改めて住みやすい町だということを感じられました。これからはもっと意識しながら、町への取り組み、子供へのしつけ等、行いたいと思います。

（女性、40～49歳、君津地域）

質問が多く時間がかかる。もう少し分割して負担を減らしてみてもどうか。

（女性、20～29歳、君津地域）

こういう世論調査は県民の素直な意見が聞けると思います。無作為でどんどん調査した方が良いでしょう。（男性、60～64歳、葛南地域）

この調査を県の政策に必ず反映させて欲しいと思います。（男性、20～29歳、山武地域）

もっと簡略化したものでも構いませんので、こういったものをネットなどから「電子目安箱」的なもので意見を広く集めるのもひとつの方法だと思います（もうすでに実在するかもしれませんが...）。（男性、40～49歳、印旛地域）

自分自身、いかに県政に対して知らなかったか、よくわからせて頂きました。もう少し視野を広げ、関心を持って生活をさせて頂きたいと思わせて頂きました。

（女性、60～64歳、長生地域）

( 付 ) 調査票および単純集計結果





## 第46回 千葉県政に関する世論調査

## ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査の回答は、宛名のご本人様にお願いいたします。
- 2 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 3 回答は、原則としてあてはまるものに ☐ をつけてください。質問は、  
( ☐ は1つ ) ( ☐ は3つまで ) ( ☐ はいくつでも ) などと表示していますので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、  
ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、  
次の質問に進んでください。

- 4 お答えが選択肢の中に入らない場合は、「その他」を選び、(  ) 内に  
その内容を具体的に記入してください。
- 5 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒( 切手不要 )に入れて、  
9月2日(月)までに郵便ポストに投函してください。  
調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
- 6 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、  
お手数ですが下記までお問い合わせください。

## 【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260 - 8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043 - 223 - 2246

FAX 043 - 227 - 3613

## 【環境と生活について】

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。n = 1,556( は1つ)

71.7 住み続けたい

5.8 千葉県内のよそへ移りたい

5.6 千葉県外に移りたい

4.8 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい

9.5 わからない → 次のページ問 2 へお進みください

2.6 無回答

→ (問 1 で「1」とお答えの方に)

問 1 - 1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

n = 1,116 ( は3つまで)

24.7 地域の人とのつながりを大切に考えているから

14.2 家族の思い出がつまっているから

12.6 引っ越しの負担が大きいから

63.3 自分の土地や家があるから

37.3 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから

9.0 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っているから

25.4 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから

7.0 治安や風紀がよいから

41.0 住み慣れていて愛着があるから

18.5 親、兄弟や親戚が近くにいるから

6.3 仕事や商売に都合がよいから

1.3 その他(具体的に

)

0.3 無回答

(問 1 で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に)

→ 問 1 - 2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n = 252 ( は3つまで)

32.1 その時々家族の状況(子どもの成長、親のめんどろを見るなど)にあった住まいを  
考えているから

2.4 一ヶ所にとどまることが難しいから

36.1 生活環境をより良くしたいから

17.9 より良質で広い住宅に住みたいから

3.6 近所の人とのつきあいがうまくいっていないから

34.1 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから

11.9 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っていないから

11.5 自然環境に恵まれていないから

8.3 治安や風紀が悪いから

15.5 愛着を感じないから

17.1 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから

14.3 その他(具体的に

)

1.2 無回答

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。( はそれぞれ1つずつ)

n = 1,556	良いほう と思う	どちらとも いえない	悪いほう と思う	わからない	無回答
(ア) ごみ処理などの環境衛生について	69.5	21.9	5.3	1.9	1.4
(イ) 騒音・振動などについて	53.1	28.4	14.4	1.3	2.7
(ウ) 大気汚染・悪臭などについて	51.2	30.1	11.7	3.3	3.7
(エ) 海・川などの汚れについて	23.7	36.5	19.6	16.1	4.0

問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般についてどう感じですか。

n = 1,556 ( は1つ)

8.0 大変満足している	15.6 どちらともいえない	3.1 大変不満である
58.4 まあ満足している	11.6 やや不満である	1.1 わからない
		2.1 無回答

問4 あなたは、現在お住まいの地域の周辺・自然環境についてどう思いますか。

( はそれぞれ1つずつ)

n = 1,556	良いほう と思う	どちらとも いえない	悪いほう と思う	わからない	無回答
(ア) 防犯対策について	32.1	47.5	13.4	5.3	1.7
(イ) 交通安全対策について	27.6	47.5	15.9	6.3	2.8
(ウ) 緑の豊かさについて	60.0	25.8	9.5	2.5	2.2
(エ) 文化施設について	26.3	42.7	18.4	10.0	2.7

問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般についてどう感じですか。

n = 1,556 ( は1つ)

5.7 大変満足している	25.7 どちらともいえない	2.8 大変不満である
45.6 まあ満足している	15.9 やや不満である	1.9 わからない
		2.4 無回答

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

n = 1,556 ( はそれぞれ1つずつ)

n = 1,556	良いほう と思う	どちらとも いえない	悪いほう と思う	わからない	無回答
(ア) 道路の整備	41.5	30.8	24.2	2.0	1.5
(イ) 排水(下水道)の整備	46.9	26.9	16.9	7.1	2.2
(ウ) 上水道の整備	56.0	26.3	7.6	7.6	2.4

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。 ( はそれぞれ1つずつ)

	大変満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
n = 1,556							
(ア) 通勤・通学の便について	12.2	43.8	12.7	15.2	7.3	4.2	4.5
(イ) 買い物の便について	17.0	49.7	11.4	16.1	4.7	0.1	1.0
(ウ) 近所や職場での人間関係について	8.3	49.3	28.0	6.2	2.4	3.9	1.9
(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について	27.7	49.6	10.8	3.8	1.7	3.3	3.1
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について	3.9	28.5	26.5	23.4	14.1	2.1	1.5
(カ) 心の安定や充実感について	8.3	42.6	26.9	13.6	4.8	1.9	2.0
(キ) 仕事面や働く機会について	5.9	30.3	27.0	14.2	6.7	10.7	5.2
(ク) レジャー・余暇活動について	6.6	34.7	32.4	12.9	4.4	6.5	2.5
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について	3.2	20.9	40.6	14.8	6.2	11.6	2.6
(コ) 災害の危険度について	2.8	22.4	37.7	17.9	7.0	10.3	1.9
(サ) 商品の安全や悪質商法に関する 相談体制について	1.3	12.6	40.7	8.8	3.0	31.8	1.7
(シ) 子どもの教育や健全育成に対する 家庭・学校・地域の連携について	2.4	23.7	34.1	7.5	2.8	26.7	2.8

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n = 1,556 ( は1つ)

4.9 大変満足している	23.1 どちらともいえない	2.6 大変不満である
56.0 まあ満足している	11.0 やや不満である	1.5 わからない
		0.8 無回答

問9 あなたは、市民活動団体の活動を知っていますか。 n = 1,556 ( は1つ)

5.4 よく知っている	43.3 知らない
50.8 多少は知っている（聞いたことがある）	0.5 無回答

ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。 n = 1,556 ( は1つ )

3.5 定期的に参加している  
4.6 時々参加している  
15.7 参加したことがある  
9.7 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う  
65.7 参加したことはない  
0.8 無回答

ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。 n = 1,556 ( は1つ )

19.5 活動したことがある 79.9 活動したことはない 0.6 無回答

## 【健康について】

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。  
n = 1,556 ( は1つ )

16.7 そう思う 12.2 どちらかといえばそう思わない  
34.0 どちらかといえばそう思う 9.4 そう思わない  
21.9 どちらともいえない 4.9 わからない  
0.8 無回答

問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。  
n = 1,556 ( は1つ )

14.7 週に3日以上(年151日以上) 8.5 年に1～3日  
21.9 週に1日～2日(年51日～150日) 24.9 運動・スポーツは行わなかった  
16.8 月に1～3日(年12日～50日) 6.0 わからない  
6.4 3か月に1～2日(年4日～11日) 0.8 無回答

ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ(ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等)を含みます。

問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。  
n = 1,556 ( は1つ )

22.1 そう思う 8.5 どちらかといえばそう思わない  
37.7 どちらかといえばそう思う 9.8 そう思わない  
18.6 どちらともいえない 2.8 わからない  
0.4 無回答

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（はそれぞれ1つずつ）

n = 1,556

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局
53.0 持っている	61.9 持っている	34.4 持っている
35.9 持っていないが、必要性は強く感じている	25.7 持っていないが、必要性は強く感じている	36.9 持っていないが、必要性は強く感じている
10.2 持っていないし、必要性もあまり感じていない	9.4 持っていないし、必要性もあまり感じていない	25.0 持っていないし、必要性もあまり感じていない
0.9 無回答	3.0 無回答	3.7 無回答

## 【子育てと福祉について】

問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。 n = 1,556（は1つ）

9.8 そう思う	7.4 どちらかといえばそう思わない
28.0 どちらかといえばそう思う	6.9 そう思わない
19.1 どちらともいえない	21.9 わからない
	6.8 無回答

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどうお感じですか。 n = 1,556（は1つ）

1.2 大変満足している	35.7 どちらともいえない	9.3 大変不満である
14.5 まあ満足している	20.0 やや不満である	18.3 わからない
		1.0 無回答

## 【観光について】

問18 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。 n = 1,556 ( はいいくつでも )

52.1 自然が豊かである	47.2 新鮮な農産物が豊富である
53.1 温暖で気候がよい	43.8 新鮮な水産物が豊富である
36.4 季節の花々が楽しめる	5.7 郷土料理・ご当地グルメが豊富である
5.8 温泉が楽しめる	3.5 お酒がおいしい
18.6 ゴルフ場が多い	14.0 地域ならではの特産品・お土産がある
31.8 サーフィン・海水浴・潮干狩りが楽しめる	21.0 果物狩りが楽しめる
11.2 プロスポーツ観戦が楽しめる	11.3 祭りが盛んである
38.0 魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある	4.0 自然体験・農林漁業体験ができる
13.0 魅力的な動植物園・水族館がある	4.6 ドラマや映画等のロケ地が多い
12.7 有名な寺社・仏閣がある	12.1 家族（子供と）で楽しめる
11.9 歴史的なまち並み・史跡・旧跡がある	52.1 都心からアクセスがよい・近い
28.3 買い物・ショッピングが楽しめる	5.3 国際的な観光地である
4.2 工場見学が楽しめる	1.4 その他
	( 具体的に )
	4.4 特にない
	1.5 無回答

問 19 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

n = 1,556 ( はいいくつでも )

13.4 ベイ・東葛飾エリア（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ケ谷市）	
10.0 かずさ・臨海エリア（市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、富津市）	
19.4 北総エリア（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）	
28.0 九十九里エリア（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町）	
75.0 南房総エリア（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）	
12.7 特にない	1.3 無回答

問 20 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。 n = 1,556

( はいいくつでも )

55.3 観光施設	39.7 道の駅
53.5 宿泊施設	28.7 直売所（地場農水産物）
7.7 バリアフリー対応施設	4.8 観光ボランティアガイド
49.8 食事	9.4 体験プログラム
26.0 お土産・特産品	16.8 観光公衆トイレ
21.0 祭り・イベント	11.2 観光地の動画・写真
11.1 モデルルート	18.4 観光地の気象情報
47.4 交通アクセス	3.2 その他（具体的に）
	2.5 無回答

問21 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。 n = 1,556 ( はいいくつでも )

7.6 食事	2.9 自然・景観
9.3 観光施設	15.7 観光情報・案内の充実度
9.7 宿泊施設	20.8 観光公衆トイレの設備
6.7 接客サービス	23.5 観光地における駐車場
5.4 お土産・特産品	2.9 その他
32.6 交通アクセス	( 具体的に )
8.2 まち並み・雰囲気	29.0 特に不満な点はない
	5.1 無回答

問 22 今年 4 月、県の代表的なお土産品、特産品、伝統工芸品などを取り扱う「チーバくん物産館」がリニューアルオープンしました。

あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。 n = 1,556 ( は 3 つ )

6.0 花	8.9 酒類
40.3 農産物・果物	9.1 しょうゆ・みそ
54.4 落花生・落花生加工品	2.2 乳製品
1.0 肉類	34.2 菓子・せんべい
17.6 生鮮魚介類	1.9 工芸品
32.8 海苔・水産加工品	9.2 チーバくんグッズ
8.6 漬物	2.4 その他( 具体的に )
	1.9 無回答

## 【千葉県の農林水産物について】

問23 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。 n = 1,556 ( は 1 つ )

39.1 そう思う	2.2 どちらかといえばそう思わない
34.0 どちらかといえばそう思う	2.2 そう思わない
15.2 どちらともいえない	5.5 わからない
	1.7 無回答

問24 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以下に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。

あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。 n = 1,556 ( は 1 つ )

4.6 よく知っている	69.5 知らない
24.7 多少は知っている ( 聞いたことがある )	1.3 無回答

問25 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。 n = 1,556 ( は 1 つ )

6.0 よく知っている	63.9 知らない
29.0 多少は知っている ( 聞いたことがある )	1.1 無回答



## 【防災に関する取り組みについて】

問26 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、近年、記録的な大雨や台風などにより国内では浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。 n = 1,556 ( は1つ )

46.0 強く感じている	8.8 ほとんど感じていない
43.0 少し感じている	1.2 わからない
	1.0 無回答

問27 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。 n = 1,556 ( は1つ )

62.8 知っている	35.6 知らない	1.6 無回答
------------	-----------	---------

問28 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。 n = 1,556 ( は1つ )

14.6 4日分以上	23.5 2日分	18.5 備蓄していない
32.8 3日分	9.3 1日分	1.2 無回答

問29 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。

n = 1,556 ( は1つ )

57.5 知っている	40.9 知らない	1.5 無回答
------------	-----------	---------

問30 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか( 行う予定ですか )。 n = 1,556 ( はいいくつでも )

58.1 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化	
9.4 住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化	
8.4 住宅の建替え（昭和57年以降）	
4.8 家具や建築資材の不燃化・防災化	
1.3 液状化対策	
51.3 地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認	
5.1 その他（具体的に	）
8.4 無回答	

## 【地方分権について】

問31 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。  
こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。

n = 1,556 ( は1つ )

37.3 地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい。  
13.2 今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである。  
24.0 どちらともいえない  
22.7 わからない  
1.1 その他（具体的に ）  
1.7 無回答

問32 平成23年に公布された地方分権の法律により、今まで国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知っていますか。

n = 1,556 ( は1つ )

4.2 よく知っている 63.0 知らない  
31.8 多少は知っている（聞いたことがある） 1.0 無回答

## 【広報・広聴活動について】

問33 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。 n = 1,556 ( は1つ )

6.2 大変関心がある 44.5 あまり関心がない  
44.3 関心がある 3.7 まったく関心がない  
1.2 無回答

問34 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。 n = 1,556 ( はいいくつでも )

71.5 県広報紙「ちば県民だより」  
11.7 千葉県ホームページ（パソコン版）  
2.2 千葉県ホームページ（携帯版）  
6.2 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」  
11.1 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」  
3.5 ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・プレイング・モーニング」  
「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」  
39.6 4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース  
2.6 その他（具体的に ）  
4.4 無回答

問35 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。n = 1,556 ( は1つ )

24.9 ほとんど毎回読んでいる	15.0 読んだことがない
43.2 ときどき読んでいる	0.8 無回答
16.1 あまり読まない	

( 問 35 で「 1 」～「 3 」のいずれかをお答えの方に )

→ 問 35 - 1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。( はそれぞれ1つずつ )

n = 1,310

情報・内容のわかりやすさ	デザイン
11.8 良い 80.7 普通 4.0 悪い 3.5 無回答	7.1 良い 80.0 普通 6.0 悪い 6.9 無回答

問36 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。

n = 1,556 ( は1つ )

1.3 よく利用している	57.1 利用していない
12.1 ときどき利用している	12.7 普段からインターネットを利用して いない
15.2 ほとんど利用しない	1.7 無回答

→ ( 問 36 で「 1 」～「 3 」のいずれかをお答えの方に )

問 36 - 1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。( は1つ )

n = 444

5.6 良い	79.5 普通	8.6 悪い	6.3 無回答
--------	---------	--------	---------

問37 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。

n = 1,556 ( は1つ )

1.5 よく見る	29.0 あまり見ない
16.6 ときどき見る	51.4 見たことがない
	1.4 無回答

問38 あなたは、県の広報紙や広報番組 ( 問34の選択肢「 1 」～「 6 」に掲げるもの ) 以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。

n = 1,556 ( はいいくつでも )

34.9 新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告	8.5 街頭配布のチラシやリーフレット
31.2 テレビ・ラジオ等の番組又はCM	8.7 イベント
25.4 地域のフリーペーパー	2.2 その他 ( 具体的に )
32.6 駅や街頭のポスター	24.0 特になし
	2.4 無回答

問39 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。 n = 1,556 ( \_\_はいくつでも )

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 28.9 県事業の内容や進みぐあい      | 9.4 各種調査や統計資料の紹介  |
| 33.5 県予算の使いみち          | 15.1 地域住民の活動情報    |
| 42.7 新しくできた制度や事務手続きの情報 | 40.8 県の観光・レジャー情報  |
| 14.7 県民の県政に対する意見や要望の紹介 | 21.5 県の歴史や文化、伝統工芸 |
| 32.5 県行事や催し物などのお知らせ    | 1.8 その他(具体的に )    |
| 42.8 県施設の紹介や利用案内       | 9.2 特にない          |
|                        | 2.1 無回答           |

問40 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙など、以下に掲げるものの中で今までに意見を述べたことがありますか。 n = 1,556 ( \_\_はいくつでも )

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1.2 知事への手紙                      |
| 0.6 電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談 |
| 0.8 ホームページ                      |
| 0.4 県民会議・タウンミーティング              |
| 0.3 ちばづくり県民コメント(パブリックコメント)制度    |
| 0.5 その他(具体的に )                  |
| 95.6 利用したことはない                  |
| 1.3 無回答                         |

問41 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。 n = 1,556 ( \_\_は3つまで )

- |   |
|---|
| 33.4 県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開             |
| 14.8 施策形成の段階から県民の意見を聴く制度の拡大                         |
| 11.1 県民が県に対して直接意見・提案のできるタウンミーティングなどの機会の充実           |
| 33.3 手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知 |
| 22.5 県内各地で直接県民の声を聴く窓口の充実                            |
| 46.9 県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開                   |
| 1.5 その他(具体的に )                                      |
| 17.0 特にない   |
| 2.8 無回答   |

問42 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。 n = 1,556 ( \_\_は1つ )

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 8.4 そう思う          | 8.2 どちらかといえばそう思わない |
| 24.3 どちらかといえばそう思う | 8.4 そう思わない         |
| 33.0 どちらともいえない    | 15.8 わからない         |
|                   | 2.0 無回答            |

## 【県政への要望】

問43 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に をつけてください。

なお、各要望項目の内容については、次の「問44」の具体的要望項目欄に例示を記載していますので参考にしてください。

n = 1,556

- 40.2 災害から県民を守る
  - 3.7 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 17.5 食品の安全を守る
  - 6.7 交通事故から県民を守る
- 4.0 中心市街地の活性化を推進する
  - 1.5 国際交流や国際協力をすすめる
- 13.4 便利な交通網を整備する
  - 6.5 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 4.1 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する
- 30.7 高齢者の福祉を充実する
- 15.6 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
  - 4.0 青少年を健全に育てる
- 0.5 男女共同参画を推進する
  - 1.2 NPOやボランティアへの活動支援を充実する
- 6.6 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 20.6 医療サービス体制を整備する
  - 6.7 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 7.3 自然を守り、緑を育てる
  - 2.5 省資源やリサイクルをすすめる
- 1.8 廃棄物対策をすすめる
  - 3.0 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する
- 2.2 観光を振興する
- 12.5 雇用の場を広げる
  - 8.4 仕事と子育てが両立する働き方を実現する
- 1.9 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
  - 6.7 道路を整備する
- 3.9 下水道を整備する
  - 1.2 住宅対策を充実する
- 3.2 公園・緑地・水辺を整備する
  - 7.2 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 6.2 学校教育を充実する
  - 3.5 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 2.3 芸術・文化活動を振興する
- 11.5 犯罪防止対策をすすめる
  - 0.6 施策実現や地域活性化のためのITの利活用を進める
- 13.3 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る
  - 1.4 その他（具体的に
- 1.2 要望はない
- 1.3 無回答

(問43で「1」～「36」のうち1つでもお答えの方は、次の問44にお進みください。

問43で「37」または「38」だけにお答えの方は、18ページのF 1にお進みください。→

→ 問 44 問 43 で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。  
問 43 で選んだ 3 項目についてのみ、具体的要望項目から 1 つずつ選んで番号に を  
つけてください。

問 43 の番号及び項目	具体的要望項目（問 43 で選んだ項目についてのみお答えください）
1 災害から県民を守る を選んだ方 n = 625	17.3 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 36.5 災害時の支援、救援活動 17.9 避難場所・避難経路の整備 15.2 危険箇所の事前解消 6.1 災害に対する意識啓発、情報提供 0.3 その他（具体的に） 6.7 無回答
2 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方 n = 57	28.1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 22.8 悪質な事業者の指導・処分 5.3 食品や生活用品などの適正な表示 3.5 商品・サービスに係る危害・危険の防止 0.0 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 10.5 高齢者や若者等の消費者被害の防止 15.8 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 1.8 その他（具体的に） 12.3 無回答
3 食品の安全を守る を選んだ方 n = 272	32.4 食品の安全確保 15.8 適正な食品表示 21.3 検査の強化 3.7 情報提供 16.9 添加物や農薬の規制 0.0 その他（具体的に） 9.9 無回答
4 交通事故から県民を 守るを選んだ方 n = 104	33.7 交通事故多発箇所の点検、整備 5.8 その他 23.1 自転車の安全利用（具体的に） 22.1 ドライバーマナーの向上 12.5 無回答 2.9 交通安全教育の推進
5 中心市街地の活性化を 推進するを選んだ方 n = 62	3.2 まちのバリアフリー化 0.0 その他 16.1 再開発などのまちづくり推進（具体的に） 58.1 駅周辺の活性化 3.2 無回答 19.4 商業中心による活性化
6 国際交流や国際協力を すすめる を選んだ方 n = 23	8.7 海外の良い点を県政に反映 8.7 外国人にも住みやすいまちづくり 34.8 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 21.7 市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 0.0 在住外国人向けの相談・情報提供の充実 0.0 海外への千葉県の魅力に関する情報発信 4.3 その他（具体的に） 21.7 無回答
7 便利な交通網を整備 する を選んだ方 n = 208	26.4 鉄道の増便などによる利便性の向上 17.8 バスの増便などによる利便性の向上 17.3 鉄道新設などによる交通網の見直し 17.8 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化 15.4 その他（具体的に） 5.3 無回答
8 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 するを選んだ方 n = 101	33.7 就労・自立対策・社会参加への促進 7.9 福祉事業の充実 29.7 障害のある人が住みやすく・生活上の各種の障壁のないまちづくり 16.8 経済的な支援・負担の軽減 4.0 その他（具体的に） 7.9 無回答
9 母子、寡婦、父子家 庭等の福祉や社会参加 の支援を充実する を選んだ方 n = 64	29.7 母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実 15.6 母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実 45.3 母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実 1.6 その他（具体的に） 7.8 無回答

問 43 の番号及び項目	具体的要望項目（問 43 で選んだ項目についてのみお答えください）
10 高齢者の福祉を充実 する を選んだ方 n = 477	44.7 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 22.6 入所施設の充実 14.0 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 5.0 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 0.8 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.0 高齢者虐待防止対策の強化 2.3 認知症対策の強化 1.0 その他（具体的に ） 9.4 無回答
11 次世代を担う子どもの 育成支援を充実する を選んだ方 n = 242	50.8 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 13.6 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 13.6 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実 7.0 子どもたちのコミュニケーション再生のための遊び場づくりの推進 4.1 児童虐待防止対策の推進 3.7 その他（具体的に ） 7.0 無回答
12 青少年を健全に育てる を選んだ方 n = 62	9.7 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 12.9 家庭・学校・地域の連携強化 21.0 子どものしつけなどに関する家庭教育への支援 6.5 専門家による相談窓口の充実 11.3 ネットパトロールの実施・有害メディアの規制 14.5 非行・犯罪防止・立ち直り支援 9.7 ニート・ひきこもり等への支援 3.2 その他（具体的に ） 11.3 無回答
13 男女共同参画を推進 する を選んだ方 n = 8	25.0 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 0.0 教育・学習の推進 37.5 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 12.5 女性の再就職支援 25.0 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 0.0 ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 0.0 広報・啓発活動の推進 0.0 その他（具体的に ） 0.0 無回答
14 NPOやボランティアへ の活動支援を充実する を選んだ方 n = 18	33.3 活動への資金的支援 5.6 その他 16.7 活動への理解促進 （具体的に ） 22.2 他団体との連携支援 5.6 無回答 16.7 各団体の運営能力強化の支援
15 健康づくりをすすめて、 病気を予防する を選んだ方 n = 102	11.8 運動の機会の増大 13.7 心の健康づくり 35.3 高齢者の健康維持 2.9 歯科保健の充実 2.0 禁煙の推進 17.6 がんその他の生活習慣病対策 3.9 食生活改善の支援 1.0 その他（具体的に ） 11.8 無回答
16 医療サービス体制を 整備する を選んだ方 n = 321	16.2 医師・看護師等医療技術者の確保 12.8 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 23.1 医療施設の整備 20.6 休日・夜間等時間外診療の充実 15.0 救急医療体制の整備 3.4 その他（具体的に ） 9.0 無回答
17 大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策を すすめる を選んだ方 n = 105	12.4 ディーゼル車対策による大気汚染の改善 18.1 光化学スモッグ対策 1.9 アスベスト対策 20.0 航空機や自動車による騒音・振動に対する県の対策 30.5 河川・湖沼・海域の水質改善 2.9 建設残土の適正な埋立て 7.6 その他（具体的に ） 6.7 無回答

問 43 の番号及び項目	具体的要望項目（問 43 で選んだ項目についてのみお答えください）
18 自然を守り、緑を 育てるを選んだ方 n = 114	60.5 自然環境・自然景観の保全 2.6 環境保全に関する啓発・教育 6.1 希少な野生動植物の保全 0.0 県民参加での野生動植物調査 5.3 特定外来生物の防除 0.9 その他（具体的に ） 17.5 地球温暖化対策 7.0 無回答
19 省資源やりサイクルを すすめる を選んだ方 n = 39	17.9 ごみ分別徹底化 38.5 廃棄物の再資源化促進 5.1 容器包装ごみの発生抑制（マイバッグの利用など） 7.7 新エネルギーの導入促進 10.3 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） 10.3 その他（具体的に ） 10.3 無回答
20 廃棄物対策をすすめる を選んだ方 n = 28	32.1 産業廃棄物の不法投棄防止対策 39.3 安心できる廃棄物処理施設の設置 7.1 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 7.1 その他（具体的に ） 14.3 無回答
21 商工業を振興し、中小企 業・ベンチャー企業への 支援を充実する を選んだ方 n = 46	17.4 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 17.4 中小企業への資金支援の充実 15.2 企業の創業及び新たな事業展開の支援 6.5 研究・技術開発の支援 8.7 販路開拓の支援 23.9 商店街の整備・活性化 2.2 その他（具体的に ） 8.7 無回答
22 観光を振興する を選んだ方 n = 34	2.9 観光地の美化 8.8 観光地へのアクセスの改善 44.1 観光施設・宿泊施設の充実 0.0 その他 29.4 千葉県観光の積極的な P R （具体的に ） 8.8 新たな観光地づくりの促進 5.9 無回答
23 雇用の場を広げる を選んだ方 n = 194	39.2 若年者に対する就業支援 3.1 障害のある人に対する就業支援 38.1 中高年齢者に対する就業支援 2.6 その他（具体的に ） 9.8 女性に対する就業支援 7.2 無回答
24 仕事と子育てが両立 する働き方を実現する を選んだ方 n = 131	12.2 女性の再就職支援 3.1 両立支援相談窓口の設置 13.7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 5.3 男性の育児参加など働き方の見直しの啓発 16.8 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 2.3 企業に対する税制上の優遇措置の創設 35.9 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 2.3 その他（具体的に ） 8.4 無回答
25 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を供 給するを選んだ方 n = 30	33.3 新鮮でおいしい農林水産物の供給 10.0 価格の安定 20.0 県産農林水産物の販売量の拡大 23.3 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 0.0 その他（具体的に ） 13.3 無回答
26 道路を整備する を選んだ方 n = 104	35.6 交通渋滞対策 10.6 交通事故多発箇所の改修 7.7 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 5.8 観光、買い物などを支援する道路の整備 9.6 自然災害に強い道路の整備 16.3 その他（具体的に ） 14.4 無回答
27 下水道を整備する を選んだ方 n = 61	72.1 下水道の普及・改善 3.3 その他 6.6 下水道施設の耐震化 （具体的に ） 4.9 下水の高度処理化 8.2 無回答 4.9 水洗化への支援



問 43 の番号及び項目	具体的要望項目（問 43 で選んだ項目についてのみお答えください）
28 住宅対策を充実する を選んだ方 n = 19	21.1 安くて入居を拒まれない住宅の整備 21.1 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 10.5 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 10.5 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 5.3 省エネなど環境に優しい住宅の整備 5.3 その他（具体的に ） 26.3 無回答
29 公園・緑地・水辺を 整備する を選んだ方 n = 50	34.0 公園・緑地等の設置・管理 26.0 公園等の緑化推進 22.0 子どもの遊び場の整備 6.0 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 0.0 催物・講習会等の開催 0.0 その他（具体的に ） 12.0 無回答
30 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方 n = 112	50.9 上水道の水質の改善・維持 1.8 上水道の整備 32.1 水源となる湖沼や川の汚染対策 3.6 その他（具体的に ） 11.6 無回答
31 学校教育を充実する を選んだ方 n = 96	28.1 教職員の資質向上・増員 2.1 障害のある児童生徒の教育の 12.5 学力の向上 充実 2.1 健康と体力の向上 6.3 学校施設の整備 8.3 特色ある教育活動の充実 7.3 その他 15.6 道徳や心の教育の充実 （具体的に ） 9.4 いじめ・不登校対策 8.3 無回答
32 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方 n = 55	3.6 指導者育成の支援 20.0 学習機会の充実 25.5 スポーツ・レクリエーション活動の充実 5.5 情報提供の充実 32.7 施設の整備・充実 1.8 その他（具体的に ） 10.9 無回答
33 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方 n = 36	36.1 文化・芸術にふれる機会の拡充 19.4 文化・芸術活動への支援 8.3 伝統文化や文化財などの継承と活用 13.9 文化施設等の幅広い活用 11.1 その他（具体的に ） 11.1 無回答
34 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方 n = 179	21.2 警察官によるパトロールの強化 34.1 防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充 2.8 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 5.6 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 15.1 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 2.8 少年の非行防止対策 5.6 暴力団、来日外国人等による犯罪の防止 2.2 その他（具体的に ） 10.6 無回答
35 施策実現や地域活性化 のための IT の利活用を 進める を選んだ方 n = 10	40.0 安全で豊かなくらしの実現のための IT 利活用 （防災・環境・医療・福祉・健康等） 10.0 千葉県の未来を担うこどもの育成のための IT 利活用 （子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等） 20.0 経済の活性化と交流基盤の整備のための IT 利活用 （観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等） 0.0 行政事務の利便性の向上、効率化への IT 利活用 0.0 情報セキュリティ対策の推進 10.0 光通信、無線高速回線などの整備促進 0.0 その他（具体的に ） 20.0 無回答

問 43 の番号及び項目	具体的要望項目（問 43 で選んだ項目についてのみお答えください）
36 東京電力福島第一原子 力発電所事故の影響か ら県民を守る を選んだ方 n = 207	35.7 きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表 13.5 放射性物質に関する基礎的な知識の啓発 13.5 安全基準の提示 5.3 風評被害への対策 17.9 除染の推進 4.3 その他（具体的に）9.7 無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことがらをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,556 ( は1つ )

42.1 男性	56.4 女性	1.5 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,556 ( は1つ )

8.7 20～29 歳	15.6 40～49 歳	11.1 60～64 歳
13.8 30～39 歳	15.8 50～59 歳	33.7 65 歳以上
		1.4 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,556 ( は1つ )

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.0 農林漁業	0.3 農林漁業	7.0 管理職	34.0 主婦・主夫
2.0 商工サービス業	0.9 商工サービス業	18.0 専門技術・事務職	1.7 学生
3.5 自由業	1.2 自由業	10.9 販売・サービス職	9.3 その他
		7.2 労務職	( )
			3.0 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。 n = 1,556 ( は1つ )

49.8 はい	47.2 いいえ	3.0 無回答
---------	----------	---------

( F 4 で「 2 」とお答えの方に )

➤ F 4 - 1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。 n = 735 ( は1つ )

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.2 農林漁業	0.1 農林漁業	13.3 管理職	28.6 無職
4.2 商工サービス業	0.8 商工サービス業	19.7 専門技術・事務職	4.5 無回答
6.8 自由業	0.8 自由業	9.1 販売・サービス職	
		10.7 労務職	

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n = 1,556 ( は 1 つ )

20.2 未婚	66.8 既婚 (配偶者有)	10.9 既婚 (配偶者離死別)
		2.1 無回答

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

n = 1,556 ( は 1 つ )

15.6 1人	12.9 3人	0.2 5人以上
40.3 2人	1.4 4人	25.5 子どもはいない
		4.0 無回答

→ ( F 6 で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に )

F 6 - 1 一緒にお住まいのあなたのお子さんと次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。

n = 1,096 ( はいいくつでも )

5.8 0～2歳の子ども	7.3 大学・大学院在学中の子ども
6.8 3歳以上の未就学の子ども	28.8 学校を終えた未婚の子ども
17.3 小学校・中学校在学中の子ども	15.8 結婚した子ども
8.4 高校在学中の子ども	19.7 同居している子どもはいない
1.6 短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	9.4 無回答

F 7 あなたと一緒に暮らしの御家族の構成は次の中のどれに該当しますか。

n = 1,556 ( は 1 つ )

11.2 単身	46.1 二世帯世帯 (親と子)	3.0 その他 (具体的に )
24.9 夫婦のみ	10.5 三世帯世帯 (親と子と孫)	4.2 無回答

F 8 お宅には 65 歳以上の方がいらっしゃいますか。 あなたご自身も含めてお答えください。

n = 1,556 ( は 1 つ )

51.6 いる	45.9 いない	2.5 無回答
---------	----------	---------

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n = 1,556 ( は 1 つ )

63.4 持家 (一戸建)	4.7 公社・UR都市機構・区市町村営住宅
13.0 分譲マンション	1.5 社宅などの給与住宅
1.9 民間の借家 (一戸建)	0.3 住み込み・寮・寄宿舍
12.8 賃貸のアパート・マンション	0.5 その他 (具体的に )
	1.9 無回答

F 10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。 n = 1,556 ( は 1 つ )

0.8 1年未満	5.1 5年～10年未満	16.0 20年～30年未満
2.2 1年～3年未満	5.7 10年～15年未満	62.3 30年以上
1.4 3年～5年未満	4.8 15年～20年未満	0.1 わからない
		1.5 無回答

F 11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n = 1,556 ( は 1 つ )

14.6 千葉市	0.5 勝浦市	1.0 富里市
1.2 銚子市	4.3 市原市	0.9 南房総市
7.6 市川市	2.6 流山市	0.4 匝瑳市
10.0 船橋市	2.6 八千代市	1.6 香取市
1.0 館山市	2.7 我孫子市	0.7 山武市
2.2 木更津市	0.4 鴨川市	0.4 いすみ市
8.2 松戸市	1.9 鎌ヶ谷市	1.1 大網白里市
2.0 野田市	1.3 君津市	0.5 印旛郡栄町
1.4 茂原市	1.0 富津市	0.6 香取郡多古町
2.8 成田市	3.0 浦安市	0.2 山武郡九十九里町
2.4 佐倉市	1.7 四街道市	0.6 長生郡一宮町
0.8 東金市	1.2 袖ヶ浦市	0.4 長生郡白子町
0.8 旭 市	0.7 八街市	0.5 夷隅郡大多喜町
2.3 習志野市	1.4 印西市	
5.8 柏 市	1.0 白井市	1.3 無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県への意見があればご自由にお書きください。


また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。


お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。  
 ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、  
9月2日(月)までに、ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

---

---

平成 25 年度

( 第 46 回 )

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 26 年 1 月発行

( 平成 25 年 8 月実施 )

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

( 広聴室 ) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 2 4 6

---

---